Complete Dynamics

マスターエディション

macOS用

バージョン25.1について

このマニュアルについて

このマニュアルはあなたにふさわしいか?

Complete Dynamicsのドキュメントは、多くのバリエーションが用意されています。

プログラム構成によって、異なるマニュアルを用意しています。

- プログラムのエディション。Browser、Practitioner、Masterのいずれか。
- コンピュータの種類Apple OS-X、Windows、iPad、iPhone、Android。
- 様々な国際言語。

適切なマニュアルは、あなたの状況にぴったりと適合します。
もし、完璧なマニュアルを読んでいないと思われる場合は、当社のウェブサイト*www.completedynamics.com* 、セクション *ドキュメント* にアクセスし、そこからマニュアルをダウンロードしてください。

翻訳

Complete Dynamicsの新バージョンがリリースされるたびに、英語版マニュアルを最新版に更新しています。
変更されたテキストの翻訳には、余分な時間がかかることがあります。

マニュアルの未翻訳部分は、このテキストのように印刷されたオリジナルの英語テキストが表示されます。

ようこそ

Complete Dynamics - Master Editionへようこそ。

Complete Dynamics ソフトウエアプログラムは、コンピュータを使ったComplete Repertory の読解と学習において、究極の体験を提供します。ホメオパシーの専門家の間では、Complete Repertory は、その完全性、正確性、原典の網羅性で世界的に有名です。

Apple macOS ®, Microsoft Windows ®, Linux ®, Apple iOS ®, Android ®でご利用いただけます。

マスターエディションでは、以下のことが可能になります。
- *Complete Repertory* 全文を多言語で読み、学ぶことができます。
- 患者のケースファイルを管理する。
- 分析を行う。
- マテリアメディカの本を読む。
- より経験豊富で要求の厳しいプロのホメオパスのためだけに作られた、多くの機能を使用します。

このページは、プログラムの使い方を説明するためのものです。
まずは、*はじめに* のセクションで、可能性の概要を知ることをお勧めします。

Complete Dynamics が、プロのプラクティショナー、学生、教師、研究者に関わらず、あなたのホメオパシーライフを豊かにすることを心から願っています。

Complete Dynamicsの開発チームです。

はじめに

直感的なデザイン

Complete Dynamics は、ホメオパシーの専門的なバックグラウンドを持つ人が、直感的に使えるように設計されています。プログラムの一部の機能は、ちょっとしたコツを覚えれば、より効果的に使うことができます。
特に、*Jump to* フィールドや、*Find* フィールドを使用する場合は、その傾向が顕著です。これらのテーマに関するヘルプセクションを読んで、その強力な可能性について学んでください。数分の時間を割く価値はあります。

マウスを使う

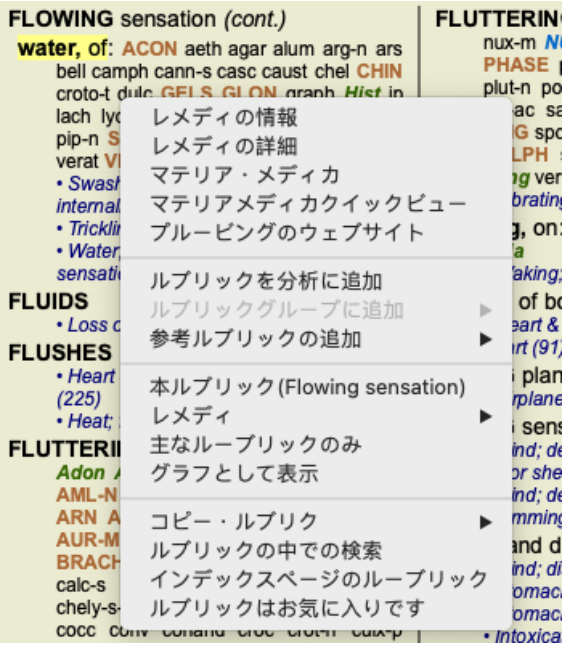
コンピュータのマウスやトラックパッドは、一般的な作業を素早く行ったり、情報を呼び出したりするのに使用します。
マウスカーソルが小さな手の形に変わると［BUTTON:hand］、クリックするとカーソルのあるアイテムに何らかのアクションが行われます。例：参考文献をクリックすると、参照したルーブリックに即座にジャンプします。
また、ダブルクリックすることで、クリックした項目の詳細情報を取得できる場合もあります。例：書籍内のレメディの略語をダブルクリックすると、詳細情報を表示するダイアログが表示されます。
スクロールホイールは、本のルビを素早く移動するために使用します。マウスやトラックパッドが横スクロールに対応している場合、本のページを素早くめくるために使用する機能です。

キーボードを使う

キーボードでほとんどの機能を素早く操作できるため、マウスとキーボードの使い分けが非常に少なくなりました。
キーボードを使って本の中をすばやく移動したり、キーボードショートカットでメニューオプションにアクセスしたりすることができます。メニューを開くと、メニューのオプションと一緒にキーボードショートカットが表示されます。
キーボードショートカットの概要については、*キーボードショートカット* をご覧ください。

ポップアップメニュー

多くの場面で、ポップアップメニューは機能への素早いアクセスを可能にします。右クリックでメニューが開きます（Macはctrl-Click）。
例



複数選択可

選択した1つの項目だけでなく、複数の項目に対して同時にある作業を行いたい場合が多々あります。
このような場合、まず複数の項目を選択し、選択されたすべての項目に対してタスクを実行することができます。

複数の項目を選択する方法

以下の例は、*Analysis* モジュールのルーブリックを複数選択したものです。
他の場所でも、原理は同じです。

1本の線を選択するには、マウスでクリックするだけです。

16 Mind; Activity; night
1 Mind; Activity; midnight, until
9 Mind; Activity; sleeplessness, with
83 Mind; Activity; hyperactive
488 Mind; Cheerfulness
26 Mind; Noises; aversion to
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; pain
1 Mind; Theorizing; evening
2 Mind; Theorizing; night

行の範囲を選択するには、最初の行をクリックし、 *シフトキー*を押しながら、最後の行をクリックします。

16 Mind; Activity; night
1 Mind; Activity; midnight, until
9 Mind; Activity; sleeplessness, with
83 Mind; Activity; hyperactive
488 Mind; Cheerfulness
26 Mind; Noises; aversion to
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; pain
1 Mind; Theorizing; evening
2 Mind; Theorizing; night

1行の選択範囲を変更するには、*cmd*キー を押しながら、その行をクリックします。また、テキストの左側をクリックすることで、1行の選択範囲を変更することができます。(*Book* と*Find* モジュールで、ルーブリックラベルの左側をクリックすると、次のようになります。)

16 Mind; Activity; night
1 Mind; Activity; midnight, until
9 Mind; Activity; sleeplessness, with
83 Mind; Activity; hyperactive
488 Mind; Cheerfulness
26 Mind; Noises; aversion to
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; pain
1 Mind; Theorizing; evening
2 Mind; Theorizing; night

すべての行を選択するには、*cmd*キー と*shift*キー の両方を押しながら、行をクリックします。

16 Mind; Activity; night
1 Mind; Activity; midnight, until
9 Mind; Activity; sleeplessness, with
83 Mind; Activity; hyperactive
488 Mind; Cheerfulness
26 Mind; Noises; aversion to
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; pain
1 Mind; Theorizing; evening
2 Mind; Theorizing; night

複数の選択項目に対して動作するアクション

ブックモジュール

Book モジュールでは、複数のルーブリックを選択することができます。複数のルーブリックに対応する機能もあれば、1つのルーブリックのみに対応する機能もあります。

複数のルーブリックで動作する機能です。:

- 分析にルーブリックを追加する。 (メニューオプション*症例 / 追加*, *control-R*, ポップアップメニューオプション*ルブリックを分析に追加*).
- 分析中の所定の症状にルーブリックを追加する。 (メニューオプション*症例 / ルブリックグループに追加 / 新しい症状*, ポップアップメニューオプション*ルブリックグループに追加 / 新しい症状*).
- ルーブリックラベルをクリップボードにコピーする。 (メニューオプション*ブック / コピー・ルブリク / コピー（レメディを除く）*, ポップアップメニューオプション*コピー・ルブリク / コピー（レメディを除く）*).
- ルーブリックラベルを、そのレメディーとともにクリップボードにコピーする。 (メニューオプション*ブック / コピー・ルブリク / コピー （ルブリックとレメディ）*, ポップアップメニューオプション*コピー・ルブリク / コピー （ルブリックとレメディ）*).

その他の機能は、1つのルーブリックで動作します。複数のルーブリックを選択した場合、最後にクリックしたルーブリックが使用されます。

モジュールの検索

Find モジュールでは、複数のルーブリックに関する機能は*Book* モジュールと同じです。

ケースモジュール

Case モジュールにおいて、複数選択で動作する関数は以下の通りです。:

- 複数の解析結果を削除する。 (メニューオプション*症例 / 分析を削除する*, ポップアップメニューオプション*分析を削除する*).
- 複数の解析結果を別のケースに移動することができます。 (メニューオプション*症例 / 分析を症例に移す*, ポップアップメニューオプション*分析を症例に移す*).
- 複数の処方箋を削除する。 (メニューオプション*症例 / 処方の削除*, ポップアップメニューオプション*処方の削除*).

解析モジュール

Analysis モジュールで、複数選択で動作する関数は以下の通りです。:

- 複数のルビや症状を削除する。 (メニューオプション*症例 / 削除*, ポップアップメニューオプション*削除*).
- 重み係数を割り当てる。 (メニューオプション*症例 / 重み / 重みx 2*, ツールバーボタン^{x2}, ポップアップメニューオプション*重み / 重みx 2*). などなど。
- 症状の分類クラスを割り当てる。 (メニューオプション*症例 / 症状分類 / プソラ*, ツールバーボタンO, ポップアップメニューオプション*症状分類 / プソラ*). などなど。
- グループ化機能のすべて
- すべてのフィルタリング機能
- ルビコンラベルをコピーする機能、救済措置の有無。
- 選択したルーブリックをコピーして、別の分析に貼り付けることができます。 (メニューオプション*分析 / コピー*, *⌘-C*, ポップアップメニューオプション*その他 / コピー*, メニューオプション*分析 / ペースト*, *⌘-V*, ポップアップメニューオプション*その他 / ペースト*).
- 選択したルーブリックを別の症状へ上下に移動させる。 (メニューオプション*移転 / 上へ*, ツールバーボタン↑, ポップアップメニューオプション*その他 / 上へ*, メニューオプション*移転 / 下へ*, ツールバーボタン↓, ポップアップメニューオプション*その他 / 下へ*).
- 複数のルーブリックを選択すると、分析結果エリアにそのルーブリックの救済措置が強調表示されます。
- 分析結果領域で複数の改善策を選択すると、その改善策が含まれるルーブリックが強調表示されます。

MMモジュール

レパートリー MM モジュールのセクションで、複数のルーブリックに関する機能は、 Book モジュールと同じです。

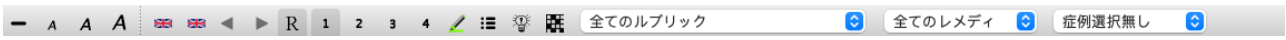
インデックスタブ

Complete Dynamicsの主要なモジュールには、インデックスタブと呼ばれる方法でアクセスできます。モジュールを有効にするには、タブをクリックするか、メニューから選択するか（*View* オプション）、キーボードショートカットを使用します。
Practitioner edition これらは、*Index*,*Book, Find, Case*,*Analysis* and*Materia Medica*.

Index モジュールでは、テキストとグラフィックの両方を用いて、本の章にすばやくアクセスすることができます。詳しくはヘルプの*インデックスモジュール* をご覧ください。
Book モジュールはレパートリーを表示します。印刷された本のように読むだけでなく、より凝縮された形で見ることができます。詳細はヘルプセクション*ブックモジュール* をご覧ください。
Find モジュールは、書籍内のルーブリックやレメディを検索するための強力な機能を備えています。詳しくはヘルプの*Find module* をご覧ください。
Case モジュールにより、患者のケースファイルを作成し、整理することができます。詳しくはヘルプセクション*ケースモジュール* をご覧ください。
Analysis モジュールは、お客様のケースの分析に使用されます。詳しくはヘルプの*解析モジュール* をご覧ください。
Materia Medica モジュール はレメディーに関する情報を提供します。詳細は、ヘルプセクション*Materia Medica モジュール* を参照してください。

ボタンバー

画面上部には、よく使う機能に素早くアクセスできるボタンバーを配置。



ボタンをクリックすると機能が有効になり、マウスをボタンに合わせるとその機能の簡単な説明が表示されます。

ライセンス

ライセンス購入方法

商用ライセンスの購入は、メニューのオプションから直接ウェブショップにアクセスできます。
- *Practioner Edition* のライセンスについて。(メニューオプションヘルプ/ *ライセンスの購入*).
- の翻訳版については、Complete Repertory をご覧ください。(メニューオプションヘルプ/ *の翻訳を購入する。Complete Repertory*).

お支払いは、*PayPal* 、クレジットカード、銀行振込（オプションは国によって異なります）で、安全かつ簡単に行うことができます。
ご注文後、ライセンス情報および請求書をメールにてお送りします。

ライセンスと価格

Complete Dynamicsの商用ライセンスは、サブスクリプションベースで購入することができます。
1ヶ月などの短期間、または長期間の購読が可能です。購入する期間が長ければ長いほど、魅力的な価格となります。

購読には以下が含まれます。

- **Complete Dynamics**を1台のコンピュータで無制限に使用できます。練習だけでなく、自宅でもパソコンを使っている、あるいはノートパソコンが余っている? 問題ありません、料金に含まれています。(下記のセクション*追加ライセンス* を参照).
- ソフトウエアの無償アップグレード。新機能を継続的に追加しています。追加費用なし、料金に含まれています。
- **Complete Repertory**の無料アップグレード。Complete Repertoryの新しいリリースがあるたびに、追加費用なしでいち早く入手することができます。
- 無料テクニカルサポート。私たちは、ソフトウエアには問題があってはならないと考えています。つまり、私たちの技術サポートは、他社で経験したことのないものなのです。私たちは、お客様の声に耳を傾け、本当にお客様の問題を解決します。時間をかけずに、コストをかけずに。
  ただし、WindowsなどのOSのサポートは含まれていません。私たちは自分たちのソフトウエアをサポートしますが、マイクロソフトには自分たちのソフトウエアをサポートさせましょう。申し訳ございませんでした。

どのようなエディションが必要ですか?

無料の*Browser Edition* 、有料の*Practitioner Edition* 、*Master Edition* のどちらが必要かは、お客様のニーズによって異なります。

	ブラウザー	プラクティショナー	マスター	
インデックス	✔	✔	✔	インデックスモジュールで、対話形式で簡単に選択できます。
書籍	✔	✔	✔	Complete Repertory 全文を読む.
言語切替	✔	✔	✔	一度に表示できる言語は1つですが、言語の切り替えは可能です。
多言語対応		✔	✔	2カ国語の同時表示が可能です。
探す	✔	✔	✔	レパートリーの中からテキストとレメディを探す。
ケース		✔	✔	ケースマネージメント、処方箋、印刷
分析		✔	✔	解析（レパートリー化）機能。
マテリアメディカ		✔	✔	マテリアメディカモジュール
レパートリーエディター			✔	自分でレパートリーを増やしていく。
レパートリー選択			✔	好きな作家を選ぶなど、独自のレパートリーフィルターを定義することができます。
レパートリーインデックス			✔	ルビをより早く見つけることができる、専用のレパートリー索引を搭載。
グラフィカルなレパートリー			✔	レパートリー・ルーブリック間の関係を図式化したもの。
改善提案者			✔	関連する症状のレメディーをもとに、小さなルビに追加のレメディーを提案する。
ハイライトの発見			✔	レパートリーまたはマテリアメディカでの検索結果をハイライト表示します。
マテリアメディカで探す			✔	マテリアメディカの本で検索する。
同義語			✔	言葉の同義語で探す。
解析式			✔	解析のための数式を独自に定義する。
解析フィルター			✔	解析結果の高度なフィルタリング
マテリアメディカ編集部			✔	自分のマテリアメディカを編集することができます。

キングダム分析			✔	キングダムとファミリーをベースに分析。
鑑別診断			✔	レメディの差別化を図るための強力なモジュールです。
高度な機能			✔	その他、経験豊富で要求の厳しいプロフェッショナルのためのオプションが多数用意されています。

価格

ライセンス価格については、当社のウェブサイト*www.completedynamics.com*, section*Pricing* をご覧ください。

追加ライセンス

お客様は、所有する複数のコンピュータでComplete Dynamicsを使用する権利を有します。
ライセンス購入後、他のコンピュータ用の追加ライセンスをお送りすることができます。そのためには、他のコンピュータのライセンス番号が必要です。ライセンス番号は、他のコンピュータ（複数可）の*メニュー / ヘルプ / ユーザーとライセンス*のダイアログで確認できます。
追加のライセンス番号（複数可）をお送りいただくだけで、追加のライセンス情報をメールでお送りします。メニューから、*Menu / Help / General Feedback* で、お問い合わせいただけます。

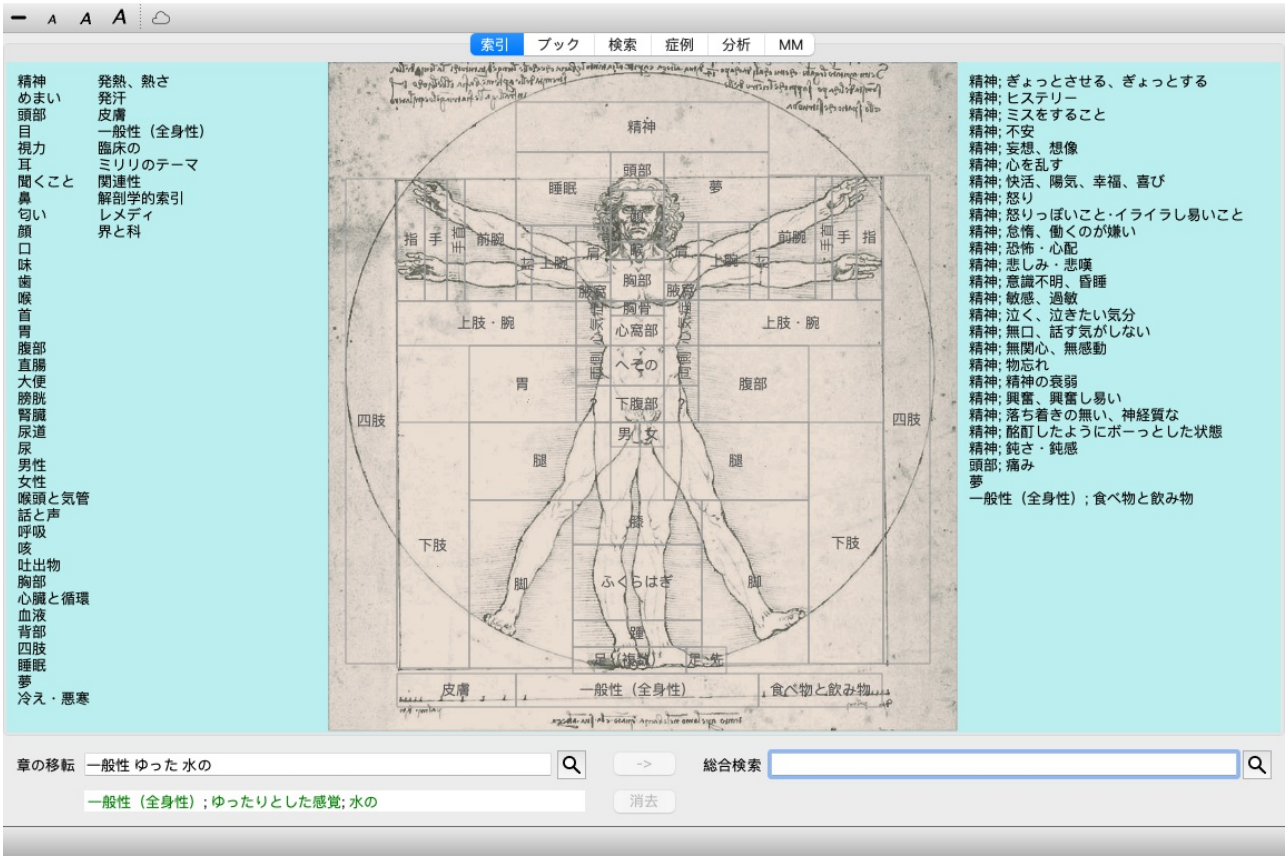
一定の制約があります。お客様は、ライセンスを使用する権利を有します。
- コンピュータを導入してください。
- 自宅のパソコンで
- ノートパソコン

状況が異なる場合は、弊社にお問い合わせください。
お客様のライセンスは個人的なものであり、お客様自身、お客様の部下、またはお客様のために働く家族のみが使用することができます。

インデックスモジュール

Index モジュールを開く

Index タブをクリックし、Index モジュールに移動します。 (メニューオプション*表示 / 索引*, *⌘-I*).



Indexモジュールの使用

インデックスモジュールにより、レパートリーの内容に素早くアクセスすることができます。
3つのエリアに分かれています。
- 左側はレパートリーの章立てのインデックスです。
- 中段はグラフィカルなインデックスです。
- 右側には、よく使われるルーブリックのクイックインデックスがあります。

文字や画像の上にマウスを移動させる。選択できるところでは、カーソルが手に変わります［BUTTON:hand］。項目をクリックするだけで、アクションを実行できます。

複数のレパートリーを使用する

レパートリーのライセンスをお持ちの場合、レパートリーのチャプターへのインデックスにもレパートリー名が表示されます。

Complete Repertory (...)

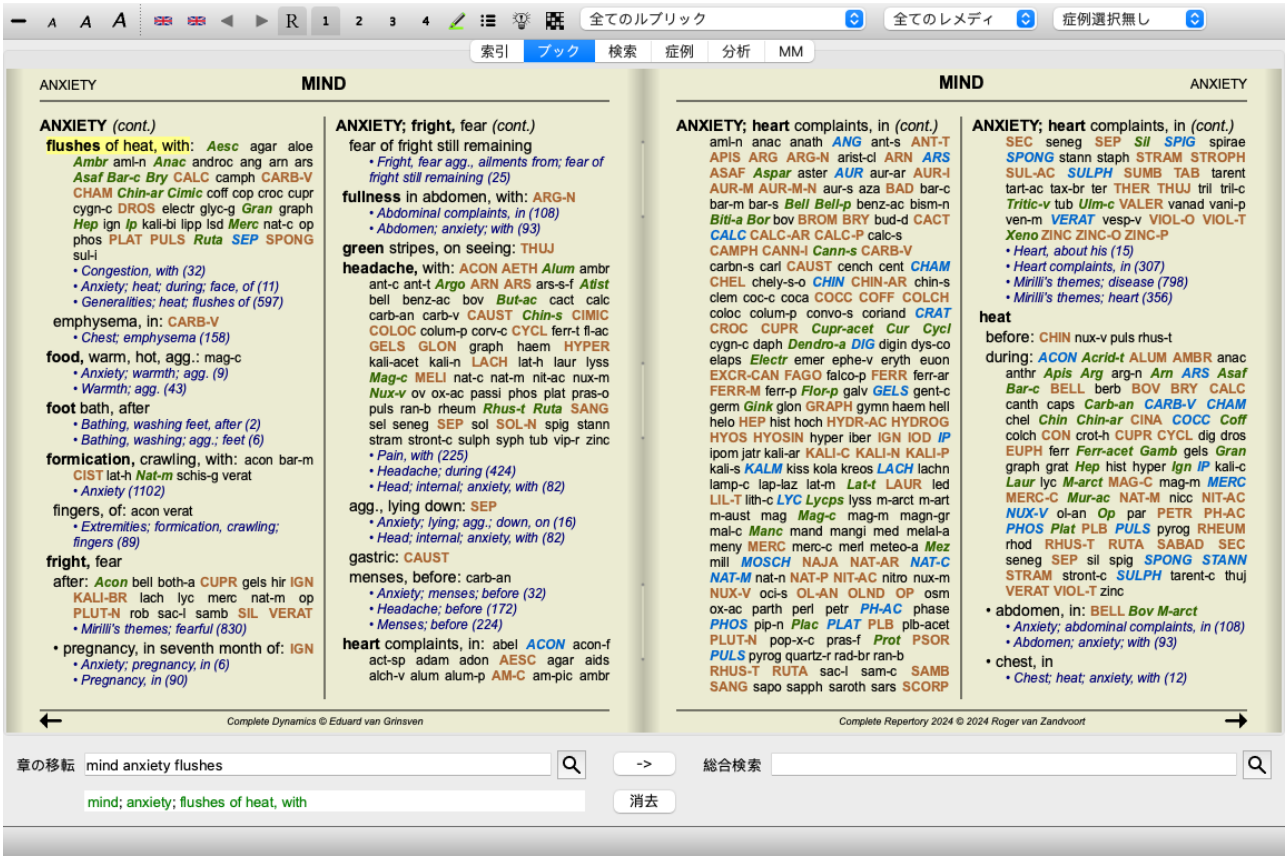
レパートリー名をクリックすると、次のレパートリーが選択され、そのチャプターが表示されます。
また、ポップアップメニューを表示し、レパートリーを選択することもできます。

ブックモジュール

Book モジュールを開く

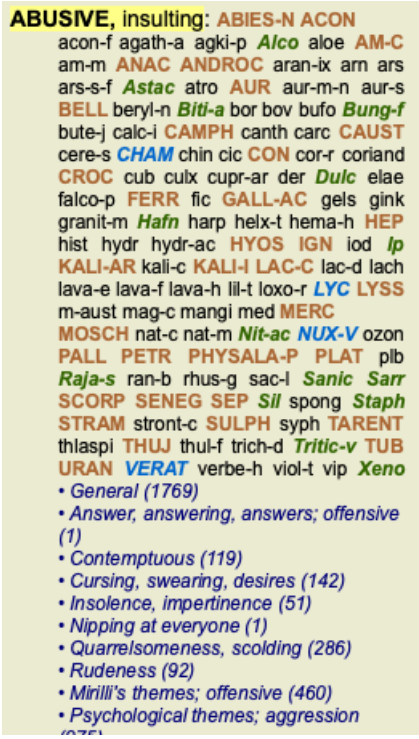
Book タブをクリックして、Book モジュールに移動します。 (メニューオプション表示 / ブック, ⌘-B).
次の例では、ルビ（心; 不安; 火照り）のところで本を開き、.

ウィンドウサイズを変更すると、ブックレイアウトが自動的に調整されます。
ウィンドウを大きくすると、本はエステのダブルページレイアウトで表示されます。



対処方法と参考文献

ルビがその文章を示し、その後にRemediesとReferencesが続く。



レメディーは4つのグラデーションで表示することができます。
グラデーションは、異なるスタイルと色で見せることで区別しています。

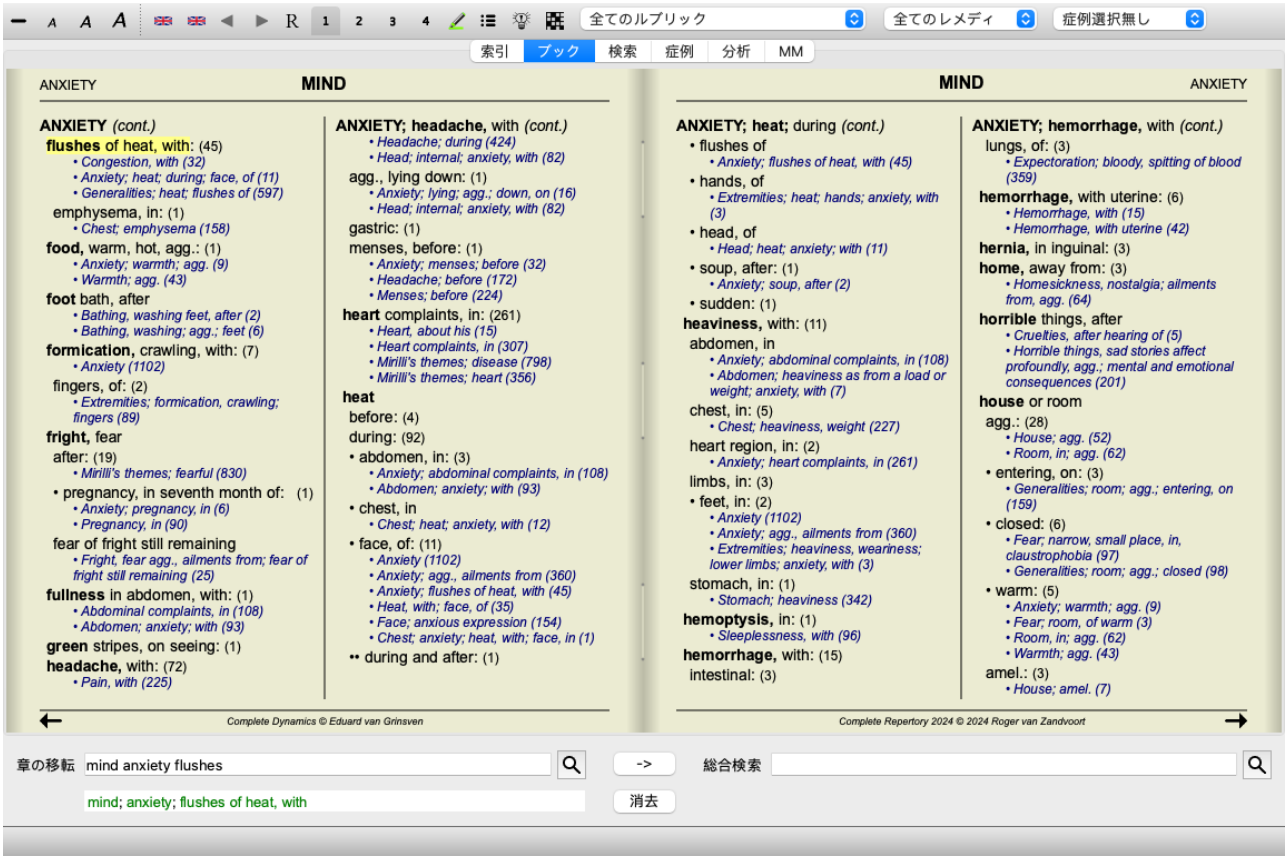
この例では、これらが該当します。
- 4: ***CHAM***, ***LYC***, ***NUX-V***.
- 3: **ABIES-N, ACON, AM-C, ANAC, ANDROC, AUR** ...
- 2: ***Alco***, ***Bung-f***, ***Dulc***, ***Ip***, ***Nit-ac***, ***Sarr***, ***Sil***, ***Staph***.
- 1: acon-f, agath-a, agki-p, aloe, am-m ...

救済措置のリストに続いて、他のルビを参照することができます。この例では、10個のリファレンスがあります。
参照先をクリックすると、参照したルーブリックにジャンプします。

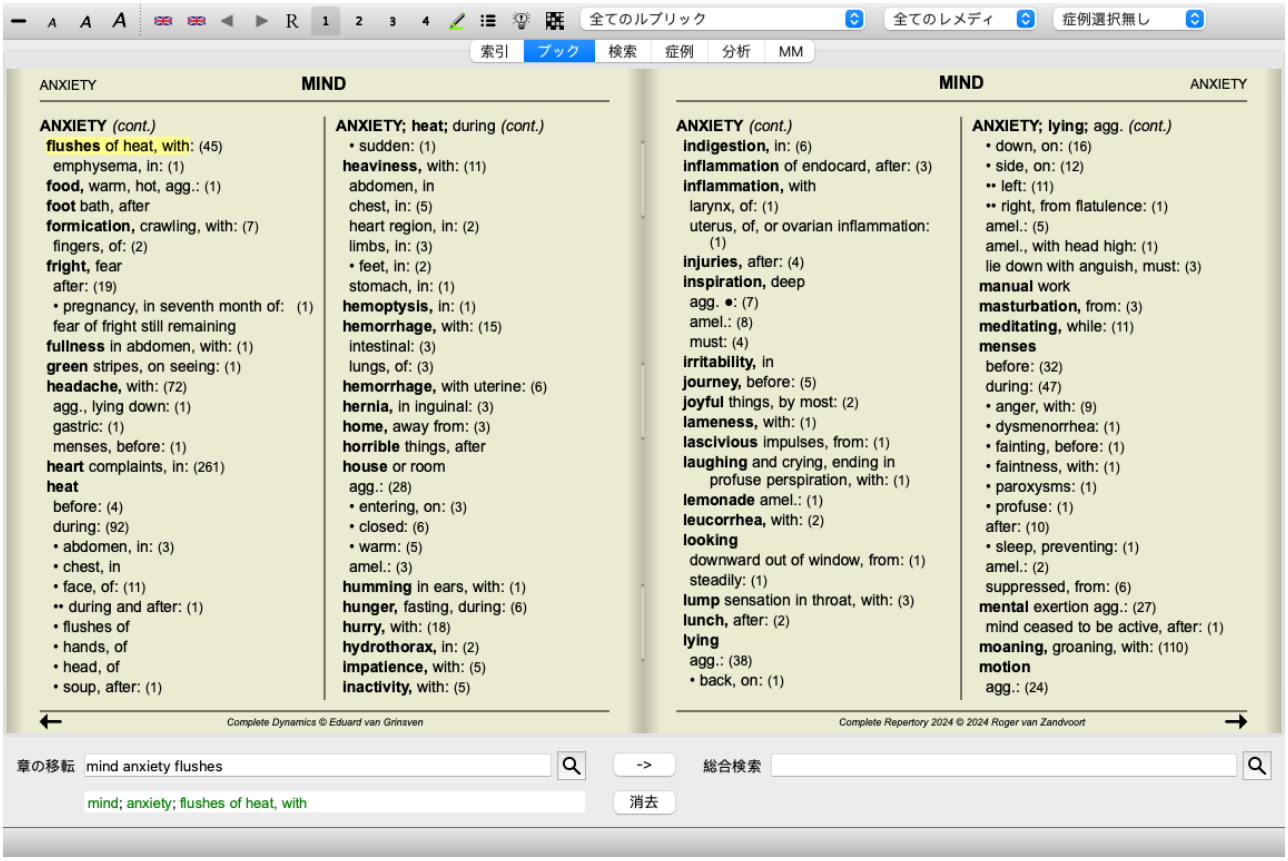
フル・コンパクト・ビュー

レメディーやリファレンスを隠す

コンパクト表示では、ルーブリックのみがレメディーの数とともに表示され、レメディーを隠すことで画面の空きスペースを最適に利用することができます。(メニューオプション*表示 / レメディ / レメディを表示*, ツールバーボタンR). 全画面表示とコンパクト表示の切り替えは、スペースバーで行います。

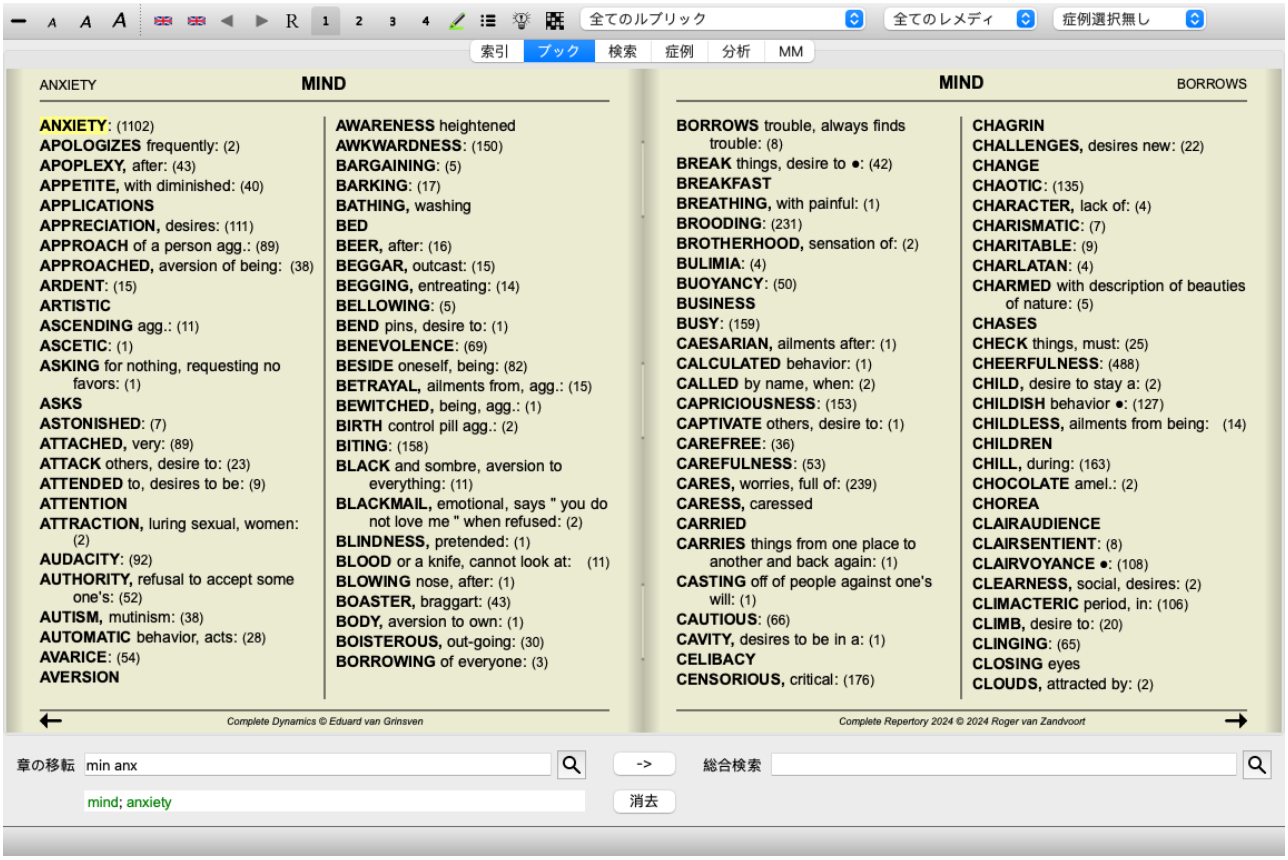


スペースバーを2回押すと、参考文献も非表示になり、ルーブリック名だけが表示されます。すべてのレメディーとリファレンスを表示/非表示にするには、ページの任意の余白をダブルクリックします。また、ルーブリックのラベルをダブルクリックすることもできます。



サブルーブルの非表示

また、サブルビをすべて非表示にし、レパートリーのトップレベルのルビのみを表示することも可能です。(メニューオプションブック/*主なルーブリックのみ*, ポップアップメニューオプション*主なルーブリックのみ*).
このオプションは、レパートリーの構造を学びたい人に非常に有効です。



すべてのルビを表示するように簡単に戻せます。(メニューオプションブック / *主なルーブリックのみ*, ポップアップメニューオプション*主なルーブリックのみ*).
また、ルビをクリックすると、通常のレパートリー表示に戻ることができます。

救済措置の並べ替え順

救済措置の印刷順序は、デフォルトではアルファベット順です。
レメディーを関連性の高い順に表示することができます。(メニューオプション*表示 / レメディ / 重要性の順*, ポップアップメニューオプション*レメディ / 重要性の順*). (shift+スペースバー)を押します。

アルファベット順の並べ替え

ABUSIVE, insulting: ABIES-N ACON acon-f agath-a agki-p *Alco* aloe AM-C am-m ANAC ANDROC aran-ix arn ars ars-s-f *Astac* atro AUR aur-m-n aur-s BELL beryl-n *Biti-a* bor bov bufo *Bung-f* bute-j calc-i CAMPH canth carc CAUST cere-s *CHAM* chin cic CON cor-r coriand CROC cub culx cupr-ar der *Dulc* elae falco-p FERR fic GALL-AC gels gink granit-m *Hafn* harp helx-t hema-h HEP hist hydr hydr-ac HYOS IGN iod *Ip* KALI-AR kali-c KALI-I LAC-C lac-d lach lava-e lava-f lava-h lil-t loxo-r *LYC* LYSS m-aust mag-c mangi med MERC

重要度順に並べ替え

ABUSIVE, insulting: *NUX-V VERAT* *CHAM LYC* MOSCH THUJ CON HYOS CAMPH GALL-AC MERC SCORP CROC KALI-I PLAT STRAM URAN AUR LYSS PETR AM-C HEP BELL ABIES-N ANAC ANDROC CAUST IGN KALI-AR PALL SULPH ACON FERR LAC-C PHYSALA-P SENEG SEP TARENT TUB *Nit-ac Ip Bung-f Dulc Astac Sanic Alco Sarr Sil Staph Biti-a Hafn Raja-s Tritic-v Xeno* am-m lava-e cor-r lach hydr agath-a aur-m-n bov calc-i carc falco-p gels helx-t nat-c nat-m ran-b acon-f agki-p aloe aran-ix arn ars

その他の情報

書籍内のテキストにマウスを乗せると、そのテキストに関する追加情報が適宜表示されます。
この情報は、ウィンドウの左下にあるメッセージエリアに表示されます。
上の例では、マウスを動かすと次のような情報が表示されます。

ルーブリックテキストにマウスオーバー
ABUSIVE

Kent p.1; Synthetic p.I-7; Generale p.1

このルーブリックは、3つの原典に由来しています。
- ケント・レパートリー、1ページ目
- バーテル＆クランカーズ・シンセティック・レパートリー」第1巻 7ページ
- Künzli's Repertorium Generale, page 1.

マウスオーバーでレメディ略語*LYCを表示*

lyc = Lycopodium clavatum (Bönninghausen, Gallavardin, Jahr, Knerr)

レメディーコード*lyc* は、*Lycopodium clavatum* の略です。
出典として使用した著者は、*Bönninghausen*,*Gallavardin*,*Jahr* and*Knerr* である。
改善策をダブルクリックすると、別ウインドウで詳細情報が表示されます。

マウスオーバーで参照*Contemptous*

Mind; contemptuous

ルーブリックは、*Mind; Contemptous* 。

表示する情報を限定する

フル/コンパクト表示の切り替えに加え、表示するレメディの数を制限することが可能です。
キーボードの1、2、3、4キーを押すことで行います。これにより、表示されるレメディは、指定されたグラデーション1、2、3、4以上のものだけに限定されます。(メニューオプション*表示 / レメディ / 全てのグレード*, ツールバーボタン [1] , メニューオプション*表示 / レメディ / グレード2 +*, ツールバーボタン [2] , メニューオプション*表示 / レメディ / グレード 3 +*, ツールバーボタン [3] , メニューオプション*表示 / レメディ / グレード 4*, ツールバーボタン [4] , ポップアップメニューオプション*レメディ / 全てのグレード*, ポップアップメニューオプション*レメディ / グレード2 +*, ポップアップメニューオプション*レメディ / グレード 3 +*, ポップアップメニューオプション*レメディ / グレード 4*).
例、再びルーブリックで*Mind; Abusive*:

キーボードキー4を押す。
グレード4のレメディーのみ。

ABUSIVE, insulting: *CHAM LYC NUX-V VERAT* (+120)

キーボードキー3を押す。
グレード3、4。

ABUSIVE, insulting: ABIES-N ACON AM-C ANAC ANDROC AUR BELL CAMPH CAUST *CHAM* CON CROC FERR GALL-AC HEP HYOS IGN KALI-AR KALI-I LAC-C *LYC* LYSS MERC MOSCH *NUX-V* PALL PETR PHYSALA-P PLAT SCORP SENEG SEP STRAM SULPH TARENT THUJ

キーボードキー2を押す。
グレード2、3、4

ABUSIVE, insulting: ABIES-N ACON *Alco* AM-C ANAC ANDROC *Astac* AUR BELL *Biti-a* *Bung-f* CAMPH CAUST *CHAM* CON CROC *Dulc* FERR GALL-AC *Hafn* HEP HYOS IGN *Ip* KALI-AR KALI-I LAC-C *LYC* LYSS MERC MOSCH *Nit-ac* *NUX-V* PALL PETR PHYSALA-P PLAT *Raja-s* *Sanic* *Sarr* SCORP SENEG SEP *Sil* *Staph*

キーボードキー1を押す。
すべてのレメディーを表示します。

ABUSIVE, insulting: ABIES-N ACON acon-f agath-a agki-p *Alco* aloe AM-C am-m ANAC ANDROC aran-ix arn ars ars-s-f *Astac* atro AUR aur-m-n aur-s BELL beryl-n *Biti-a* bor bov bufo *Bung-f* bute-j calc-i CAMPH canth carc CAUST cere-s *CHAM* chin cic CON cor-r coriand CROC cub culx cupr-ar der *Dulc* elae falco-p FERR fic GALL-AC gels gink granit-m *Hafn* harp helx-t hema-h HEP hist hydr hydr-ac HYOS IGN iod *Ip* KALI-AR kali-c KALI-I LAC-C lac-d lach lava-e lava-f lava-h lil-t loxo-r *LYC* LYSS m-aust mag-c mangi med MERC

文字サイズ

文字を小さくしたり、大きくしたりすることができます。(メニューオプション*表示 / テキストを縮小*, ツールバーボタン A , メニューオプション*表示 / 標準サイズ*, ツールバーボタン A , メニューオプション*表示 / テキストの拡大*, ツールバーボタン A , ポップアップメニューオプション*テキストを縮小*, ポップアップメニューオプション*標準サイズ*, ポップアップメニューオプション*テキストの拡大*).

ボタン	アクション
A	文字を小さくする。
A	オリジナルの文字サイズです。
A	文字を大きくする。

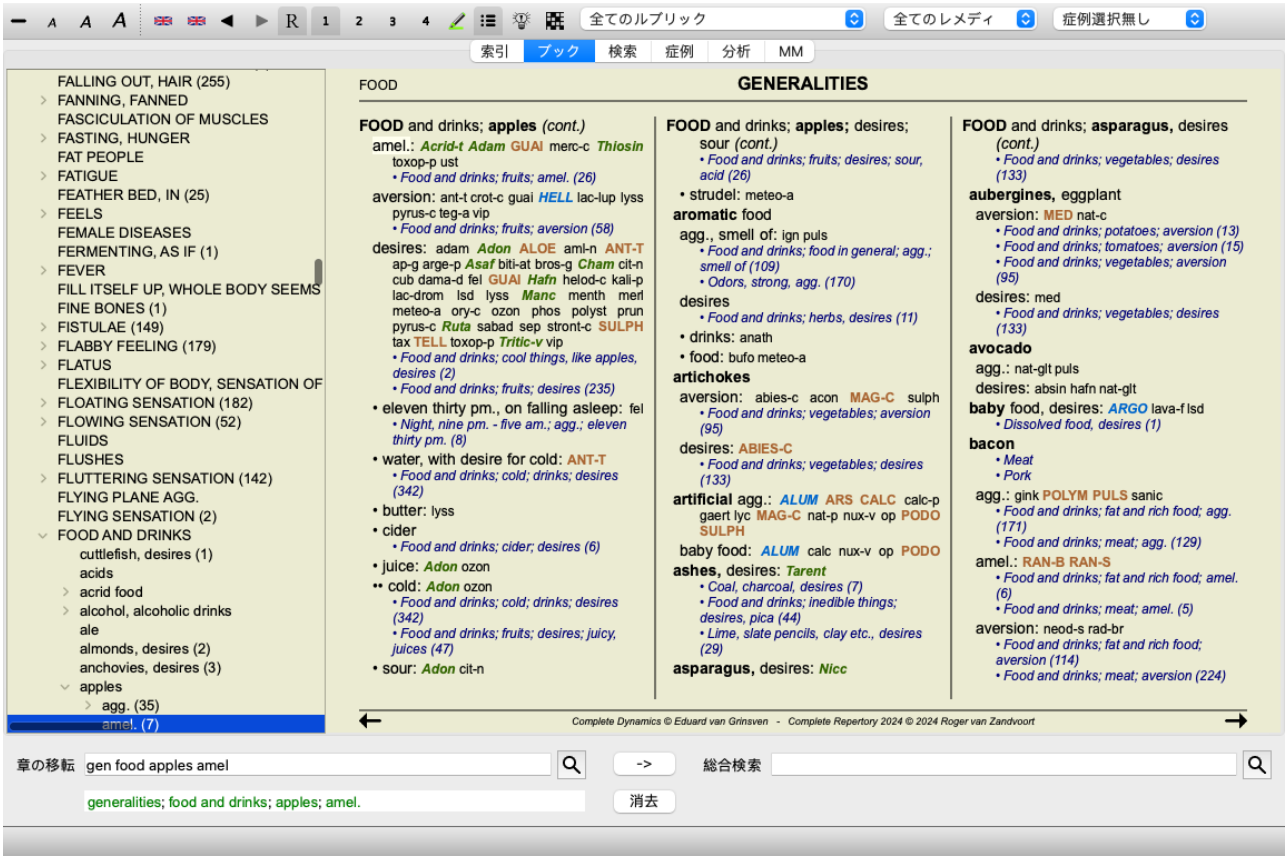
ナビゲーション、キーボードとマウスの使い方

本の中の移動は、キーボード、マウス、ボタンバー、メニュー（*Menu / Navigate* menu）で行うことができます。
マウスのスクロールは、マウスの小さなホイールや、ノートパソコンに内蔵されているトラックパッドで行います。マウスによっては、スクロールホイールが上下にしかスクロールできないものもありますが、最近のマウスは左右にもスクロールできることが多いようです。左/右スクロールは、不便と思われる場合は、メニューの*Preferences* の設定で無効にすることができます。

ボタン	キーボード	マウス	アクション
	上	上へスクロール	前のルーブリック
	ダウン	スクロールダウン	次のルーブリック
⇞	シフト-上	*Shift*-Scroll up	前回の主なルビ。
⇟	シフト-Down	*Shift*-スクロールダウン	次の主なルビ。
	Alt-Up	*Alt*-Scroll up	同レベルの以前のルーブリック。
	Alt-Down	*Alt*-スクロールダウン	同レベルの次のルーブリック
←	左 ページアップ	左スクロール	前のページへ
→	右 ページダウン	右スクロール	次のページ
⇇	*Shift*-Left	*Shift*-左方向にスクロール	前の章へ
⇉	シフト-右	*Shift*-右方向にスクロール	次の章へ
◀	*Alt*-左		歴史をさかのぼる。 他のルーブリックを参照した後に、元の場所に戻るために使用します。
▶	*Alt*-右		歴史を飛び越える。 前のオプションと組み合わせて使用します。この2つは、ウェブブラウザでよく使われるキーのようなもので、ウエブページを前後に移動するために使用します。
	Shift-Cmd-(キー)		チャプターのクイックオープニング。 M - マインド G - Generatities など、その他のキーについては、メニューバーのショートカット（*本*メニュー）をご覧ください。

ブックインデックスツリー

*Book モジュール*には、印刷された本のようにレパートリーのルビとレメディが表示されます。このレイアウトは読み物としては便利だが、レパートリーのルビ構造が見えない。
*Book モジュール*では、レパートリー構造を示す*Index Tree* を追加表示することができます。*インデックスツリー*の表示/非表示を切り替えることができます。(メニューオプションブック/ *本の索引を表示*, ツールバーボタン☰).



インデックスツリーは、Bookモジュールで現在選択されているルーブリックを常にハイライト表示します。Book モジュールで他のルーブリックに移動すると、インデックスツリーは自動的に調整されます。同様に、インデックスツリーでルーブリックを選択すると、Bookモジュールは同じルーブリックに移動します。

Jump to フィールドも現在選択されているルーブリックを表示するように調整されることに注意してください。これらのオプションを組み合わせることで、レパートリーをナビゲートするための最大限の自由とパワーを得ることができます。

ルーブリックをクリップボードにコピーする

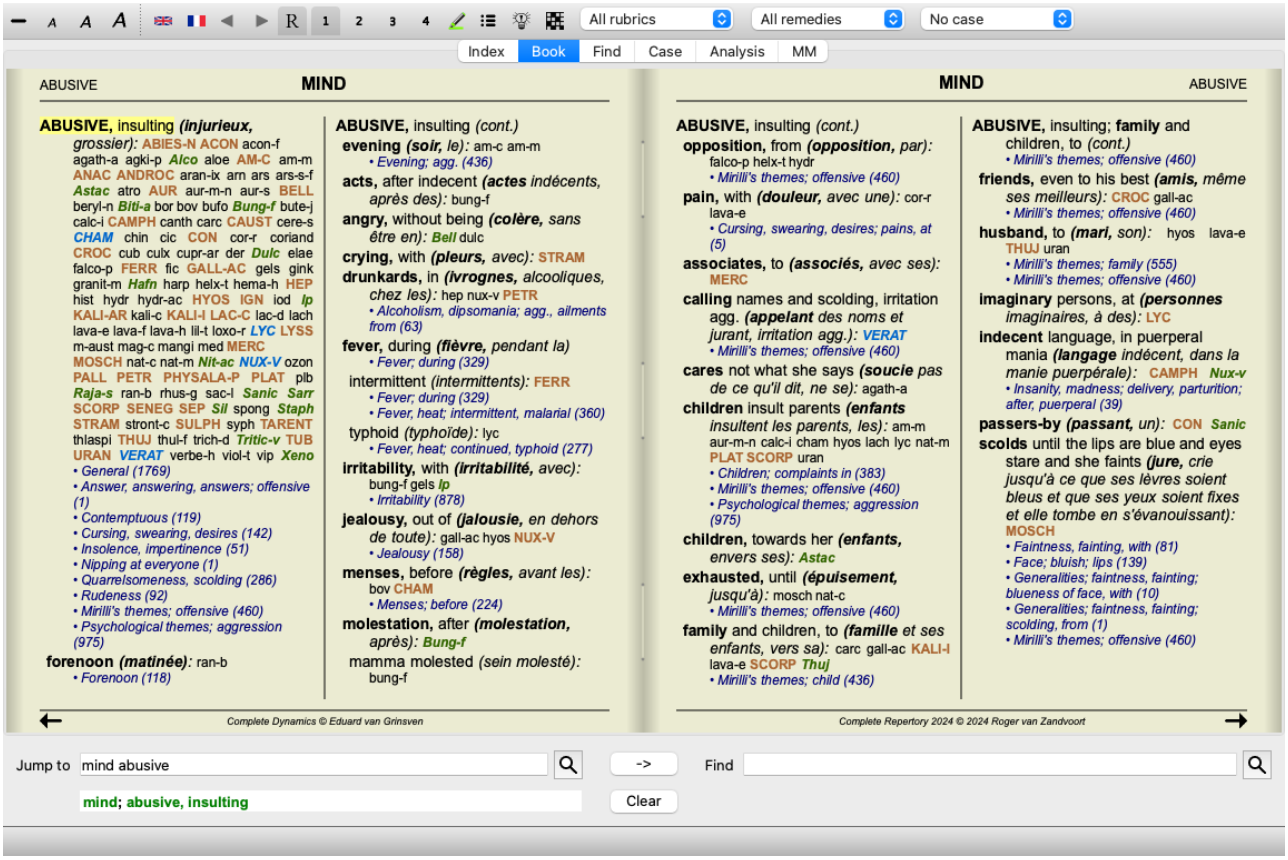
ルーブリックをクリップボードにコピーして、ワープロなどの他のアプリケーションに貼り付けると便利な場合があります。 (ポップアップメニューオプション*コピー・ルブリク / コピー（レメディを除く）*, ポップアップメニューオプション*コピー・ルブリク / コピー （ルブリックとレメディ）*).

ルーブリックの名前をクリップボードにコピーするには、*Cmd-C (Control-C)*.
Cmd-C を2回（1秒以内）押すと、ルーブリック名がコピーされ、ルーブリック内の全てのレメディも一緒にコピーされます。

言語選択

プログラムのエディションとライセンスによっては、Complete Repertoryのいくつかの言語オプションが利用できる場合があります。
使用可能な言語オプションは、メニューまたはボタンバーから選択することができます。 (メニューオプションブック / *言語 / 英語*, ポップアップメニューオプション *言語 / 英語*). (フラッグボタン、)

*Practitioner 版*では、第二言語を選択して（オプションはライセンスに依存）、ルーブリックのテキストを別の言語で表示することができます。
例えばフランス語。 (メニューオプションブック / *言語 / 大体言語： フランス語*, ポップアップメニューオプション *言語 / 大体言語： フランス語*).



お気に入りのルーブリック

あるルーブリックは重要だが、他のルーブリックはそれほど重要でないと考えるかもしれない。これは特に、*Find モジュール* を使ってルーブリックを探す場合に当てはまります。
自分にとって重要なルーブリックを特に強調するために、お気に入りマークを付けることができます。

ルーブリックをお気に入りとしてマークするには、ルーブリックをクリックし、マークを付けます。(メニューオプションブック / *ルブリックはお気に入りです*, ポップアップメニューオプション *ルブリックはお気に入りです*).

お気に入りとしてマークされたルビは、下線が引かれます。

任意のルーブリックをお気に入りとしてマークすると、*Find モジュール* に追加フィールドが表示され、お気に入りルーブリックのみに検索を限定することができます。

グラフィカルなレパートリー表示

レパートリーは一般的に書籍で表現されます。ルビやレメディを調べるのに便利ですが、レパートリーの構造を可視化できるのは一部だけです。
Book Index ツリー を利用すると、レパートリーの階層構造をより簡単に視覚化し、ナビゲートすることができます。

状況によっては、ルーブリックの意味の類似性から、他のルーブリックとの関連性を確認することに興味を持つかもしれません。そのような場合は、グラフィカルに表現する方がはるかに簡単です。
ルーブリックのグラフィカルなレパートリービューを開くことができます。(メニューオプションブック / *グラフとして表示*, *⌘-G*, ポップアップメニューオプション *レパートリー構造を表示*). また、Bookページモジュールのポップアップメニューも利用できます。

例として、ルーブリック *Mind; Anger; evening agg.; trembling with, after eating* を見てみましょう。このルーブリックは、いくつかの基本的な要素で構成されています。
- 精神症状
- 怒
- を震え上がらせている。
- 夕方から悪化する。
- 食後に悪化する。

ルーブリックには救済措置が1つしかないので、これらの要素が少ない類似のルーブリックを検討することは非常に興味深いかもしれません。

また、他のルーブリックとの関係もグラフでわかりやすく表示されます。

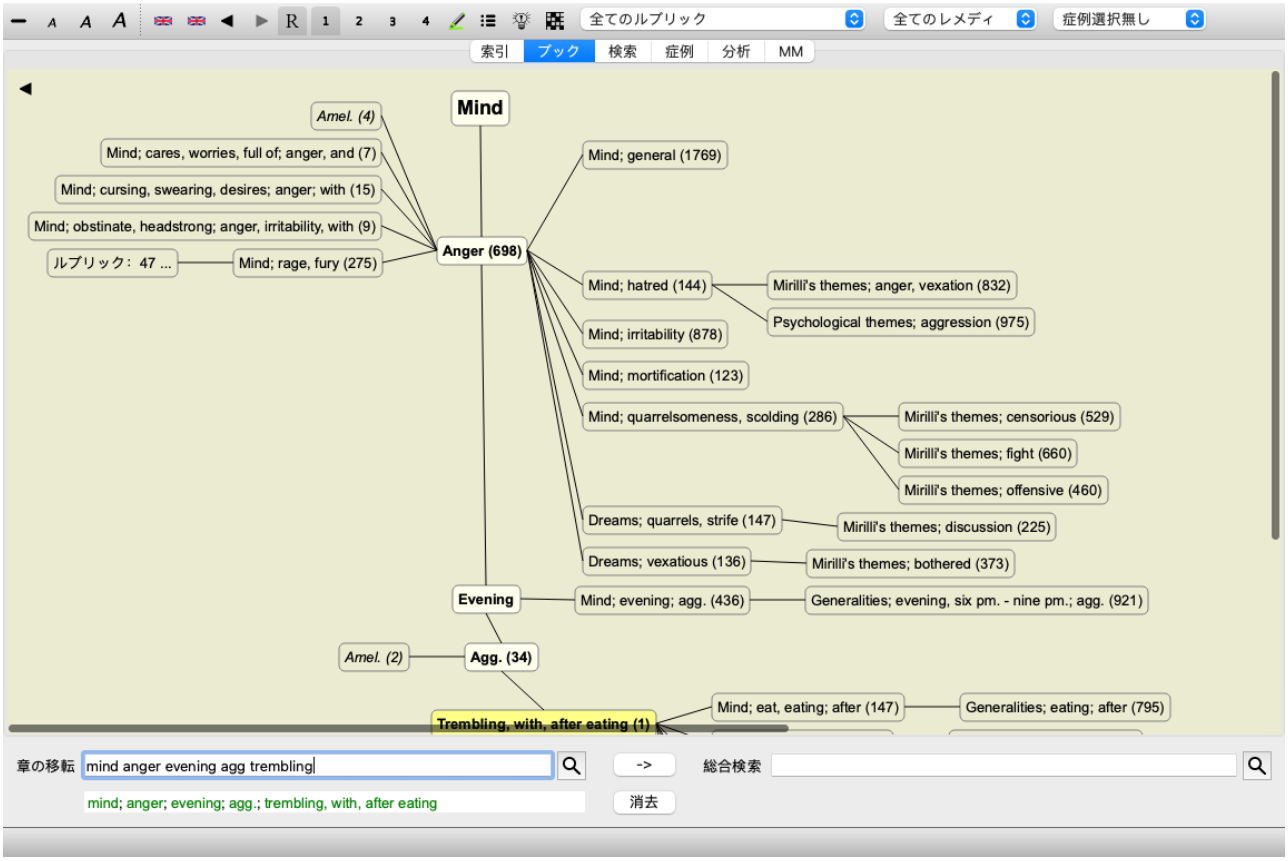
さまざまなグラフィックビューがあり、それぞれが異なる目的をもっています。

- レパートリー構成 (メニューオプションブック / *レパートリー構造を表示*, ポップアップメニューオプション *レパートリー構造を表示*).

このビューは、レパートリーの構造を研究するのに最適なツールです。

- 一般的なルーブリック (メニューオプションブック / *一般的なルーブリックを表示*, ポップアップメニューオプション*一般的なルーブリックを表示*).
  このビューは、上記のルーブリックの例のように、より一般的なルーブリックを素早く選択するのに役立ちます。

レパートリー構造図



ブロックの縦線はルーブリックのレベルを示しており、*Mind* から始まり、*Trembling, with, after eating* で終わっている。

左側には、極性ルビが表示されています。この例では、ペア*Amel. - Agg.*.

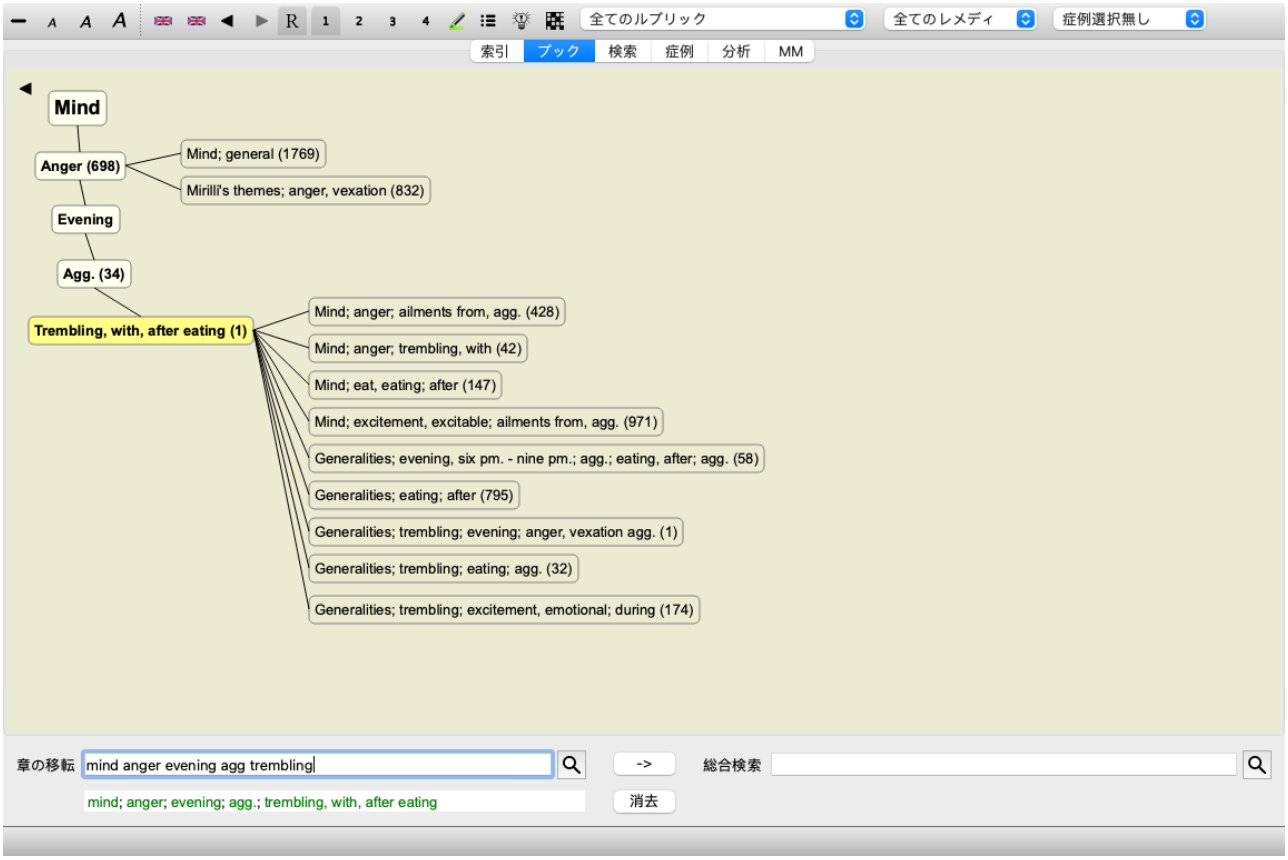
また、左側には、より詳細な症状を説明したルーブリックが表示されます。

右側には、関連するルーブリックが表示されます。

ルーブリックの一つをダブルクリックすると、そのルーブリックが新たに選択されたルーブリックになります。
グラフ表示では、分析にルーブリックを追加することも可能です。そのためのオプションは、ルーブリックのポップアップメニューにあります。

通常のブック表示に戻るには、◀をクリックするか、メニューオプション*Menu / Book / Show as graph* のチェックを外してください。ポップアップメニューには、オプション（*テキストとして表示する*）もあります。

一般的なルーブリック表示



この画面では、選択したルーブリックと類似しているが、より一般的なルーブリックのみに限定して表示されます。救済措置が少ない詳細なルビに対して、迅速に代替案を選択することができます。

2つの異なるビューを簡単に切り替えることができます。(メニューオプションブック/ *レパートリー構造を表示*, ポップアップメニューオプション *レパートリー構造を表示*, メニューオプションブック/ *一般的なルーブリックを表示*, ポップアップメニューオプション *一般的なルーブリックを表示*).

選択したグラフィック表示を変更することなく、テキストとグラフィックのレパートリー表示を素早く行き来することができます。(メニューオプションブック/ *グラフとして表示*, *⌘-G*).

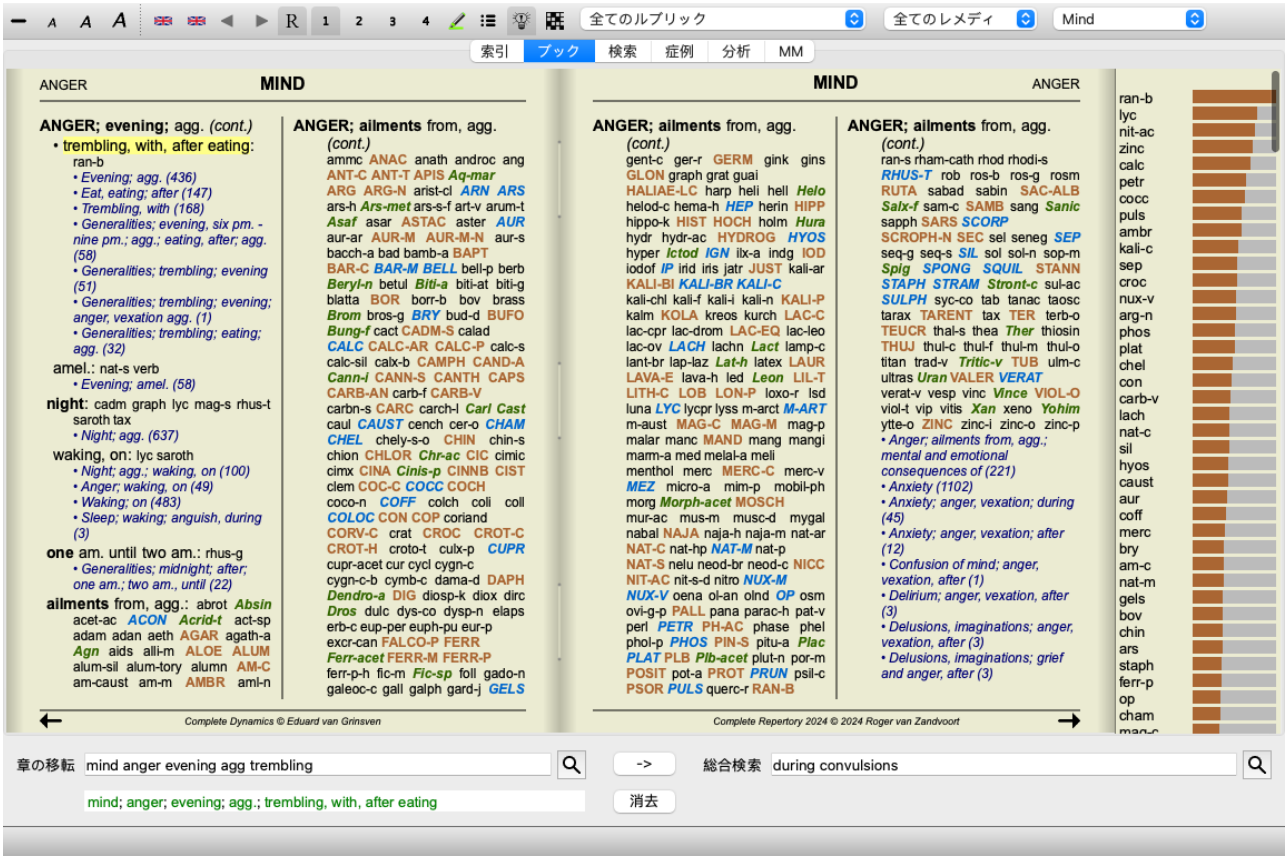
改善提案

患者さんの症状が完全に一致し、それがたまたま全く同じレベルのレパートリーであることもあります。しかし、より多くの場合、その症状は同じ内容では現れず、部分的またはより一般的なものでしかないのです。

例として、ルーブリック*Mind; Anger; evening agg.; trembling with, after eating* を見てみましょう。このルーブリックは、いくつかの基本的な要素で構成されています。
- 精神症状
- 怒
- を震え上がらせている。
- 夕方から悪化する。
- 食後に悪化する。

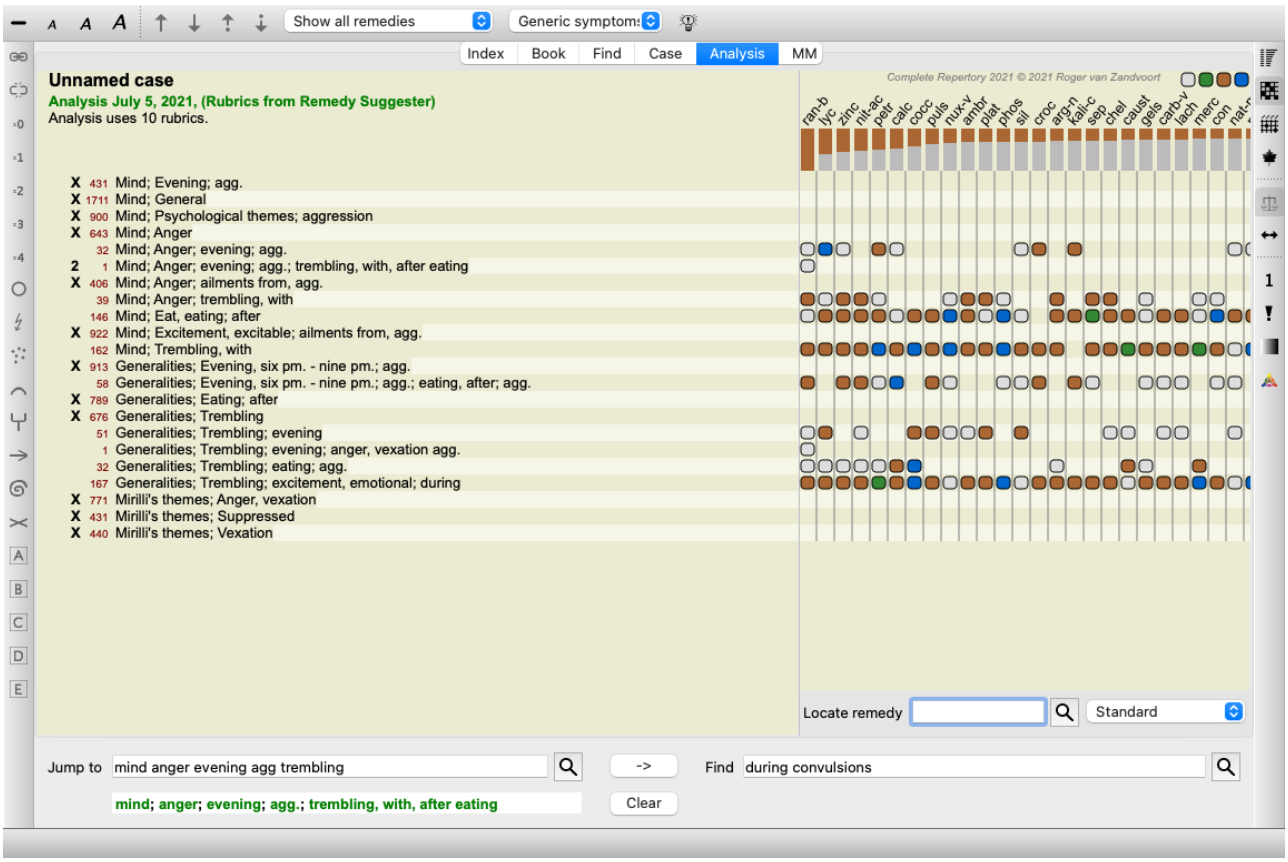
ルーブリックには救済措置が1つだけ書かれています。あなたが探しているレメディーは、より一般的なルーブリックのいずれかに含まれている可能性が高いですし、より一般的な症状の構成要素をいくつか組み合わせることで見つかる可能性があります。
例えば、こんな感じです。
-心; 怒り; 震え、で
-心; 怒り; 夕方; agg.
-心; 食べる、食べる、後

ボタン💡を押すと、関連するルーブリックをもとにした分析結果が表示されます。解析結果は画面右側に表示されます。



関連するルーブリックがない場合、分析では単にルーブリックの救済措置のリストを関連性の高い順に表示し、分析でカウントするようにします。もちろんこの情報も非常に有用ですが、「レメディー提案」機能の目的は、ルーブリックに記載されているレメディーに代わるものを考える手助けをすることなのです。

分析に使用したルーブリックの概要、ルーブリックごとの救済措置の詳細などは、のボタンを押すことで確認できます。表形式の分析が表示されます。

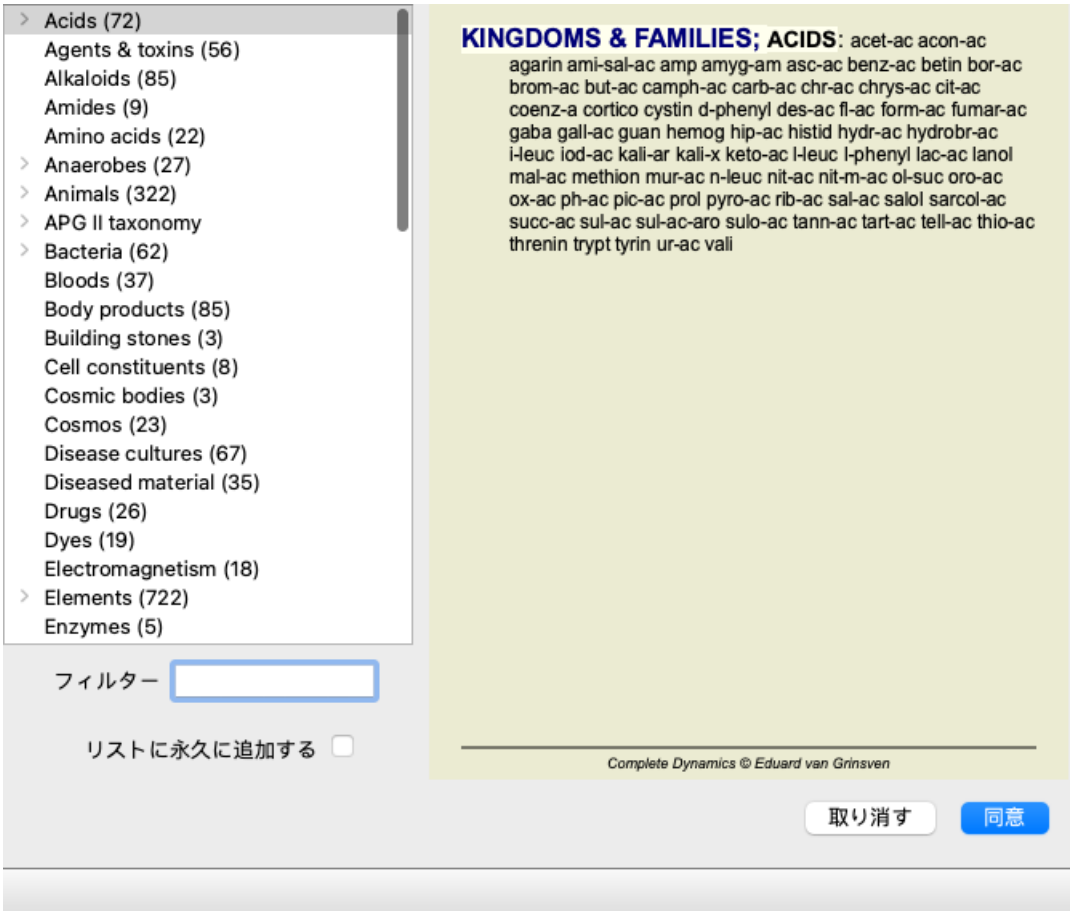


この一時的な解析は、現在のケースに作成され、ケースを閉じると削除されます。

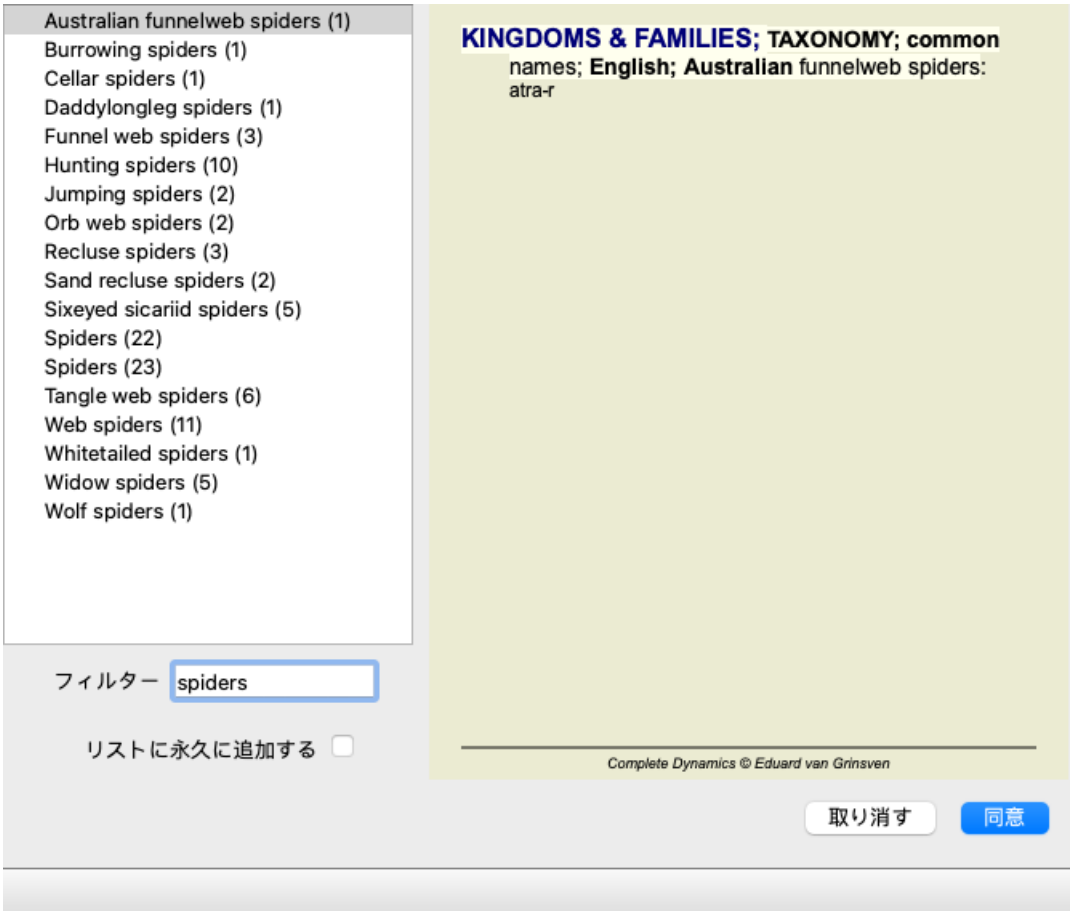
レメディーフィルター

表示されるレメディーを制限することが可能です。
ツールバーには、レメディのグループを選択するためのオプションが用意されています。

よく使われるグループ（鉱物、植物、動物、ノゾーデ）があらかじめ設定されています。他のグループを選択するには、オプション*その他...* を選択すると、ダイアログが表示され、キングダム＆ファミリーセクションにあるグループの中から1つを選択することができます。



フィルターオプションを使用して、適切なレメディーグループを素早く見つけることができます。



ブックモジュール標準レパートリーフィルター

通常、*Book モジュール* には、Complete Repertory の全内容が表示されます。

標準的なフィルターがいくつか用意されています。メニューバー、またはページの端にあるポップアップメニューから選択することができます。(メニューオプションブック / *ブックで選択 / ブックの選択完了*, ポップアップメニューオプションブックで*選択 / ブックの選択完了*).

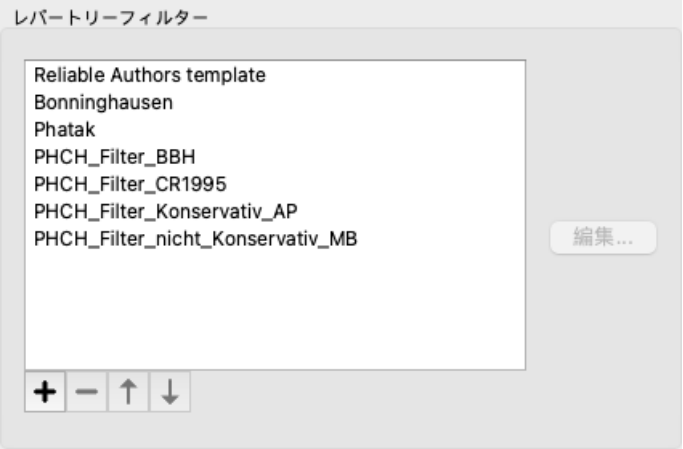
コンプリート	フィルタリングなしで、すべてのレパートリーを表示します。
クラシック	古典的な作家のルビとレメディーだけを表示する。そのため、主なクラシック音楽のレパートリーに登場するルビや、1930年以前の書籍からのレメディに限定しています。
信頼できる著者	George Vithoulkasによると、最も信頼性が高いと思われる著者のみを表示する。
ケント・ルーブリック	レパートリーはケント社のレパートリーから派生したルーブリックに限定されます。
アレンズ・セラピー・ポケット・ブックに掲載されているルーブリック	レパートリーはAllen's Therapeutic Pocket Bookに由来するルーブリックに限定されます。
CR 4.5程度	1995年に出版されたComplete Repertory Version 4.5で使用されたようなルーブリックとレメディに限定しています。

フィルターが選択されている場合、その名前がレパートリーブックレイアウトのヘッダーに表示されます。こうすることで、どのレパートリー・オプションを使用しているかが一目瞭然になります。

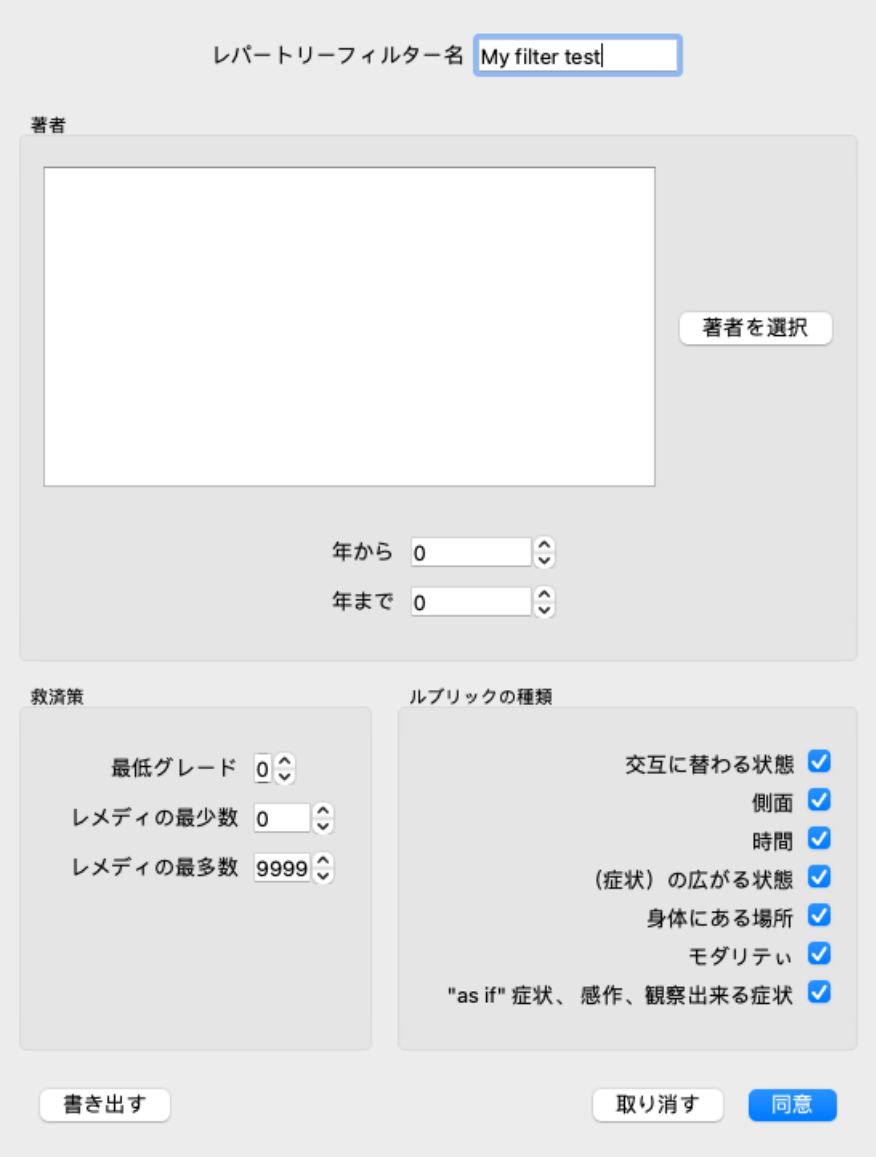
> 注意：レパートリーフィルターは、*Complete Repertory* のコンテンツにのみ適用されます。
> あなたのライセンスが追加のレパートリーの使用をサポートしている場合、またはあなた自身が追加のレパートリー素材を作成した場合、フィルターはその素材には適用されません。

ブックモジュールパーソナルフィルター

独自のレパートリーフィルターを簡単に作成することができます。
個人用フィルターは、*環境設定*、セクション*本*で設定されます。

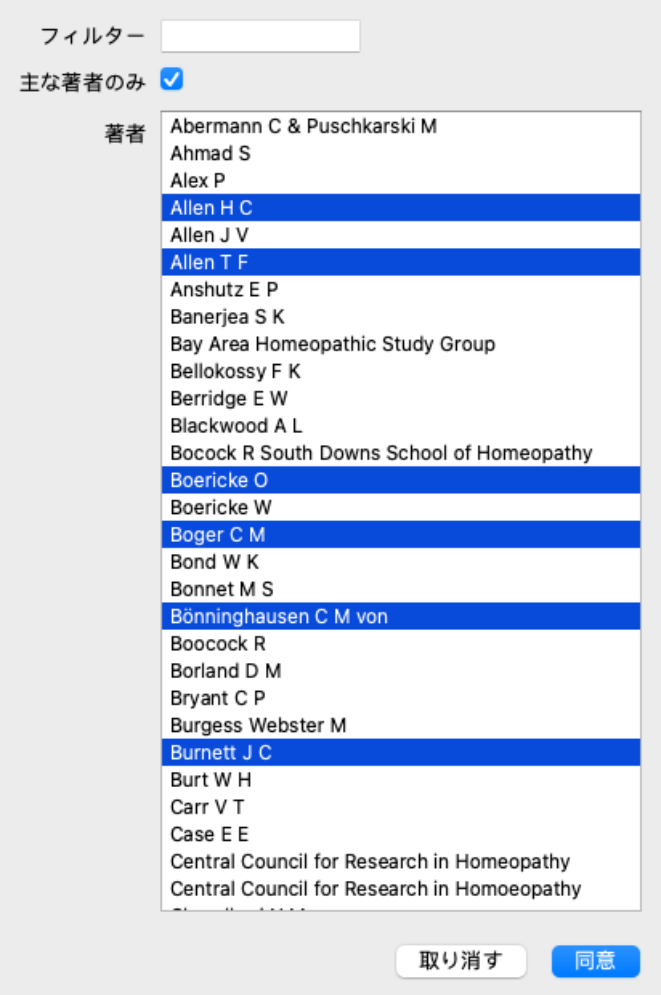


新しいフィルターを追加する場合は、ボタン**+**を押してください。



フィルターに意味のある名前を付ける。この名前は、*Menu / Book / Book selection* で、レパートリーフィルターに追加されます。

デフォルトでは、すべての著者がフィルターに含まれます。著者のリストを編集するには、ボタン*Select authors* を押してください。
フィルターで許可したい著者を選択します。最も重要な著者はリストに存在する。レパートリーで使用されているすべての作家を表示するには、オプション*Major authors only* のチェックを外してください。



著者一覧の下に、年号の範囲を選択することができます。年範囲内に出版されたソースのみがフィルターに含まれます。値0は、使用しないことを意味する。

その他のフィルターのオプションについては、特に説明する必要はないでしょう。

- 救済措置の最低等級。
- 最小ルーブリックサイズ。
- 最大ルーブリックサイズ。
- 症状の種類

レパートリーエディター

レパートリーへの個人的な追加

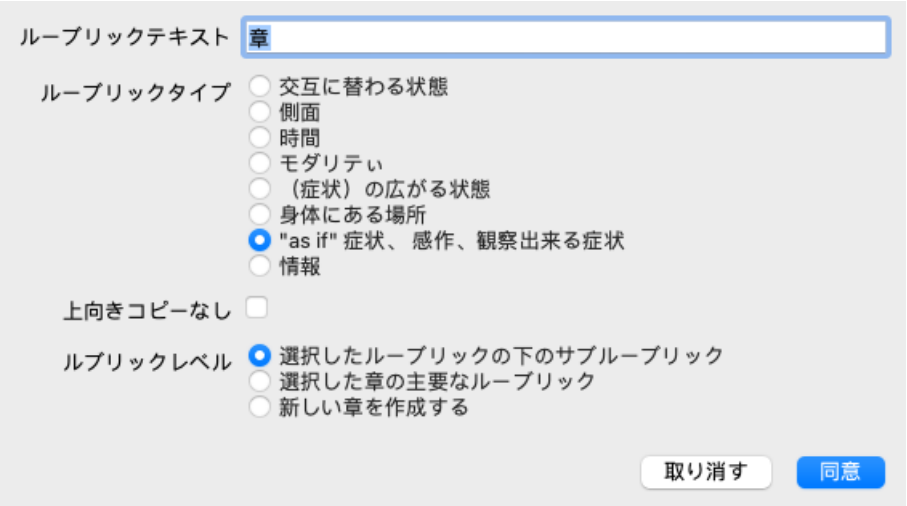
*レパートリーエディター*を使って、レパートリーに個人的な追加をすることができます。
*レパートリーエディター*では、独自のルーブリックを作成したり、ルーブリックにレメディを追加することができます。
また、現在のレパートリーにない新しいレメディーを作成することも可能です。
ルーブリックに個人的なメモを追加して、ルーブリックと一緒に表示することができます。
以下、各機能について説明します。

*レパートリーエディター*の機能は、メニューバーのメニューオプション、ルーブリックやレメディーのポップアップメニューからアクセスすることができます。
ちょっとした付け足しに、これらはとても効果的です。複数の追加を行いたい場合は、*レパートリーエディター助手*を開きます。様々な選択肢を検討した上で、アシスタントを説明します。

ルーブリックの追加

ルーブリックを追加するには、まず、ルーブリックを作成したい章で*Book モジュール*を開きます。
新しいルーブリックを作成することができるようになりました。(メニューオプション*ブック / 編集 / ルーブリックを追加*, ポップアップメニューオプション*編集 / ルーブリックを追加*).
既存のルーブリックにサブルーブリックを追加するには、まずルーブリックをクリックして選択し、サブルーブリックを作成します。

ダイアログが表示されます。



レパートリーに表示させたいルーブリックのテキストを入力します。言語規則上、大文字を使用する必要がある場合を除き、小文字のみを使用する。*Book モジュール*は、ルーブリックテキストの書式に自動的に大文字を使用します。

該当するルーブリックの種類を選択してください。この操作は必須ではありませんが、新しいルーブリックをレパートリーの他のルーブリックと同じように動作させることができます。ルーブリックのタイプは、ルーブリックのレメディをより良く評価するために、*Analysis モジュール*でも使用されます。

オプション*No copy upwards* は、上位ルーブリックと反対の意味を持つ下位ルーブリックにチェックする必要があります。
一般的には、ある症状の改善を示すサブルールに使用することが多い。改善とは、上のルビの意味を逆転させることです。
このオプションをチェックすると、新しい救済措置がより上位の一般的なルーブリックに自動的にコピーされるのを無効にします。
また、*Analysis モジュール*によって、関連するルーブリックで救済措置がどのように発生するかを確認するために使用されます。

作成後、ルーブリックのテキストやタイプはいつでも変更することができます。(メニューオプション*ブック / 編集 / ルブリックを編集*, ポップアップメニューオプション*編集 / ルブリックを編集*).
なお、編集できるのは自分で作成したルーブリックのみで、オリジナルのレパートリーのルーブリックは編集できません。

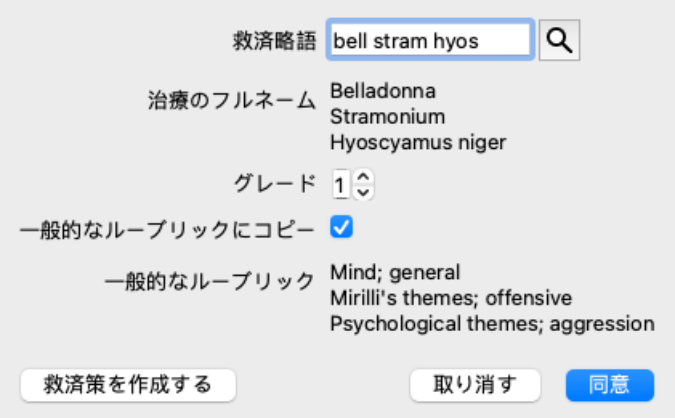
追加したルーブリックを削除することができます。(メニューオプション*ブック / 編集 / ルーブリックを削除*, ポップアップメニューオプション*編集 / ルーブリックを削除*).
ルーブリックを削除できるのは、そのルーブリックに救済措置やサブルーブリックが含まれなくなった場合のみであることに注意してください。これは、誤って貴重な情報を削除してしまうことを防ぐためです。

レメディーの追加

ルーブリックに救済策を追加するには、まず*Book モジュール*を開き、救済策を追加したいルーブリックを選択します。
そのルーブリックに救済策を追加する可能性が出てきたのです。(メニューオプション*ブック / 編集 / 救済策を追加する*,

ポップアップメニューオプション*編集 / 救済策を追加する*).

ダイアログが表示されます。



レメディの略語を1つ以上入力することができます。対応するフルレメディー名がフィールドの下に表示されます。誤った略語を入力した場合、*OK* ボタンが無効となります。

オプション*一般的なルーブリックにコピー* を選択すると、選択したルーブリックより一般的なルーブリックに救済措置が自動的に追加されます。これらのルーブリックは、そのオプションの下に記載されています。

レパートリーにまだ存在しないレメディを追加したい場合は、ボタン*レメディの作成*で作成することができます。
レメディの略称とフルネームの入力が必要です。作成するレメディ略語は、標準レパートリーにまだ存在しない略語である必要があります。
新しいレメディを作成した後、その略称や名称はいつでも後から変更することができます。(メニューオプションブック / *編集 / 救済策を編集する*, ポップアップメニューオプション*編集 / 救済策を編集する*).

標準レパートリーのレメディのグレードを上げたい場合は、グレードの高いレメディを追加すればよいのです。元のグレードよりも、自分の高いグレードが重要になる。

レメディー追加を削除することができます。(メニューオプションブック / *編集 / 救済策を削除する*, ポップアップメニューオプション*編集 / 救済策を削除する*). なお、削除できるのは、自分が追加したレメディーだけです。レメディを削除すると、作者であるあなたが削除されるだけです。同じレメディの作者が他に残っていても、レメディそのものがレパートリーから削除されることはありません。
また、ルーブリックでは、救済措置の追加をすべて削除することができます。(メニューオプションブック / *編集 / すべての救済策を削除する*, ポップアップメニューオプション*編集 / すべての救済策を削除する*).

レメディーグレードの指定

選択したグレードのレメディーをすぐに追加するのではなく、個々のレメディーのグレードを明示的に指定することも可能です。

選択したデフォルトの救済グレードを上書きする方法がいくつかあります。
以下の例は、グレード2で救済措置*ベル* を、グレード3で*チャム* を、グレード4で*デイグ*を追加する方法を示しています。

- 大文字を使うこと。
  *Book モジュール*で使用されているスタイルで、大文字と小文字を使い分けてレメディを入力します。
  例ベルCHAM
  (グレード4はこの方法では表現できず、グレード3と同様にすべて大文字を使用します)
- 救済措置の略称にグレード番号を付加する。
  例: bell2 cham3 dig4
- グレードを()で囲んでレメディーに追加します。
  例: ベル(2) チャム(3) デイグ(4)

後者は、ルーブリックとそのレメディをクリップボードにコピーする際に使用する形式である。この仕組みにより、他のルーブリックから救済策を素早くコピーすることができます。もう一方のルーブリックで、ルーブリックと改善策をコピーし、改善策欄に貼り付ける。(メニューオプションブック / *コピー・ルブリク / コピー （ルブリックとレメディ）*, ポップアップメニューオプション*コピー・ルブリク / コピー （ルブリックとレメディ）*).

レメディーグレードを指定するこれらの追加メカニズムは、外部ソースからコピーしたいレメディーをインポートする際に非常に強力になります。

レメディー作成者の指定

デフォルトでは、レパートリーに追加したすべてのレメディには、あなたが作者であることが表示されます。個人的なレパートリーの追加には、これが一番でしょう。書籍やセミナーなど、他の資料からレメディを追加する場合は、著者を明示的に指定するとよいでしょう。

新しい著者を追加することができます。(メニューオプションブック / *編集* / *ソース* / *新しいソースを作成*, ポップアップメニューオプション*編集* / *ソース* / *新しいソースを作成*).
著者の中から1人選択できます。(メニューオプションブック / *編集* / *ソース* / *ソースを選択*, ポップアップメニューオプション*編集* / *ソース* / *ソースを選択*). 作者を選択すると、新しく追加されるレメディの作者に自動的になります。
選択した著者の詳細を編集することができます。(メニューオプションブック / *編集* / *ソース* / *ソース情報を編集*, ポップアップメニューオプション*編集* / *ソース* / *ソース情報を編集*).

Bookモジュールで追加した内容をビジュアル化する

ツールバーのボタンを有効にすると、個人的に追加した内容が薄緑色でハイライトされます。こうすることで、自分が追加したレメディをすぐに確認することができます。

また、他のレメディを一切使用せず、自分の追加分のみを表示することも可能です。そのためには、自分自身を唯一の作者として選択し、個人的なレパートリーフィルターを作成することができます。

ルーブリックノートの追加

どのルーブリックにも、個人的なメモを追加することができます。(メニューオプションブック / *編集* / *ルブリックメモを追加*, ポップアップメニューオプション*編集* / *ルブリックメモを追加*).
注釈の有無は、ルーブリックテキストの後にで表示されます。
ノートを見るには、ルーブリックテキストにマウスを合わせるか、画像をダブルクリックするだけです。

個人メモを編集したり、削除したりすることができます。(メニューオプションブック / *編集* / *ルブリックメモを編集する*, ポップアップメニューオプション*編集* / *ルブリックメモを編集する*). ダイアログが表示されますが、特に説明は不要でしょう。

レメディーノートの追加

ルーブリックにメモを追加できるように、個々のレメディーにもメモを追加することができます。そのための追加機能があります。(メニューオプションブック / *編集* / *救済メモを追加*, ポップアップメニューオプション*編集* / *救済メモを追加*).

クロスリファレンスの追加

クロスリファレンスとは、あるルーブリックから他のルーブリックへの参照である。クロスリファレンスを作成するには、まず元のルーブリックを選択し、次に目的のルーブリックを選択する必要があります。
ルーブリックをクリックで選択し、原点ルーブリックとしてマークする。(メニューオプションブック / *編集* / *クロスリファレンス* / *相互参照元としてルーブリックを選択*, ポップアップメニューオプション*編集* / *クロスリファレンス* / *相互参照元としてルーブリックを選択*).
次に、移動先のルビを選択し、マークを付けます。(メニューオプションブック / *編集* / *クロスリファレンス* / *相互参照先としてルーブリックを選択*, ポップアップメニューオプション*編集* / *クロスリファレンス* / *相互参照先としてルーブリックを選択*).
ダイアログが開き、元のルーブリックと移動先のルーブリックが表示され、クロスリファレンスを追加するボタンが表示されます。

クロスリファレンスを削除する場合も同様の手順で行います。すると、ダイアログにクロスリファレンスを削除するボタンが表示されます。
また、クロスリファレンスをクリックするだけで、削除することも可能です。(メニューオプションブック / *編集* / *クロスリファレンス* / *相互参照を削除*, ポップアップメニューオプション*編集* / *クロスリファレンス* / *相互参照を削除*).

なお、クロスリファレンスは1つのレパートリー内にしか作成できません。あるレパートリーのルーブリックから別のレパートリーのルーブリックへの相互参照は作成できません。

複数のレパートリーファイルを扱う

個人的に追加したレパートリーは、デフォルトでは*repertory_additions.rep* というファイルに保存されます。
このファイルは、*Documents* フォルダーの下の*Complete Dynamics* フォルダーに格納されています。

複数のレパートリーファイルを作成することが可能です。複数のレパートリーファイルを使用することには、いくつかの利点があります。

- レパートリーデータをうまく整理して、互いに関連性のある追加データをまとめておくことができます。
  例えば、あるセミナーで追加したもの。
  例えば、あるマテリアメディカの本や他のレパートリーからコピーしてきたものを追加することができます。
  例えば、ご自身の臨床観察などです。
- レパートリー追加のコレクションを他の人と共有することができます。
  そのファイルを他の人に渡せば、その人も追加機能を使うことができます。

レパートリーの追加を他人と共有する

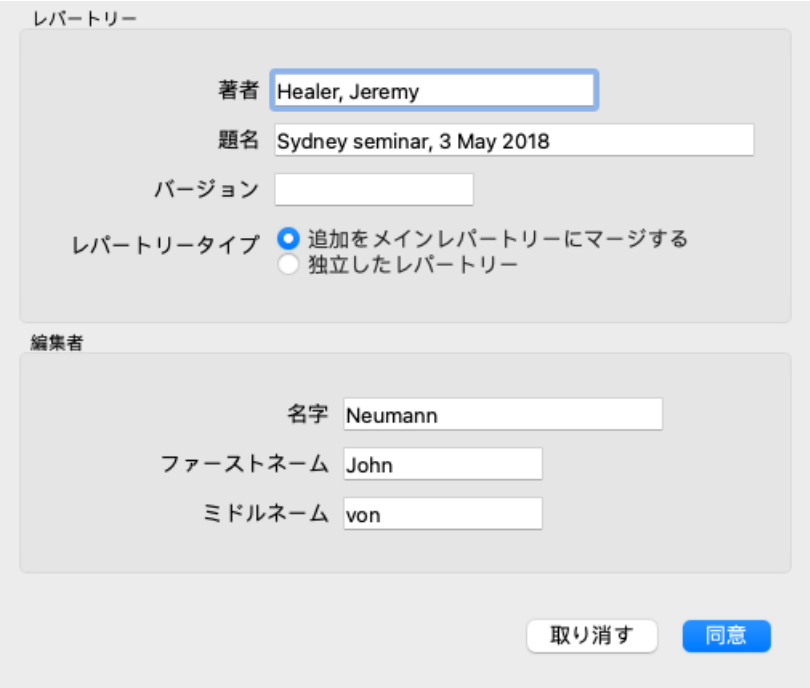
レパートリー追加のコレクションを他の人と共有するには、レパートリーファイルのコピーを他の人に渡すだけでよいのです。もちろん、追加したファイルをインターネット上のどこかに置いて、誰でも使えるようにすることもできます。

もう一人の人は、そのファイルを*Complete Dynamics* フォルダに置き、*Complete Dynamics* を起動すればよいのです。その後、あなたが追加したレパートリーが自動的に表示されます。

レパートリーファイルの新規作成

新しいレパートリーファイルを簡単に作成することができます。(メニューオプションブック / *編集* / *レパートリーファイル* / *新しいレパートリーファイルを作成する*, ポップアップメニューオプション*編集* / *レパートリーファイル* / *新しいレパートリーファイルを作成する*).

ダイアログが表示され、レパートリー追加の詳細を指定することができます。

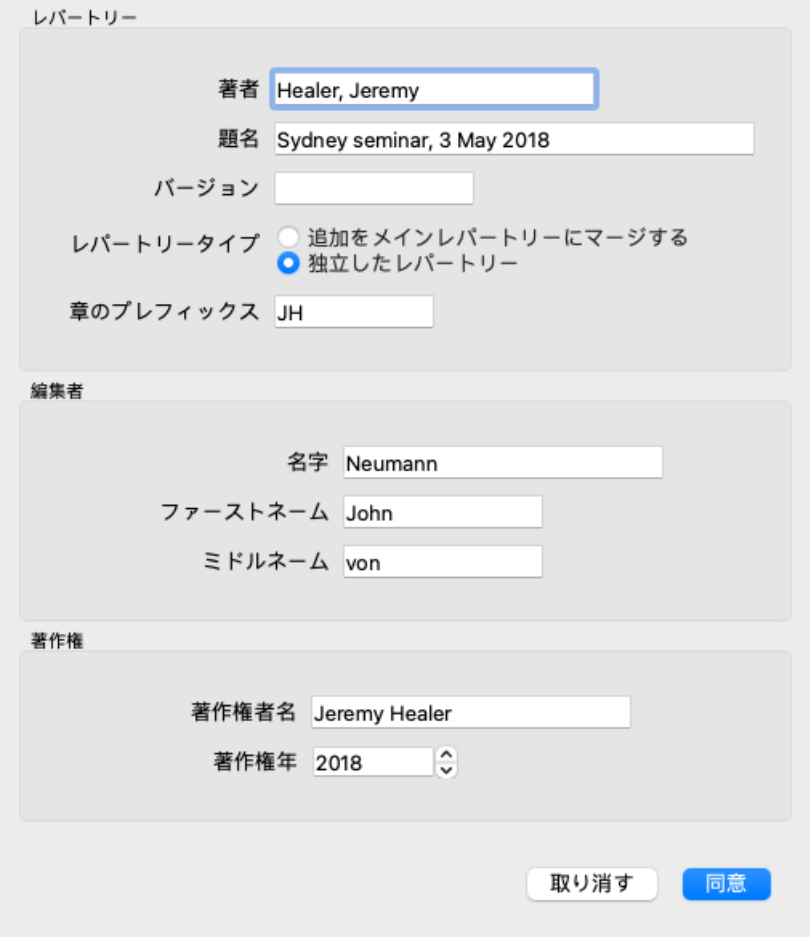


セクション*Repertory* では、レパートリーの追加元に関する情報を入力することができます。
Author は、情報の発信元となる人物です。デフォルトでは、あなたの名前はすでに入力されています。他の人物からの情報である場合は、その人物の名前を使う（例：*Kent, James Tyler* ）。
タイトル 情報の出所を特定できるような説明をすること。

セクション*Editor* に、レパートリー追加を編集した人の詳細を入力します。デフォルトでは、あなたの名前が記入されています。また、編集作業を別の担当者が継続する場合、この情報を変更する必要が生じる場合があります。

独立したレパートリーを作成し、メインのレパートリーと並行して存在させるには、オプション *レパートリーの種類を選択します。独立したレパートリー.*
独立したレパートリーに特有のフィールドがいくつか表示されます。

- チャプタープリフィックス。この接頭辞はレパートリーの章名の前に付けられ、これらの章とメインのレパートリーの章を区別します（例：MINDの代わりにTST-MIND）。
- 著作権情報です。これは、ページ下部の*Book* モジュールに表示されます。



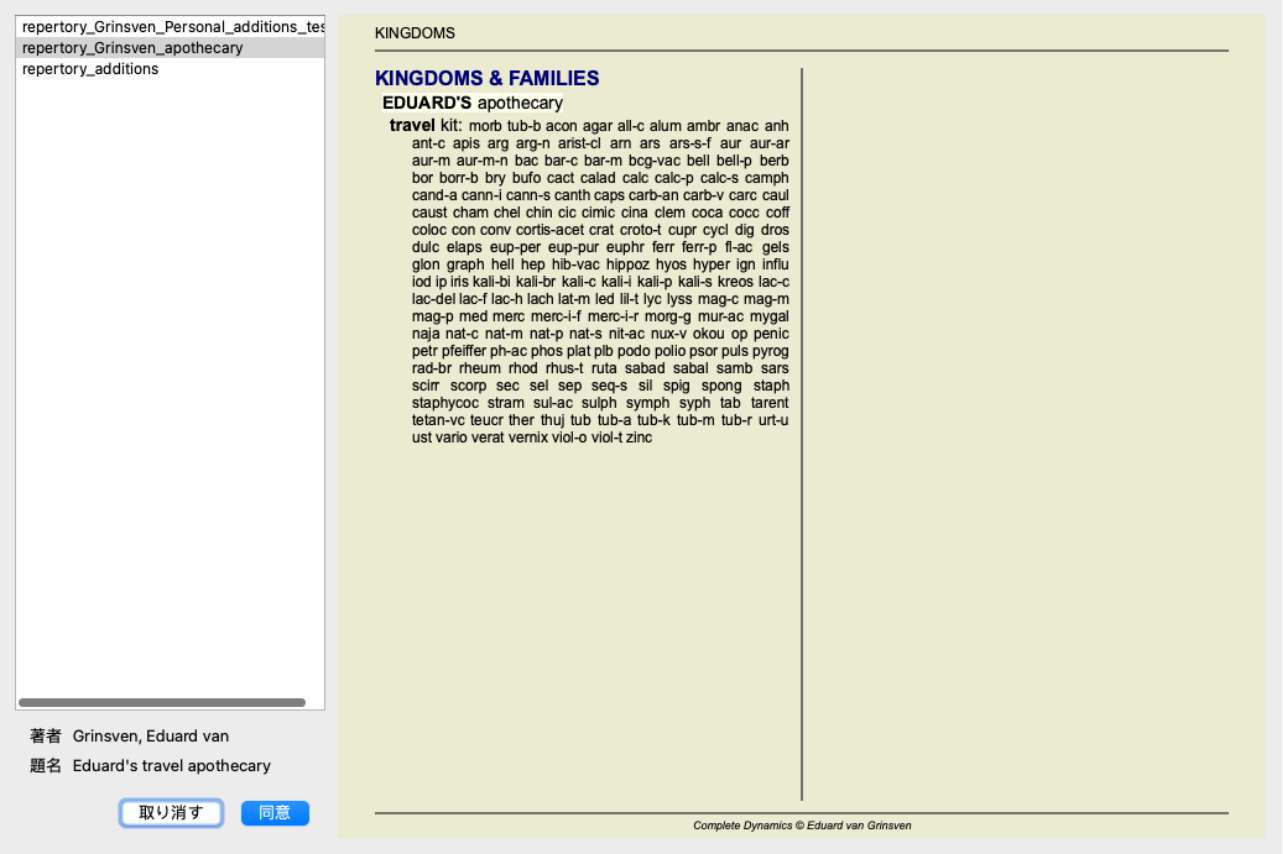
レパートリーファイルの情報を変更する

レパートリーファイルの情報を変更することができます。(メニューオプション*ブック / 編集 / レパートリーファイル / レパートリーファイル情報の編集*, ポップアップメニューオプション*編集 / レパートリーファイル / レパートリーファイル情報の編集*).

レパートリーファイルの選択

デフォルトでは、追加したものは*repertory_additions.rep* というファイルに保存されます。
他の既存のファイルを操作したい場合は、まずそのファイルを選択する必要があります。(メニューオプション*ブック / 編集 / レパートリーファイル / レパートリーファイルを選択*, ポップアップメニューオプション*編集 / レパートリーファイル / レパートリーファイルを選択*).

ダイアログが開き、利用可能なレパートリーファイルが表示されます。



左側のリストで、レパートリーファイルを選択することができます。右側には、どのレパートリーが追加されているか、プレビューが表示されます。

レパートリー編集アシスタント

複数のレパートリーを追加したい場合、*レパートリー編集アシスタント* を利用すると便利です。(メニューオプションブック / *編集* / *レパートリーエディターアシスタントを開く*, ポップアップメニューオプション *編集* / *レパートリーエディターアシスタントを開く*).

セクション*Selection* は、*Book* モジュールでどのルーブリックが選択されたか、また該当する場合はどの救済策がクリックされたかを示しています。

Actions のセクションには、メニューからアクセスするすべての機能のボタンが含まれています。

セクション*クイックレメディー追加*では、選択したルーブリックに多数のレメディーを素早く追加することができます。この機能では、救済措置の略語がすべて正しいことが要求されます。この救済措置は、より一般的なすべてのルーブリックに自動的に追加されます。詳しくは、*レメディの追加*(上記)をご覧ください。

レパトリー インポーター

レパートリーインポーターモジュールにより、外部ファイルからレパートリーエントリーを一括でインポートすることができます。レパートリーインポーターはいくつかのデータ形式を認識します。

インポーターを起動する前に、レパートリー追加ファイルを作成し、それを選択する必要があります。(メニューオプション*ブック / 編集 / レパートリーファイル / レパートリーファイルを選択*, ポップアップメニューオプション*編集 / レパートリーファイル / レパートリーファイルを選択*).

外部データを取り込むレパートリーファイルを選択したら、レパートリーインポータを起動します。(メニューオプション*ブック / 編集 / レパートリーファイル / 外部ファイルからインポート*, ポップアップメニューオプション*編集 / レパートリーファイル / 外部ファイルからインポート*).
Importerモジュールが開きます。

まず、入力テキストの形式を定義します。各フォーマットは以下のように定義されています。各フォーマットには、サンプルファイルが用意されています。これらのファイルは、*Documents / Complete Dynamics / Examples* のフォルダーにあります。
すべてのサンプルファイルのフォーマットは異なりますが、まったく同じレパートリーのルビとレメディを定義しています。

次に、レパートリーインポーターにテキストを取り込みます。
インポートする入力テキストは、定義された形式に準拠する必要があります。ファイル内で、すべてのテキストを選択し、クリップボードにコピーします。

次に、レパートリーインポータで、ボタン*貼り付け*を押します。コピーされたテキストは、大きな空白部分に表示されます。文字に問題がある場合は、元の文書で変更し、再度コピー＆ペーストしてください。

テキストをインポートした後、*Validate* ボタンを押して、最初のテストを行います。エラーが見つかった場合は、それを修正してから次に進みます。

レパートリーに、Complete Repertory にないレメディの略語が含まれている場合、それがどのレメディであるかを定義することができるようになりました。*Remedies...* ボタンを使って、不明なレメディを定義します。

エラーがなくなり、すべてのレメディーが正しく定義されたら、*インポート* ボタンでレパートリーをインポートすることができます。その後、*Close* ボタンで Repertory Importer を終了してください。
インポートすると、それまでレパートリーファイルに入っていたコンテンツはすべて削除されますので、ご注意ください。

入力テキストフォーマット

マックレップ

このフォーマットはMacRepertoryで使用され、追加を定義するために使用されます。このフォーマットを選択すると、他の設定をする必要はありません。
詳しくは事例をご覧ください。サンプルと一緒に、ファイルフォーマットに関する詳細な情報を提供するファイルも用意されています。

エクセルシート

このフォーマットでは、最初の列でルーブリックを定義します。最後の列はレメディを保持します。
例を見るだけで、簡単です。

その他のフォーマット

このフォーマットでは、救済措置の等級はテキストスタイルによって定義されます。

また、ルーブリックラベルとレメディを区切るテキストフラグメントを定義することができます。
各救済等級について、フォーマットを定義することができます。設定の下には、選択した設定で書式付きテキストがどのように見えるかの例が表示されます。

ルーブリックの階層は、テキストをインデントすることで定義されます。これはさまざまな方法で行うことができます。

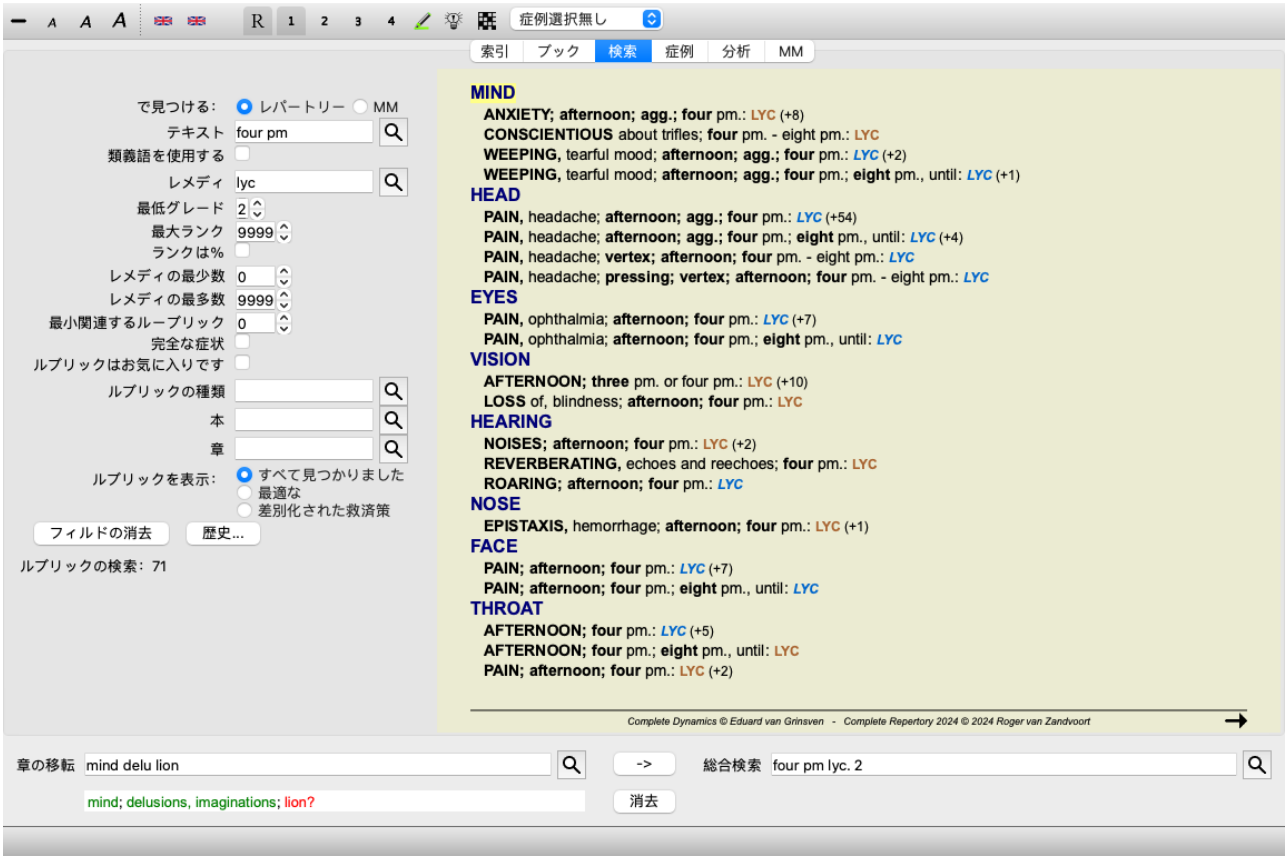
- タブを使う本文中のTab文字が1つ増えるごとに、階層が1つずつ増えていきます。
- スペースの活用すべてのルーブリックレベルをSpace文字で開始する。4-8-12-16のように、一貫したインデントを使用する必要があります。
- 段落の余白。テキストエディタで、段落スタイルに左マージンを定義することができます。ルーブリックの階層レベルごとに段落スタイルを定義し、そのスタイルを同じレベルの各ルーブリックに適用するだけです。
- 上記の組み合わせ。ほとんどの場合、これもうまくいきますが、もしあなたのテキストが組み合わせを使用している場合、おそらく書式が悪いのでしょう。

各インデントの方法のサンプルファイルがあります。

モジュールの検索

Find モジュールを開く

Find タブをクリックし、Find モジュールに移動します。 (メニューオプション*表示 / 検索*, *⌘-S*).



フィールドの検索

画面の左側には、探したいものを記入することができます。(検索したい内容を入力する別の方法として、ウィンドウの下部にある強力な *検索*フィールドを使用することもできます。この単一のフィールドを使用して強力な検索を行う方法については、セクション *検索フィールド* を参照してください)。

で検索してください。

探したい場所を選択します。
レパートリー レパートリーで検索します。
MM はマテリアメディカで検索します。マテリアメディカで検索する場合、レパートリーにしか関連性がないため、他の選択肢はほとんど削除されます。

テキスト

検索するテキストフラグメントを入力します。

クシーズ	*xyz* で始まる任意の単語。
=xxyz	Word は*xyz* のように正確に入力する必要があります。
= = Abçß	Word は正確に*Abçß* でなければならない。 *a=A* や*a=ä* のように、補正のない文字を比較します。
*クシーズ	Word は、そのテキストのどこかに*xyz* を含んでいます。
「エービーシーエックスワイジー	テキストの組み合わせ*abc* の後に*xyz が続く。*
abc + def	*abc* AND*def* の両方のテキストが出現しなければならない。
abc+def	同上、スペースは省略可能です。
abcデフ	上記と同じ、ANDがデフォルトです。 (*def* の前には自動的に + が挿入されます。)
-エービーシー	テキスト*abc* は、本文中に存在してはならない。 これは、上記のように「=」「*」「""」と組み合わせることができます。 例 -=*モーニング* -** -*「ベッド上*
abc / def	*abc* OR*def* のいずれかが必要です（スペースは任意）。
これらの組み合わせは可能です。例	
四・八時	(*4* OR*8*), AND*pm*.
午後4時/8時	上記と同じで、順番は重要ではありません。
「朝起き	シーケンス*rising from bed*, AND*morning*.
恐怖 / 不安 群衆 / 人	(*恐怖* OR*不安*) AND (*群衆* OR*人々*). (*群衆の前に自動的に+が挿入されます*)

同義語を使用する

チェックすると、単語の同義語で検索します。詳しくは、「*単語の同義語*」をご覧ください。

レメディー

検索するレメディの略語を入力します。フィールドの右側にある🔍ボタンを押すと、検索ウインドウが表示され、レメディをインタラクティブに選択することができるので、略語を暗記していない場合に便利です。

セプ	Remedy*sep*
sep.	上記と同様、ドット表記も可能ですが、ここでは不要です（*Find* フィールドでは必要です）。
-セプ	Remedy*sep*はルーブリックに存在してはならない。
sep / nat-m	いずれかの救済措置*sep* OR*nat-m*
セパレートナットエム	上記と同じ、ORがデフォルトです。 (*nat-m* の前に / が自動的に挿入されます)
sep/staph+nat-m/mag-m	(*sep* OR*staph*) AND (*nat-m* OR*mag-m*)
sep. staph.+ nat-m. mag-m.	同上(*staph* の前と*mag-m* の前に / が自動的に挿入されます)
クモ	クモの王国のレメディー。 の間に入力する名前は、「王国と家族」の章にあるルビ名のいずれかと一致する必要があります。名前を調べるには、🔍ボタンを押してから、ボタン*Groups...を押してください。*
{動物］ -［クモ}	レメディーグループは、単一のレメディーと同じように組み合わせることができます。この例では、クモ以外のすべての動物が対象です。

Min.グレード

レメディの最小グラデーションを入力します（1～4）。

最大ランク

探しているレメディーは、ルーブリックの中で最も重要なレメディーの上位X位に入っていなければならない。
例：10と入力した場合、レメディーを重要度でソートする際に、1～10の位置にレメディーを配置する必要があります。

ランクは%です

チェックした場合、ランク値は絶対数ではなく、パーセントで取得されます。
例：10と入力した場合、救済措置は最初の10％以内でなければならない。

最小ルーブリックサイズ ルーブリックの救済措置の最小数を入力する。

最大ルーブリックサイズ ルーブリックの救済措置の最大数を入力します。

Min.関連ルーブリック ある救済措置が発生すべき関連ルビの最小数を入力する。
関連ルーブリックとは、あるルーブリックよりも具体的なルーブリックのことである。詳細については、ヘルプセクション*Analysis module / Formulas* を参照してください。

完全な症状 完全な症状に限定して検索します。
完全な症状とは、場所、感覚、モダリティまたは随伴物から構成される症状のことである。
このオプションは、Complete Repertoryで検索するときにのみ使用します。他のレパートリーには、一般的にこのような情報は含まれていません。

ルーブリックの種類 フィールドの右側にある🔍ボタンを押すと、タイム、サイド、ロケーションなどのルーブリックタイプをインタラクティブに選択できるウィンドウがポップアップ表示されます。
お使いのライセンスが追加レパートリーの使用をサポートしている場合、追加レパートリーには、Times, Sides, Location などのルビが付けられていないことが多いのでご注意ください。ここで選択したものは、*Complete Repertory* のように、このために適切に準備されたレパートリーにのみ適用することができます。

章立て フィールドの右端付近にある🔍ボタンを押すと、チャプターをインタラクティブに選択できるウィンドウがポップアップ表示されます。

ルーブリックを表示する どのようなルビを表示するかを選択します。
All found: 検索条件に一致するルビをすべて表示します。
最も関連性の高い:1つまたは複数のレメディーについて、与えられた基準に対して最も関連性の高いルーブリックのみを表示します。
レメディーを区別する:与えられた基準で、2つ以上のレメディーを区別するのに最適なルーブリックを示す。

検索条件を入力すると自動的に検索が開始されるので、ボタンを押す必要はありません。

なお、テキストの場合、複数のフラグメントのデフォルトはANDですが、レメディの場合はORになります。
これは、複数のテキストを入力する場合は検索結果を限定することが多いのに対し、複数のレメディーを入力する場合は鑑別診断を行うことが多いからである。

過去の発見を呼び起こす

History... ボタンをクリックすると、以前の検索結果を素早く呼び出すことができます。過去に検索したクエリの一覧を表示するダイアログが表示されます。

レパートリーの検索結果

検索要求の結果は、ウィンドウの右側に表示されます。
詳細度は、検索された内容によって異なります。レメディが検索された場合、選択されたレメディが検索結果に含まれます。テキストのみを検索した場合は、レメディーは表示されません。
要するに、検索結果は、要求されたものに焦点を当て、要求されない細部には焦点を当てないということです。

検索結果エリアは、*Book* モジュールと多くの類似点があります。
ナビゲーションは、同じキーボード、マウス、ボタンバー、またはメニュー機能で行います。
また、ウィンドウの大きさに合わせて自動的にレイアウトが調整されます。

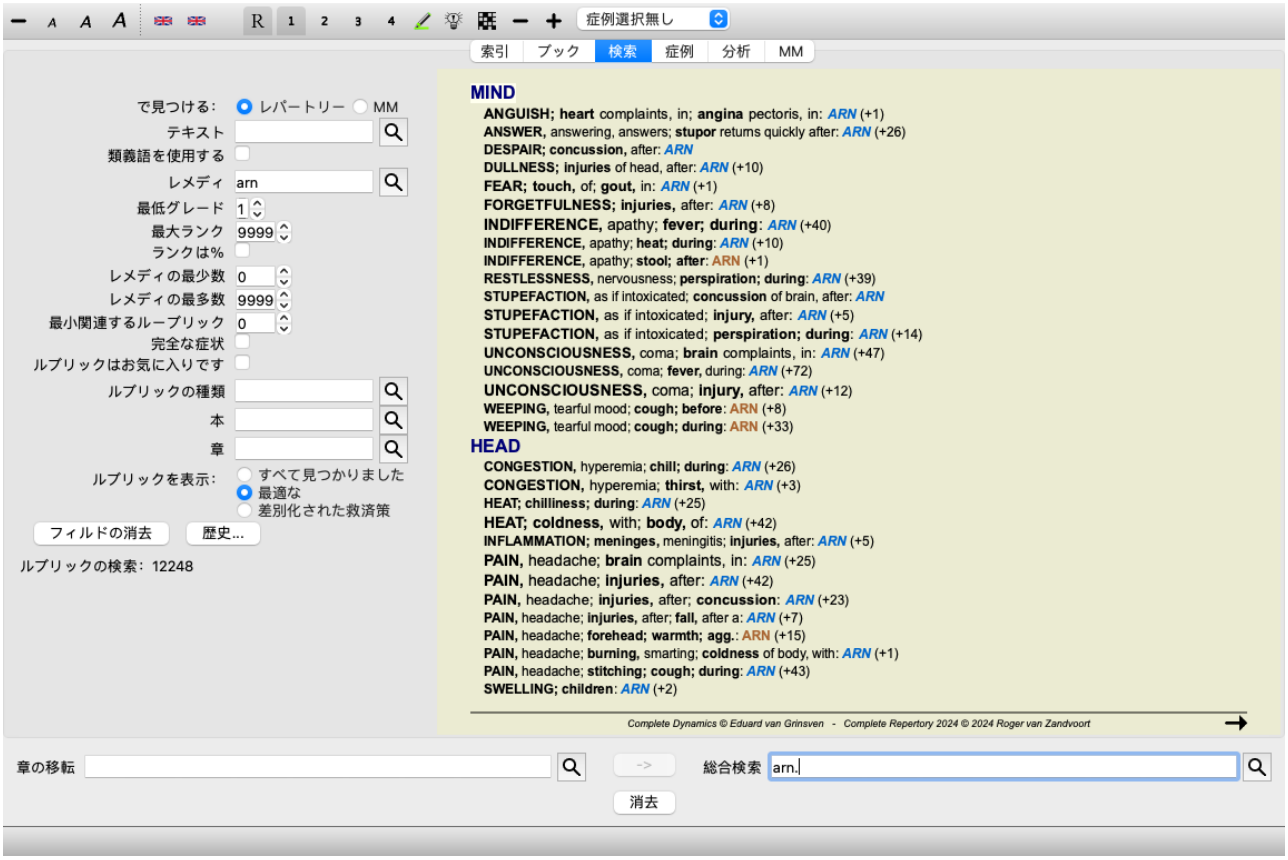
> *ヒント*:*Book* モジュールと同様に、*space* を押すと、レメディの表示・非表示が切り替わります。
> *Find* モジュールでは、レメディの表示はやや小さめのルビに限定されています。レメディが多いルビは、レメディの数だけ表示されます。

Bookモジュールのルーブリックにジャンプします。

Book モジュールのナビゲーションオプションに加え、検索結果では、ルーブリックをマウスでダブ ルクリックするだけで、ブック内のルーブリックに直接ジャンプするオプションが用意されています。

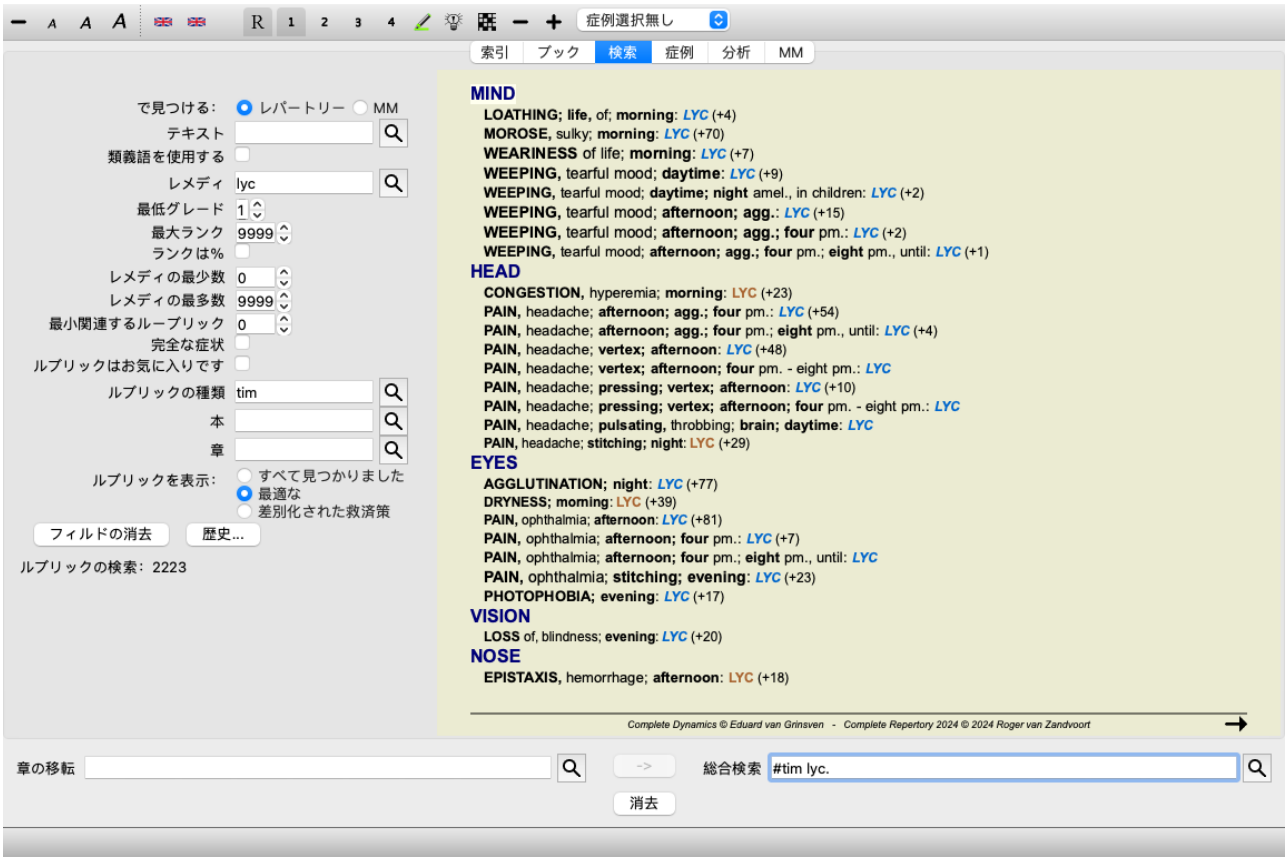
最も関連性の高いもの

1つまたは複数のレメディーに対して最も関連性の高いルーブリックを検索する場合、表示される結果は最も関連性の高いルーブリックに限定されます。
また、単一のレメディーを探す場合は、逆マテリアメディカでそのレメディーを探した場合と全く同じ結果になります。これは、まさに「逆マテリアメディカ」が意図していることであり、理にかなっている。例として、救済措置に最も関連性の高いルーブリック*arn* を見てみましょう。



複数のレメディーを探している場合、いずれかのレメディーに最も関連性の高いルビが表示されます。例えばクモのようなレメディーファミリーを探す場合、逆マテリアメディカでクモのファミリーを開いたときと同じ結果にはならないでしょう。リバースマテリアメディカは、他の家族と比較した家族全体の分析を行い、ファインドモジュールは、家族一人一人の結果を見ます。

検索機能を使えば、特定のルーブリックを検索することができます。
例えば、Lycopodiumに最も関連する時間基準です。



ツールバーのボタン「BUTTON:マイナス」「BUTTON:プラス」を使って、ルーブリックの表示数を減らしたり増やしたりすることができます。

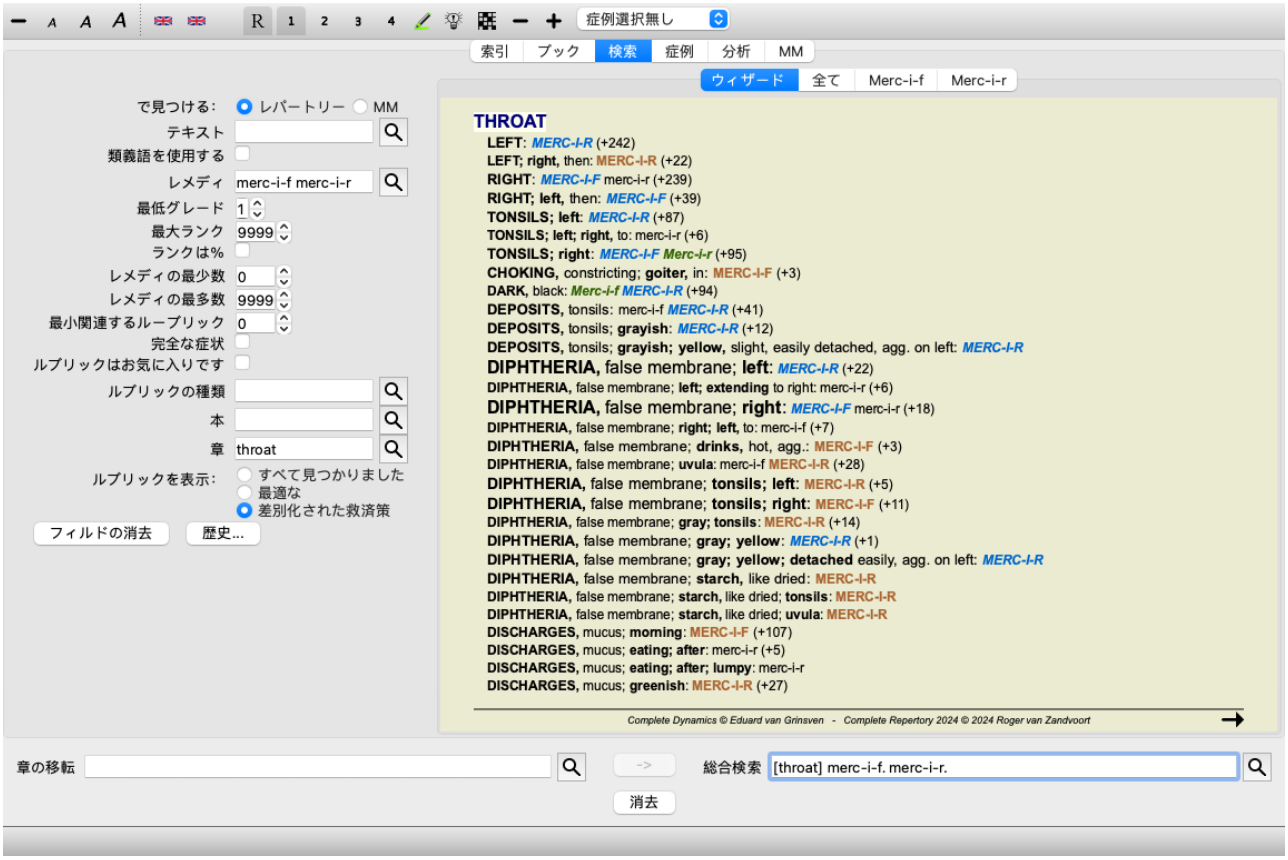
レメディーを区別する

この機能は非常に強力で、2つ以上のレメディーを最もよく区別する症状を検索することができます。
2つのレメディーの違いを調べるだけでなく、より大きなレメディーグループの中の関連する違いを見つけるためにも使用できます。
Findモジュールのすべての強力な条件を使用して、特定の分野に焦点を当てることができます。

選択されるルーブリックは、一般的に以下のカテゴリーに分類される。

- あるレメディが別のレメディと反対の行動をとる、反対行動。
  例：悪化/改善、暖かい/冷たい、左/右、嫌悪/欲望など。
  このような違いに対して、悪化のルーブリックと改善のルーブリックのように、相反する2つのルーブリックが記載されていることがよくあります。あるいは、左用のルビが1つ、右用のルビが続く。
- 同じような症状に対する時間の違い。
  例：朝/夕、昼/夜。
- その他、部位、拡張子、随伴症状などの違いもある。
- 特に症状
  これらは、あるレメディに特有の症状であり、他のレメディでは発生しないものです。

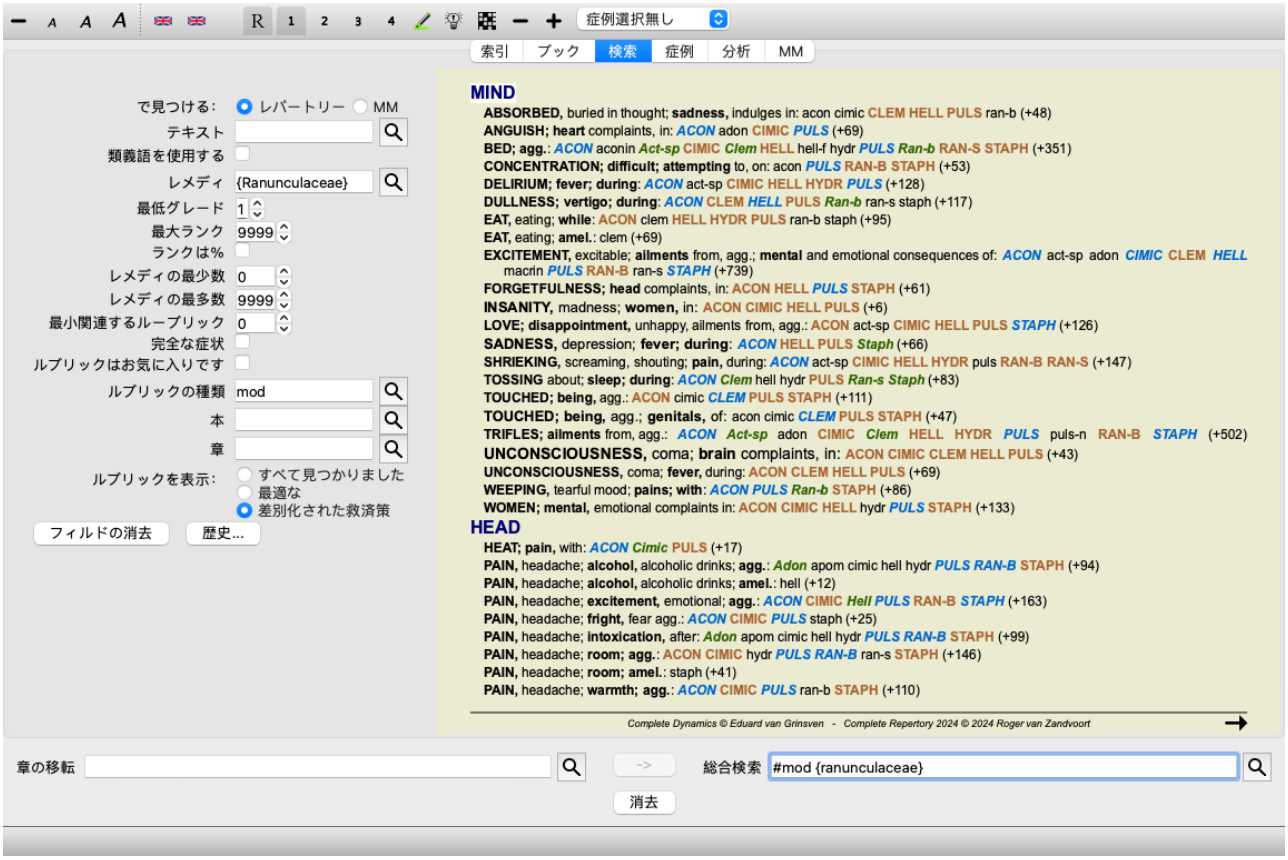
例として、喉の症状におけるレメディー*merc-i-r* と*merc-i-f* の最も重要な違いについて見てみましょう。



ツールバーのボタン、でルーブリックの表示数を減らしたり増やしたりすることが可能です。

なお、より多くのレメディを区別する場合、レメディをより大きな2つのグループに分けるのに役立つルーブリックがより重要であると考えられる。
例えば、10種類のレメディーを鑑別したい場合、5 agg.5 agg. / 5 amel.は、1 agg. / 9 amel.よりも区別しやすい。/ 9 amel.よりもよく区別できます。あるいは、ある症状が10種類のレメディーのうち5種類で知られている場合、10種類のうち8種類で知られている場合よりも区別がつきやすくなります。

例として、キンポウゲ科のモダリティを区別してみよう。



興奮からくる症状*Ailments* は、家族の約半分を切り離すため、非常に高い評価を受けていることがわかります。

マテリアメディカの検索結果

次の例は、Materia Medicaでdog/dogsを検索したときの結果である。

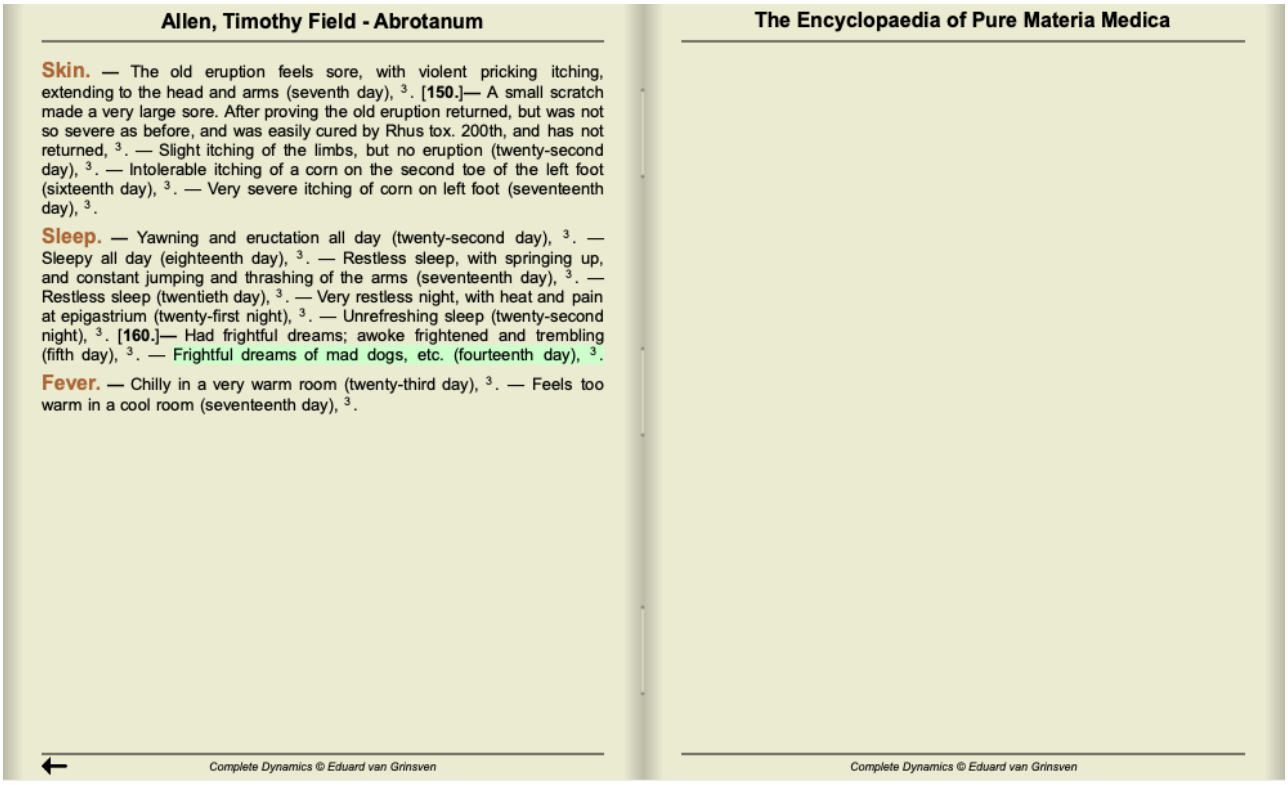
語句の検索は完全な文章で行われます。単語の組み合わせを探す場合、この組み合わせはレメディーテキスト全体ではなく、センテンスにも適用されます。ですから、例えば*bed too hard* という3つの単語を探す場合、その3つの単語はすべて同

じ文の中になければなりません。
なお、文章の構成は著者や本によって異なることが多いので、ご注意ください。文の始まりと終わりを規定する防水ルールはない。現在のマテリアメディカの本で問題ない場合がほとんどです。

その結果から、対応するマテリアメディカに簡単にジャンプすることができます。テキストをクリックすると、マテリア・メディカ・ブックを開くことができます。

狂犬の恐ろしい夢など（14日目）」という文章のどこかをクリックすると、この文章があるページで本が開きます。
セクション名「睡眠」をクリックすると、そのセクションがあるページでブックが開きます。
書籍名「Abrotanum Allen Encyclopaedia」をクリックすると、remedy Abrotanumで簡単に開くことができます。

なお、検索クエリにマッチした文は薄緑色でハイライトされている。


Allen, Timothy Field - Abrotanum

Skin. — The old eruption feels sore, with violent pricking itching, extending to the head and arms (seventh day), [3]. [**150.**]— A small scratch made a very large sore. After proving the old eruption returned, but was not so severe as before, and was easily cured by Rhus tox. 200th, and has not returned, [3]. — Slight itching of the limbs, but no eruption (twenty-second day), [3]. — Intolerable itching of a corn on the second toe of the left foot (sixteenth day), [3]. — Very severe itching of corn on left foot (seventeenth day), [3].

Sleep. — Yawning and eructation all day (twenty-second day), [3]. — Sleepy all day (eighteenth day), [3]. — Restless sleep, with springing up, and constant jumping and thrashing of the arms (seventeenth day), [3]. — Restless sleep (twentieth day), [3]. — Very restless night, with heat and pain at epigastrium (twenty-first night), [3]. — Unrefreshing sleep (twenty-second night), [3]. [**160.**]— Had frightful dreams; awoke frightened and trembling (fifth day), [3]. — Frightful dreams of mad dogs, etc. (fourteenth day), [3].

Fever. — Chilly in a very warm room (twenty-third day), [3]. — Feels too warm in a cool room (seventeenth day), [3].

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

The Encyclopaedia of Pure Materia Medica

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

マテリアメディカの検索は、いくつかのレメディやレメディグループに制限することができます。*レメディ* の欄に、レメディおよび/またはグループ（例: 「ars bell acon」、「{spiders}」）を入力します。なお、「ars+bell+acon」のような組み合わせは、1つの文が2冊以上には出てこないので、意味がない。

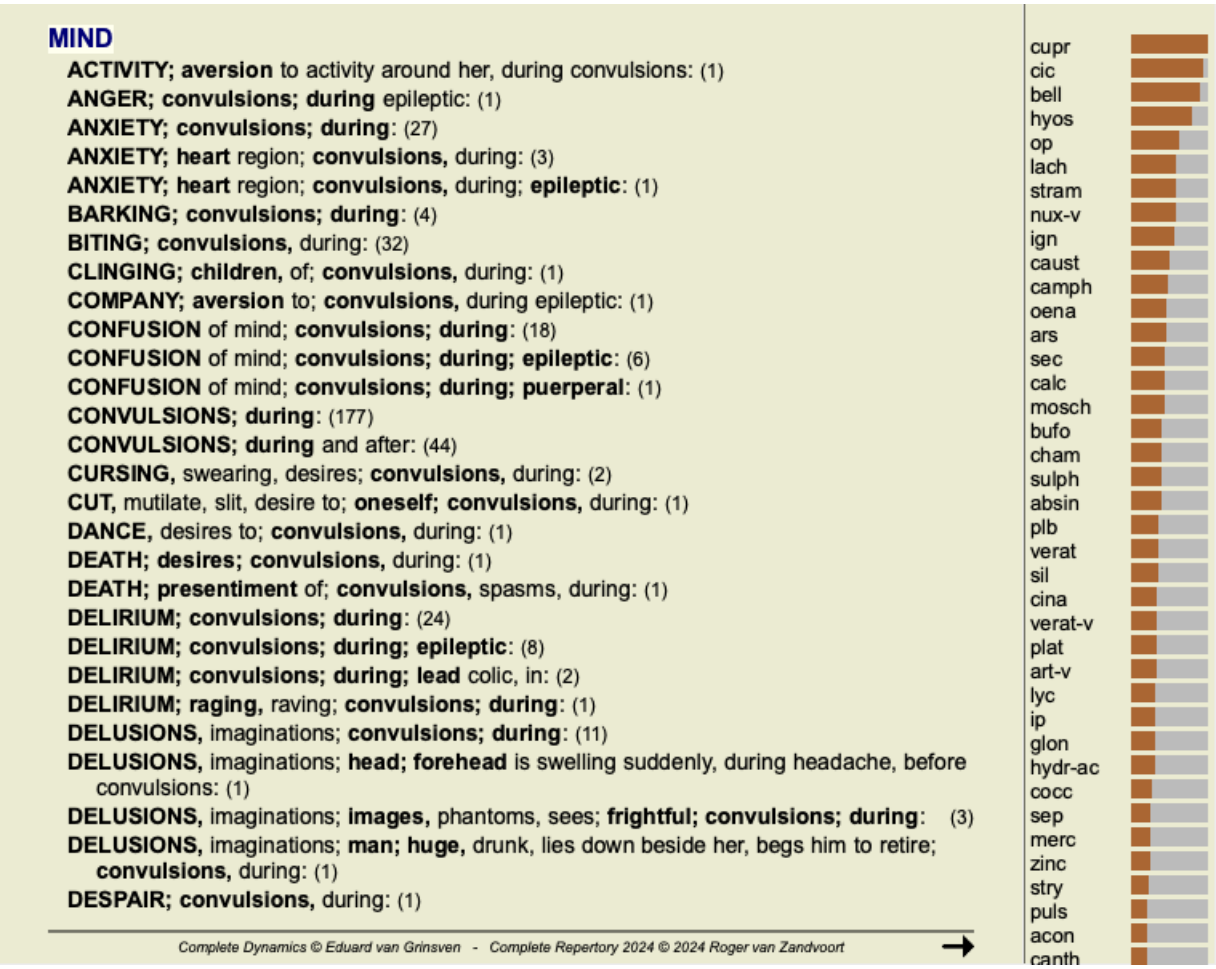
その他の例

上記のフィールドに検索条件を入力し、ウィンドウの下部にある*検索*フィールドを使用すると、1 対 1 の関係があります。findモジュールの詳しい使用例は、*Find field* のセクションに記載されています。

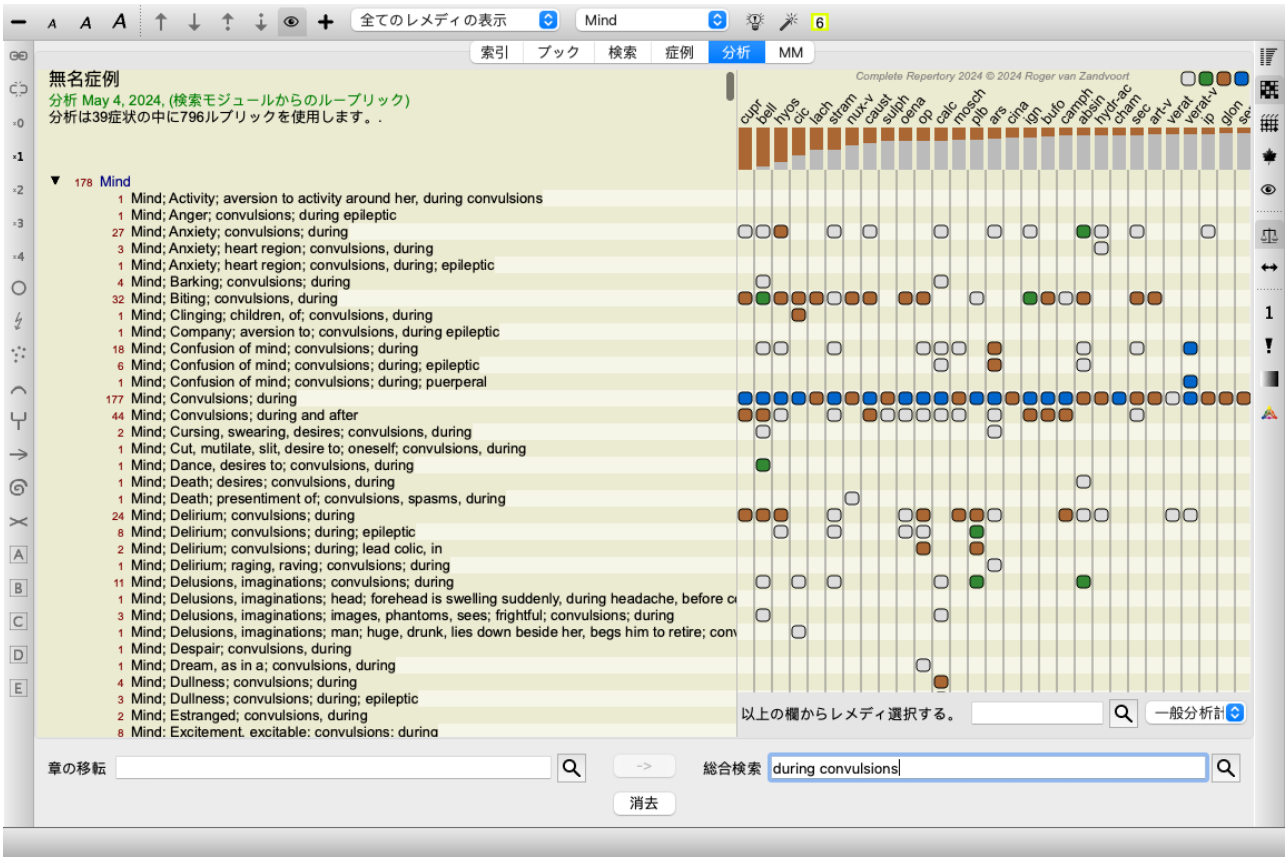
Findモジュールの鑑別診断

*Find モジュール*では、Differential Diagnosis が、見つかったすべてのルーブリックについて、分析に似た関連する改善策をリストアップして表示します。 (メニューオプション*表示 / レメディ / レメディ比較表示*, ツールバーボタン, ポップアップメニューオプション*レメディ / レメディ比較表示*).

この例では、痙攣時に*を探した後*、:



鑑別診断分析に使用されたすべてのルーブリックの詳細を見るには、ボタンを押してください。これにより、すべてのルーブリックをレパートリーセクションごとに整理した表形式の分析表が一時的に作成されます。解析結果は、現在のケースに保存され、ケースを閉じると削除されます。



なお、1000枚以上のルーブリックが見つかった場合は、あまり意味がありません。

同義語

オプション*Use word synonyms* をチェックすると、*text* フィールドのすべての単語がその単語の同義語で拡張されます。

例えば、「子供」というテキストを探す場合、同義語として、乳児、息子、娘、赤ちゃん、男の子、女の子、若者、子孫、新生児、10代が考えられます。

こうすることで、入力した単語と厳密に一致するルビよりも、より多くのルビを見つけることができます。これは、あなたが望むことかもしれませんし、あなたが書いたとおりの検索をしたい状況もあるでしょう。

現在、単語の同義語は英語のみで利用可能です。同義語の欠落や不正確な表現についてご提案があれば、ぜひお知らせください。正しい同義語の定義を構築することは、継続的な改善のプロセスです。

独自の同義語を作成する

Complete Dynamicsは、独自の同義語リストを定義することが可能です。
同義語は、1つまたは複数の（フォーマットされていない）テキストファイルで定義され、特別なフォルダに保存されます。フォルダー名は、*Complete Dynamics* 。Windows では、*My Documents* フォルダに、OS-X では、*Documents* フォルダに配置されています。
そのフォルダーに*synonyms_example.txt* というサンプルファイルがプリインストールされています。そのファイルには、同義語の定義がどのようになされるかの例が掲載されています。

また、英語以外の言語でも同義語を作ることができます。

同義語を他の人と共有する

同義語の定義を他のユーザーと共有したい場合は、同義語の定義ファイルを送信するだけです。他のユーザーが前述のフォルダにファイルをインストールすると、プログラムを停止して再起動した後、自動的に同義語が利用できるようになります。

ハイライト テキストとレメディを検索する

Findモジュールで検索したテキストやレメディーは、簡単にハイライト表示することができます。(ツールバーボタン).
ハイライト表示されると、これらのテキストやレメディーは、画面を見たときに非常に素早く探し出すことができます。
Find,*Book* and*Materia Medica* モジュールでハイライトを適用することができます。

レパートリーで探す

ハイライトをオンにすると、検索結果リストでクエリのテキスト要素がハイライトされます。
例として、「fear」というテキストが検索されます。なお、Findモジュールの「fear」は「fearで始まるすべての単語」を意味する。そのため、「恐怖」「恐い」「恐いもの見たさ」という言葉も出てきます。

MIND

ANGER; ailments from, agg.; **fright,** fear, with: (24)
ANGER; fright, fear agg.: (20)
ANXIETY; night; agg.; fright, fear agg.: (1)
ANXIETY; fear, with: (154)
ANXIETY; fear, with; **agg.** until five am., with sleeplessness: (1)
ANXIETY; fear, with; **climacteric** period, in: (2)
ANXIETY; fear, with; **fever,** during: (1)
ANXIETY; fear, with; **stands,** when he, forehead becomes covered with cold perspiration, sick to vomiting: (1)
ANXIETY; fright, fear
ANXIETY; fright, fear; **after**: (19)
ANXIETY; fright, fear; **after; pregnancy,** in seventh month of: (1)
ANXIETY; fright, fear; **fear** of fright still remaining
ANXIETY; sitting; bent over, forward; **fear** of death, with: (1)
ANXIETY; waking, on or after; **shrieks,** screams and remains full of fear: (1)
ANXIETY; heart region; **fear,** with: (5)
ANXIETY; heart region; **pain** in heart, with; **extending** to cervical region, left shoulder and arm, with fear of death: (4)
ANXIETY; health, about; **fear** of society, people, with: (1)
ANXIETY; health, about; **timid,** fearful: (1)
BED; get out of, wants to; **fright,** fear agg.: (3)
BED; remain in, desires to; **fear,** from: (1)
BESIDE oneself, being; **fright,** fear agg.: (2)
CHEERFULNESS; alternating with; **fearfulness** due to retro-lateral version of uterus: (1)
CHEERFULNESS; fearful, but: (1)
COMPANY; desire for; **alone,** agg. being; **fear** of people, yet: (5)
CONTEMPTUOUS; hard for subordinates and agreeable or pleasant to superiors or people he has to fear: (4)
COURAGEOUS; alternating with; **fear**: (1)
DEATH; desires; fear, with: (18)
DEATH; desires; fear, with; **death,** of: (16)

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

次の例では、「fear」にレメディ「bell」または「stram」のいずれかを加えて検索しています。

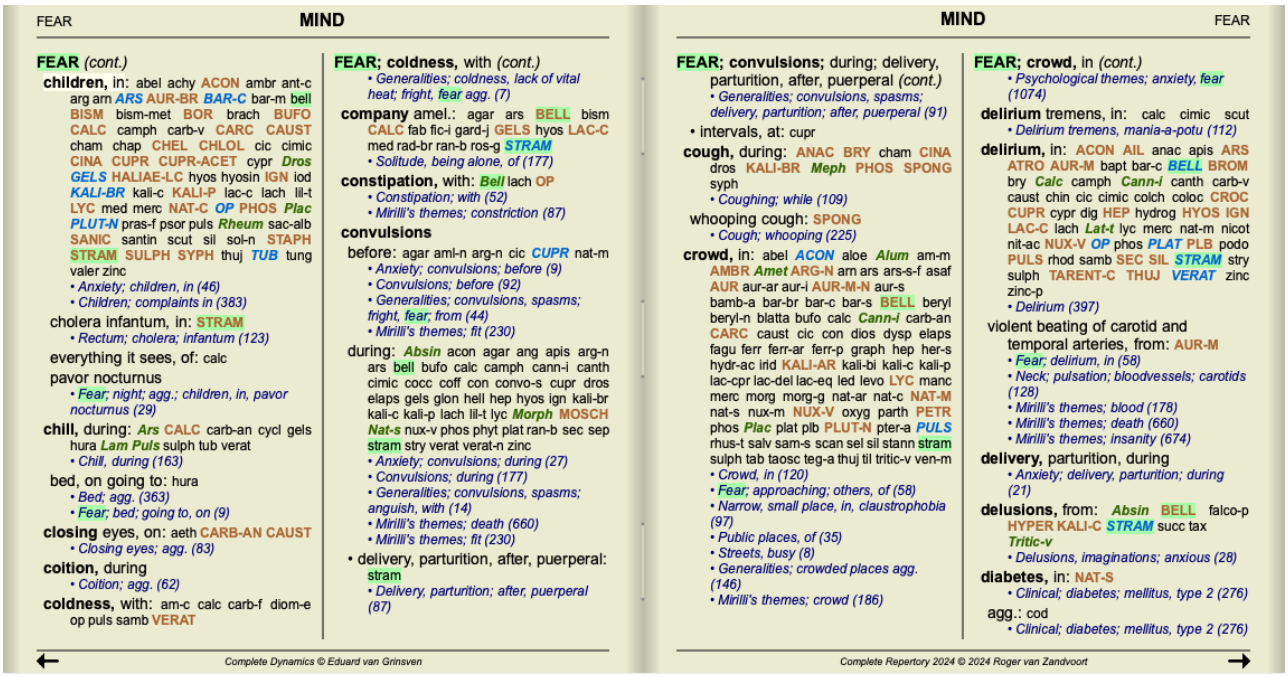
MIND

ANGER; ailments from, agg.; **fright,** fear, with: BELL ***STRAM*** (+22)
ANGER; fright, fear agg.: BELL (+19)
ANXIETY; fear, with: bell (+153)
ANXIETY; fright, fear; **after**: bell (+18)
BED; get out of, wants to; **fright,** fear agg.: ***BELL*** (+2)
DEATH; desires; fear, with: ***BELL Stram*** (+16)
DEATH; desires; fear, with; **death,** of: ***BELL Stram*** (+14)
DELIRIUM; fear of men, with: bell (+1)
DELIRIUM; lively active, vivid, alternating with fear of monsters, shrieking for help: stram
DELIRIUM; raging, raving; **fright,** fear agg.: bell stram
DELUSIONS, imaginations; **alternating** with; **fright,** fear: STRAM
DELUSIONS, imaginations; **gallows,** of the, with fear: BELL
DELUSIONS, imaginations; **stranger,** strangers; **sees; night; every,** since six weeks, causing fear, had to leave bed, a old woman: STRAM
DESPAIR; death, with fear of: bell (+9)
FEAR: ***BELL STRAM*** (+932)
FEAR; alternating with; **mania**: BELL (+1)
FEAR; alternating with; **rage**: bell (+1)
FEAR; afternoon: stram (+25)
FEAR; evening; agg.: ***STRAM*** (+78)
FEAR; evening; agg.; sunset, after: ***STRAM***
FEAR; evening; agg.; dark, in: stram (+4)
FEAR; night; agg.: BELL ***STRAM*** (+184)
FEAR; night; agg.; children, in, pavor nocturnus: bell STRAM (+27)
FEAR; abortion, in threatening: bell (+4)
FEAR; anger, vexation, after: BELL ***STRAM*** (+26)
FEAR; bed; in: ***BELL*** (+39)
FEAR; children, in: bell STRAM (+70)
FEAR; children, in; **cholera** infantum, in: STRAM

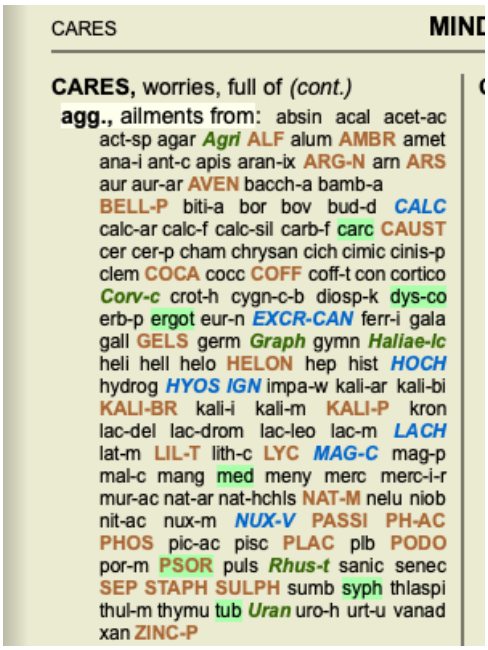
Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

ブックモジュール

Findモジュールと同様に、BookモジュールでもFindクエリのテキストとレメディをハイライト表示することができます。



次の例では、レメディーを探すのはノゾーデです。どのノゾキがどのルビにあるのか、すぐにわかるようになりました。



マテリアメディカで探す

マテリアメディカのテキストを検索する際、見つかった単語はハイライト表示されます。次の例では、探したテキストは「bed too hard」でした。なお、「toothache」も「too」で始まるため、強調表示されています...。

Aconitum napellus *Allen Encyclopaedia*

Extremities in general: Pain as from a contusion in shoulder and hip-joints, after sleeping, as if the bed had been too hard, . —

Aconitum napellus *Hahnemann MM Pura*

330. After sleeping, a pain on moving in the shoulder (and hip) joint as from being crushed, of as if the bed had been too hard.

After sleeping, a pain, on moving, in the hip (and shoulder) joint as from being crushed, or as if the bed had been too hard.

Antimonium crudum *Allen Encyclopaedia*

Conditions: [...] bed, toothache; thirst: pinching in abdomen begins; in bed, crawling, etc., of the hemorrhoids; hard [...] bed, [...]

Arnica montana *Boericke Pocket manual*

Bed feels too hard.

Arnica montana *Cowperthwaite Textbook*

Generalities: (Ars., Camph., Colch., Sec., Verat.) Weary, bruised (Ran-b.), sore (Bad., Ruta); great, weakness (Chin.); must lie down yet bed feels too hard.

Arnica montana *Dewey Essentials*

After traumatic injuries, over-use of any organ, strains; limbs and body ache as if beaten, bed feels too hard.

[...] a bruised feeling all over the body; complain that the bed is too hard and toss about to find a soft spot; involuntary stools and urine; pete- chiae all over the body; ecchymoses and bed [...]

Arnica montana *Hering Guiding Symptoms*

Nerves: Weary, bruised, sore, great weakness, must lie down, yet bed feels too hard.

Arnica montana *Kent Lectures*

"Weary, bruised, sore, great weakness, must lie down, yet bed feels too hard."

Arnica montana *Nash Leaders*

Bruised, sore feeling all over; bed feels too hard.

Both have feeling as if the bed were too hard.

Arnica montana *Farrington Clinical MM*

The patient complains of a bruised feeling all over the body, so that the bed feels too hard to him.

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

マテリアメディカモジュール

Materia Medicaモジュールでは、ハイライトは単語だけでなく、Findモジュールでクリックした文にも適用されます。文章は単語より薄い色でハイライトされています。

Complete Repertor
Allen, Henry Clay
Keynotes and Charac
The Materia Medica o
Allen, Timothy Fiel
Clinical Hints
The Encyclopaedia of
Anschutz, Edward
New, old and forgotte
Boericke, William
Pocket Manual of Hor
Boger, Cyrus Maxw
A synoptic key of the
Bönninghausen, Cl
Characteristics
Clarke, John Henry
Dictionary of Practical
Cowperthwaite, All
A Textbook of Materia
Dewey, Willis Allon
Essentials
Farrington, Ernest
Clinical Materia Medic
Hahnemann, Samu
Materia Medica Pura
Organon of Medicin (
Hansen, Oscar
A Text-Book of Materi
Hering, Constantin
The Guiding Sympton
Hutchinson, John W
700 Red Line Sympto
Kent, James Tyler
Lectures on Homeope

Allen, Timothy Field - Aconitum napellus

clenched and the thumbs doubled into the palms so that he could not open the hand, [1]. [**1150.**]— Weariness of arms and legs, [31]. — Weariness and exhaustion of all the limbs, with stretching and straining, [35]. — Weariness of the limbs, especially the legs, with constant sleepiness and ill-humor, [1]. — Heaviness and stiffness of limbs in open air, [31]. — Painful heaviness of limbs, [19c]. — Stiffness and difficulty of moving limbs, [1]. — Difficulty of moving limbs, [36]. — An arm and a leg feel paralyzed, [16]. — A paralyzed feeling in left arm and thigh; the power of moving was gone in both, only slightly remaining in the hand. When the left side lost this it came into the right side in the same way; when he could raise the right arm he could not the left, *and vice versâ*: at length could raise them both, [14]. — Feeling as if the limb had gone to sleep, [1]. — It seemed as though the circulation stopped in all his limbs; no circulation at all was felt by him from the wrists to the finger ends, and from the ankles to the tips of the toes, [9]. [**1160.**]— Weakness and unsteadiness in the ligaments of all the joints (46 h.), [1]. — Feeling as though the ligaments of the joints were relaxed, [27]. — Great weakness of the joints, especially the knee and joints of the foot, with jerking in the tendons so that he can scarcely walk, [9]. — Numbness in the tips of the fingers and toes, [35]. — * *Coldness of extremities*, [tt]. — Bruised feeling in the limbs, [36]. — Pain as from a contusion in shoulder and hip-joints, after sleeping, as if the bed had been too hard, [1]. — Drawing now in the knee and calf, now in elbow, [33]. — Drawings here and there in the joints, [34], [35]. — * *Drawing,* **tearing** *pains in limbs*, [25]. [**1170.**]— Transient pains, like bone pains, in the metacarpal and long bones of upper and lower extremities, [38]. — Stretching pains in the limbs, [1]. — Pain in the elbows, knees, and hips; pressure after walking about, [1]. — Almost directly after getting into bed, momentary drawing pains in left middle finger and right heel, [38]. — Shuddering of the extremities, [12]. — *Crawling in upper and lower limbs*, [tt]. — Pain in the joints, [36]. — * All the joints are painful (7 h.), [16]. [See S. 1420.] — Painless cracking of all the joints especially the knees, [1].

Upper Extremities. ***Shoulders.*** — Pain in left shoulder-joint, [4]. [**1180.**]— Slight pain in shoulder-joints, [36]. — Pains in left shoulder, [36]. — Tearing pain from the shoulder down the arm to the wrist and fingers, on

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

The Encyclopaedia of Pure Materia Medica

every motion; during the pain the hand is blue (after 1, 14 h.), [1]. — Tumor in the muscles of the shoulder, extremely painful to the touch, as if bruised (after 4 h.), [1]. — The shoulder is painful, and feels as if it would sink down, [6]. — Some transient stitches in the left shoulder, [6], [30]. — Numbness in the shoulders, [1]. — *Drawing, tearing pain in shoulder-joint*, [25]. — Pressure in right shoulder and upper arm, [31]. — Pressive pain in left shoulder, and posterior-exterior side of left upper arm, [22]. [**1190.**]— Violent drawing and tearing, with paralytic sensation in head of left humerus, [20]. ***Upper Arms***. — Tingling down the arms, [41]. — The arms feel bruised and sink down powerlessly, [6]. — Weariness of arms, [31]. — Coldness and insensibility of the arms, [1]. — No feeling in arms, [1]. — Pinching, as if with blunt forceps, on some spots of the left arm, often returning, [31]. — Throws the arms about, [1]. — Single shootings in middle of right upper arm, anteriorly, while at rest, not changed by motion or pressure, [3]. — Sudden drawing and shooting pain in right upper arm posteriorly, [3]. [**1200.**]— Drawing and paralytic stiffness in right upper arm, [27]. — Weariness of left upper arm, [21]. — Tickling itching on inside of left upper arm, [21]. ***Elbows***. — *Drawing pain in the elbow-joints*, [6]. — Drawing-tearing pain in the elbow-joints, [25]. — Several rheumatic-like pains in left elbow-joint, [38]. — Dull, rheumatic pains about right elbow-joint, [43]. — Violent shootings in the elbow-joints down to the wrists, on the outside of the arm, on flexing the fingers to the wrist-joint, [6].

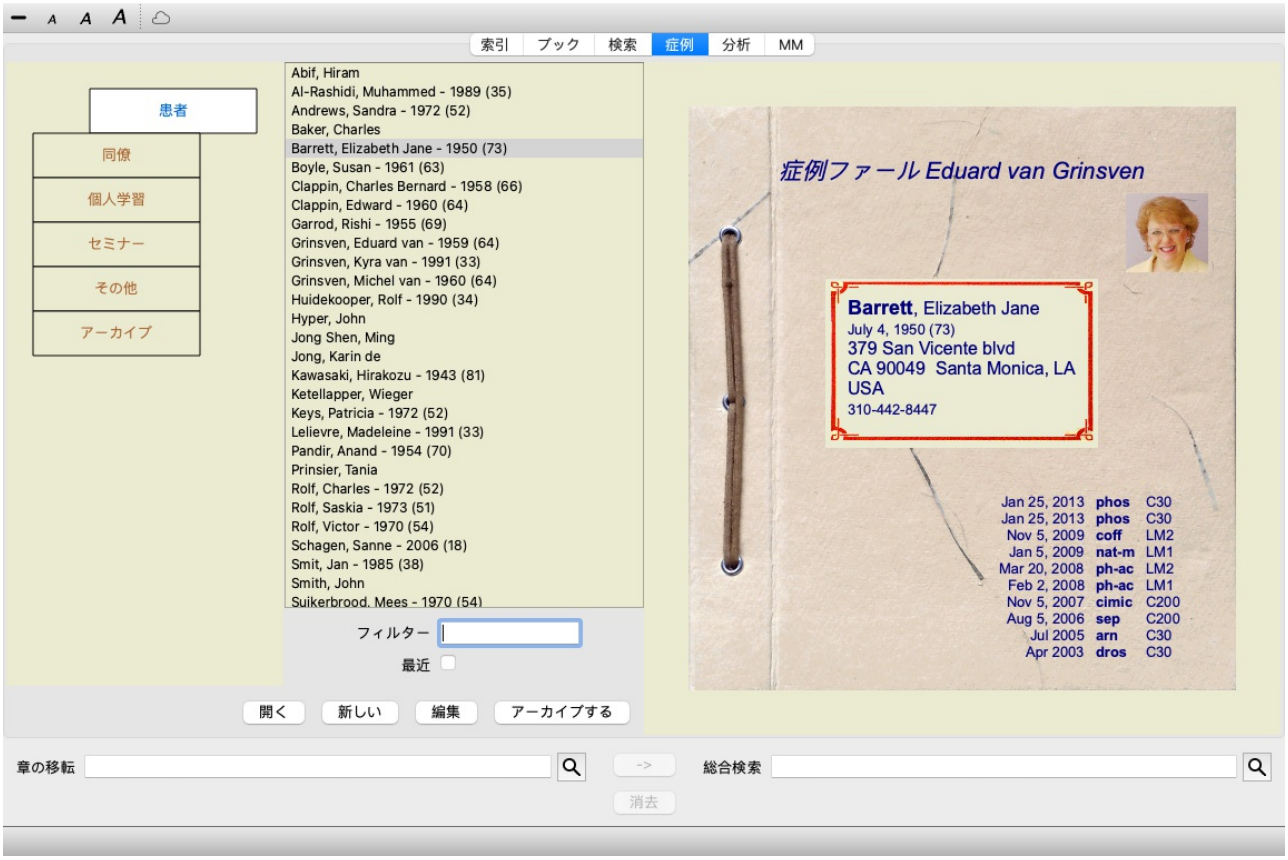
Forearms. — Sensation of weight in the arms, from the elbow to the fingers; they feel as if they would fall, with sensation in fingers as if they were asleep, on grasping anything, [6]. — *Drawing-tearing pain in the forearm*, [25]. [**1210.**]— Pain in the forearm, as if from a violent blow, [6]. — Drawing, shooting pain in the bones of the forearm, excitable by movement, [1]. — Crawling in right forearm, [22]. — Paralytic feeling in right forearm and hand (on writing), relieved by violent motion, but returning while writing, or at rest, but less severely, [3]. — Drawing-tearing pain on the outside of right forearm, [3]. — Cramplike pain in the whole of the left forearm, not relieved by anything, [3]. — Undulating, tearing pain in the upper end of the left forearm, [3]. — Acute pain in right forearm, along the flexor tendons of the little finger, increased by movement, [35]. — * Numb, tingling sensations in arms and hands, as though the poles of a galvanic battery were being

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven

ケースモジュール

Caseモジュールを開く

Case タブをクリックし、Case モジュールを表示します。 (メニューオプション*表示 / 症例*, *⌘-D*).

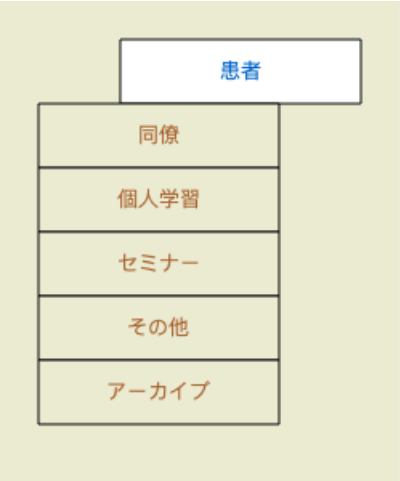


Caseモジュールでは、患者さんの症例ファイルの作成と整理、作成した処方箋の登録、分析の作成と整理が可能です。

Caseモジュールで作業することは、実際の事件簿を扱うのと同じです。
ケースは、実際の生活でケースファイルをファイルキャビネットや引き出しごとに整理するように、グループごとに整理されています。まず、作業したいグループ（複数可）を選択します。
選択されたグループの症例は、患者情報の要約のみがリストで表示されます。名前と生年。リストの下にある*Filter* フィールドに患者名の1つまたは複数のパーツを入力することで、症例をフィルタリングすることができます。
リストで案件を選択すると、画面右側に案件ファイルが表示されます。
次に、ケースファイルを開くことになりますが、まず、このケース管理の部分について少し詳しく説明します。

グループを選択し、独自のグループを作成する

グループセレクターは、一種のドロワーキャビネットと見ることができます。

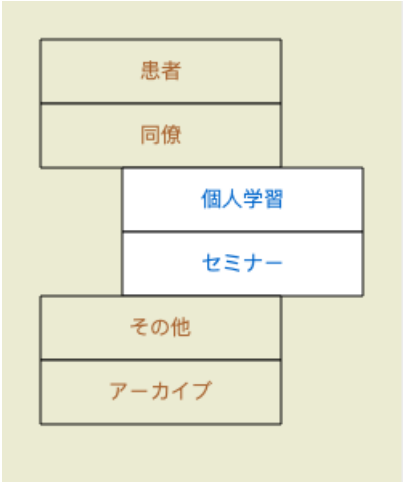


この写真では、*Patients* の引き出しを開けたところです。

標準グループは

患者様	症例説明で*Patient* と表示され（詳細は後述）、あなたが著者となっているすべての症例ファイルです。
同僚	ケースの説明で*Patient* と記され、他の誰かが著者となっているすべてのケースファイル。
研究内容	*Study*と表示されているすべてのケースファイル. これらは、あなたの患者さんとは直接関係なく、あなたの個人的な勉強のためだけの症例です。
セミナー	*セミナー* と表示されたすべてのケースファイル。セミナーや研修で発生するケースは、このグループに作成します。
その他	他のどのグループにも属さないすべてのケース。
アーカイブス	アーカイブしているすべてのケース。 アーカイブされたケースは、他のどのグループにも表示されなくなります。

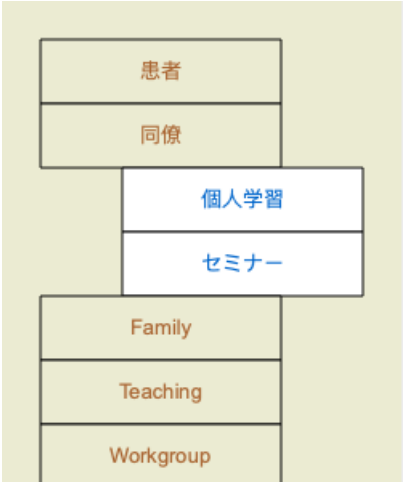
1つまたは複数の引き出しを同時に開けることができます。引き出しをクリックするだけで、開いたり閉じたりすることができます。引き出しの一つをダブルクリックすると、その引き出しが開き、同時に他の引き出しが閉じます。



2つの引き出しを開けたところ。

事例のあるリストには、「Study」または「Seminars」と表示されているすべての事例が表示されます。

もちろん、これらのグループが個人の希望と一致するわけではありません。独自のグループで新しいドロワーを作るのも簡単です。案件情報を編集する際に、案件をどのグループに所属させるかを指定することができます。標準の3つのグループ「Patient」「Study」「Seminar」を使用できますが、独自のグループ名を入力することもできます。新しいドロワーは自動的にリストに追加されます。



ドロワー*Family*,*Teaching* and*Workgroup* は自動的にリストに追加されますが、これは一部のケースでこれらのグループ名がケース情報内で使用されていたためです。

適切なケースファイルの選択

選択されたグループまたはグループに一致するすべての症例がリストに表示されます。*Filter* フィールドに何らかのテキストを記入すると、リストがフィルタテキストに一致するケースに制限されます。
フィルタの使用例です。

このフィルターには、適切なケースを選択するための非常に強力なオプションがあります。これは、*Find* フィールドがテキストやレメディに使用するのと同じフィルタリング基準を使用します。
Case モジュールでは、text はリストに表示されている名前、remedies は患者に処方された（または処方されていない）レメディです。
詳しくは、*'検索'フィールド*をご参照ください。

例*John*または*Joseph* という名前の患者を探すには、*nux-v* は処方されているが、*sulph* は処方されていない、とタイプするだけです。
ジョン/ ジョセフ NUX-V. -sulph.
(レメディー名の後ろのドットにご注目！）。

オプション*Recent* をチェックすると、最近変更されたケースのみが表示されます。その標準的な期間は7日間です。この設定は、*Preferences* Section*Case* で変更することができます。

ケースファイルの概要

案件を選択すると、案件情報の一部が右側に描画されます。
などの情報があります。
- 本件の著者名
- 患者情報（氏名、住所、生年月日）。
- 写真（ある場合）。
- 直近の処方箋のリスト。

例

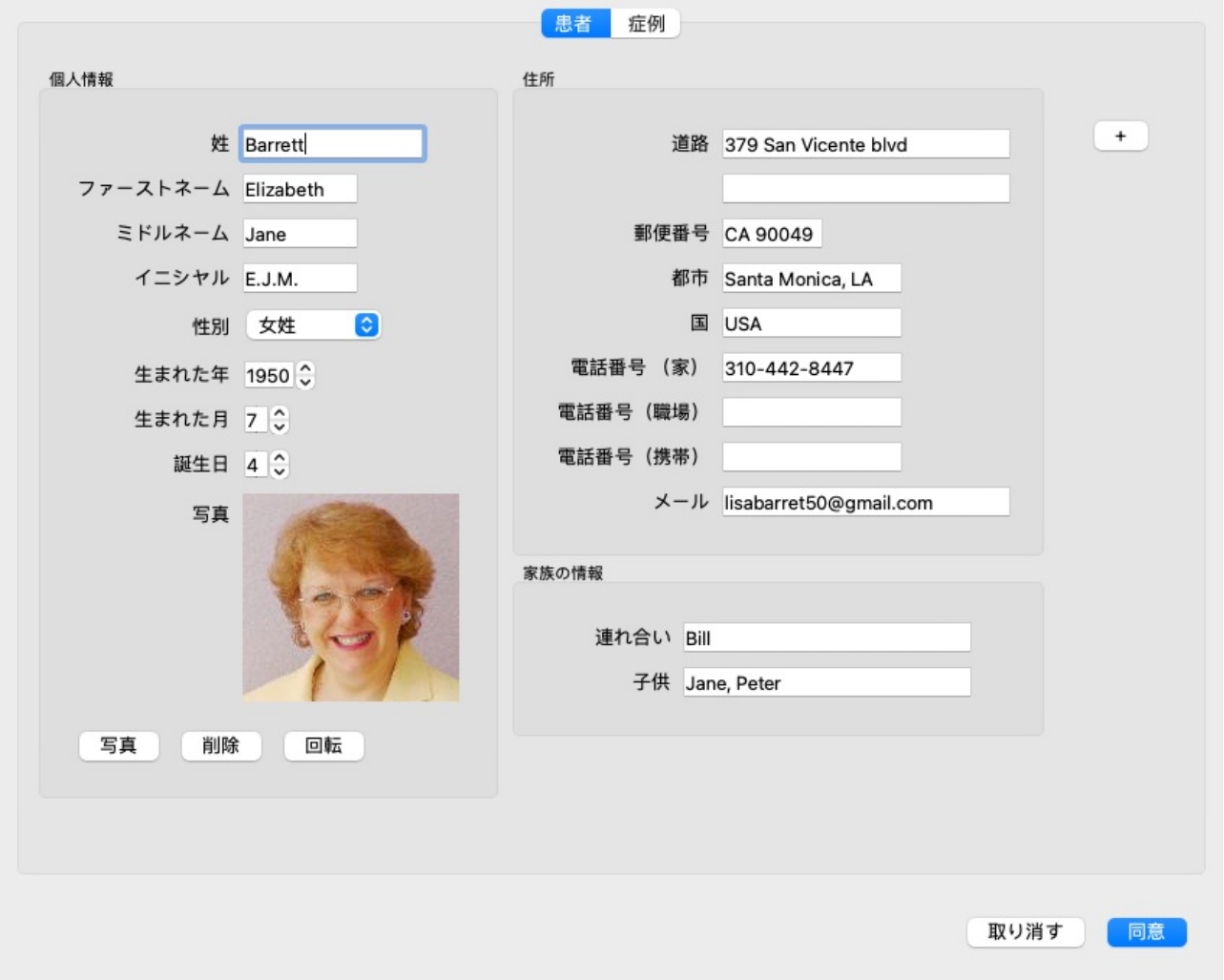
ケースファイルの作成

New ボタンをクリックすると、新しいケースファイルを作成することができます。(メニューオプション*症例 / 新しい症例, control-N*).
ダイアログが表示され、患者情報や症例背景を入力することができます。

ケースデータの編集

Patient セクションでは、患者について保存したいすべての個人情報を記入できます。*Photo* ボタンを押して、写真の入った画像ファイル（*gif,jpeg* or*png* 形式）を選択します。写真は自動的にリサイズされます。クリアボタンで、既存の写真を削除します。
患者の誕生年、誕生月、誕生日が不明な場合は、単に0と記入してください。
正確な生年月日が不明で、患者から現在の年齢しか提供されない場合は、「生年」の欄に年齢を入力することができます。

患者さんのメールアドレスを記入すれば、簡単にメールを送ることができます。(メニューオプション*症例 / 患者にメールを送る*).



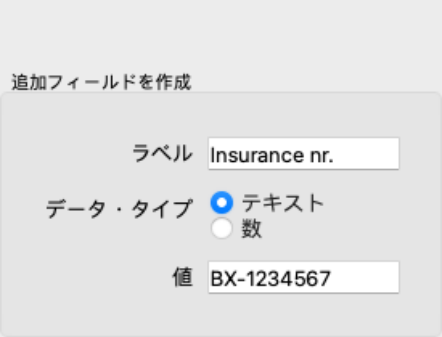
症例 セクションでは、患者自身とは関係のない、症例の背景情報を入力することができます。
Author info グループには、この案件を作成した人の名前を入力できます。ほとんどの場合、これはあなたなので、あなたの情報はすでに自動的に入力されています（他の人からケースを受け取り、それを引き継ぐ場合は、*Me* ボタンを押してください）。著者情報は、患者ケースを*Patient* または*Colleagues* のグループ選択の下に配置するために使用されます。
Case groups グループでは、標準のグループから1つを選択するか、スペースまたはセミコロンで区切られた独自のグループ名を記入することができます。
ケース背景 グループは、このケースがセミナーや雑誌などから発信されており、ケースの出所を覚えておきたい場合に便利です。

カスタムデータフィールドの追加

患者さんに入力できる標準的な情報だけでは不十分な場合は、自分で項目を追加することができます。これにより、個人の働き方に合わせて、あらゆる情報を簡単に管理することができるようになりました。

案件情報に新しい項目を追加する場合は、画面右側の「＋」ボタンを押します。

これで、新しいフィールドの名前と値を入力することができます。



新しいフィールドを追加すると、患者情報を編集するたびに、フィールドが自動的に表示されます。この例では、2つの新しいフィールドが追加されています。

新しい情報は、Caseモジュールの患者情報セクションにも表示されます。

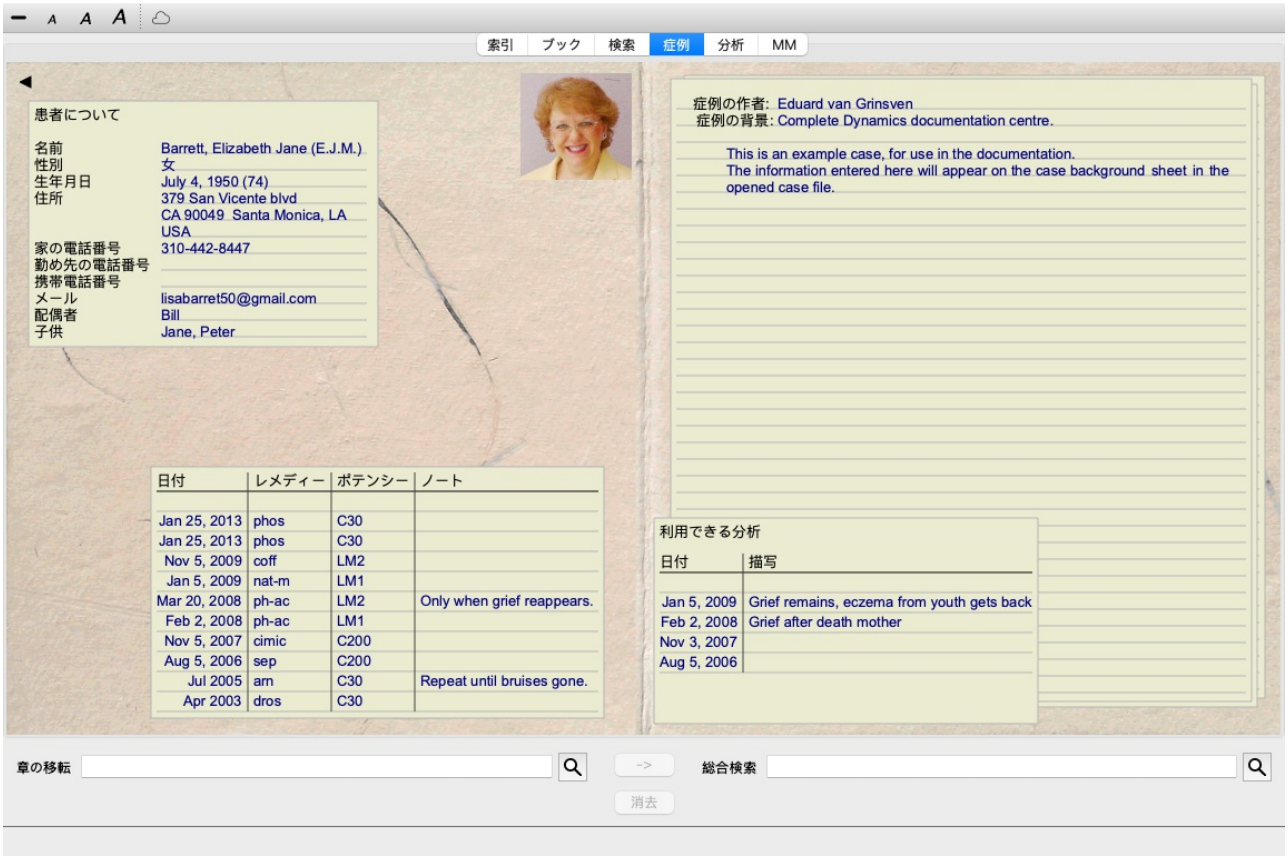
お客様の個人情報は、使用されるケースがなくなると自動的に消去されます。

ケースを開く

既存のケースファイルをリストで選択し、*Open* ボタンをクリックすると、そのファイルを開くことができます。 (メニューオプション*症例 / 症例を開く*, *control-O*).
また、リスト内のエントリーをダブルクリックすることもできます。
新しいケースを作成すると、そのケースは自動的に開かれます。

ケースファイルを開くと、実際のケースファイル内にあるような内容も表示されます。
- 患者情報を記載した紙
- 処方箋のある用紙です。
- ケースファイルに含まれるすべての分析結果の概要を記載したフォーム。
- 分析ごとに1枚の紙を用意する。
- 事件の背景を書いた紙1枚

例



開いている案件を閉じるには、左上の小さな矢印◀をクリックします。 (メニューオプション*症例 / 症例を閉じる*, *control-C*, ポップアップメニューオプション*症例を閉じる*).

処方箋の管理

新しい処方箋を追加するには、処方箋の上部にある空の行をダブルクリックします。 (メニューオプション*症例 / 処方の追加*, *control-X*, ポップアップメニューオプション*処方の追加*).
新しいダイアログが表示され、処方箋に関する情報を入力することができます。

The checkbox For future use can be used to indicate that you have not prescribed the remedy for immediate use, but have already given it to the patient for possible use in the future.

月または日が不明な場合は、単に0を記入する。
処方箋を削除するには、リストで選択し、次に処方箋を削除します。 (メニューオプション*症例 / 処方の削除*, ポップアップメニューオプション*処方の削除*).
リスト内のエントリーをダブルクリックすると、処方箋を編集することができます。 (メニューオプション*症例 / 処方の修正*, ポップアップメニューオプション*処方の修正*).

分析の管理

メニューのオプションで新しい分析を追加するか、分析インデックスの上部にある空の行をダブルクリックすることができます。 (メニューオプション*症例 / 分析を付け加えて*, *control-A*, ポップアップメニューオプション*分析を付け加えて*).
新しいダイアログが表示され、解析に関する情報を入力することができます。

月または日が不明な場合は、単に0を記入する。

一覧で選択し、「Delete analysis」で削除します。 (メニューオプション*症例 / 分析を削除する*, ポップアップメニューオプション*分析を削除する*).
リスト内のエントリーをダブルクリックすると、分析結果を編集することができます。 (メニューオプション*症例 / 分析を編集...*, ポップアップメニューオプション*分析を編集...*).
解析をコピーして、新しい解析の基礎にする場合は、解析の複製を使用します。 (メニューオプション*症例 / 分析を複製する*, *control-D*, ポップアップメニューオプション*分析を複製する*).
解析を別のケースに移動するには、メニューの「解析をケースに移動する」を使用します。 (メニューオプション*症例 / 分析を症例に移す*, ポップアップメニューオプション*分析を症例に移す*).

リスト内の解析の一つをクリックすると、この解析が*Analysis モジュール*で使用される解析になります（セクション*Analysis* を参照）。

印刷

自分のケース、またはその一部を印刷することができます。 (メニューオプション*症例 / プリントする*, *⌘-P*, ポップアップメニューオプション*プリントする*).
ケースの印刷は、ケースを開いた後にのみ可能です。

印刷したいものを選択するダイアログが表示されます。

ケースカバー このオプションをオンにすると、印刷の最初のページに患者情報と処方箋の概要が表示されます。

現状分析	現在選択されている分析結果のみを、*Analysis*モジュールで*使用されている設定で印刷したい場合は、このオプションを選択します。*。
全分析	すべての分析結果を印刷する場合は、このオプションを選択します。
分析なし	分析結果を印刷しない（ケースカバーのみ）場合は、このオプションを選択します。
分析内容	このオプションをチェックすると、各分析に入力した情報（診断、メモ）が印刷されます。
ルーブリックとレメディー	このオプションをチェックすると、すべての分析プリントに、分析に使用されたルーブリックのすべての救済措置の概要が含まれるようになります。 著作権の関係上、ルビは最大20枚までしか印刷されませんので、ご了承ください。20枚以上のルビを印刷した場合、救済措置の多いルビは救済措置が記載されない。
カラー	カラーで印刷する。チェックを入れないと、モノクロプリンターに最適化された印刷が行われます。
プリンターへの印刷	プリンターに直接印刷する場合は、このオプションを選択します。
PDFファイルへの書き込み	PDFファイルへの書き込みを行う場合は、このオプションを選択します。
HTMLファイルへの書き込み	HTMLファイルに書き込む場合は、このオプションを選択します。出力の一部を他の文書にコピーする場合などに便利な形式です。
クリップボード	このオプションを選択すると、コンピュータのクリップボードに分析結果の画像が作成され、他のアプリケーションに含めることができます。
画像ファイル	解析画像をファイルに書き込む場合は、このオプションを選択します。

複数のケースの概要を印刷

ケースを開いていない場合は、複数のケースの概要を印刷できます。(メニューオプション*症例 / プリントする*, *⌘-P*, ポップアップメニューオプション*プリントする*).
例えば、あなたの患者を監視する同僚のためにリストを作成したい場合、これは実用的です。そして、過去6ヶ月間に診た患者の名前と生年月日だけで、治療薬の処方リストを作成することができます。
印刷ダイアログのオプションについては、これ以上説明する必要はありません。

パスワードによる保護

外出先から患者さんの情報を保護することができます。

このため、パスワードを設定することができます。(メニューオプション*症例 / 症例データベース / パスワードを変更する*).

パスワードが設定されている場合、*ケースモジュール* に新しいボタン🔒が表示されます。
そのボタンを押すと、すぐにケースモジュールがロックされ、開くにはパスワードの入力が必要です。

また、しばらく使わないでいると、自動的に案件情報をロックすることも可能です。
自動ロックするまでの時間は、*Preferences* の設定で、自分で設定することができます。(メニューオプション*全般 / 環境設定*).
0分に設定すると、自動ロックは行われません。

パスワードの設定には十分な注意が必要です。あなた以外に、あなたのパスワードを知っている人はいません。パスワードを忘れたら、家の鍵を失くしたのと同じことで、もうアクセスできない。

アーカイブと削除

アーカイブ事例

症例一覧に表示されなくなった症例は、アーカイブすることができます。(メニューオプション*症例 / アーカイブケース*).
ケースをアーカイブすると、グループ*Archived* に表示されます。

アーカイブされている間でも、ケースを開くことはできます。ケースに何らかの変更を加えると、そのケースは自動的に*Archived* グループから削除され、他のアクティブなケースと一緒に戻されます。

複数の古いケースをアーカイブすることができます。(メニューオプション*症例 / 古いケースをアーカイブする*, ポップアップメニューオプション*古いケースをアーカイブする*).
開いたダイアログで、月数を指定することができます。指定された月数の間、変更されていないすべてのケースをリストで表示します。次に、リストで選択されているすべてのケースをアーカイブすることができます。

ケースファイルの削除

ケースファイルを保管する必要がなくなった場合は、削除することができます。(メニューオプション*症例 / ケースを削除*).
ケースは、アーカイブされた後にのみ削除することができます。

また、アーカイブされた古いケースを自動的に削除させることも可能です。*Preferences* の設定にそのためのオプションがあります。デフォルトでは、アーカイブされたケースは自動的に削除されません。

自動バックアップ

意図せずケースファイルを削除してしまった場合、バックアップから復元することができます。(メニューオプション*症例*

/ 症例データベース / バックアップからケースを復元する).

バックアップは自動的に行われます。

- この1ヶ月間、毎日です。
- 毎月、この1年間。
- 1年経過すると、バックアップは永久に削除されます。
- なお、バックアップはお客様のコンピュータのローカルに保存されます。

クラウドサーバー

はじめに

診療に複数のパソコンを使用している場合、それらのパソコン間で症例情報を同期させておくとよいでしょう。
これにより、どこにいても常に最新の案件情報を入手することができます。外出先でも、スマホやタブレットで。

当社のクラウドサーバーは、ケースを自動的に同期させるための柔軟で簡単な仕組みを提供します。

他の多くのクラウドソリューションとは異なり、Complete Dynamicsは、インターネット接続の有無にかかわらず使用することができます。
インターネットに接続されていない場合、すべてのケースはあなたのデバイスにローカルに保存されます。あなたが行ったすべての変更は、ローカルに保存されます。
インターネットに接続できる環境であれば、クラウドサーバー経由で自動的にケースを同期させることができます。

インターネットに接続していない状態で、別の端末でケースに変更を加えても、何も変わりません。クラウドサーバーへの接続が可能になると、異なるデバイスで行ったすべての変更を統合することができます。同じ案件を担当していたとしても

クラウドサーバーは何をするところですか?

クラウドサーバーの目的は、このサービスを利用するすべてのデバイスで、お客様のケースを同一に保つことです。

1つのデバイスで追加したものは、他のデバイスでも追加されます。
1つのデバイスで変更したことは、他のデバイスでも変更されます。
1台のデバイスで削除したものは、他のデバイスでも削除されます。
ケースをアーカイブすることは、他のデバイスでもアーカイブされることを意味します。

クラウドサーバーを利用するメリット

- どのようなデバイスを使用していても、自動同期後にあなたのケースが最新の状態になります。
- ライセンスに含まれるすべてのデバイスで動作します。
- インターネットに接続していない状態でも作業が可能です。
- インターネットが利用できるようになれば、自動的に同期が行われます。
- パソコンが壊れたときのために、常にケースのコピーを用意しています。

クラウドサーバーは、どのようなデバイスで利用すればよいのでしょうか?

これはあなた自身の選択です。

パソコン1台で利用する場合、クラウドサーバーを利用することでケースのコピーを確保することができます。万が一、パソコンが壊れても、新しいパソコンに自動的にケースを転送することができます。

2台以上のデバイスを使用する場合、クラウドサーバーは1台のデバイスで行った変更を他のデバイスに適用することができます。

クラウドサーバーを利用するかどうかは、利用するデバイスごとに決めることができます。例えば、自宅やオフィスのパソコンにはクラウドサーバーを使うが、スマホには使わないということも可能です。

セキュリティとプライバシー

私たちは、セキュリティとプライバシーが非常に重要であることを認識しています。

セキュリティ

あなたの大切なデータを守ります。

- クラウドサーバーへのアクセスは、お客様名義の有効なライセンスがあるデバイスからのみ可能です。
- 他のデバイスがあなたのケースにアクセスすることはありません。
- あなただけが知っている特別なパスワードが必要です。
- サーバーとの接続は暗号化されています。

プライバシー

お客様は、当社のクラウドサーバを利用する義務を負いません。患者さんの情報を遠隔地のコンピュータのどこかに保存しておきたくないという気持ちは、よくわかります。
クラウドサーバーを利用するかどうかは、お客様の判断にお任せします。

私たちは、あなたとあなたの患者さんのプライバシーを十分に尊重します。
お客様のデータを使用したり、加工したりすることは一切ありません。クラウドサーバーが行うのは、あなたのデバイスとの間のコピーだけです。

クラウドサーバーのセットアップ

クラウドサーバーでデバイスを使い始めるには、まず、アクティベーションを行う必要があります。
アクティベーションは、*Preferences*, section*Case* で行います。 (メニューオプション*全般 / 環境設定*). ここで、*Use Cloud Server* というオプションを選択することができます。

初めてクラウドサーバーを起動する場合は、自動的にケースデータを保護するための暗証番号の作成が案内されます。この暗証番号は、後でいつでも変更できます。 (メニューオプション*症例 / 症例データベース / クラウドピンを変更します*).
クラウドPINは、他のデバイスをアクティベートする際に必要になりますので、忘れないようにしましょう。

クラウドサーバーの状態

Case モジュールのページ上部には、サーバーの接続状態を示すアイコンが表示されます。

- クラウドサーバーが利用可能です。
- コミュニケーション中。
- インターネットに接続できない、またはサーバーが一時的にオフラインになっている。
  アイコンが表示されていない場合は、クラウドサーバーが未設定です。

アイコンをクリックすると、すぐに同期が実行されます。

制限事項

クラウドサーバーの目的は、あるデバイスで行われたすべての変更を、他のすべてのデバイスに適用することです。しかし、これは常に可能なことではありません。
制限の内容を把握するのに役立ちます。

特にオフラインで作業している場合、クラウドサーバーへの接続が再確立する前に、同じ案件を別の端末で変更することが起こり得ます。通常であれば、ほとんど問題になることはないでしょう。

事件の情報は、いくつかの独立した要素で構成されています。

- 患者さんに関する情報です。
- 本件に関する情報です。
- それぞれの分析
- 各レメディの処方

これらの要素の1つを変更し、別のデバイスの別の要素に変更を加えることができます。
しかし、例えば2つのデバイスで同じ解析を変更した場合、最後に変更したものだけが保存されます。
あるデバイスのある分析を、別のデバイスの別の分析に変更しても、問題はありません。
あるいは、あるデバイスでレメディー処方を追加し、別のデバイスで別のレメディー処方を追加しても、問題はありません。

バックアップ

クラウドサーバーに保存されている案件は、お客様の端末の案件をコピーしたものです。元データはお客様の端末にあります。

パソコンのバックアップは、常に自己責任で行ってください。

ケースシェアリング

同僚とケースを共有する

多くの場合、自分のケースや分析結果を同僚や学生、教師に渡したり、インターネットのフォーラムで発表したりしたいと思うかもしれません。
Complete Dynamicsは、症例の全体または一部をファイルとしてエクスポートすることができます。このファイルを同僚に渡して、その人のパソコンに取り込むことができます。あなたの同僚は、このために*Practitioner Edition* のライセンスを必要としません。無料の*Browser Edition* でも、ファイルをインポートして見ることができます。
また、症例共有は匿名で行うことができるため、患者さんとあなたのプライバシーを確保することができます。
輸出入はどのように行われるのか、以下に説明します。まず、Case sharingのもう一つの重要な特徴について見ていきます。

複数のコンピュータ間でケースを同期させる

手動同期は、クラウドサーバー経由の自動同期を使用しないことを選択した場合にのみ関連します。

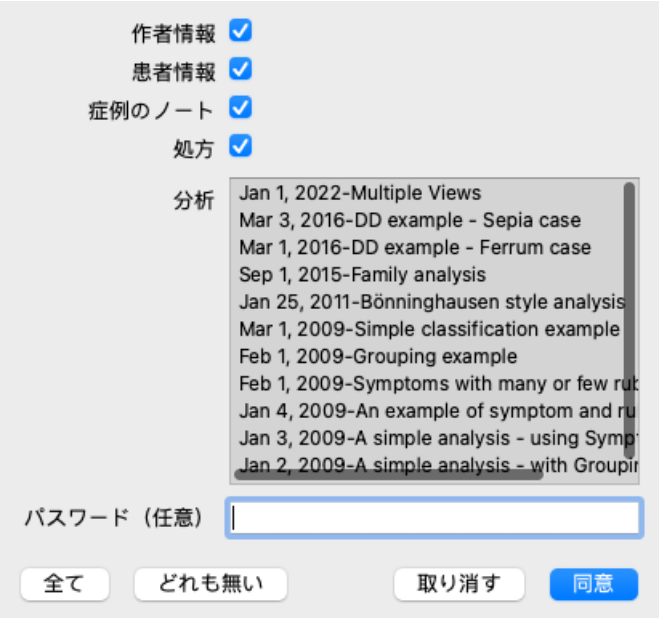
ケース共有では、あるコンピューターから別のコンピューターへケースを持ち運ぶための2つの強力なオプションが用意されています。

最も簡単な方法は、一方のコンピュータで症例データベースの完全なコピーをエクスポートし、もう一方のコンピュータでそれをインポートすることです。
これは、もう一方のコンピュータに保存されているすべてのケース情報を置き換えるものです。
このオプションは、ケースデータベースのバックアップを定期的に作成する場合にも使用できます。

より高度な方法としては、1台のコンピュータで修正したケースだけをエクスポートし、2台目でインポートする方法があります。この場合、変更された情報だけがコピーされ、2台目のコンピュータのデータベースにマージされる。この強力な同期メカニズムは、両方のコンピュータでケースが変更された場合にも機能します。

1つのケースをエクスポートする

1つのケースをエクスポートするには、*ケースモジュール* を開き、エクスポートするケースを選択します。
次に、オプションのExport current case...を使用します。 (メニューオプション*症例 / 症例通信 / 当面の症例をエクスポート...*, *control-Y*, ポップアップメニューオプション*症例通信 / 当面の症例をエクスポート...*).
ダイアログが開き、エクスポートするケースの部分を選択することができます。

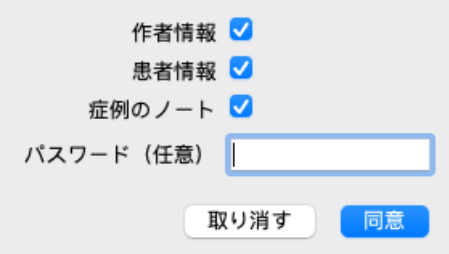


著者情報	このオプションをオフにすると、エクスポートに名前が含まれなくなります。
患者様へのご案内	このオプションをオフにすると、患者は匿名化されます。患者さんの性別と生年のみ使用します。 このオプションをオンにすると、患者のすべての個人情報がエクスポートに含まれます。
ケースノート	このオプションをオンにすると、案件の背景情報がエクスポートに含まれます。(事例背景、メモ、グループ）。
処方箋	このオプションをオンにすると、作成した処方箋がエクスポートに含まれます。
分析結果	ケース内のすべての分析について、エクスポートするかどうかを決定することができます。行をクリックすると、選択のオン/オフが切り替わります。*All* と*None* のボタンを使って、すべての分析結果を選択するか、まったく選択しないかを簡単に選択することができます。
パスワード	ここに値を入力すると、エクスポートファイルがパスワードで保護されます。それを取り込むためには、誰かがパスワードを知らなければならない。インターネット上で公開したい匿名性の高い情報を除き、共有する情報にはパスワードを設定することをお勧めします。

準備ができたら、*OK* ボタンを押すと、任意のファイル名と保存先を聞かれます。
デフォルトのファイル名がすでに記入されていますが、好きな名前を選ぶことができます。

1つの解析結果をエクスポートする

1つの分析をエクスポートするには、分析を含むケースを開き、エクスポートする分析を選択します。
次に、メニューオプションのExport current analysis...を使用します。 (メニューオプション*症例 / 症例通信 / 当面の分析をエクスポート...*, ポップアップメニューオプション*症例通信 / 当面の分析をエクスポート...*).
ダイアログが表示され、解析と一緒にエクスポートするケースの部分を選択することができます。



各フィールドの意味については、上記の情報を参照してください。

複数のケースをエクスポートする

複数の案件を1つのファイルにまとめて書き出すことができます。(メニューオプション*症例 / 症例通信 / 複数のケースをエクスポート...*, ポップアップメニューオプション*症例通信 / 複数のケースをエクスポート...*).

症例が並んだリストで、エクスポートしたい症例をクリックで選択します。

マウスをエントリにドラッグすることで、範囲を選択することができます。

事例や分析結果をインポートする

他の人から症例や解析のエクスポートファイルを渡された場合、メニューの「インポート」を使って簡単にインポートすることができます。(メニューオプション*症例 / 症例通信 / インポート...*, *control-I*, ポップアップメニューオプション*症例通信 / インポート...*).

インポートするファイルの入力を求められます。
ファイルを選択すると、そのファイルがケースデータベースに取り込まれます。パスワードで保護されているファイルの場合、最初にパスワードの入力が求められます。

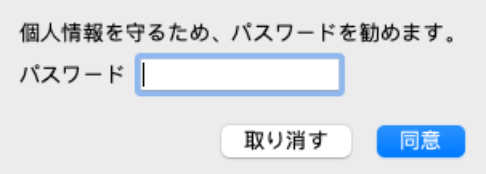
インポートしたケースは、ファイルに著者名がある場合は、グループ*同僚*で見つけることができます。そうでない場合は、グループ*その他*で見つけることができます。ケースを開いた後、ケース情報を自分で簡単に変更したり、分析を他のケースに移動させたりすることができます。(メニューオプション*症例 / 分析を症例に移す*).

症例データベース全体のエクスポート

症例データベース全体をエクスポートした場合、お客様名で登録されたライセンスを持つコンピュータでのみインポートが

可能です。

症例データベース全体をエクスポートするには、メニューオプションの「症例データベース全体をエクスポート...」を使用します。(メニューオプション*症例 / 症例通信 / 全ての症例 データベースをエクスポートしる。*, ポップアップメニューオプション*症例通信 / 全ての症例 データベースをエクスポートしる。*).
ダイアログが開き、このファイルを保護するためのパスワードを入力することができます（強く推奨します）。

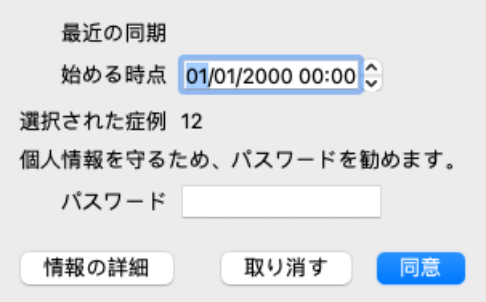


OK ボタンを押すと、ファイル名と保存場所を聞かれます。
ファイルを別のコンピュータに持っていき、そこでImportを行う。(メニューオプション*症例 / 症例通信 / インポート...*, *control-I*).

修正したケースをエクスポートする

修正した案件をエクスポートすることは、複数のコンピュータ間で案件情報を同期させる最も柔軟な方法です。

変更をエクスポートするには、メニュー オプションの [変更されたケースのエクスポート] を使用します。(メニューオプション*症例 / 症例通信 / 修正症例のエクスポート*, ポップアップメニューオプション*症例通信 / 修正症例のエクスポート*).
ダイアログが表示され、同期するものを指定することができます。



デフォルトでは、最後に同期をとった日付が記入されています。別の日時以降に変更されたものを同期させたい場合は、値を変更するだけです。
エクスポートに含まれるケースの概要を知るには、*詳細...* ボタンを押して、ケースとその最終修正時刻の一覧を取得します。

修正したケースをインポートする

修正した症例は、別のパソコンで取り込むことができます。(メニューオプション*症例 / 症例通信 / インポート...*, *control-I*, ポップアップメニューオプション*症例通信 / インポート...*).
ファイルを選択すると、必要な同期動作の情報を表示するダイアログが開きます。

ここで重要なのは、一番左の欄です。このカラムは4つの異なる値を持つことができる。

新規 このケースはローカルデータベースに存在しない。新たに作成されることになります。
交換 ローカルデータベースではケースは変更されませんが、エクスポートファイルのバージョンが新しくなっています。新しい情報で上書きされます。
マージ 筐体は2台のPCで改造しています。エクスポートファイルの情報は、ローカルデータベースの情報にマージされます。既存の情報は上書きされませんが、新しい情報がコピーされます。

無視 このケースは、両方のコンピュータのいずれでも修正されていないようです。何もしていない。

リスト内のどのケースに対しても、アクションを修正することができます。いくつかのケースをクリックして選択し、*無視*、*新規*、*置換*、*結合* のいずれかのボタンを押します。ボタン*Reset* を押すと、すべてのアクションが元の設定に戻されます。
変更された設定値は、元の設定値と異なることを示すために、色でハイライトされます。

アクションが明示的に*New* に設定されている場合、類似の症例がすでにローカル データベースに存在する場合でも、症例は新規症例としてコピーされます。インポート後、同じ名前のケースが2つ表示されるので、自分で確認することができます。通常、これは決して必要ではありません。オプション*Merge* は、いかなる情報も捨てません。

自動バックアップ

バックアップを容易にするため、プログラムは毎日一回、症例データベースの完全なエクスポートを自動的に作成します。これらのバックアップは過去7日間保存されます。これを使えば、プログラムが内部データベースをどこに保存しているか知らなくても、自分でバックアップを取ることができます。バックアップの場所や緊急時の復元方法について詳しくお知りになりたい場合は、サポート部門までお問い合わせください。(*メニューオプションヘルプ/ このソフトウェアについて、ご意見をおしえてください。*).

症例データベースの共有化

通常、あなたのケースは、あなた自身のコンピュータにしかないケースデータベースに保存されます。自分のケースの一部を他の人に公開したい、という状況もあるでしょう。

ケース共有 の機能により、選択したケースのエクスポートを行い、他の人がそれをインポートすることができます。この場合、インポートされた症例は他のユーザーの症例データベースの一部となります。

しかし、あなたのケースを他の人の個人的なケースデータベースに組み込むことを意図していない状況もあります。ここでは、*Shared Case Database* が解決策となります。

共有ケースデータベース は、個人用ケースデータベースの外部にあるデータベースファイルです。通常のケースデータベースと同じように、ケースを格納することができます。
ファイルは、*Documents* フォルダーの下の*Complete Dynamics* フォルダーに保存されます。
ファイルを渡したり、インターネット上に置いたりして、他の人と共有することができます。他のユーザーが自分のコンピューターにファイルをコピーすると、そのユーザーはデータベースを開くことができ、すべてのケースにアクセスすることができます。

意図しない利用から情報を保護するために、ファイルをパスワードで保護することができます。

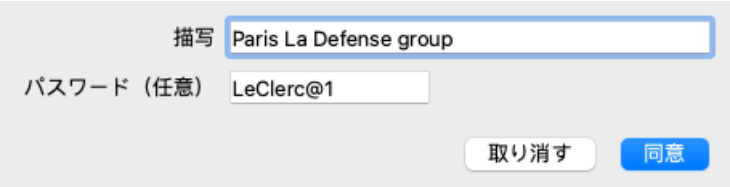
共有ケースデータベースを使用する場合。

- 同僚と一緒に、ケースについて話し合う勉強会です。
- 同僚たちの診療が休みの間、その同僚たちのためにサービスを提供する。
- 事例集を出版する。
- 複数人による案件を手がける。
- 研修機関で使用される、ケース集です。

共有ケースデータベースの新規作成

共有ケースデータベースを簡単に新規作成することができます。(メニューオプション*症例 / 症例データベース / 新しい共有ケースデータベースを作成する*, ポップアップメニューオプション*症例データベース / 新しい共有ケースデータベースを作成する*).

ダイアログが開きます。



共有ケースの使用目的について短い説明を入力できます。
患者さんの個人情報への意図しないアクセスを避けるため、パスワードの指定を強くお勧めします。

OK を押すと、*Complete Dynamics* フォルダに新しいファイルが作成されます。名前は、あなたの名前と、ダイアログフィールド*説明* に入力したテキストを元に作成されます。

新しい症例データベースが自動的に開かれます。

共有ケースデータベースを開く

共有ケースデータベースを開くことができます。(メニューオプション*症例 / 症例データベース / 共有ケースデータベースを開く*, ポップアップメニューオプション*症例データベース / 共有ケースデータベースを開く*).

ダイアログが開き、*Complete Dynamics* フォルダにインストールされているすべての Shared Case Databases の名前が表示されます。
正しいファイルを選択し、*OK* を押してください。

どのケースデータベースを開いているかが一目瞭然です。

共有案件データベースを開いている間、関連する情報を変更することができます。(メニューオプション*症例 / 症例データベース / ケースデータベース情報の編集*, ポップアップメニューオプション*症例データベース / ケースデータベース情報の編*

集).

グループ*Patients* の下には、自分が作成した症例があることに注意してください。他人の Shared Case Database を使用する場合、多くの場合、*Colleagues* グループでケースを見つけることができます。

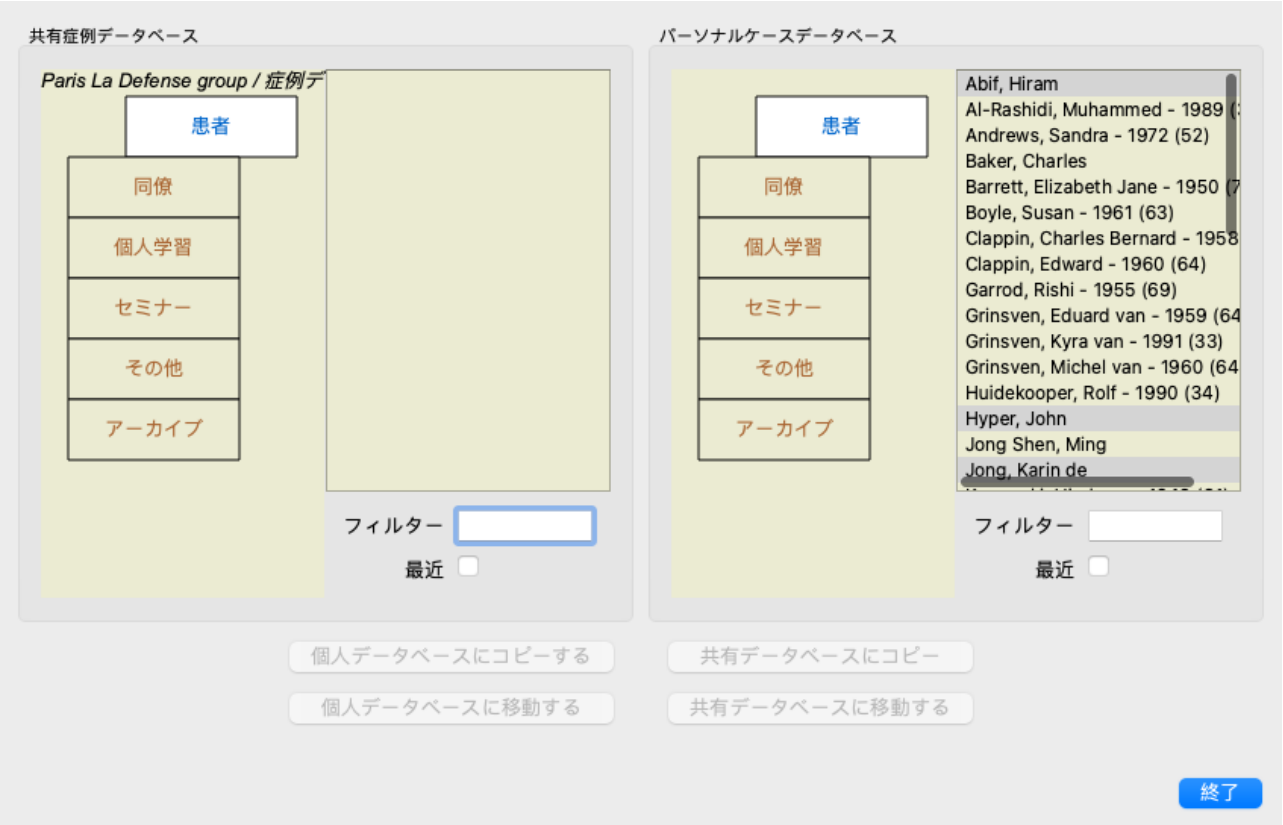
いつでも個人のケースデータベースに戻ることができます。(メニューオプション*症例 / 症例データベース / 標準ケースデータベースを使用する*, ポップアップメニューオプション*症例データベース / 標準ケースデータベースを使用する*).

ケースの転送

共有ケースデータベースは、個人のデータベースと全く同じように機能します。つまり、いつもと同じようにケースを作成することができるのです。

また、*Case Sharing* のすべての機能を使用して、ケースをエクスポートおよびインポートしたり、同じ Shared Case Database を使用している他の人と変更内容を同期させたりすることができます。

個人用ケースデータベースとの間でケースを素早く移動できる、非常に強力な仕組みが追加されました。(メニューオプション*症例 / 症例データベース / トランスファーケース*, ポップアップメニューオプション*症例データベース / トランスファーケース*).



左側には、開いている「共有ケースデータベース」のケースが表示されます。右側には、あなたの個人的なケースデータベース内のケースが表示されます。
下部のボタンで、選択したケースを素早くコピーしたり、反対側に移動させたりすることができます。

ケースの選択は通常と同じように行われます。このダイアログでは、1つのケースではなく、複数のケースを選択することができます。
ケースをクリックすると選択・解除できます。
マウスをエントリにドラッグすることで、範囲を選択することができます。

すでに相手側に存在するケースをコピーする場合、相手側のケースはコピーするケースに置き換わります。

解析モジュール

クイックスタート

せっかちなあなたのために...

解析に関するヘルプをお読みいただくと、より効率的に作業を進めることができますので、ぜひご一読ください。
後で読んで、すぐにでも始めたいという方は、この要約を読めばすぐにでも始められるはずです。

ケースから始めるか否か?

多くの場合、分析は患者さんに関連するものであり、後で参照するために保存しておくとよいからです。
このような場合、まずケースを作成するか、既存のケースを開いておくと、分析結果が適切な場所に保存されるため、お勧めです。
一度開いたケースには、簡単に新しい分析を追加することができます。
ケースと分析の整理の仕方についての詳しい情報は、セクション*ケースモジュール*をお読みください。

実際のケースと関係なく、簡単な分析を行いたい場合は、ケースを開いたり作成したりしないだけで、デフォルトのケースが自動的に作成され (*Unnamed case*) 、分析結果がそこに保存されます。解析結果は、今日の日付でラベル付けされたそのケースで確認することができます。

ルーブリックの追加

分析にルーブリックを追加するのは簡単です。
まず、*Book* モジュールでルーブリックを選択します。明るい黄色で表示されたルーブリックが選択されています。
そして、Enterキーを押してください。 (メニューオプション*症例 / 追加*, *control-R*).
適切なルーブリックを見つけるには、*Find* モジュールが役に立ちます。

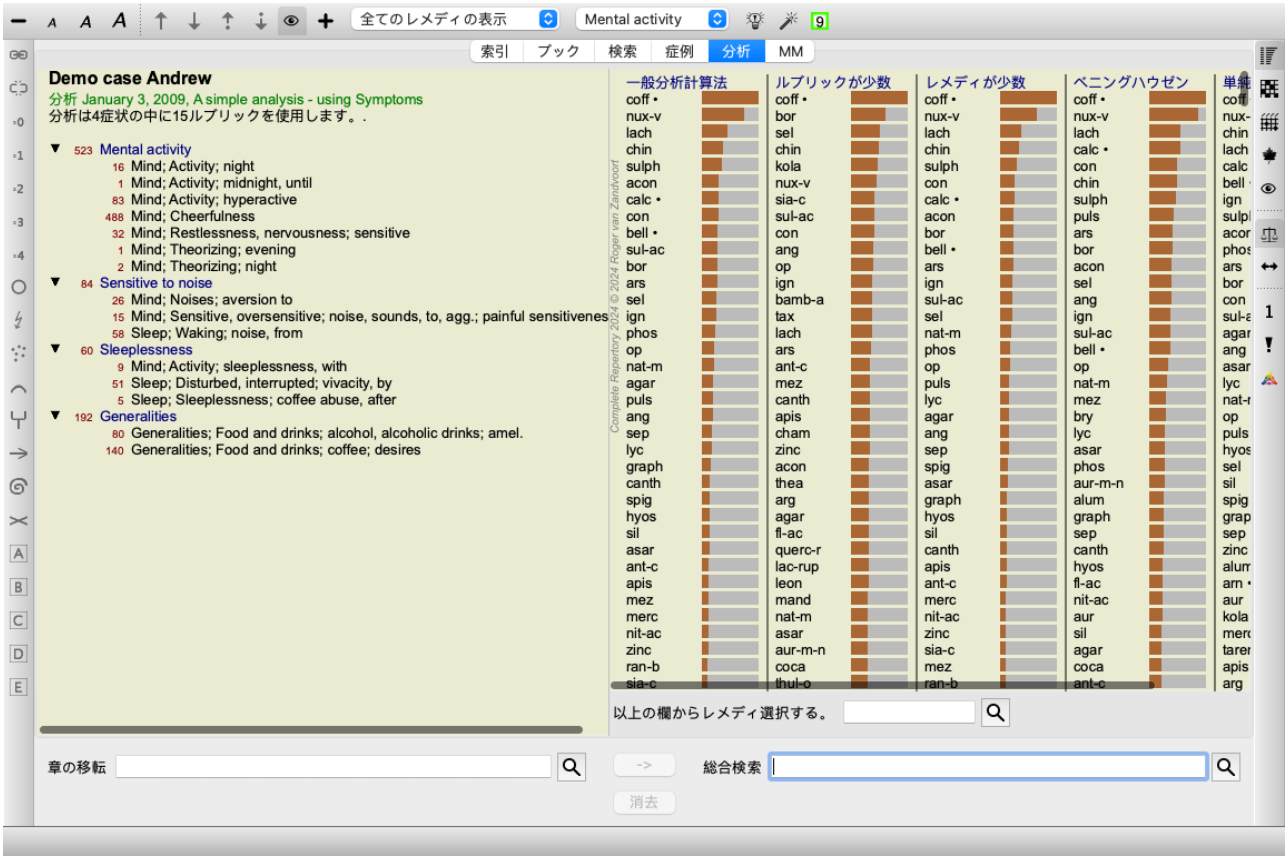
概要

メニューオプション	アクション
(メニューオプション*症例 / 新しい症例*, *control-N*).	分析なしで、新しいケースを作成します。
(メニューオプション*症例 / 分析を付け加えて*, *control-A*).	開いているケースに解析を追加する。
(メニューオプション*症例 / 分析に追加*, *control-S*).	解析に症状を追加する。
(メニューオプション*症例 / 追加*, *control-R*).	分析にレパートリー・ルーブリックを追加する。 ルーブリックを選択した後、*Book* または*Find* モジュールから実行します。

解析の作成

Analysis モジュールを開く

Analysis タブをクリックし、Analysis モジュールに移動します。 (メニューオプション*表示 / 分析*, *⌘-R*).
すでにケースを開き、分析を選択していると仮定すると、このような画面になります。



ウィンドウは2つのセクションに分かれています。
- この分析に使用された症状とルーブリックを紹介します。
- 解析結果
1つ目から順に詳しく説明します。

ここで使用されている例は、Case モジュールの 'Other' グループにあるデモケースの一部であることに注意してください。これらの例は、自由に遊んでいただいて結構です。Complete Dynamicsを起動するたびに、元のデモケースは「その他」グループに戻されます。

症状 vs ルーブリック

患者さんの情報を集めたら、レパートリーの中から患者さんの状況に合ったルーブリックを探すのが従来のやり方でした。この方法の大きな欠点は、患者の症状によっては1つのレパートリー・ルーブリックが必要であるが、他の症状では、その訴えを表現するいくつかのルーブリックを一緒に見つけることができることである。一つの症状を表すのに複数のルーブリックを使用した場合、その症状に合致するレメディーが自動的に強くカウントされるため、他の症状に比べて誇張された数値が得られる。
また、レパートリー言語という言葉で症状を表現することもない。特に、患者の症状を100％文字で表現できるルビがない場合、レパートリー・ルビ集は患者の訴えを正しく表現したものとは言えなくなる。

Complete Dynamicsは、SymptomsとRubricsを区別することで、これらの問題を解決しています。
まず、分析された患者さんの症状を入力することができます。第二に、レパートリー・ルビをこれらのSymptomsと結びつけることができる。
Analysisモジュールは、少ないルーブリックで表現されるSymptomもあれば、多くのルーブリックで表現されるSymptomもあることから、分析結果を自動的に補正することができる。ですから、患者さんの症状を十分にレパートリー・ルーブリックに表現するために必要なルーブリックの数を、分析結果に偏りが出ないように自由に選択することができます

*症状*は*患者*-*ルーブリック*は*レパートリー*の言語である。

Symptomsを使うメリットはまだまだあります。症状は患者の言葉であるため、個々のルーブリックの順位を明示的に操作することなく、症状に対して重要度の順位をつけることが容易にできる（これらを症状重み、ルーブリック重みと呼び、別項で説明する）。他にもメリットはありますが、それはご自分の目で確かめてください。

もちろん、素早くシンプルな解析を行うためには、Symptomを作成すると、必要ないオーバーヘッドが発生します。この場合、Symptomsを作らないようにすればいいのです。すべてのルーブリックは、自動的に「一般的な症状」の下に配置され、あなたには見えません。

一例を挙げます。以下は*Demo case Andrew* のスクリーンショットで、Symptoms を使用しない場合と使用した場合の2つです。

16 Mind; Activity; night
1 Mind; Activity; midnight, until
9 Mind; Activity; sleeplessness, with
83 Mind; Activity; hyperactive
488 Mind; Cheerfulness
26 Mind; Noises; aversion to
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitiveness to
1 Mind; Theorizing; evening
2 Mind; Theorizing; night
51 Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by
5 Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after
58 Sleep; Waking; noise, from
80 Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.
140 Generalities; Food and drinks; coffee; desires

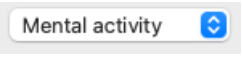
▼ 523 Mental activity
16 Mind; Activity; night
1 Mind; Activity; midnight, until
83 Mind; Activity; hyperactive
488 Mind; Cheerfulness
32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
1 Mind; Theorizing; evening
2 Mind; Theorizing; night
▼ 84 Sensitive to noise
26 Mind; Noises; aversion to
15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitiveness to
58 Sleep; Waking; noise, from
▼ 60 Sleeplessness
9 Mind; Activity; sleeplessness, with
51 Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by
5 Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after
▼ 192 Generalities
80 Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.
140 Generalities; Food and drinks; coffee; desires

バリアント Symptoms の方がより分かりやすい!

症状の作成とルーブリックの追加

ケースを開き、分析を選択した状態で、分析に新しい症状を追加することができます。 (メニューオプション*症例 / 分析に追加*, *control-S*, ポップアップメニューオプション*分析に追加*).
症状(およびそれに関連するすべてのルーブリック)を削除するには、マウスまたはキーボードで症状を選択し、Deleteキーを押します。 (メニューオプション*症例 / 削除*, ポップアップメニューオプション*削除*).
症状の詳細をダブルクリックすると、編集できます。 (メニューオプション*症例 / 症状を編集する*, ポップアップメニューオプション*症状を編集する*).

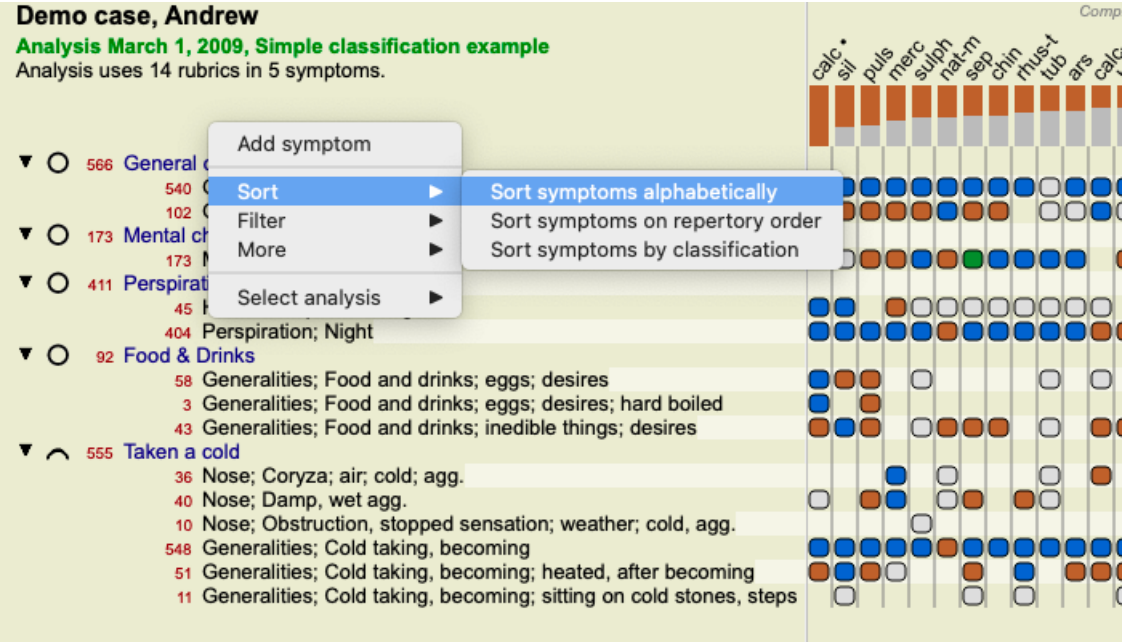
ルーブリックは常に*Book* または*Find* モジュールから追加されます。 (メニューオプション*症例 / 追加*, *control-R*, ポップアップメニューオプション*ルブリックを分析に追加*). ルーブリックを選択し、Enterキーを押す。 (メニューオプション*症例 / 追加*, *control-R*).
そして、症状リストで「現在」の症状として選択されている症状にルーブリックが追加されます。
画面上部のツールバーで、どのSymptomか確認できます。



ツールバーから、ルーブリックを追加する別の症状を簡単に選択することができます。Symptomsが定義されていない場合、「Generic symptoms」というテキストが表示されます。
分析からルーブリックを削除するには、リストでルーブリックを選択し、Deleteキーを押すことで行います。 (メニューオプション*症例 / 削除*).

症状・ルーブリックの整理

症状の整理順を変更することが可能です。Symptom を選択すると、その Symptom を移動することができます。 (メニューオプション*移転 / 上へ*, ツールバーボタン↑, メニューオプション*移転 / 下へ*, ツールバーボタン↓).
ポップアップメニューのいくつかのメニューオプションで、症状を自動的にソートすることができます。



ルーブリックは、同じメニューオプションとツールバーボタンで、次の症状や前の症状に移動することができます。Symptom 内では、Rubrics は常に*Book* の順番に従って並べられます。

結果

解析結果

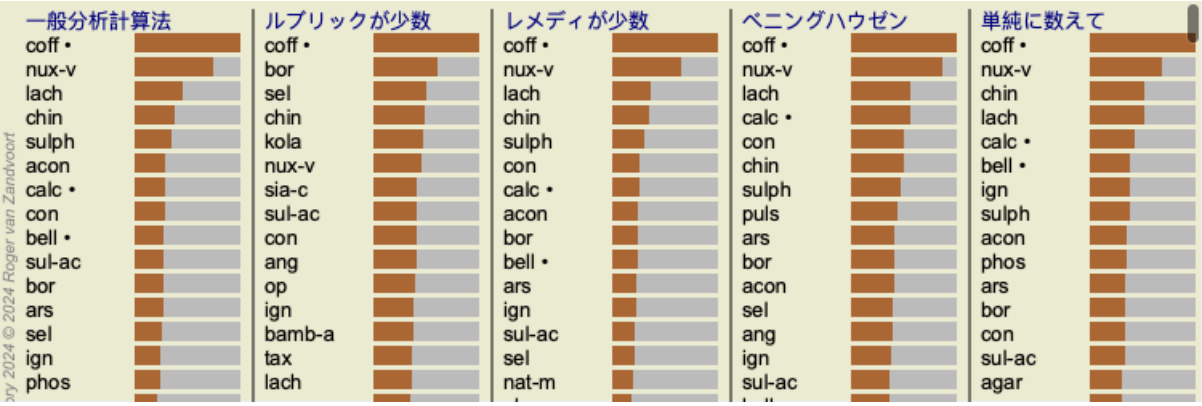
AnalysisにSymptomsとRubricsが追加されたら、次は結果を見ます。
これらの結果は、ウインドウの右側に表示されます。

解析結果の見方には、基本的に2つの方法があります。
- 同じ分析結果で、複数の結果を概観することができます。
- 1つの分析結果の詳細な概要を表示します。

また、個々のレメディーではなく、キングダム＆ファミリーを対象にした分析も可能です。

複数の解析結果を表示する

複数の結果の概要を選択することができます。(メニューオプション*分析 / 一覧表*, ツールバーボタン).
このように表示されます。



標準的な分析方法

この写真の標準的な結果は、次のような意味です。

標準	厳選されたパラメータに基づく標準的な解析結果です。
小型レメディー	この結果、大きなレメディー（ポリクレスト）よりも小さなレメディーの方が重要視されることになります。これは、レメディの出現率がレパートリー全体で不均等であることを補うものです。ポリクレストは分析から外されているわけではなく、優位性が低下しているに過ぎません。
小型ルーブリック	この結果、救済措置の少ないルビコンが救済措置の多いルビコンよりも重視されることになった。このように、ごく一般的なルーブリックよりも、より特徴的なルーブリックの方が結果に与える影響は大きくなります。

ベニングハウゼン　この分析では、レパートリー内の関連するルーブリックでの出現率に基づいてレメディがカウントされる。
ベニングハウゼン分析は、主に大規模で汎用的なルーブリックで使用されます。また、極ルビに対する補正もより重要です。詳しくは、*Analysis - Bönninghausen* をご覧ください。

シンプルなカウント　これは、昔、鉛筆と紙だけでやっていたような、とてもシンプルな数え方です。分析対象のすべてのルーブリックについて、すべてのレメディの階調を単純に加算している。

使用する分析手法の選択

Complete Dynamicsが提供する標準的な解析手法のすべてに興味があるわけではないのかもしれません。
どの分析を表示するか、どのような順序で表示するかを決めることができます。
環境設定 の設定で変更することができます。詳しくは、「*環境設定*」をご覧ください。

解析結果の詳細

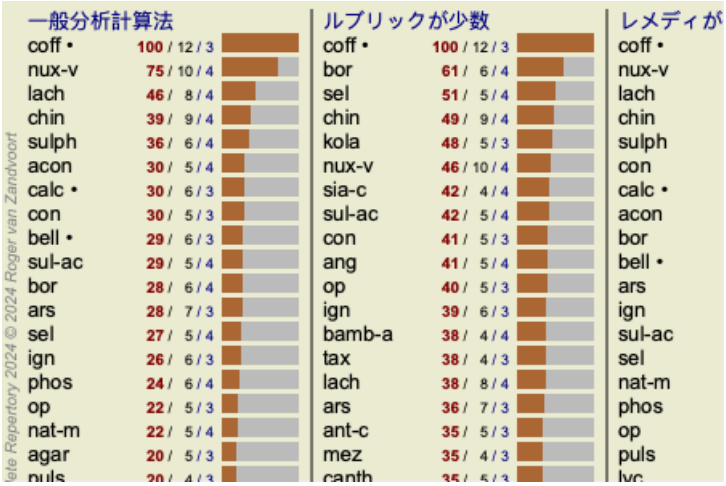
上の写真の結果を見ると、数字が一切印刷されていないことに気がつくと思います。すべてのレメディの後ろにバーが表示され、レメディの相対的な重要性を示しています。レメディーは重要なものから順に並んでいます。色のついた棒が短いほど、そのレメディーが与えられた結果において重要でないことを示しています。

レメディー名の上にマウスを移動させると、より詳細な情報がウインドウ下部のメッセージエリアに表示されます。
例えば、*chin*の上にマウスを移動させると、メッセージエリアが表示されます。

4: chin = China officinalis. Relative score 45, from 8 rubrics in 3 symptoms

これは、エントリ番号4、*chin* はレメディ *China officinalis* を意味し、最も高いレメディ（*coff*）と比較して相対重要度が45％であり、そのレメディは3症状で計8ルーブリックで発生したことを意味しています。
なお、解析結果「単純集計」の場合、相対スコアは与えられたレメディの評点の合計となります。その他の分析結果では、最も高い改善策に相対値100を与え、その他の値はこの最も高い値に対する相対値とする。

結果に数字を表示させたい場合は、ツールバーのボタンを押すことができます。(メニューオプション*分析 / 数字の表示*, ツールバーボタン **1**).
すると、このような結果になります。



状況によっては、結果を重要な順に並べ替えるのではなく、レメディが出現する症状やルーブリックの数に応じて並べ替えたい場合もあります。
そして、ツールバーのボタン **!** を押すと、「症状/ルーブリックの数で分析を並べ替える」という意味になります。(メニューオプション*分析 / ルブリックの数で順番を決める*, ツールバーボタン **!**).

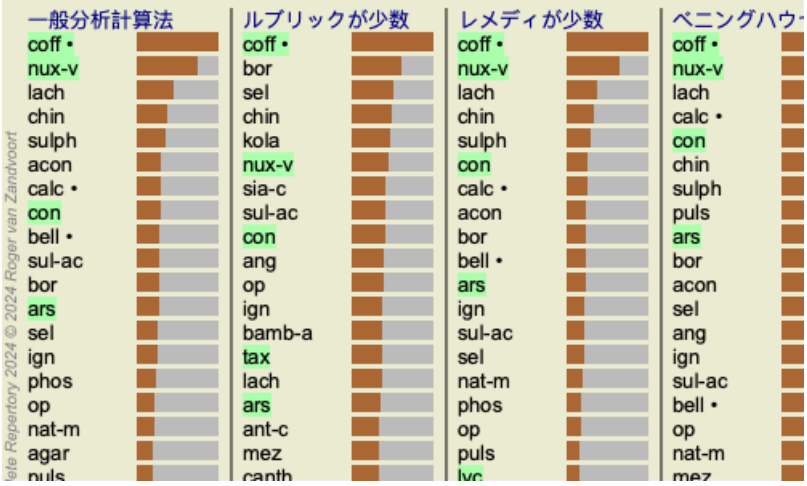
既に処方されている治療薬

すでに処方されているレメディーがすぐにわかるので便利なことも多い。
過去に処方されたことのあるレメディーには、名前の後ろに点がついています。

ルーブリックとレメディの関係性を見出す

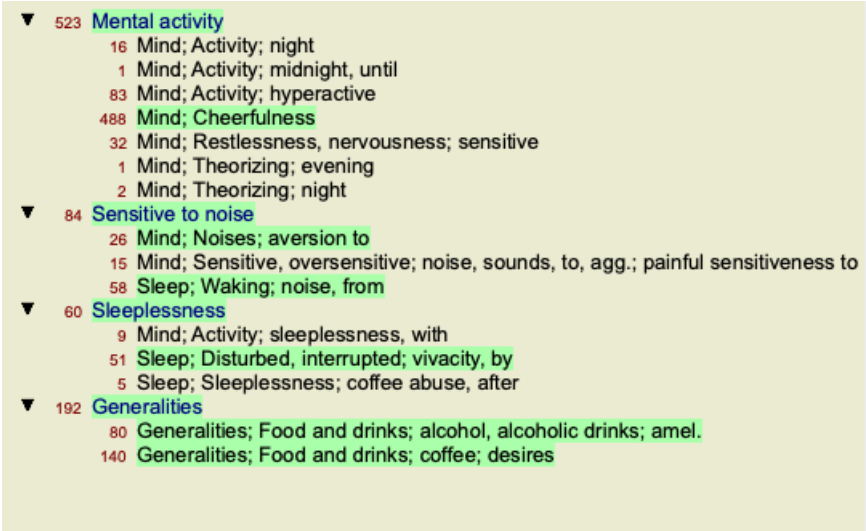
ルーブリックとレメディの関係は、結果内のルーブリック、レメディのどちらかをクリックすることですぐに確認することができます。
その際、対応するレメディーやルーブリックが強調表示されます。

例ルーブリック *Mind; sensitive, oversensitive; noise, to; painfull sensitiveness to* をクリックすると、結果エリアに次のように表示されます。



どのレメディーがそのルーブリックに入っているのか、一目瞭然です

例remedy*sulph* をクリックすると、次のような Symptom と Rubric の概要が表示されます。



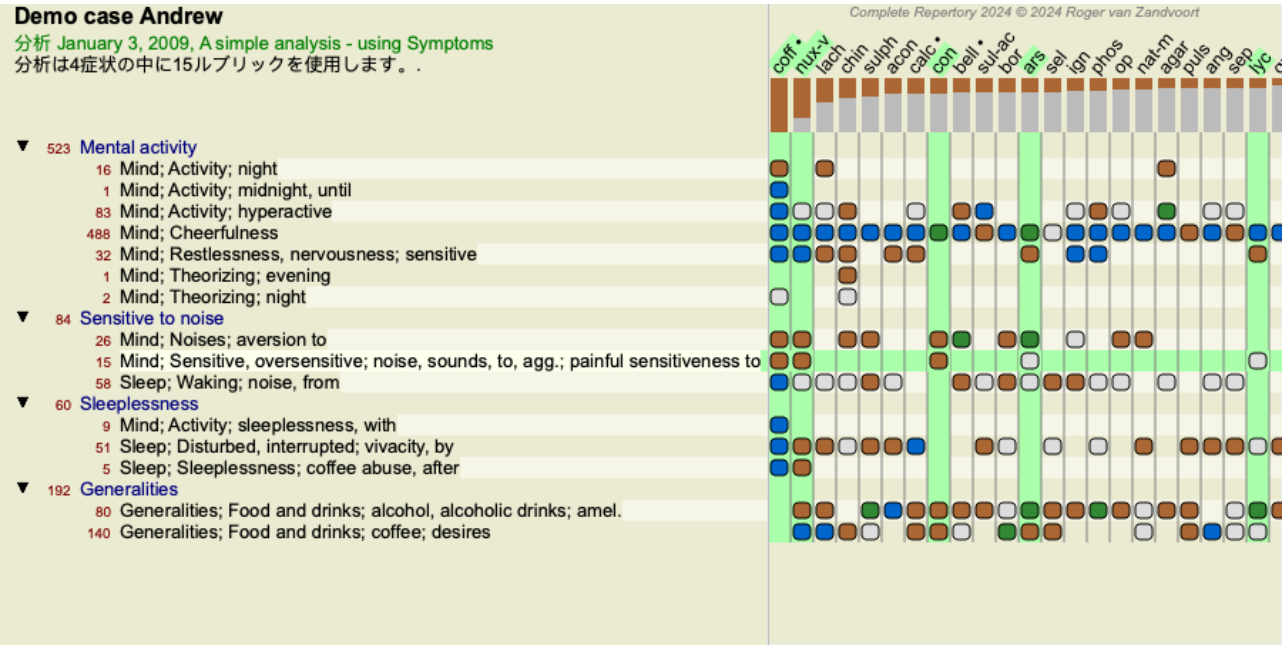
そして、どのルビで*sulph* が発生するのかをチラッと見ることができます。さらに、選択したレメディーは他の分析結果でもハイライト表示されるので、異なる分析での相対的な順位が一目瞭然です。

ここまでが、複数解析の概要です。それでは、1つの解析結果の詳細な概要を見てみましょう...

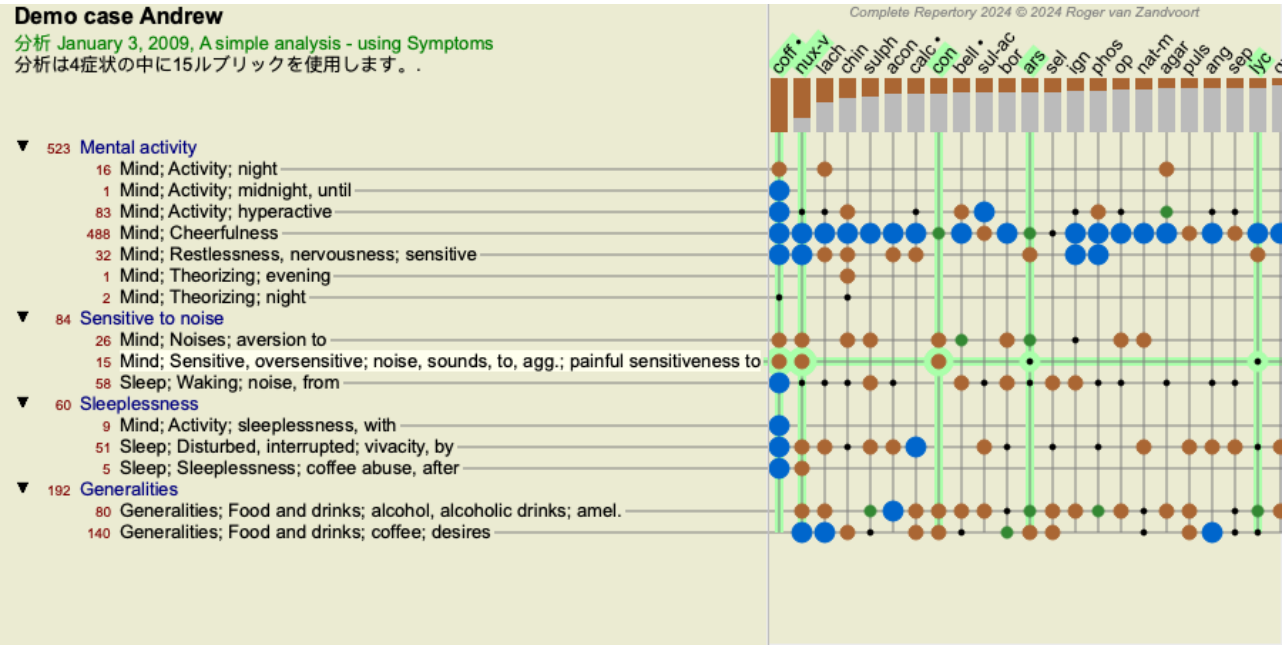
1つの分析結果の詳細な概観を表示する

1つの分析について、より詳細な概要を、好みに応じて、テーブル表示またはグリッド表示で表示することができます。(メニューオプション*分析 / 表（将棋盤）*, ツールバーボタン, メニューオプション*分析 / 表（碁盤）*, ツールバーボタン).

テーブルビューはこのようになります。



Gridビューはこのようになります。



こうすることで、ルーブリックとレメディの関係を一枚の絵で見ることができるようになるのです。もちろん、これは1つの解析に対してのみ可能です。
ラスターの下には、選択ボックスが表示され、利用可能な解析結果を切り替えることができます。

ブロックまたはドットは、ルーブリックで救済措置が発生することを示します。

- グレード1
- グレード2
- グレード3
- グレード4

箇条書きにマウスを乗せると、そのルーブリックのレメディの著者情報など詳細な情報が表示されます。下部のメッセージエリアに再度表示されます。*coff* と*Mind; cheerfulness* の交点にある青い弾丸にマウスを移動させると、以下の情報が表示されます。

coff = Coffea cruda (Bönninghausen, Gallavardin, Hering, Jahr, Knerr, Lippe, Vithoulkas)

より詳細な情報が必要な場合は、弾丸をダブルクリックすると、完全なレメディー情報を得ることができます。

ルブリック: MIND; CHEERFULNESS.

レメディの略語: coff, **レメディのグレード**: 4. ルブリックの中のレメディーの順位は488の内20です.
ホメオパシーで規格されたレメディの名前: Coffea cruda.
分類法: 界 *Plantae*, サブキングダム *Viridiplantae*, インフラ王国 *Streptophyta*, スーパー部門 *Embryophyta*, 部門 *Tracheophyta*, サブ部門 *Spermatophytina*, 綱 *Magnoliopsida*, スーパーオーダー *Asteranae*, 目 *Gentianales*, 植物の家族 *Rubiaceae*, 属 *Coffea*, 種 *Coffea arabica*.
APGIIの分類: : angiosperms, eudicots, core eudicots, asterids, euasterids I, Gentianales, Rubiaceae.

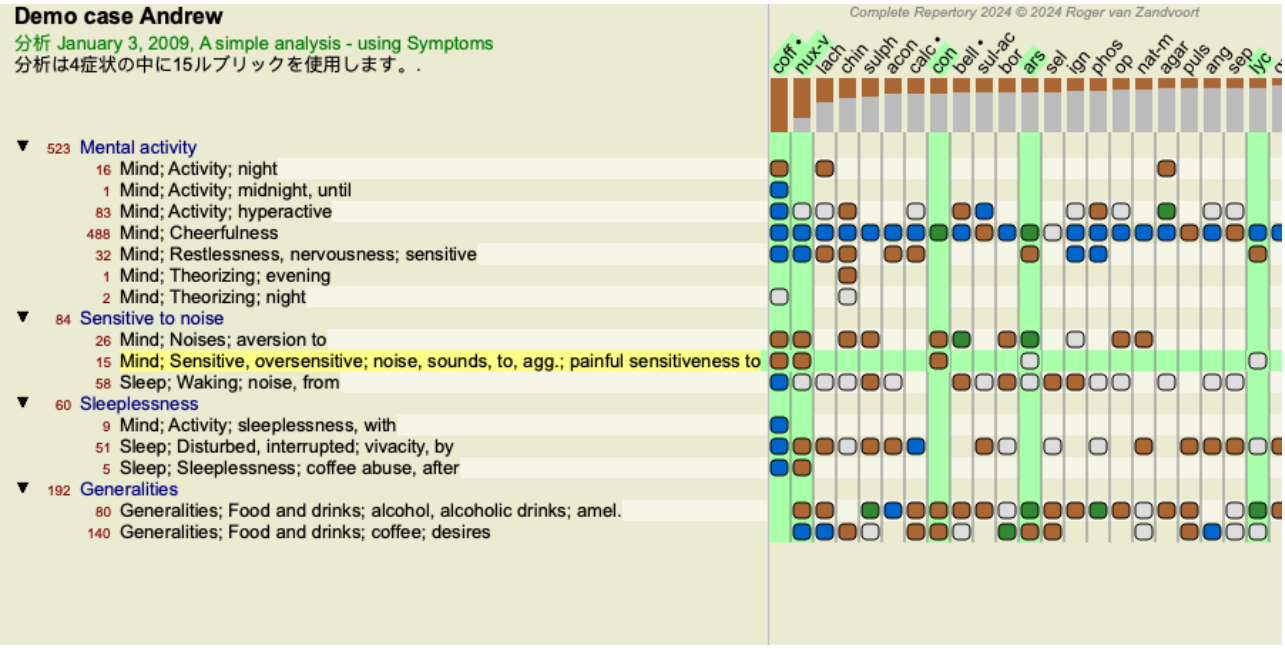
関係のあるルブリックに存在する回数: 5, **平均グレード**: 2.2.
(**同様のルーブリック**: 0, **サブルーブリック**: 5, **章**: 1).

ライブラリーのソース・コード.

Bönninghausen C M von	*Systematisches alphabetisches Repertorium der antipsorischen und nicht-antipsorischen Arzneien with handwritten annotations*, 1833.
Gallavardin J P	*Repertory of psychic medicines with Materia Medica*, 1897.
Hering C	*Analytical Repertory of Symptoms of Mind*, 1881.
Hering C	*Guiding Symptoms of our Materia Medica*, 1879.
Jahr G H G	*Handbuch der Haupt-Anzeigen für die richtige Wahl der homöopathischen Heilmittel*, Herrmann Bethmann, 1851.
Jahr G H G	*Systematisch-alphabetisches Repertorium der homöopatischen Arzneimittellehre*, Herrmann Bethman (Leipzig), 1848.

終了

結果エリアの上部にあるレメディー名にマウスを合わせると、先に示した複数の結果の概要と同じように、より詳細な情報を見ることができます。また、ルビやレメディをクリックすると、ハイライト表示させることができます。

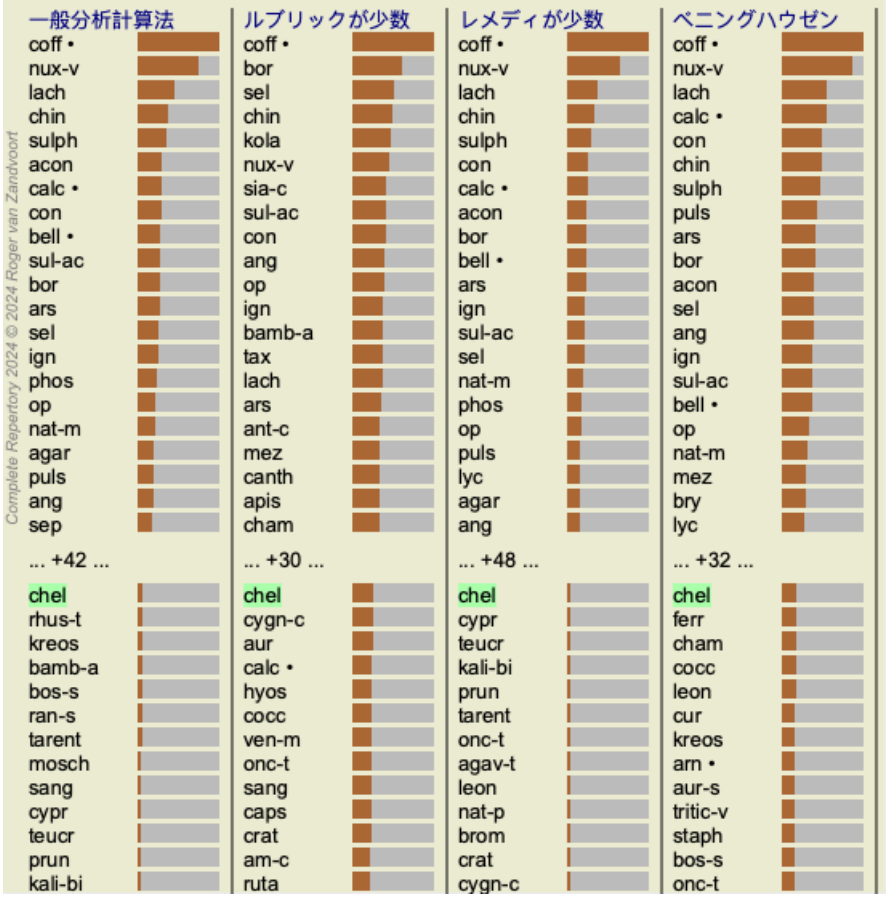


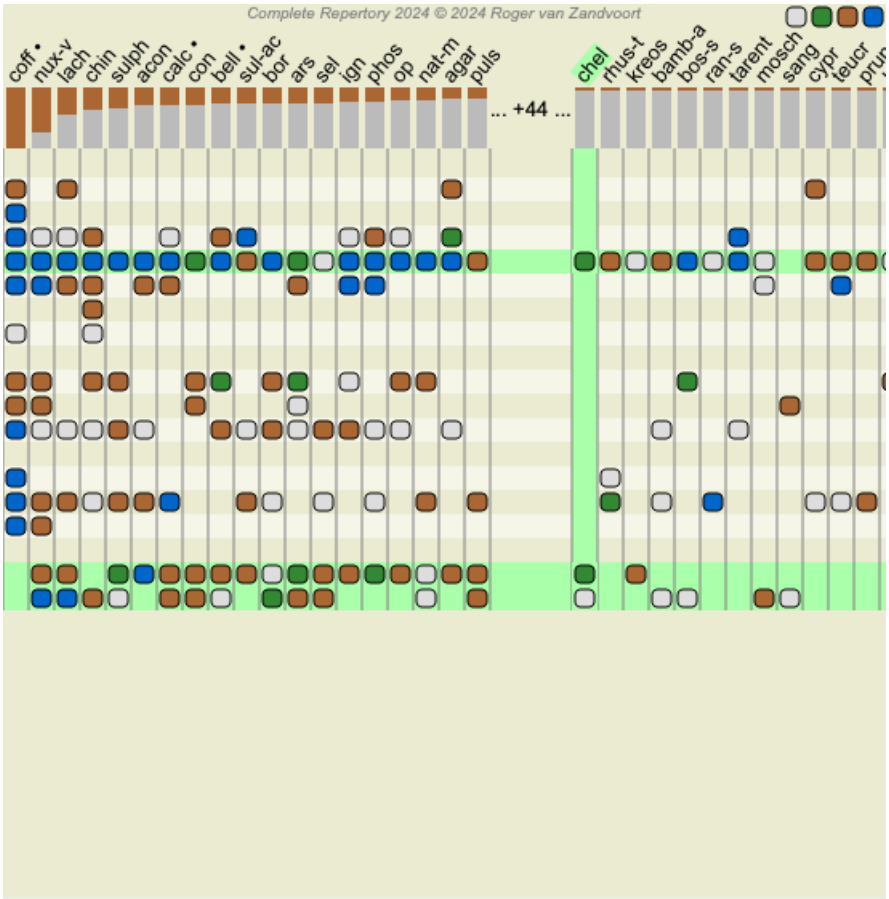
もちろん、ツールバーのボタン「BUTTON:analysisviewshownumbers」「BUTTON:analysisviewsortonrubrics」で数字を表示したり、ソート順を変更することも可能です。

解析結果の中から救済策を探す

分析結果の上位を見るだけでなく、その中で特定のレメディーがどの位置にあるかを正確に知りたい場合もあります。

あとは、分析結果の下にある*Locate remedy* の欄にレメディの略称を入力するだけです。
解析は必要に応じて再描画し、結果の一部をスキップして、お客様の救済策が表示されるようにします。
お探しのレメディーは、自動的にハイライト表示され、より見やすくなっています。



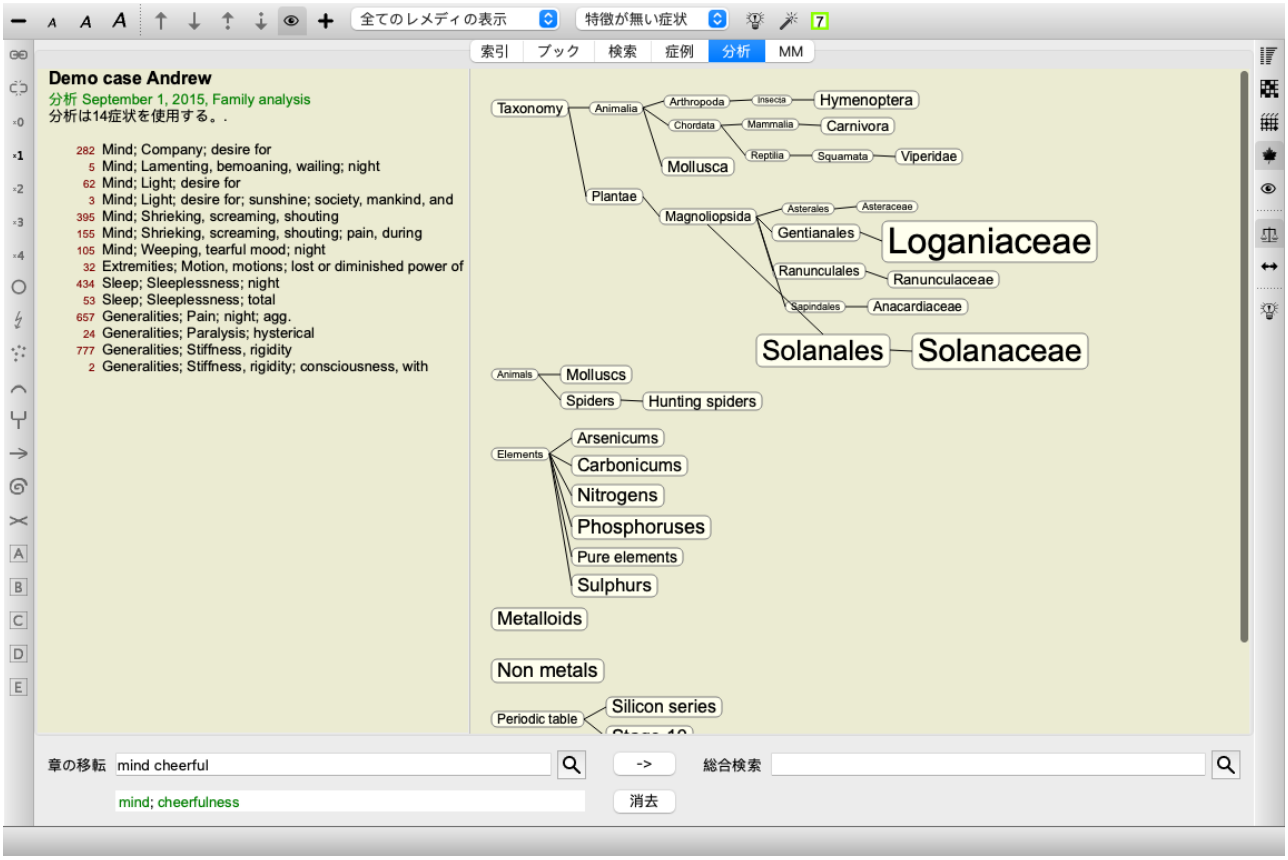


レメディの検索 の欄にレメディを入力する代わりに、結果グラフをクリックしてそこに入力することもできます。
この状態でEscapeキーを押すと、選択した内容がクリアされます。

キングダム＆ファミリーの分析

キングダム＆ファミリーの解析ビューを選択することができます。(メニューオプション*分析 / 界と科*, ツールバーボタン🍁).

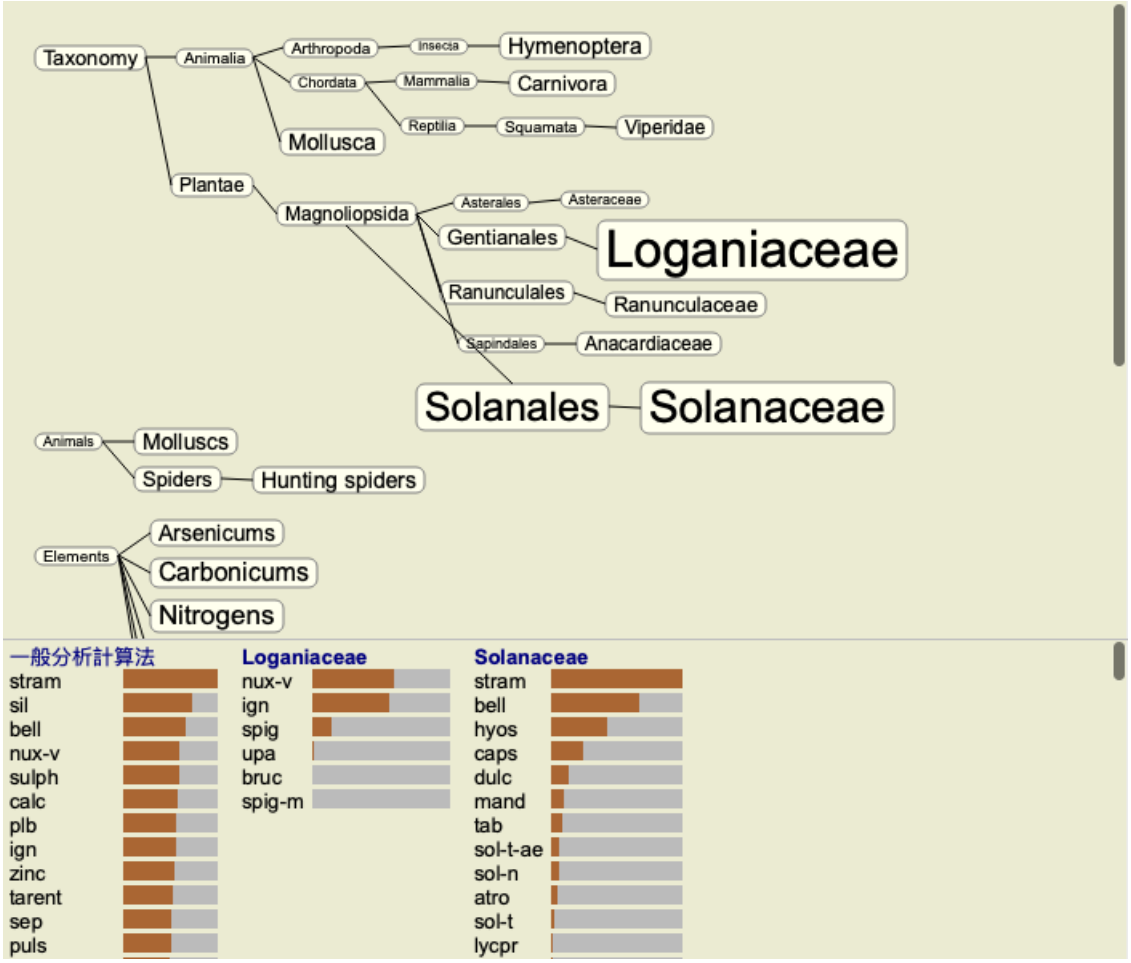
次の例は、Stramoniumが選択されたレメディーである。



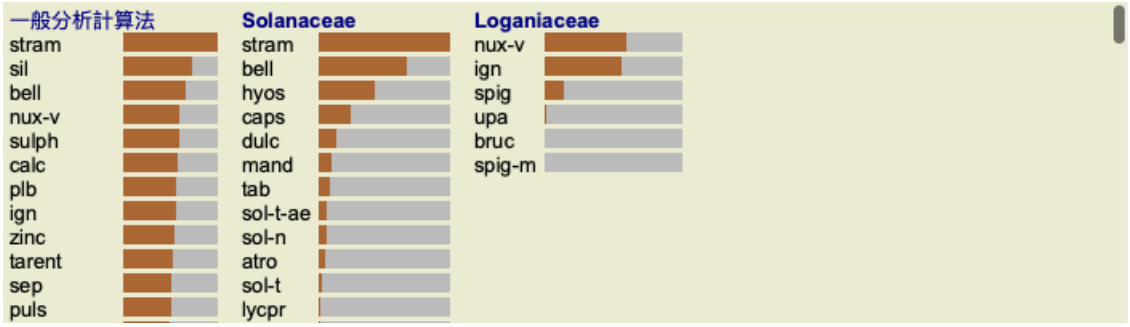
ファミリー分析では、関連性の高いファミリーは関連性の低いファミリーよりも大きく描かれる。関連性が非常に低いと思われる家庭は、全く描かれていない。

家族の比較

この例では、最も関連性の高い科がナス科とロガニー科であることがわかりますね。Stramoniumがナス科の植物であることから、ナス科が明らかである。しかし、なぜLoganiaceaeも関連性があると考えられているのか、知りたいところでしょう。
SolanaceaeとLoganiaceaeをダブルクリックします。各ファミリーの複数の解析結果という形で、追加情報が表示されるようになりました。最初の分析リストは、すべてのレメディーに対する汎用的な分析です。



グラフ内のファミリーをダブルクリックするたびに、追加されたファミリーの左側に配置されます。つまり、今もう一度「Solanaceae」をクリックすると、「Standard」と「Loganiaceae」の間に配置されるわけです。

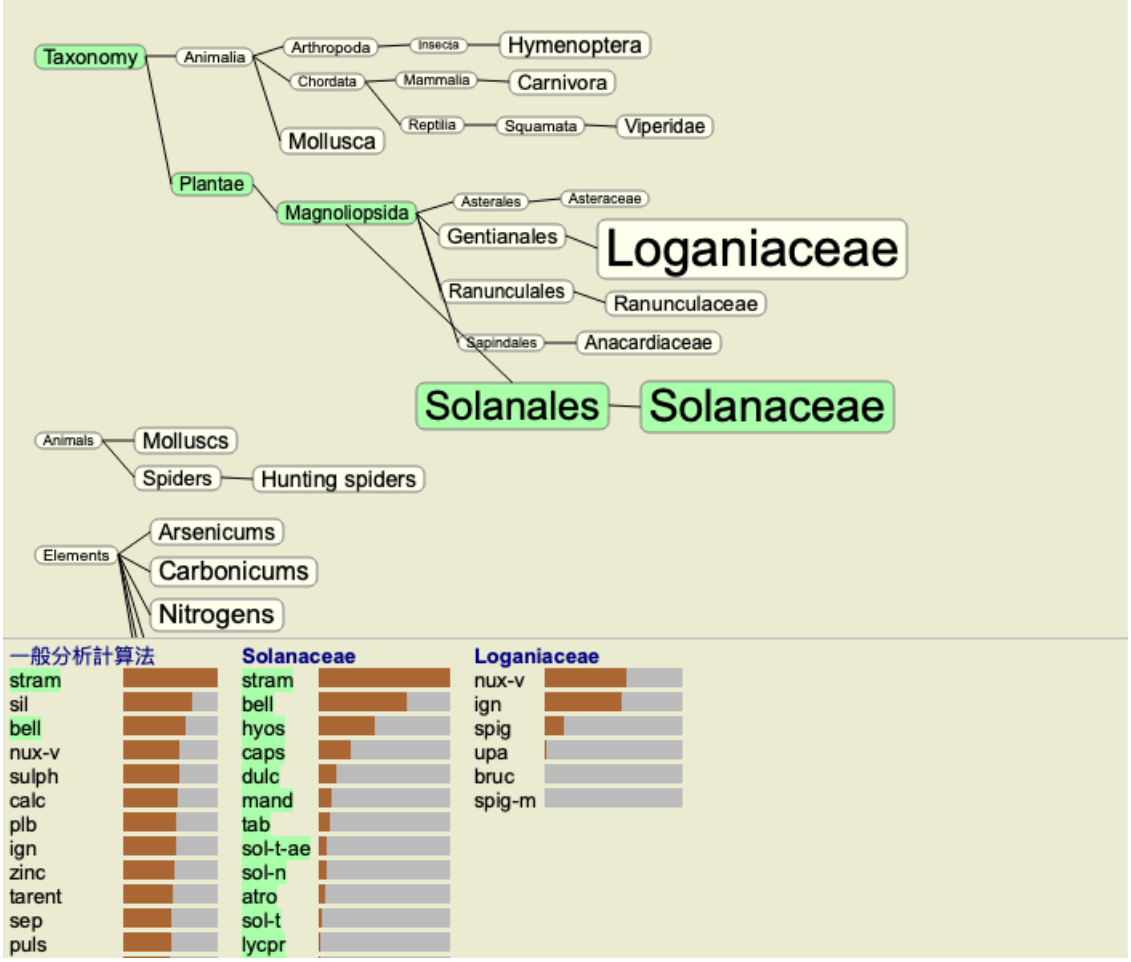


この追加情報は、いつでも表示・非表示を切り替えることができます。(ツールバーボタン).

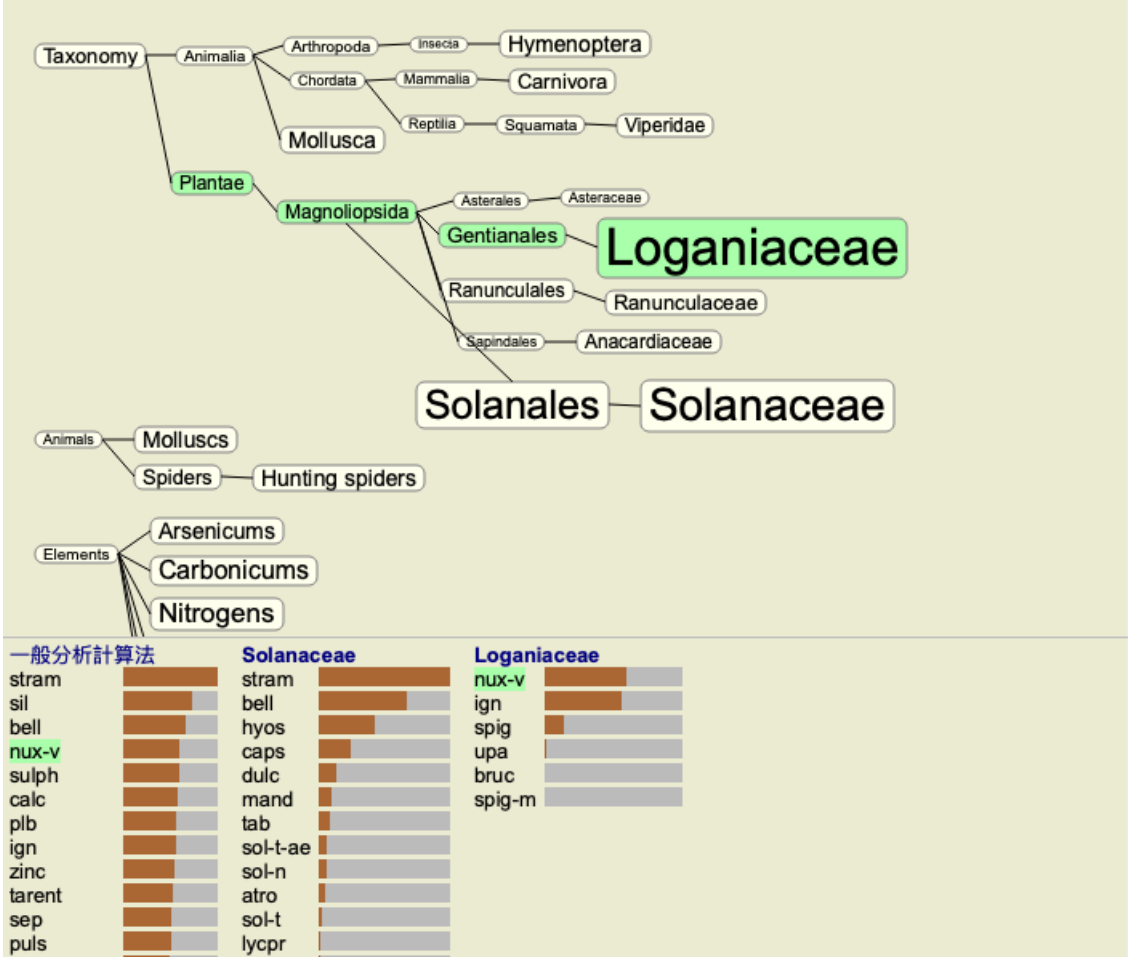
家族とレメディの関係を示す。

分析における家族の関連性を研究する場合、家族とレメディの関係を見ることができるようにする必要があります。

グラフ内のファミリーをクリックすると、そのレメディの分析結果が表示されます。対応するファミリーもファミリーグラフでハイライトされているのがわかると思います。これにより、家族の関連性をすぐに確認することができます。



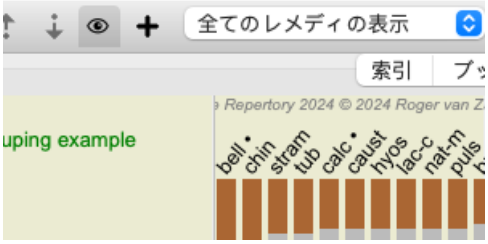
レメディー名をクリックすると、そのレメディーが別の分析で強調表示されます。また、そのレメディを含むすべてのファミリーがグラフ内でハイライト表示されます。



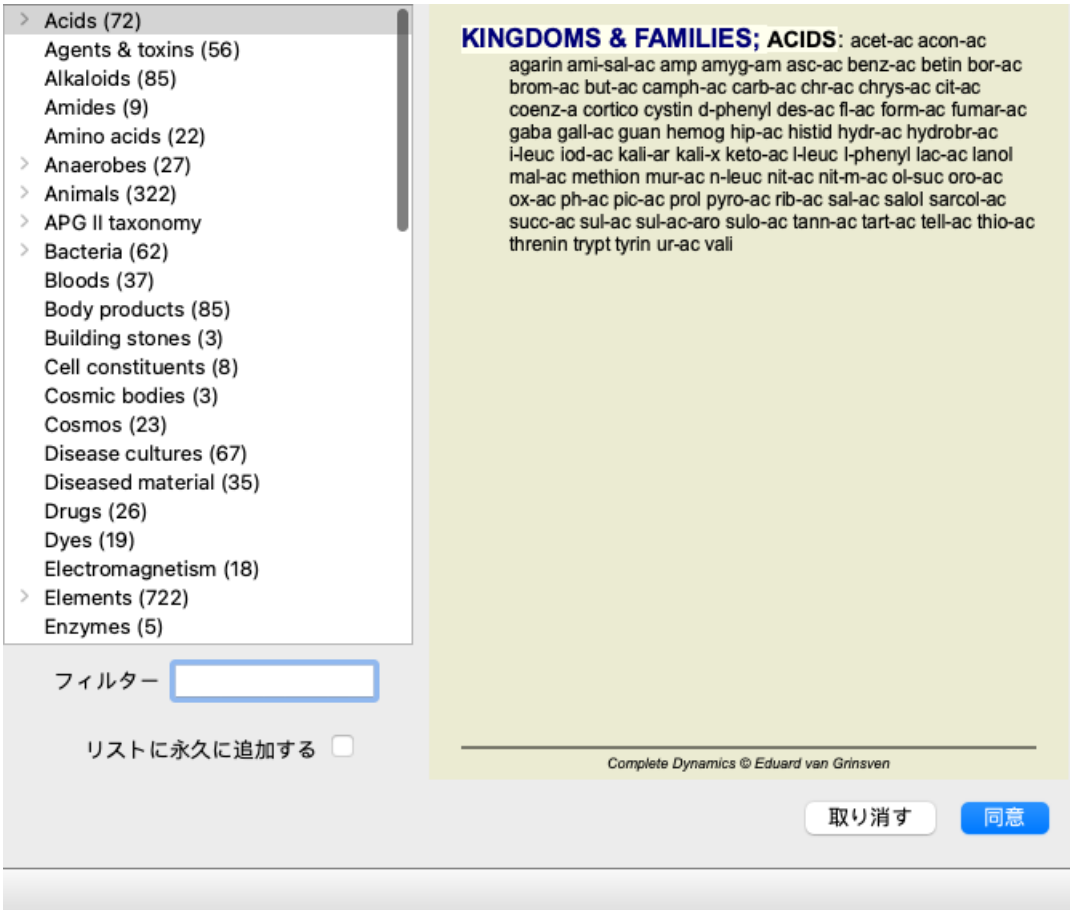
解析結果のフィルタリング

レメディーファミリーで結果を絞り込む

通常、解析結果にはすべてのレメディーが表示されます。
レメディの検索結果を、特定の王国、ファミリー、その他のグループに属するレメディのみに制限することができます。
そのためには、ツールバーのドロップダウンリストから選択するだけです。



よく使われるグループ（鉱物、植物、動物、ノゾーデ）があらかじめ設定されています。他のグループを選択するには、オプション*その他...* を選択すると、ダイアログが表示され、*キングダム＆ファミリー*セクションにあるグループの中から1つを選択することができます。



オプション*Permanently add to list* をチェックすると、選択したグループがリスト内の標準グループに恒久的に追加されます。次にプログラムを起動したときにも、そのグループはリストに残っています。後で削除したい場合は、*Other...* オプションで同じグループを再度選択し、オプションの選択を解除してください。

解析モジュール ルーブリックベースフィルタ

*解析モジュール*は、ルーブリックのレメディーに基づく、強力なフィルタリング機構を提供します。
このフィルターを使えば、分析対象の救済策を、あるルーブリック（「消去法」）、またはルーブリックの組み合わせで発生する救済策に簡単に限定することができます。

フィルタの設定は、メニューバー (*Menu / Analysis / Filter*) のいくつかのオプション、またはポップアップメニューで行います。
使用可能なオプションは次のとおりです。

- すべてのレメディーを表示する。 (メニューオプション*分析 / フィルター / 全てのレメディを表示する, シフトキー-control-C*).
  フィルターが無効になっています。レメディーはすべて通常通り表示されています。
- ルーブリックのレメディーに設定する。 (メニューオプション*分析 / フィルター / ルブリックの中のレメディに合わせて, シフトキー-control-S*).
  選択したルーブリックで発生する救済措置がフィルターに設定されます。ルーブリックにないレメディーは、フィルターで除外される（「消去法」）。

このオプションは、単一のルーブリックを選択した場合のみ使用できます。
- ルーブリックの救済措置に限定する。(メニューオプション*分析 / フィルター / このルブリックのレメディに限って計算して, シフトキー-control-R*).
  選択されたルビは、フィルタの制限に使用されます。選択されたルーブリックのいずれにも該当しないレメディーは、フィルターで除外されます。このオプションは、すでにアクティブなフィルタをさらに制限するものです。
  このオプションは、少なくとも1つのルーブリックが選択されている場合に使用できます。
- ルーブリックの救済措置で延長する。(メニューオプション*分析 / フィルター / ルーブリックの救済策で拡張する, シフトキー-control-E*).
  選択されたルーブリックのいずれかに発生した救済措置がすべて表示されます。このオプションは、選択されたルーブリックで発生し、以前はフィルターで除外されていた救済策をフィルターに追加するものです。
  このオプションは、少なくとも1つのルーブリックが選択されている場合に使用できます。
- ルビの交差に設定する。(メニューオプション*分析 / フィルター / ルブリックのクロス集計に設定して*).
  このオプションは、選択されたすべてのルーブリックで発生する救済策を素早くフィルターに設定するための便利なオプションです。
  このオプションは、少なくとも2つのルーブリックが選択されている場合にのみ使用できます。
- ルビの組み合わせに設定する。(メニューオプション*分析 / フィルター / ルーブリックの組み合わせに設定します*).
  このオプションは、選択したルーブリックのいずれかに出現する救済策を素早くフィルターに設定するための便利なオプションです。
  このオプションは、少なくとも2つのルーブリックが選択されている場合にのみ使用できます。

一般に、救済措置はそのルーブリックで行われるはずなので、フィルターを所定のルーブリックに設定することから始めます。その後、*restrict*（「ここにも存在するべきだ、もっと見せて」）、または*extend*（「実はここにもあってもいい、もっと見せて」）フィルタで微調整を行うのです。

家族へのフィルタリング

Families Analysisグラフでのフィルタリング

ファミリー分析グラフでは、ファミリーに基づいてレメディーフィルターを素早く変更することができます。フィルタリングオプションは、ファミリーのポップアップメニューにあります。オプションは、上記のルーブリックベースのフィルタと同じです。
これらのフィルターオプションを使用すると、他の分析結果の救済フィルターが変更されます。レメディーではなく、ファミリーで構成されているため、ファミリー分析グラフ自体にフィルターがかかることはない。

その他の分析ビューでのフィルタリング

レメディーが属するファミリーの分析結果を簡単にフィルタリングすることができます。ファミリーフィルターは、レメディのポップアップメニューで利用できます。

レイアウトウィザード

解析レイアウトウイザードを使えば、ボタン一つで解析結果に好みの設定を適用することができます。(メニューオプション*分析 / レイアウトウイザード, F2*, ツールバーボタン).

これらの環境設定は簡単に行うことができます。(メニューオプション*分析 / レイアウトウイザード構成, シフトキー-F2*).

アドバンストトピックス

分析の微調整

解析の作成と結果の解釈の基本を学んだところで、次は、患者さんの情報の解釈に従って解析を微調整するための上級者向けのトピックを紹介します。

取り上げるトピックは
- 重りを使うこと。
- 症状のバランスをとる。
- 極ルビとコントラ表示。
- ルーブリックグループ
- ルーブリックの概要
- レメディーファミリーで結果を絞り込む。

選択された複数の行に対して、一度に多くのアクションを実行することができます。

ウェイトの使用

すべての症状とルーブリックに、所定のウェイトを割り当てることができる。患者さんの症状に一定の重要性を持たせるように、あるいはレパートリーのレメディに異なるグレードが発生するように、症状やルーブリックにもそれぞれ一定の重要性を持たせることができるのです。

高い値を設定することで、その症状やルーブリックが分析結果においてより重要視されるようになる。
また、重みを0にすることで、その症状やルーブリックを分析から完全に除外することができる。

重みを設定するには、まず、症状やルーブリックをマウスでクリックして選択します。
さて、重量の設定にはいくつかの方法があります。
- キー0 (メニューオプション*症例 / 重み / 計算外*, ツールバーボタン ×0).
- キー1 (メニューオプション*症例 / 重み / 普通*, ツールバーボタン ×1).
- キー2 (メニューオプション*症例 / 重み / 重みx 2*, ツールバーボタン ×2).
- キー3 (メニューオプション*症例 / 重み / 重みx 3*, ツールバーボタン ×3).
- キー4 (メニューオプション*症例 / 重み / 重みx 4*, ツールバーボタン ×4).

次の例は、重みが設定されている解析です（あくまでデモンストレーションです）。

左側にツールバーのボタンが表示されていますね。ツールバーのボタンには、選択した症状やルーブリックの実際の重量が常に表示されます。
症状やルーブリックの前のXは、重み付けが0であることを示し、分析から除外される。

症状のバランスをとる

Balancing of Symptomsは、1つのSymptomに含まれるRubricの数が多いか少ないかを補正する、高度な解析メカニズムである。バランシングがオンになっている場合（通常はオンになっています）、分析を妨げることなく、症状の下に好きなだけルーブリックを配置することができます。
従来の分析では、ある症状を表現するために多くのルーブリックを使用すると、その一つの症状に合致するレメディが分析を支配するようになるため、分析するルーブリックを慎重に選択する必要がありました。同様に、1つのルーブリックのみを使用した場合、他の症状に使用したルーブリックと比較して、そのルーブリックのレメディーは全体の分析に十分に貢献しない。
症状のバランス調整」をオンにすると、すべての症状は、その下に 1 つのルーブリックを置いた場合でも、たとえば 10 個のルーブリックを置いた場合でも、それに割り当てられた重み (*重みの使用* を参照) でカウントされるようになります。

バランス調整のオン・オフは、ウィンドウの右側にあるツールバーボタン⚖で行います。 (メニューオプション*分析 / 症状の平衡化*, ツールバーボタン⚖).

一例を見てみましょう。以下の分析では、頭の痛みを表現するために多くのルビを振っています。バランシングを使用しない場合、*Glonoinum* が結果を支配し、バランシング*Natrum Muriaticum* がより顕著になります。

Demo case Andrew
分析 February 1, 2009, Symptoms with many or few rubrics.
分析は4症状の中に13ルブリックを使用します。.

▼ 954 Head pains
- 14 Head; Pain, headache; morning; agg.; six am.
- 160 Head; Pain, headache; extending to; backward
- 189 Head; Pain, headache; extending to; occiput
- 110 Head; Pain, headache; extending to; temples
- 119 Head; Pain, headache; extending to; upward
- 944 Head; Pain, headache; forehead
- 58 Head; Pain, headache; forehead; air; open; agg.
- 48 Head; Pain, headache; forehead; eyes; above; morning
- 14 Head; Pain, headache; bursting; menses; during

▼ 84 Sadness
- 84 Mind; Sadness, depression; menses; before

▼ 163 Menses
- 127 Female; Menses; pale, watery
- 105 Female; Menses; thin, liquid

▼ 176 Aversions and desires
- 176 Generalities; Food and drinks; salt or salty food; desires

解析結果。

No バランス調整			バランス調整付き		
一般分析計算法			一般分析計算法		
glon	100 / 9		nat-m	100 / 9 / 4	
sep	94 / 12		lyc	94 / 11 / 4	
lach	91 / 11		calc •	78 / 10 / 4	
bell •	87 / 10		sep	78 / 12 / 4	
lyc	81 / 11		puls	77 / 8 / 4	
nat-m	77 / 9		nit-ac	74 / 9 / 4	
calc •	76 / 10		carb-v	68 / 8 / 4	
nux-v	74 / 9		phos	64 / 10 / 4	
phos	70 / 10		caust	63 / 9 / 4	
caust	65 / 9		lach	55 / 11 / 4	
thuj	61 / 9		bell •	53 / 10 / 3	
bry	60 / 9		ferr	53 / 6 / 3	
cimic	59 / 8		con	52 / 6 / 4	
puls	57 / 8		stann	44 / 5 / 3	

024 © 2024 Roger van Zandvoort

注: バランシング症状は基本解析に影響しませんシンプルカウンティング.

ポーラ・ルーブリックとコントラ・インジケータ

極ルビとは、反対の意味を持つ2つのルビのことです。
例えば、簡単な例として、最初にレメディ*coff*が処方された場合を考えてみよう。

Demo case Andrew
分析 January 3, 2009, A simple analysis - using Symptoms
分析は4症状の中に15ルブリックを使用します。.

Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

coff • nux-v lach chin sulph acon calc • con bell • sul-ac bor ars sel ign phos op

▼ 523 Mental activity
- 16 Mind; Activity; night
- 1 Mind; Activity; midnight, until
- 83 Mind; Activity; hyperactive
- 488 Mind; Cheerfulness
- 32 Mind; Restlessness, nervousness; sensitive
- 1 Mind; Theorizing; evening
- 2 Mind; Theorizing; night

▼ 84 Sensitive to noise
- 26 Mind; Noises; aversion to
- 15 Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitiveness to
- 58 Sleep; Waking; noise, from

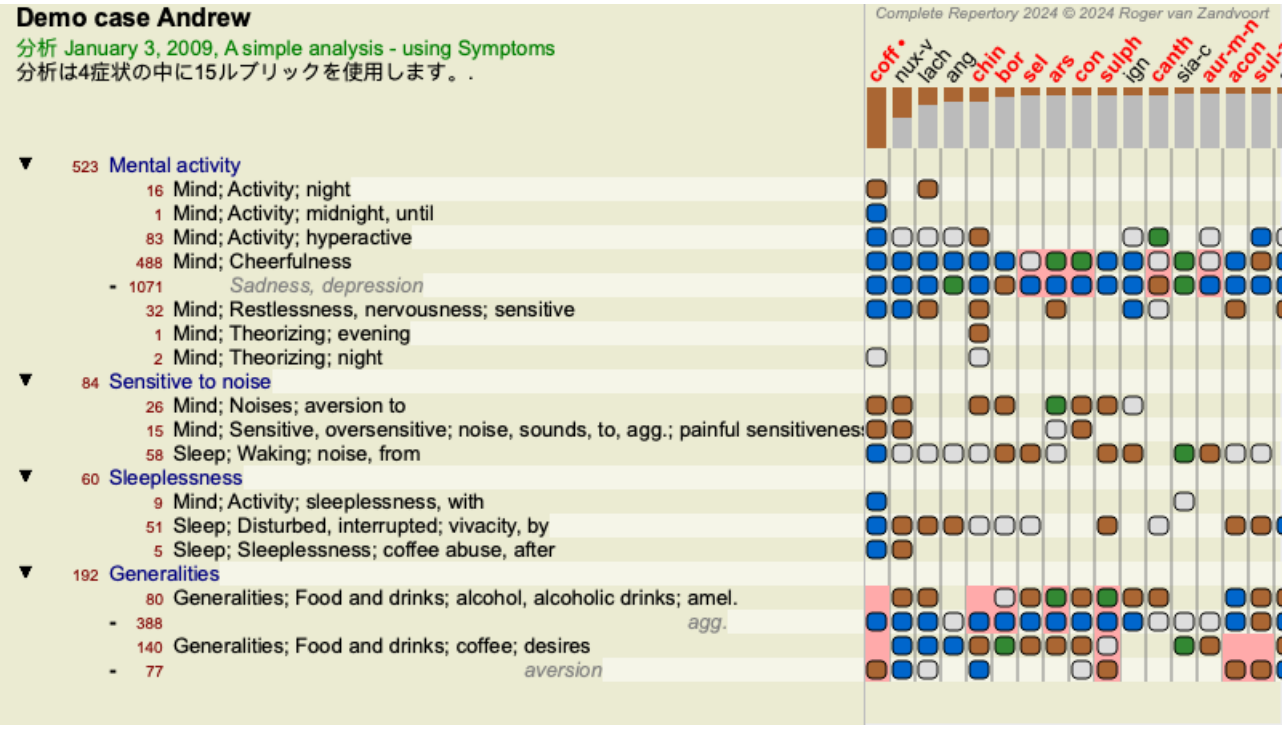
▼ 60 Sleeplessness
- 9 Mind; Activity; sleeplessness, with
- 51 Sleep; Disturbed, interrupted; vivacity, by
- 5 Sleep; Sleeplessness; coffee abuse, after

▼ 192 Generalities
- 80 Generalities; Food and drinks; alcohol, alcoholic drinks; amel.
- 140 Generalities; Food and drinks; coffee; desires

Generalities の下には、2つのルーブリックがあり、いずれも極性ルーブリックであることがわかります。

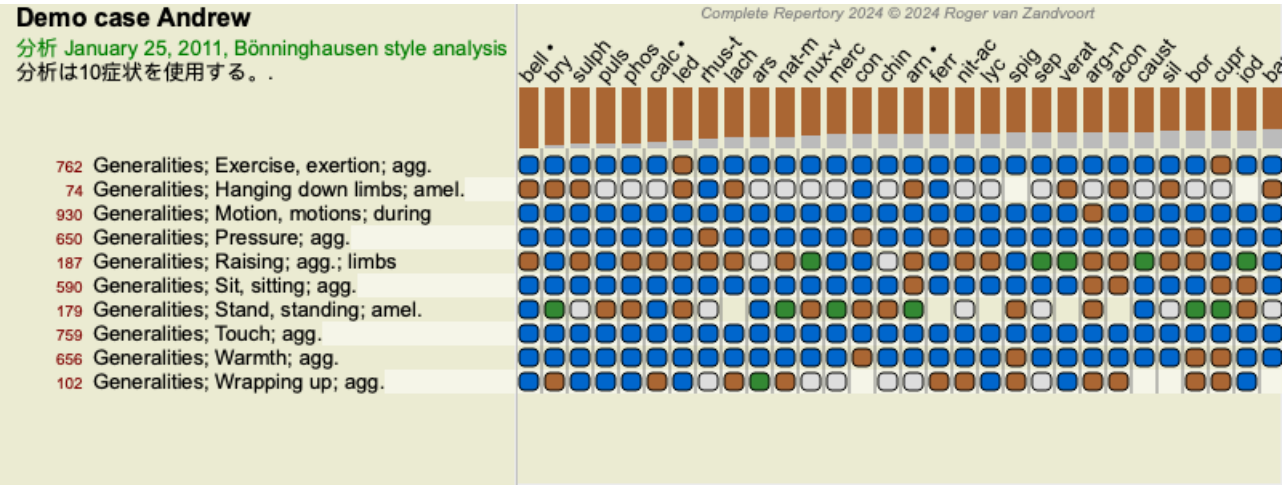
-amel -agg.
-desires - aversion.

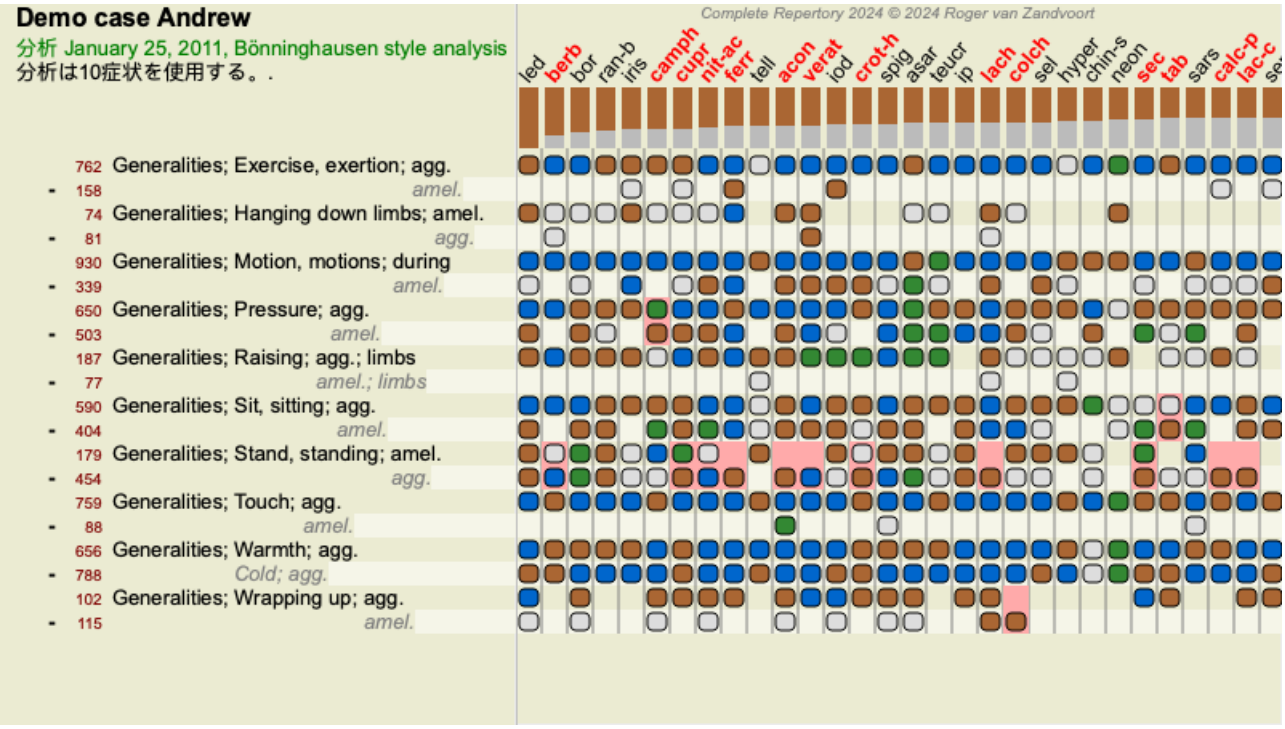
この極ルーブリックは、ウィンドウの右側にあるツールバーボタン↔を押すことで分析に利用することができます。(メニューオプション*分析 / 極性ルブリック*, ツールバーボタン↔).
amel と*desires* の両方のルーブリックの下に、その極ルーブリックが表示されるようになりました。
また、レメディの値を極ルビの値で補正するようになったため、解析結果も変化しています。



レメディ*coff* は、この分析ではコントラ表示であるため、赤色で表示されるようになりました。
コントラ表示とは、あるルーブリックでは低評価（1、2、または全く評価されない）で、極ルーブリックでは高評価（3、4）で救済措置が発生する状況を指す。

より複雑な例は、次のBönninghausen様式の分析で示される。





ルーブリックグループ

ルーブリックのグループ化は、2つ以上のルーブリックをあたかも1つのルーブリックであるかのようにカウントしたい場合に行います。
ルーブリックのグループ分けには、2つの方法があります。
- クロスする。ALLルーブリックに出現するレメディーだけを使用する。
- 組み合わせる。どのルービックからもレメディが使用される。

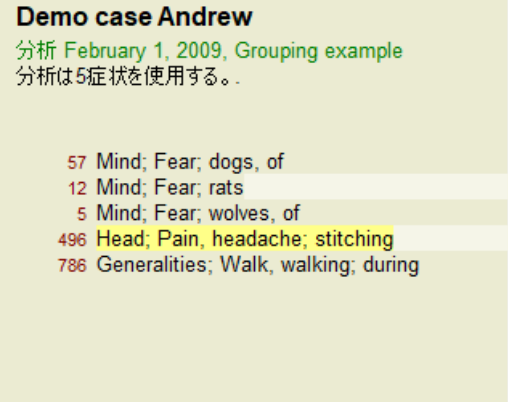
グループ化の例

ルーブリックの掛け合わせは、患者の症状を正確に表現するルーブリックがレパートリーになく、より一般的なルーブリックしかない場合に有効である。
例えば、発熱時に「朝、ベッドにいるのが不安だ」と患者さんが言ったとします。レパートリーにはルーブリックがない*心; 不安; 朝; ベッドで; 熱; 中.* しかし、この代わりに、さらに2つの一般的なルビがある*Mind; anxiety; morning; bed, in* と*Mind; anxiety; fever heat; during* 。この2つのルーブリックを掛け合わせることで、両方のルーブリックで発生する改善点のみを含む新しいグループ化されたルーブリックが作成されます。

ルーブリックを組み合わせることで、正確には見つからないが、より具体的な症状の下に見つかるような症状がある場合に有効である。
例えば、ピザを食べたいという欲求。なぜ、患者さんはピザが好きなのでしょうか? 多分、生地（ファリナスティックフード）、トマト、サラミ、アンチョビ、チーズ、オリーブなどでしょう。患者の主訴と比較して、あまり重要でない特定のルーブリックをたくさん追加して分析式を乱すことなく、そのような特定のルーブリックをいくつか組み合わせて新しいルーブリックにすることは有用である。

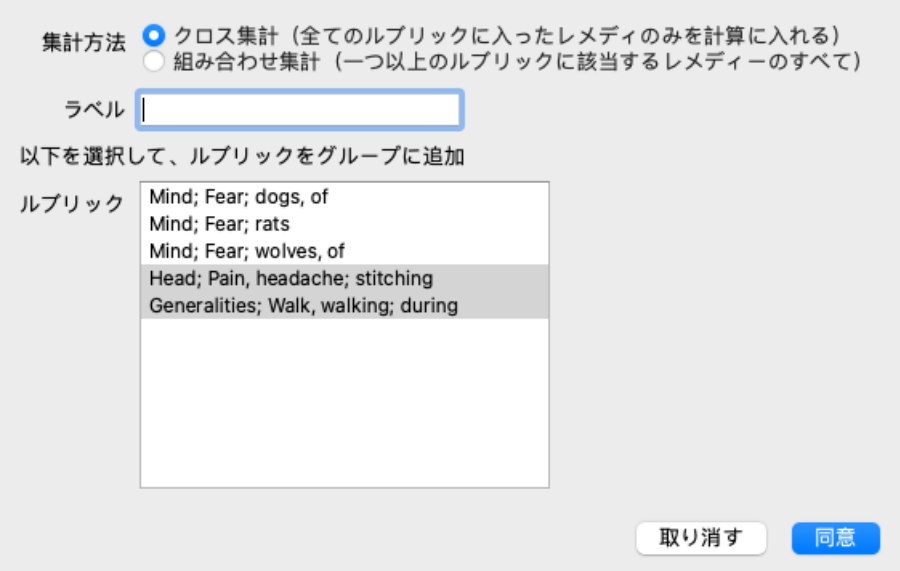
ルーブリックグループの作成

一例として、歩行中に頭が縫うように痛み、数種類の動物が怖いという症例があります。

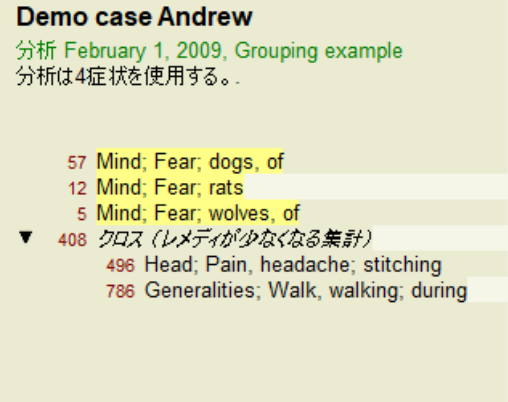


頭の痛みを表現する2つのルビを一緒に交差させたいと思います。ルーブリック*Head; pain; stitching* をクリックして選択し、ツールバーボタン を押してください。(メニューオプション*症例 / ルブリック・グループ / 他のルブリックとグループにまとめる*, ツールバーボタン, ポップアップメニューオプション*ルブリック・グループ / 他のルブリックとグループに*

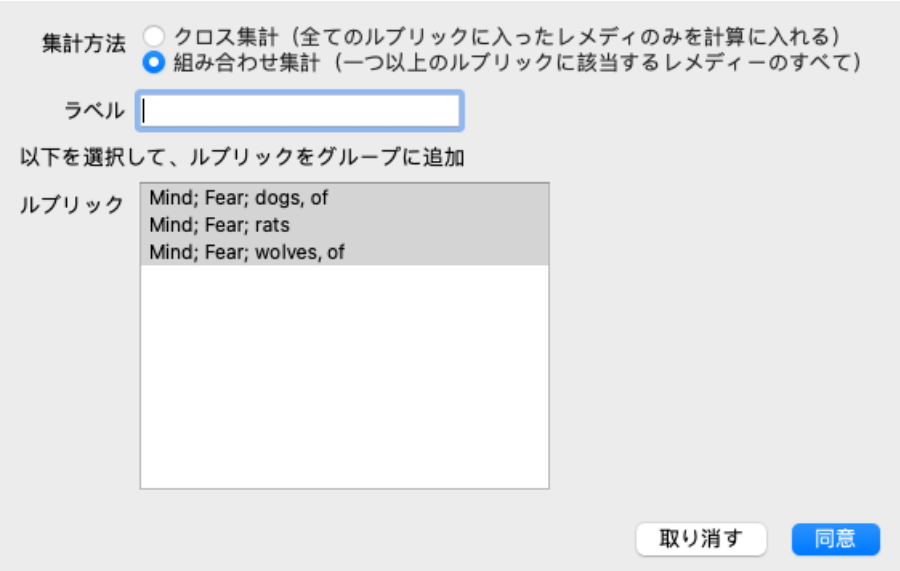
まとめる).
ダイアログが表示され、選択したルーブリックと連携できるルーブリックを選択することができます。
上部で、オプション*クロス*を選択します。ルーブリック*Generalities; walk, walking; during*を選択し、OKボタンを押す。



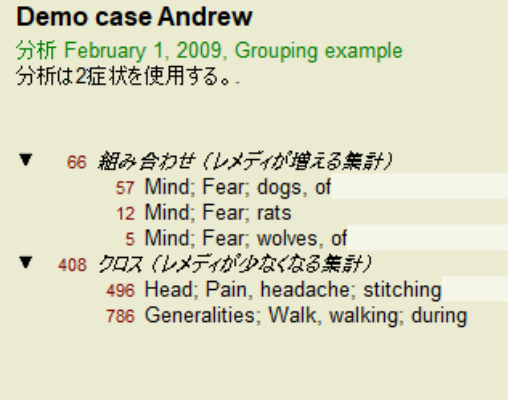
2つ目のグループには、別の方法を用います。*Mind; fear* の3つのルビを選択し、もう一度⚯を押してください。



ここで、オプション*Combine* を選択し、OKボタンを押します。



その結果、ルーブリックリストは今、こうなった。



グループを変更するには、グループのメインルーブリックをクリックし、を押すだけです。ダイアログで、ルーブリックのオン・オフを切り替えることができます。また、ルーブリックをクリックしてを押すと、グループからルーブリックを削除することができます。(メニューオプション*症例 / ルブリック・グループ / ルブリック・グループの削除*, ツールバーボタン, ポップアップメニューオプション*ルブリック・グループ / ルブリック・グループの削除*). グループを完全に削除するには、グループのメインルーブリックをクリックし、を押してください。(メニューオプション*症例 / ルブリック・グループ / ルブリック・グループの削除*, ツールバーボタン, ポップアップメニューオプション*ルブリック・グループ / ルブリック・グループの削除*).

上図のように、ダイアログでルーブリックを選択することなく、素早くグループを作成できるメニューが2つ用意されています。
最初に2つ以上のルーブリックを選択し、それらを結合することができます。(メニューオプション*症例 / ルブリック・グループ / 選択したルーブリックを組み合わせる*, ポップアップメニューオプション*ルブリック・グループ / 選択したルーブリックを組み合わせる*).
最初に2つ以上のルーブリックを選択し、それらをクロスさせることができます。(メニューオプション*症例 / ルブリック・グループ / 選択したルーブリックをクロス*, ポップアップメニューオプション*ルブリック・グループ / 選択したルーブリックをクロス*).

ルーブリックグループは分析にどのように使用されるか

複数のルーブリックを横断する場合、そのグループにはすべて で発生するレメディーだけが含まれます。救済措置の評点は、すべてのルーブリックにおいて、最低の の評点とします。

[/TAG_ERROR] 複数のルーブリックを組み合わせる場合、グループ内のルーブリックのうちいずれかで発生する救済措置がグループに含まれる。[/TAG_ERROR] 救済措置の評点は、グループ内のどのルーブリックでも、その救済措置について見つかったの最高評点とします。

ルーブリックの概要

ある分析に含まれるすべてのルーブリックの概要とその対処法を知ることができると便利な場合があります。
また、グループ化されたルーブリックの場合、結果的にどのレメディーが出現するかを確認するのもよいでしょう。

すべてのルーブリックの概要を知るには、「ルーブリックの概要を表示」を選択するだけです。(メニューオプション*症例 / ルブリックの概観*, *control-V*, ポップアップメニューオプション*その他 / ルブリックの概観*).
Find モジュールが開き、以下のように表示されます。

COMBINED RUBRICS: MIND; FEAR; DOGS, OF / MIND; FEAR; RATS / MIND; FEAR; WOLVES, OF: absin acon agar *Alum* amph androc arn astac *BAC BELL* BOS-S BUFO CALC calc-ar carc CAUST cer chel *CHIN* choc CIMIC *Con* cupr-acet dor dpt dysp-n *Hydrog* HYOS insul LAC-C lac-d lac-f lac-h lach lycpr lyss mag-c *Manc* mand med NAT-M nat-p nit-ac op ory-c phos *Plac* plat PLUT-N polyst pras-c PULS *Sanic Scirr* SCORP sep sil sol-t *STRAM* sulph syc-co tax *TUB* tub-k verat *Xan*

MIND; FEAR; dogs, of: agar *Alum* amph androc astac *BAC BELL* BUFO CALC carc CAUST cer chel *CHIN* choc *Con* cupr-acet dor dpt dysp-n *Hydrog* HYOS insul LAC-C lac-d lac-f lac-h lach lycpr lyss mag-c *Manc* mand med NAT-M nat-p nit-ac ory-c phos plat PLUT-N polyst pras-c PULS *Sanic Scirr* SCORP sil sol-t *STRAM* sulph syc-co tax *TUB* tub-k verat *Xan*

MIND; FEAR; rats: absin acon arn bell BOS-S CALC calc-ar CIMIC op phos *Plac* sep

MIND; FEAR; wolves, of: amph bell cer chel dor

CROSSED RUBRICS: HEAD; PAIN, HEADACHE; STITCHING / GENERALITIES; WALK, WALKING; DURING: acan-p *ACON* act-sp adam *AESC* AETH AGAR *AGN* aids alch-v ALL-C allox ALOE *ALUM* *ALUM-P* ALUM-SIL ALUMN AM-C *AM-M AMBR* ammc *ANAC* anag ANATH *ANG ANT-C* ANT-T APIS apoc aq-des ARAN *ARG ARG-N ARN ARS* ARS-I ars-met ars-s-f *Ars-s-r* arum-t ASAF *Asar* asc-t astac aster ATRO AUR aur-ar aur-i AUR-M-N aur-s bacch-a *Bad* BAMB-A bapt *Bar-acet BAR-C* bar-i bar-m bar-s *BELL* bell-p *BERB* biti-g blatta BOR bos-s both-a *BOV* *BROM Bros-g* bruc *BRY* BUFO bux cadm-s cahin *Calad CALC Calc-acet* calc-ar calc-caust calc-f calc-i CALC-P CALC-S calc-sil calen CAMPH CANN-I cann-s CANTH *CAPS* caras carb-ac *CARB-AN CARB-V* carbn-o CARBN-S CARC card-b carl *Cassi-s* cast caul *CAUST* cedr cere-b CHAM *CHEL CHIN* chin-ar *Chin-s* choc CIC CIMIC CINA cinnb cist CLEM cob COC-C *COCC* coff COLCH *COLOC* colocin com *CON* cop corn CROC crot-c CROT-H *Croto-t Cund CUPR* cupr-ar cupr-s CUR *Curc* *CYCL Cyt-l* daph der *DIG Dios* diox dirc DROS DULC echi-a ELAPS emer epip equis ery-a eug euon eup-per *EUPH* EUPHR eupi *Fago* falco-p *FERR Ferr-acet* ferr-ar FERR-I FERR-P fic-i fic-m *Fl-ac Flor-p* form galeoc-c gall *Gamb GELS* gent-c gink gins *GLON Gran GRAPH* GRAT GUAI harp HELL *Helo* helod-c hema-h *HEP* her-s hipp hom hydr *Hydr-ac HYOS* hyosin hyper *IGN* ind indg insul inul *IOD* iodof IP irid-m iris jatr JUG-C kali-ar *KALI-BI KALI-C* kali-chl kali-cy *KALI-I KALI-N KALI-P* kali-s kali-sil KALM *Kola KREOS* kurch *LAC-C* lac-h lac-m *LACH* lachn LACT *Lam* lap-laz lappa *Laur* lec LED LIL-T lipp *Lith-c Lob* lob-c lol loxo-r *LYC* lycpr LYSS *M-ARCT M-art M-AUST* MAG-C *MAG-M MAG-P* mag-s magn-gr MANC MANG *Mang-acet* meli-a menth MENY *MERC MERC-C* merc-i-f merc-s MERL methyl-p-h MEZ *Mill Mim-p* morpho-m *Mosch* *MUR-AC* naja naja-m nat-ar *NAT-C* nat-glt nat-hchls *NAT-M* NAT-P *NAT-S* nat-sil nept-m NICC *NIT-AC* nit-m-ac nuph *NUX-M* *NUX-V Ol-an* ol-j olea *Olnd* onc-t *Op* OZON paeon *Par* paraf paul-p perl *PETR PH-AC Phel PHOS* phyl-a phys phyt PIC-AC pier-b *Pimp Pip-m* pitu-a plan *PLAT* PLB *Plb-acet* plect pras-s *PRUN PSOR* PTEL *PULS* pyrog pyrus-c rad-br *RAN-B* RAN-S raph *Rat* rheum *RHOD RHUS-T* ros-d *RUTA* SABAD *SABIN* sac-l sal-ac *Samb* SANG SANIC SARS scan sec *SEL* senec *Seneg SEP SIL* sol-n *SPIG* SPONG *SQUIL STANN STAPH* stel still STRAM *STRONT-C* STRY *SUL-AC* sul-i *SULPH Syph* TAB *TARAX TARENT* TARENT-C *Tax* teg-a tell telo-s *Ter Teucr* THER *THUJ Til Tong* toxop-p *Tritic-v Trom* TUB tung upa URAN vac VALER VERAT VERB vesp vib vinc *Vince* viol-o VIOL-T vip visc with-s *X-ray ZINC* zinc-acet zinc-p *Zing* ziz

HEAD; PAIN, headache; stitching: ACAN-P acher-a *ACON* acon-ac act-sp adam aego-p *AESC AETH AGAR* agath-a *AGN* *AIDS* alch-v *Alco ALL-C* allox *ALOE ALUM ALUM-P* ALUM-SIL ALUMN *AM-C AM-M AMBR Amet* ammc *ANAC Anac-oc* anag *ANATH* ander andri-q androg-p *ANG ANT-C ANT-O ANT-T* aphis *APIS* apoc aq-des ARAN *ARAN-IX ARG ARG-N*

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

分類

症状別分類の紹介

Samuel Hahnemann'Organon and*Chronic Diseases* を見ると、ハーネマンは患者の現在あるいは過去の状況に見られるすべての症状に基づいてレメディーを選択したのではないことがわかる。彼は、患者さんの症状を丁寧に分類し、その分類に基づいた治療を行いました。

ハーネマンの分類はもちろん、ユーザー定義のA、B、C、D、Eグループも用意されており、自由に使うことができます。

画面左側のツールバーで利用できる分類のオプション。

シンボルマーク	名称	意味
	プソラ	コアの乱れ。 オルガノン第6版§80（psoric miasma）。
	インシデント	患者さんの身の回りで起こったこと、患者さんに影響を与えたこと。 急性疾患です。 オルガノン§72（有害な影響）。
	エピデミック	外部から感染する病気；インフルエンザ、レジオネラ菌、SARS、はしか、おたふくかぜなど。(中間感染症）。 オルガノン§73（流行性疾患）。
	アキュートミズム	病気は内側から来るもので、多くの場合、外から来る事件や刺激が引き金となる。 不満は深刻です。 オルガノン§73（潜在的なプソラの一過性の爆発）。
	遺伝的傾向	先祖代々続いてきた病気で、遺伝的に患者さんに受け継がれるもの。
	医原性	薬の使用状況や予防接種の状況。 オルガノン』第74巻。
	サイコシス	淋病に感染したこと。 オルガノン』第 79 条（sycotic miasma）。
	梅毒	梅毒に感染したこと。 オルガノン§79（梅毒の瘴気）。
A	ユーザーA	ご自由にお使いください。

B	ユーザーB	ご自由にお使いください。
C	ユーザーC	ご自由にお使いください。
D	ユーザーD	ご自由にお使いください。
E	ユーザーE	ご自由にお使いください。

この分類は、「症状」のレベル、または個々のRubricsに適用することができます。
症状」に分類を設定すると、その設定は「症状」内のすべてのルーブリックに適用されます。これにより、ルーブリックに適用されていた設定は使用されなくなります。

デモ事例*簡単な分類例* もご覧ください。

レメディーフィルターと分類

症状やルーブリックの分類を分析に使用した場合、各分析の救済措置は自動的にフィルタリングされます。このフィルタリングは、ハーネマンの著作にある情報に基づいて行われています。

Psora の場合、レメディーは、すべてのミネラルとノゾーズ、それにLach, Lyc, Sepを加えるが、Mercは除く。
Incident, Acute Miasmatic, Epidemic の場合、レメディーは：すべての植物と動物、それにMerc, Ars, Ant-c.
Iatrogenic の場合、レメディーはルーブリック*Intoxication after medicaments* 、および*Ailments from vaccination* にあるものである。
受け継がれた傾向 の場合、レメディーは：すべてのノゾーズです。
その他のグループについては、すべてのレメディーを表示しています。

クリップボード

A-B-C-D-Eのクラスは、クリップボードとしても使用可能です。これらをSymptomsや個々のRubricsに割り当てることで、分析結果に対して異なる見方をすることが非常に容易になります。

詳細はこちら

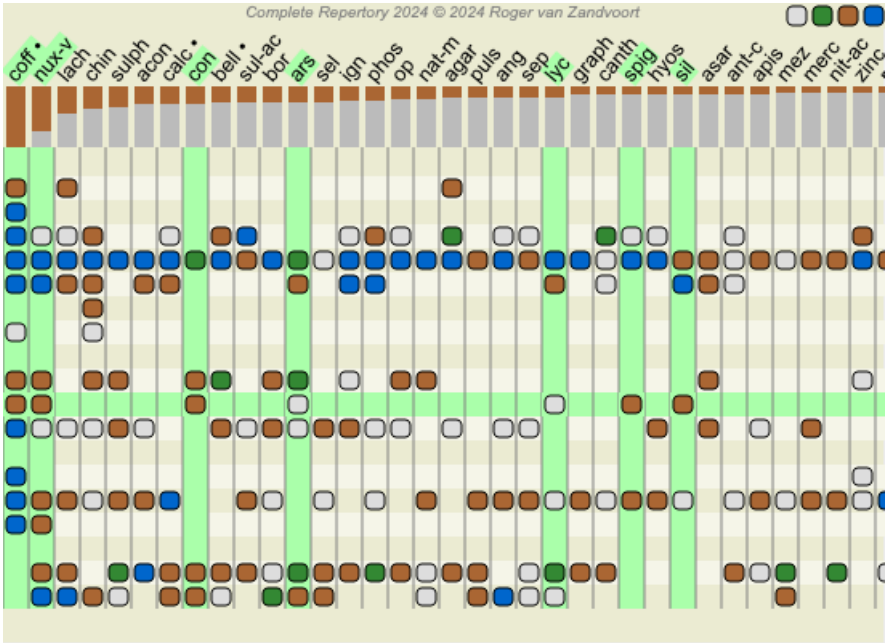
上記の分類に関する情報は限られています。
ハーネマンの分類の使用に関する優れた情報は、ウェブサイト*http://www.ewaldstoteler.com で見ることができます。*

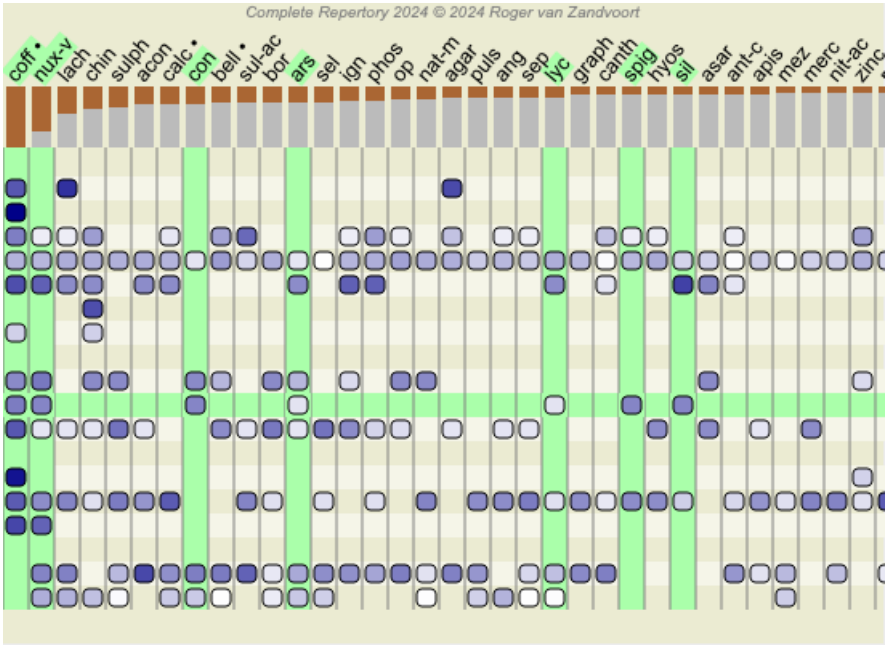
相対的な重要性を示す

表とグリッド分析グラフでは、レメディをグレード別に4種類のスタイルで表示します。分析式の計算では、各レメディーに1-2-3-4だけでなく、より細かい数値が使われます。分析結果において、各レメディーがどの程度のウェイトを占めているかを確認することも重要でしょう。特に、独自の解析式を適用する場合には、この点が重要です。

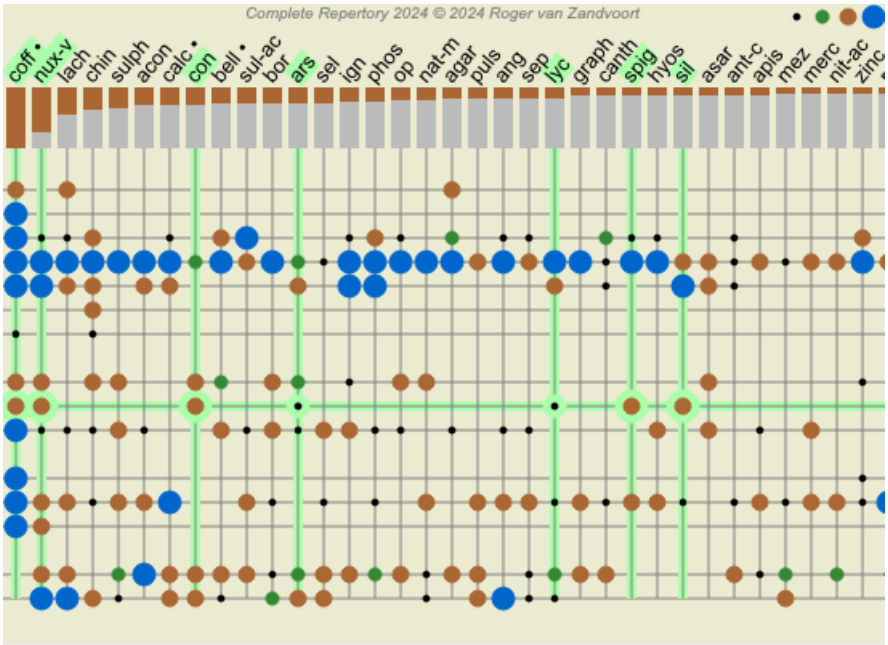
BUTTON:AnalysisViewShowRelevance]をクリックすると、各レメディの相対的な重要度を表示することができます。 (メニューオプション*分析 / 相対的な重要性を示す*, ツールバーボタン).

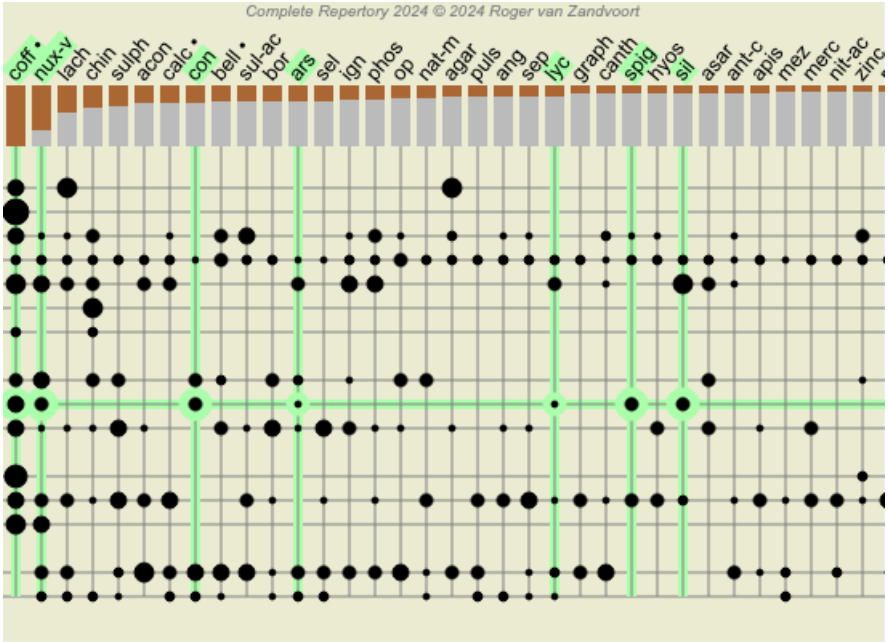
テーブルビューでは、レメディーは四角形で表示され、色は明暗で表示されます。色が濃いほど、分析におけるレメディの相対的な重要性が高いことを示します。
同じ解析結果を次の2枚の写真で比較してみてください。最初の図は、レメディをグレード1から4で示したもので、2番目の図は、分析における相対的重要度に応じたレメディを示したものです。





グリッドビューでは、通常、レメディーは異なる色とサイズで表示されます。相対的な重要性を示す場合、すべてのレメディーは大きさを変えた黒い点で描かれています。ドットが大きいほど、分析において救済策が相対的に重要視されていることを示す。





マルチビュー

これで、解析の作り方がわかりましたね。また、このケースはこういう症状だという解釈で、分析を微調整する方法も知っていますね。
症状やルーブリックに重みをつけている場合があります。分類を割り当てている場合があります。使用するルーブリックの救済措置の重要度を量るための分析式を選択しました。そして、もしかしたら、与えられたレメディー王国で結果をフィルタリングしているかもしれません。

これらの設定はすべて、あなたの解釈に基づいて、最適な解析結果を得るためのものです。
しかし、それは患者さんの症状に対するあなたの解釈、あなたの見方です。これらの症状は不変のものであり、あなたが収集した観察された事実です。どのような意見を持っていても、観測された症状こそが現実なのです。(Organon §18)

しかし、同じ症状でも、別の視点から、別の見方で、解釈してみることも考えてみてはいかがでしょうか。もちろん、解析の設定をすべて変えて、様子を見ることもできます。しかし、そうすると元の分析結果が変わってしまい、再び見るためには、変更した設定をすべて元に戻さなければなりません。

解析の設定を変更しても、元の設定が失われないようにするために、Multiple Viewsを作成しました。

アナリシスビューとは?

分析ビューは、分析に適用できるすべての設定の総称です。

重量	×0 ×1 ×2 ×3 ×4
分類	○ ϟ ⁘ ⌒ ⅄ → ⊛ ✂ A B C D E
バランス症状	⚖
コレクトポーラー	↔
解析式	例えば "Small Remedies"。
レメディーフィルター	例えば、"植物"

複数のビューを作成し、それぞれ独自の設定コレクションを持つことができます。
例として、*デモケース アンドリュー*、分析 *マルチビュー* を見てください。

ビューの作成

メニューやツールバーから、新しいビューを作成することができます。(メニューオプション*分析 / 表示 / 新しいビューを追加する*, ツールバーボタン✚, ポップアップメニューオプション*表示 / 新しいビューを追加する*).

新しいビューは、元のビューのコピーで、まったく同じ設定になっています。新しいビューの設定に加えた変更は、そのビューにのみ適用されます。他のビューはすべて元のままです。
必要であれば、新しいビューにオプションで名前を付けることができます。

すべてのビューで、まったく同じ症状とルーブリックのコレクションを使用していることに注意してください。患者さんの状況は同じで、見方によって違うのは自分の解釈です。

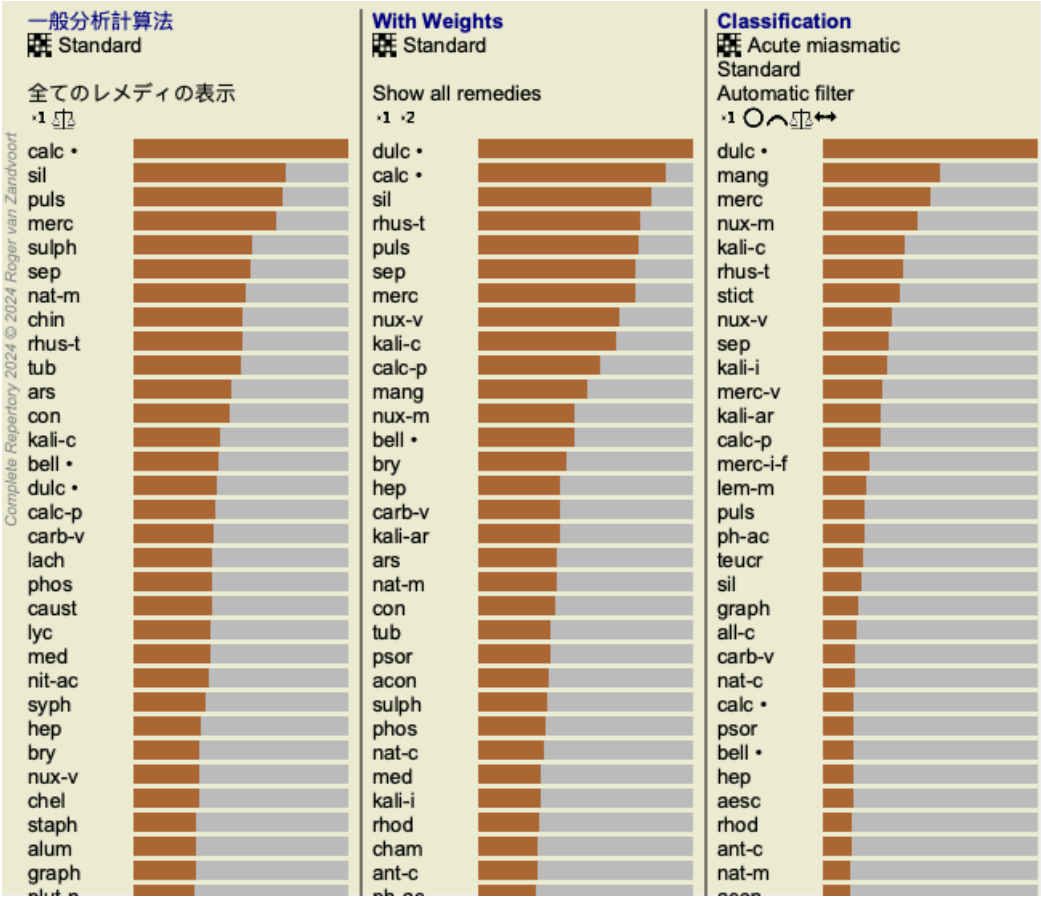
メニューから簡単に表示を切り替えることができます。(メニューオプション*分析 / 表示 / Standard*, ツールバーボタン👁, ポップアップメニューオプション*表示 / Standard*).
また、ツールバーでビューを選択することもできます。

選択したビューが不要になった場合は、削除することができます。(メニューオプション*分析 / 表示 / 現在のビューを削除する*, ポップアップメニューオプション*表示 / 現在のビューを削除する*).
ビューに付けた名前はいつでも変更可能です。(メニューオプション*分析 / 表示 / 現在のビューの名前を変更*, ポップアップメニューオプション*表示 / 現在のビューの名前を変更*).
また、メニューやツールバーに表示されるビューの順序を変更することもできます。(メニューオプション*分析 / 表示 / 現在のビューを左に移動します*, ポップアップメニューオプション*表示 / 現在のビューを左に移動します*).

各ビューの解析結果を見てみる

画面右側の解析結果エリアには、選択したビューの解析結果が表示されます。他のビューに切り替えると、そのビューの結果に変更されます。

また、すべてのビュー結果を同時に見ることができます。(メニューオプション*分析 / マルチビュー*, ツールバーボタン👁).
このように表示されます。



解析のリスト概要と似ていますが、1つのビューに1つの結果リストを表示します。
上部に、各ビューで使用されている設定の概要が表示されます。

- 表の出力スタイルに選択された分析。
- 分類を用いた分析の場合、使用する分析式。
- 使用するレメディーフィルターです。
- 有効な各解析設定に対応した小画像を表示します。

鑑別診断

解析の次は、一般的に「鑑別診断」を行います。分析結果に基づき、いくつかの救済措置が関連すると考えられ、それらの間で差別化を図る必要がある。

これには、いくつかのアプローチがあります。

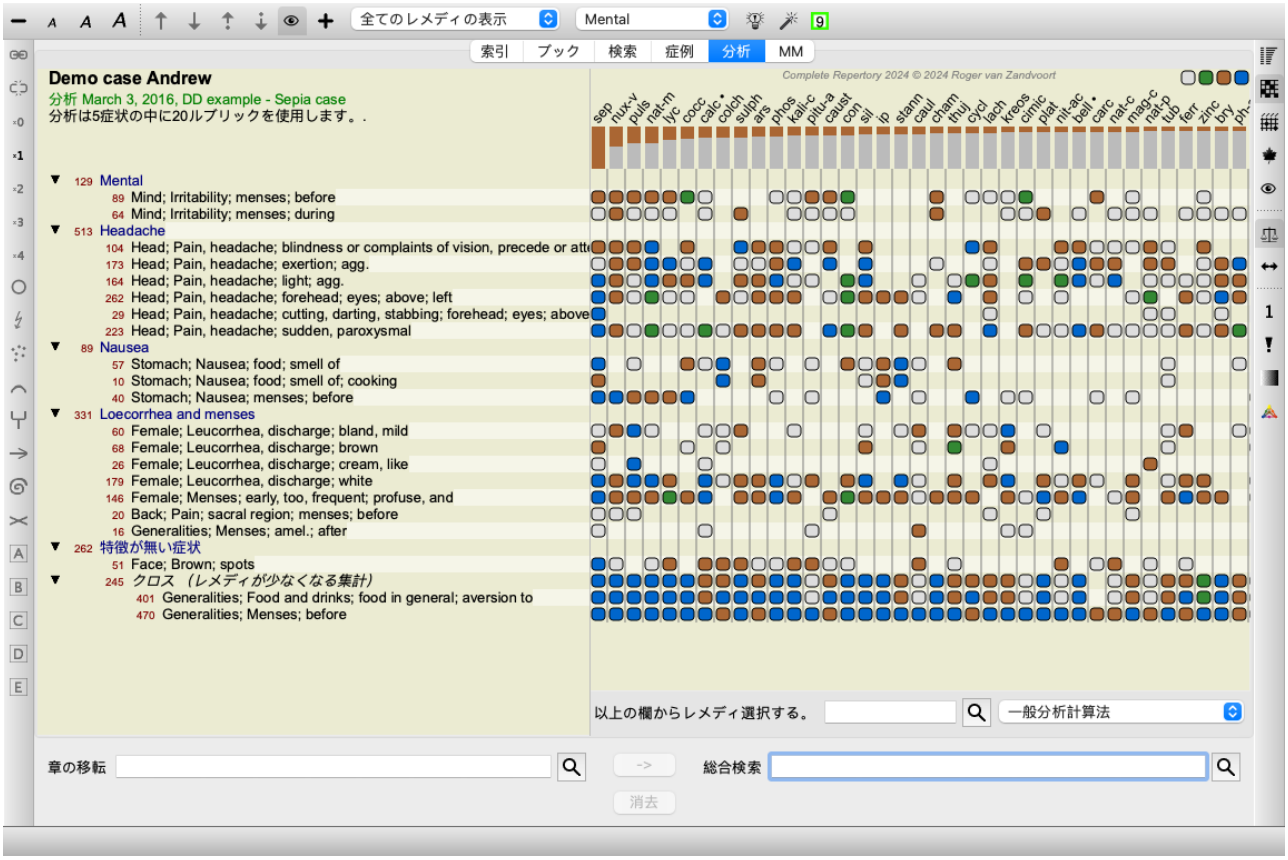
- 一般的なものも含め、分析したすべての症状についてレメディーを比較する。
- ある症状に対する具体的な違いを研究する。
- 一般的な差異を研究し、分析でまだ出ていない症状を調べる。

この研究の一部は、マテリアメディカを使って行うことになっています。
しかし、ほとんどの作業は、レパートリーの内容を使って行うことができます。
Analysis module の特別なDifferential Diagnosis（鑑別診断）機能がそれを支援します。分析結果と*Find* モジュールのレメディー鑑別機能との間に使いやすい接続を形成しています。

いくつかの例を挙げて、その仕組みを紹介します。

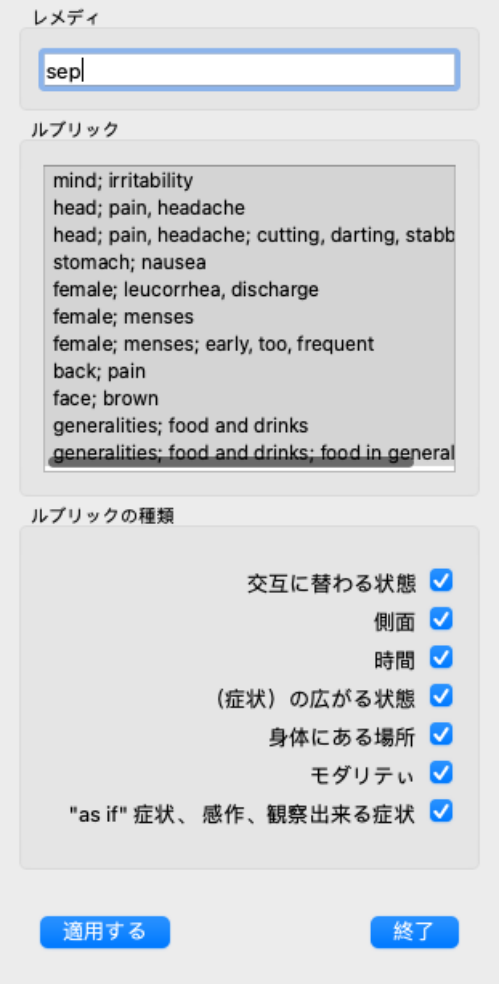
例：セピア色のケース

以下の分析は、デモケース*Andrew* にあり、*DD example - Sepia case* と呼ばれています。



Sepia のスコアが最も高いが、これは必ずしも処方すべきレメディであることを意味しない。この場合、*Sepia* と*Nux Vomica*、これらのレメディーは補完的であり、どちらも分析では比較的高いスコアであるため、区別したいと考えました。

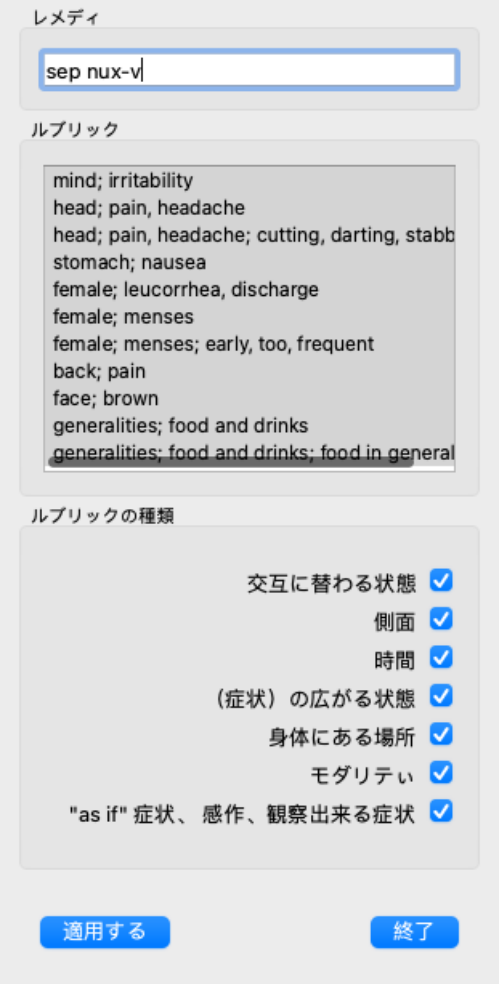
鑑別診断を開始する。(メニューオプション*分析 / 鑑別診断ウィザード*, ツールバーボタン).
ダイアログが開きます。



このダイアログでは、3つのセクションが表示されます。

- レメディーです。
  ここでは、区別したいレメディーの略称を入力します。
  スタンダード、相対スコアが50％以上のレメディが最大10個まで記入されます。ほとんどの場合、このリストを自分で修正したいと思うでしょう。
- ルーブリック
  このリストは、分析のルーブリックをもとに作成されています。分析におけるルーブリックの全現象を収録しています。必要であれば、このリストの中から特定の症状を選択し、その症状のみのDDを生成することも可能です。
- ルーブリックの種類
  ここでは、どのような症状で差別化を図るかを指定することができます。

この例では、レメディを*sep nux-v* に変更し、他のセクションは変更しないようにします。現時点での私たちの意図は、分析対象のすべての症状について、汎用的なDDを作ることです。



このダイアログを画面上の都合の良い位置に移動し、開いたままにしておくと、DDの条件を素早く変更することができます。いつでも、*Close* ボタンで閉じることができます。

適用 ボタンをクリックすると、選択した条件でDDが開始されます。*Find モジュール* が開き、選択した基準に対して最も差別化できるルーブリックが表示されます。

ウィザード　全て　Nux-v　Sep

MIND

IRRITABILITY; anxiety; with; suicide, attempt to commit, afraid to die: *NUX-V*
IRRITABILITY; emissions, pollutions, seminal; **after**: *NUX-V* (+14)

HEAD

PAIN, headache; **morning; agg.; opening** eyes, on: NUX-V (+11)
PAIN, headache; **morning; agg.; rising; amel.**: *NUX-V* (+37)
PAIN, headache; **evening; amel.; bed,** in: *NUX-V* (+4)
PAIN, headache; **alcohol,** alcoholic drinks; **agg.**: *NUX-V* (+101)
PAIN, headache; **alcohol,** alcoholic drinks; **amel.**: sep (+12)
PAIN, headache; **bathing,** washing; **agg.**: SEP (+45)
PAIN, headache; **bathing,** washing; **agg.; cold**: SEP (+14)
PAIN, headache; **bathing,** washing; **amel.**: NUX-V (+70)
PAIN, headache; **bathing,** washing; **amel.; cold**: NUX-V (+51)
PAIN, headache; **coffee; agg.**: *NUX-V* (+33)
PAIN, headache; **leucorrhea; during**: *SEP* (+8)
PAIN, headache; **lying; amel.; side,** on; **painless**: *NUX-V* (+4)
PAIN, headache; **room; agg.**: *Sep* (+152)
PAIN, headache; **room; amel.**: NUX-V (+41)
PAIN, headache; **sleep; loss** of, from late hours: *NUX-V* (+34)
PAIN, headache; **walk,** walking; **while; air,** in open: *NUX-V* sep (+81)
PAIN, headache; **walk,** walking; **amel.; air,** in open: nux-v SEP (+95)
PAIN, headache; **forehead; left; extending** to; **occiput**: *SEP* (+13)
PAIN, headache; **forehead; morning; agg.; bed,** in: NUX-V (+11)
PAIN, headache; **forehead; morning; agg.; rising; agg.**: sep (+39)
PAIN, headache; **forehead; morning; agg.; rising; amel.**: *NUX-V* (+11)
PAIN, headache; **forehead; air; open; agg.**: NUX-V sep (+56)
PAIN, headache; **forehead; air; open; amel.**: SEP (+71)
PAIN, headache; **forehead; eating; agg.**: *NUX-V* sep (+56)
PAIN, headache; **forehead; eating; amel.**: *SEP* (+23)
PAIN, headache; **brain; morning; waking,** on: *NUX-V* (+2)

Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

表示されるルビは、ほとんどがヘッド症状になっているので、ボタンを数回クリックしてルビを少なく表示します。

ウィザード　全て　Nux-v　Sep

HEAD

PAIN, headache; **morning; agg.; rising; amel.**: *NUX-V* (+37)
PAIN, headache; **evening; amel.; bed,** in: *NUX-V* (+4)
PAIN, headache; **bathing,** washing; **agg.**: SEP (+45)
PAIN, headache; **bathing,** washing; **agg.; cold**: SEP (+14)
PAIN, headache; **bathing,** washing; **amel.**: NUX-V (+70)
PAIN, headache; **bathing,** washing; **amel.; cold**: NUX-V (+51)
PAIN, headache; **coffee; agg.**: *NUX-V* (+33)
PAIN, headache; **forehead; left; extending** to; **occiput**: *SEP* (+13)
PAIN, headache; **forehead; morning; agg.; rising; agg.**: sep (+39)
PAIN, headache; **forehead; morning; agg.; rising; amel.**: *NUX-V* (+11)
PAIN, headache; **forehead; eating; agg.**: *NUX-V* sep (+56)
PAIN, headache; **forehead; eating; amel.**: *SEP* (+23)
PAIN, headache; **brain; morning; waking,** on: *NUX-V* (+2)
PAIN, headache; **bursting; morning; rising** amel.: *NUX-V*
PAIN, headache; **bursting; morning; waking,** on: *NUX-V* (+7)
PAIN, headache; **pressing; forehead; eyes; above; walking; agg.; air,** in open: *NUX-V* sep (+105)
PAIN, headache; **pressing; forehead; eyes; above; walking; amel.,** in open air: SEP
PAIN, headache; **shooting; forehead; eyes,** above; **left; extending** to; **occiput**: *SEP*
PAIN, headache; **stunning,** stupefying; **morning; bed,** in: *NUX-V* (+1)
PAIN, headache; **stunning,** stupefying; **morning; rising,** after; **amel.**: *NUX-V* (+2)
PAIN, headache; **stunning,** stupefying; **morning; waking,** on or after: *NUX-V* (+1)
PAIN, headache; **tearing; temples; left; extending** to left upper side: *SEP*

STOMACH

NAUSEA; morning; bed, in: *NUX-V* (+17)
NAUSEA; lying; agg.: *Sep* (+51)
NAUSEA; lying; amel.: NUX-V sep (+54)

FEMALE

LEUCORRHEA, discharge; **daytime**: *SEP* (+10)
LEUCORRHEA, discharge; **daytime; only**: *SEP* (+7)

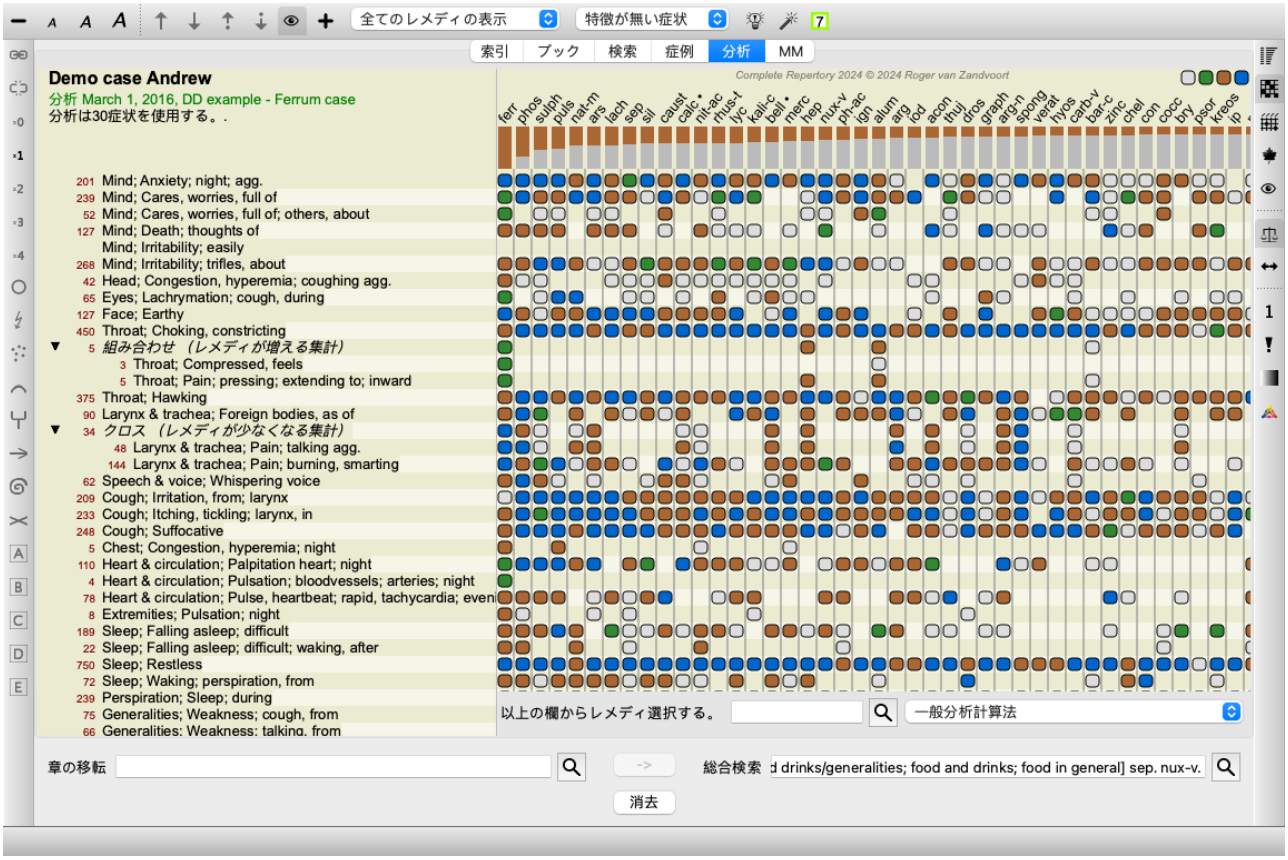
Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

これにより、分析に使用する症状の選択について、両レメディの関連する違いをよく理解することができます。

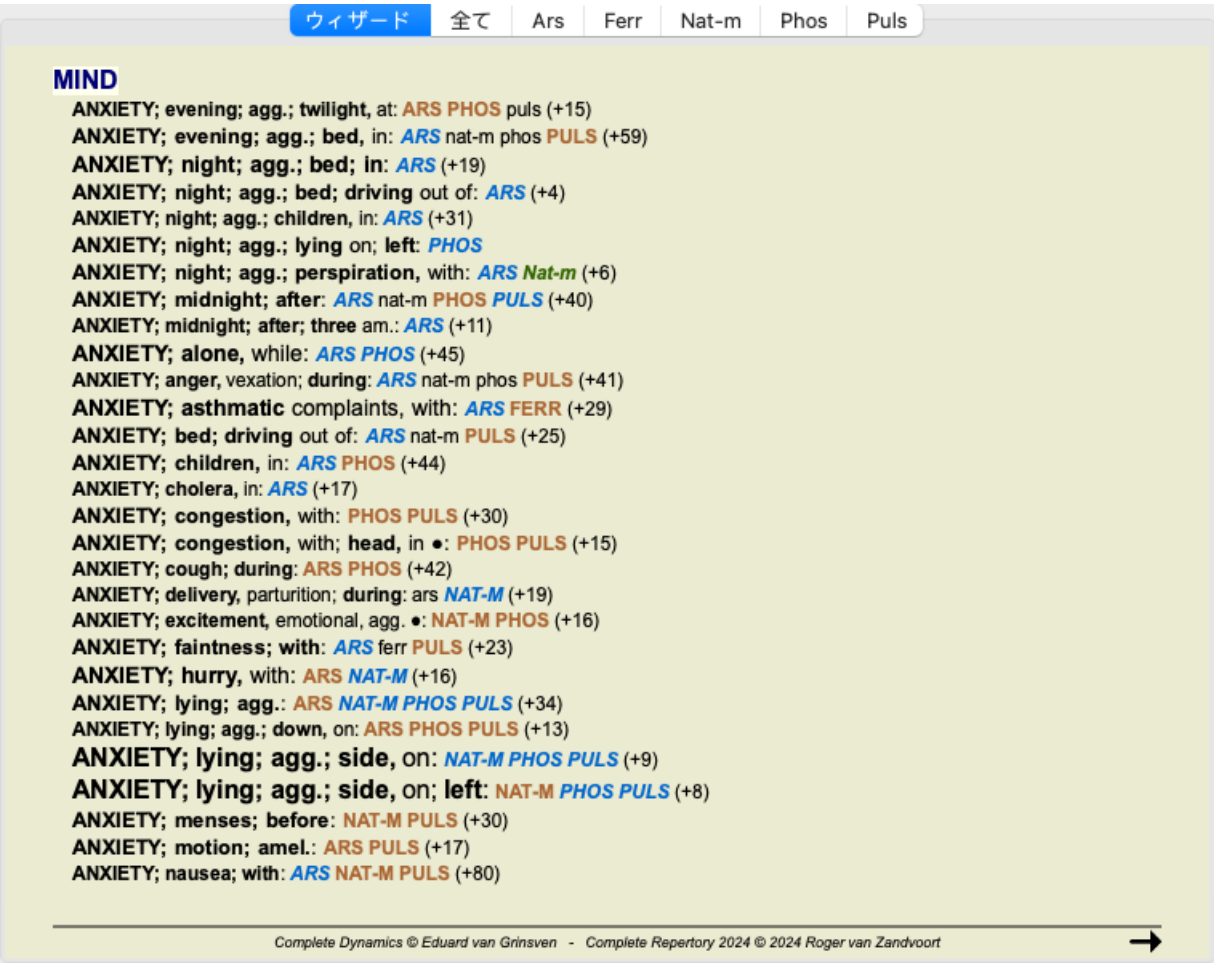
結果は*Find* モジュールに表示されるため、すぐに関連するルーブリックを分析に追加することができ、提供された新しい情報に従って分析結果を修正することができます。

例：フェルムの場合

以下の分析は、デモケース*Andrew* 、と呼ばれる*DD example - Ferrum case* で見ることができます。



DDを起動した後、レメディ*ferr phos puls ars nat-m* を選択し、*Apply* ボタンをクリックしました。



あとは、特定の症状やルーブリックの種類を選択するオプションを使って、結果がどのように変わるかを試してみてください。

ベニングハウゼン

Bönninghausen解析に関するいくつかの情報

ボーニングハウゼン分析法は、他のレパートリーを使うのではなく、他の分析法と同様にComplete Repertory を使って作業します。古いBönninghausesのレパートリーにあるすべてのルーブリックは、Complete Repertory に存在します。
ベニングハウゼンの分析システムは、患者さんの症状が必要なときに使う方法論で、特定の種類のレパートリーとは関係なく、どのレパートリーにもある一般化されたルーブリックに関係するものなのです。

その違いは、計算の仕方にあります。
あるレメディがあるルーブリックでどのように表現されているかを見るだけでなく、レパートリーの他の部分にある関連ルーブリックでの表現に重きを置いています。

計算はこのように行います。
- ルーブリックに表示されている救済措置の評点は無視する。
- 代わりに、関連するルーブリックでの救済措置の発生から算出される救済措置評点を使用する。
- レメディが、異なるレパートリーセクションの、より関連性の高いルーブリック（心、頭、一般性など）に出現する場合、より重要視する。
- 極ルビでの発生を修正する（amel.-agg.やdesire-aversionなど）。

ベニングハウゼン分析スタイルでは、一般的に、より一般的で大きなルーブリックを使用することになります。
特定のルーブリックと一般的なルーブリックを混在させることは、一般的に有用ではありません。

解析テンプレート

新しい分析を作成した場合、SymptomsやRubricsは含まれません。
しかし、多くの場面で、似たようなケースに似たような症状を使うことが多いのではないでしょうか。

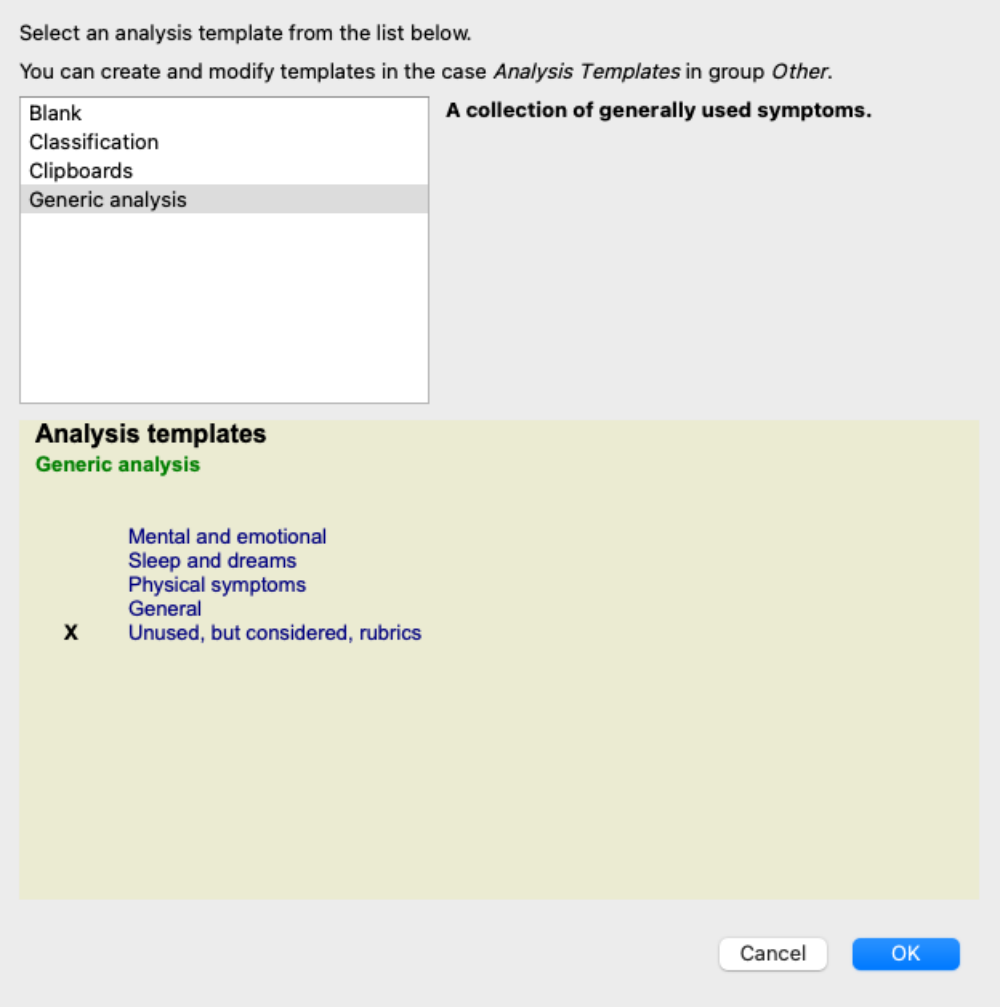
これを容易にするために、*分析テンプレート* を作成することができます。解析テンプレートは、新しい解析の出発点であり、すでにいくつかの定義済みの要素を含んでいます。これらは、よく使われるレパートリー・ルーブリックと同様に、Symptomsとすることができます。

テンプレートからの解析の作成

新しい分析を作成するには、まず新しいケースを作成するか、すでに存在するケースを開く必要があります。*ケースファイ*

ルの作成 およびケースファイルのオープンを参照してください。

テンプレートから新しい分析を作成します。(メニューオプション*症例 / テンプレートに基づいて*, *control-T*).
ダイアログが表示され、テンプレートを選択することができます。



テンプレートを選択すると、画面下半分にその内容の例が表示されます。

独自の分析テンプレート作成

テンプレートの作成はとても簡単です。
すべてのテンプレートは、*Analysis templates* という特殊なケースファイルに格納されています。ケースグループ*Other* にあり、*Demo case - Andrew* case file と共にご覧いただけます。

このケースファイルでは、他のケースファイルで通常の分析を作成するのと同じように、新しい分析を作成することができます。この分析に加えたメモが、テンプレートの説明文として使われます。*Analysis templates* のケースファイルを開くだけで、その仕組みがすぐにわかりますよ。

ケースファイルのどこかにすでに分析があり、それを新しいテンプレートとして使用したい場合は、その分析を複製してから、*Analysis templates* ケースファイルに転送するだけです。(メニューオプション*症例 / 分析を複製する*, *control-D*, メニューオプション*症例 / 分析を症例に移す*).

テンプレートを他の人と共有する

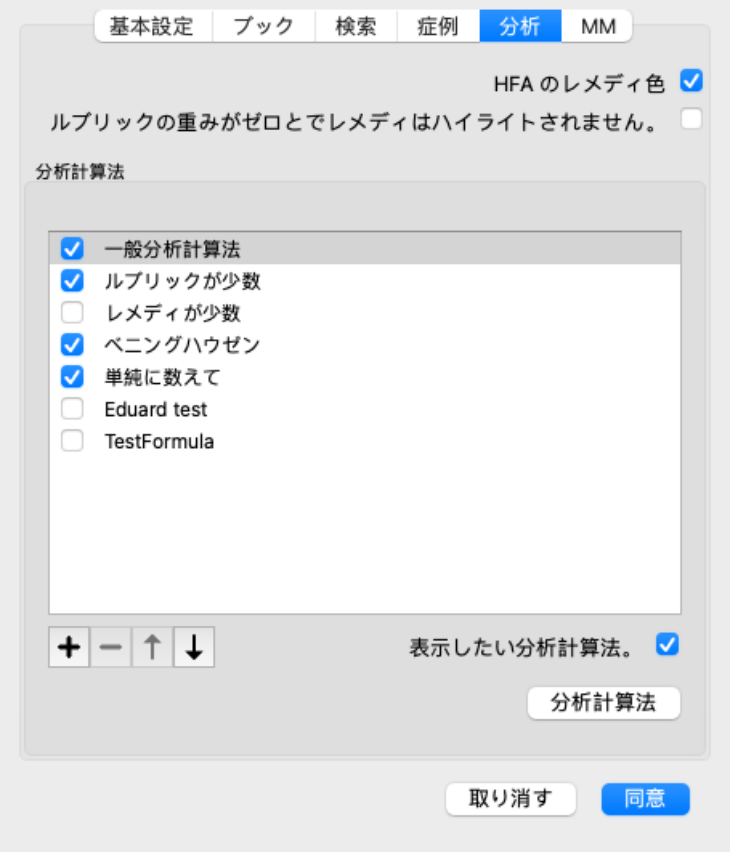
分析テンプレートは、他の分析結果を共有するのと同じように、同僚と共有することができます。詳しくは、「*ケース共有*」をご覧ください。
書き出したファイルは、インターネット上でも簡単に共有することができます。

計算式

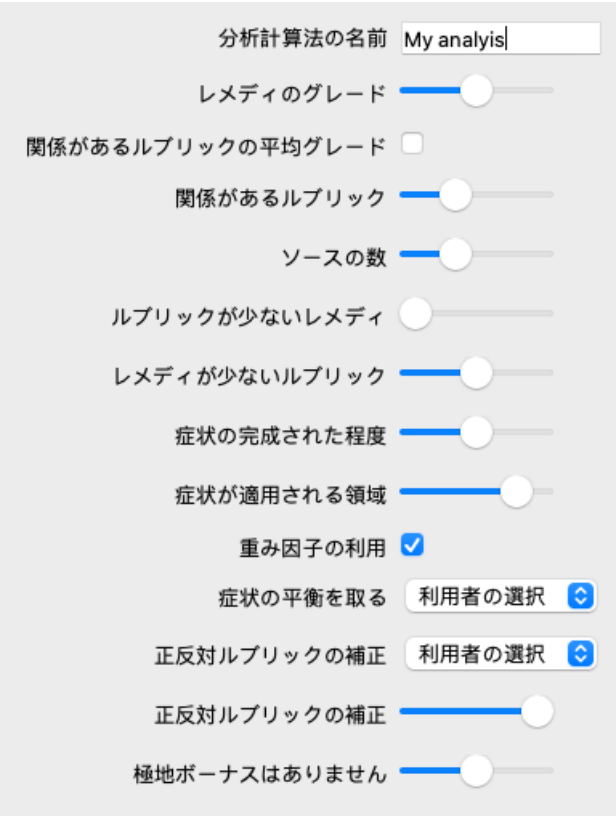
独自の解析式で

Complete Dynamicsでは、最も一般的な解析手法が標準で組み込まれています。多くのユーザーにとって、これらの処方がすべてであろう。

自分の好みや職業上の経験に応じて、独自の数式を作成し、カスタマイズすることができます。
新しい解析式を作成するには、*Preferences*, section*Analysis* を開きます。



既存の解析式を一つ選び、+ボタンを押します。新しい分析式が作成され、自分で修正することができます。この新しい数式は、リストで選択していた解析の設定から始まります。



なお、標準的な解析式の設定を変更することはできません。自分で追加した数式のみ変更可能です。標準的な計算式の設定を見て、どのように構成されているかを確認することができます。

スライダーエディターでは、分析式の中のいくつかの要素に重みを持たせることができます。スライダーを右側に移動するほど、その部分の計算式に価値が与えられます。

以下の説明では、いくつかの選択肢で、*関連するルーブリック* という単語が使われています。あるルーブリックがより具体的なルーブリックの一般化である場合、より具体的なルーブリックは、より一般化されたルーブリックの*関連ルーブリック* と呼ばれます。
例えばHead; pain; morning; agg[//RUBRIC] は*よりも具体的である。*

同様にHead; pain; morning; agg はHead; pain よりも具体的である。

式名	ここで、この数式に付けたい名前、例えばFred-1を入力します。これは、*Analysis* モジュールで分析に表示される名前です。
レメディーグレード	ルーブリックで救済措置の評点に与える重要度を設定します（1～4）。 最低設定では、すべてのレメディーがグレード1を持つものとして扱われます。 高い設定にすることで、1級と4級の差がより重要になります。
関連ルーブリックの平均評点	このオプションをチェックすると、救済措置の評点は関連するルーブリックの同じ救済措置の評点と一緒に修正されます。あるルーブリックで評点が4であっても、関連するほとんどのルーブリックで評点が低い場合は、低い方の平均値が使用されます。 チェックされていない場合、救済措置は常に与えられたルーブリックの救済措置に示されている評点が与えられます。
関連ルーブリック	あるレメディが関連するルビにも出現している場合、他のレメディよりもより多くの関連ルビに出現していれば、特別に重要視することができる。 この設定が高いほど、関連するルーブリックでの出現率が重要視される。
小型レメディー	スモールレメディーとは、ポリクレストのようにレパートリーであまり取り上げられていないレメディーのことです。ポリクレストは、多くのルーブリックに登場し、成績も高いことが多いので、分析上、比較的重要視される傾向にある。 この設定により、より小さなレメディを重要視することができます。
小型ルーブリック	救済措置が多いルーブリックは、非常に汎用性の高いルーブリックであることが多い。非常に具体的なルビは、少ない数の救済措置しかないことが多い。このような小さなルビは、他の方法では見過ごされる救済策を指し示す可能性があるため、分析にとって非常に重要な意味を持ちます。 この設定により、これらの小さなルーブリックの救済をより重要視することができます。
症状の完全性	レパートリーに含まれるすべてのルーブリックは、いくつかのタイプの情報の組み合わせです。ルーブリックの中には、タイムモダリティについてしか書かれていないものもあります。他のルーブリックは、特定の現象について、時間モダリティとの関係で、あるいは拡張子について語る、などなど。 ルーブリックがこれらの複数の側面をカバーしていればいるほど、より具体的な症状を記述していることになる。 この設定により、一般的な症状ではなく、完全な症状をより重要視することができるようになりました。
症状別カバー率	各レメディーは、いくつかのSymptomsとRubricsで発生します。改善策の対象となるSymptomsやRubricsが多いほど、その改善策が分析上重要である可能性があります。 この設定により、より多くの患者さんの症状をカバーするレメディーを重要視することができます。
ウエイトファクターを使用する	分析では、SymptomsとRubricsに重み付けを設定することができます。 このオプションをオンにすると、これらの重みが解析式に使用されます。 このオプションをオフにすると、重みの設定は無視されます。
バランス症状	この設定は、Complete Dynamics 解析の Symptom Balancing 機能をどのように使用するかを決定します。 *常に*:バランシングは常に行われます。 *Never*:バランス調整は行いません。 *ユーザー選択可能*:*Analysis* モジュールの ⚖ ボタンで設定を制御します。
極ルビに修正	極ルビの補正をどのように行うかを設定します。 *常に*:極ルビは常に正しい。 *決して*:極ルビを訂正しないでください。 *ユーザーが選択可能な*。*Analysis* モジュールの ↔ ボタンで設定を制御します。
ポーラー補償	極ルビの補正をどの程度強く行うかを決定する。 最高設定では、レメディーが極ルーブリックで発生した場合、完全に補正されます。
ポーラーボーナスで欠席	レメディーがポーラールーブリックに存在しない場合、レメディーをより重要視すること。

全く役に立たない解析式を作ることは、とても簡単です。これらのオプションを賢く利用しましょう。標準的な数式を厳選しています。

計算式のファインチューニング

解析式を自作する場合、すべての設定を最適な値に調整するのは難しく感じるかもしれません。
Analysisモジュールでは、結果を単に1～4の等級ではなく、相対的な重要度に従って表示することができます。
これは、解析用フォーマルが思い通りに設定されているかどうかを確認するのに非常に役立ちます。
詳しくは、*Analysis module / Advanced topics / Show relative importance* をご覧ください。

分析品質

良い分析をする技術

患者さんの症状を的確に分析することは芸術であり、その熟練度は明らかではありません。学校によって指導方法は異なります。個々の教師は、それぞれのスタイルや理論を推進しています。そして、良い分析は患者ごとに異なります。

分析品質ツールは、一般的なエラーを防止し、成功の可能性を高めるお手伝いをします。

品質指標

Analyisモジュールのページ上部に、小さな色のボタンがあります。
色は分析の質を示しています。

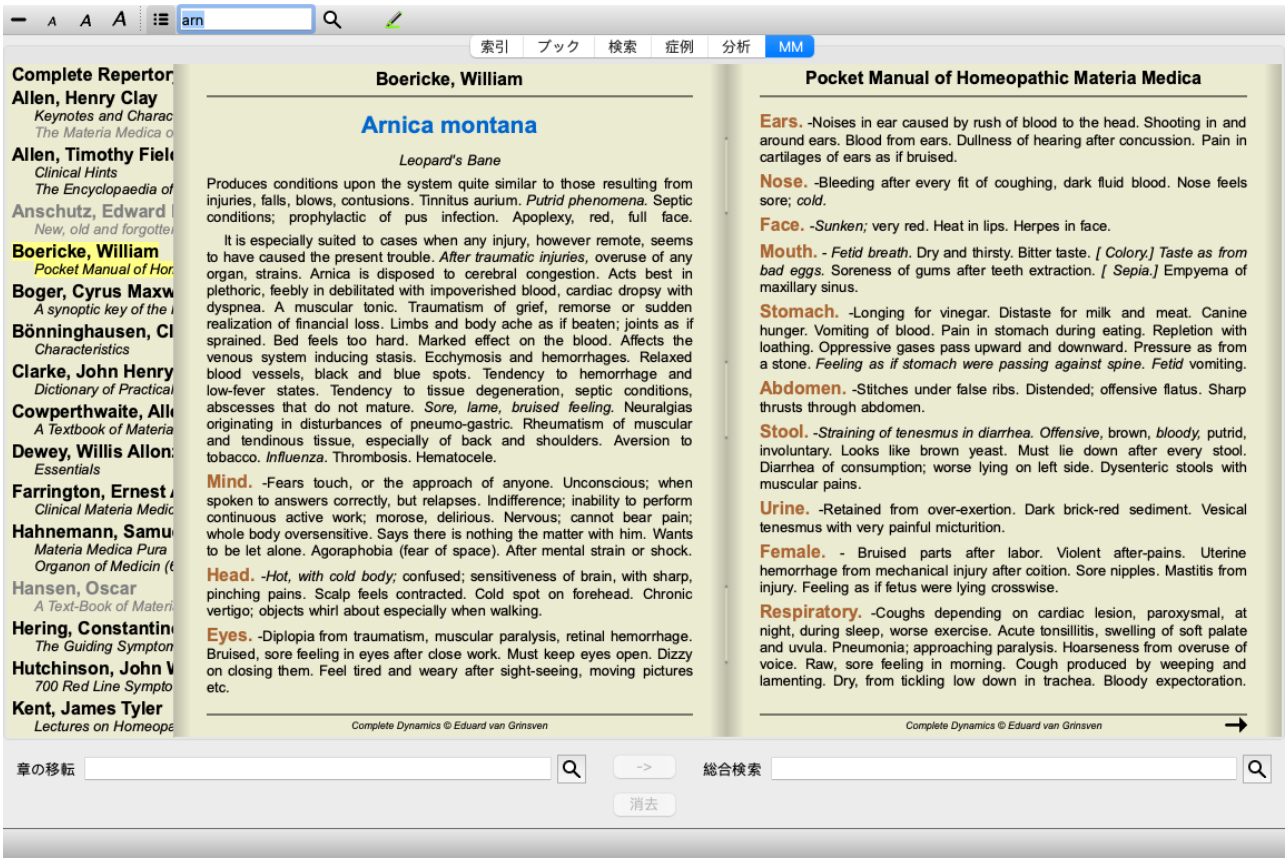
- 緑: 軽微な改善勧告のみ。
- 黄色: 品質は改善可能。
- 赤: この分析には重大な問題があります。

品質指標をクリックすると、改善の可能性を示唆するレポートが表示されます。

マテリアメディカモジュール

Materia Medica モジュールを開く

MM タブをクリックし、Materia Medica モジュールに移動します。 (メニューオプション*表示 / マテリア・メディカ*, *⌘-M*).

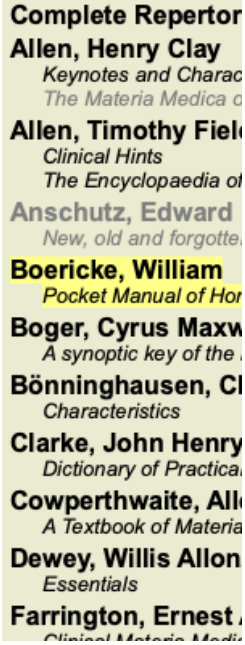


救済措置の選択

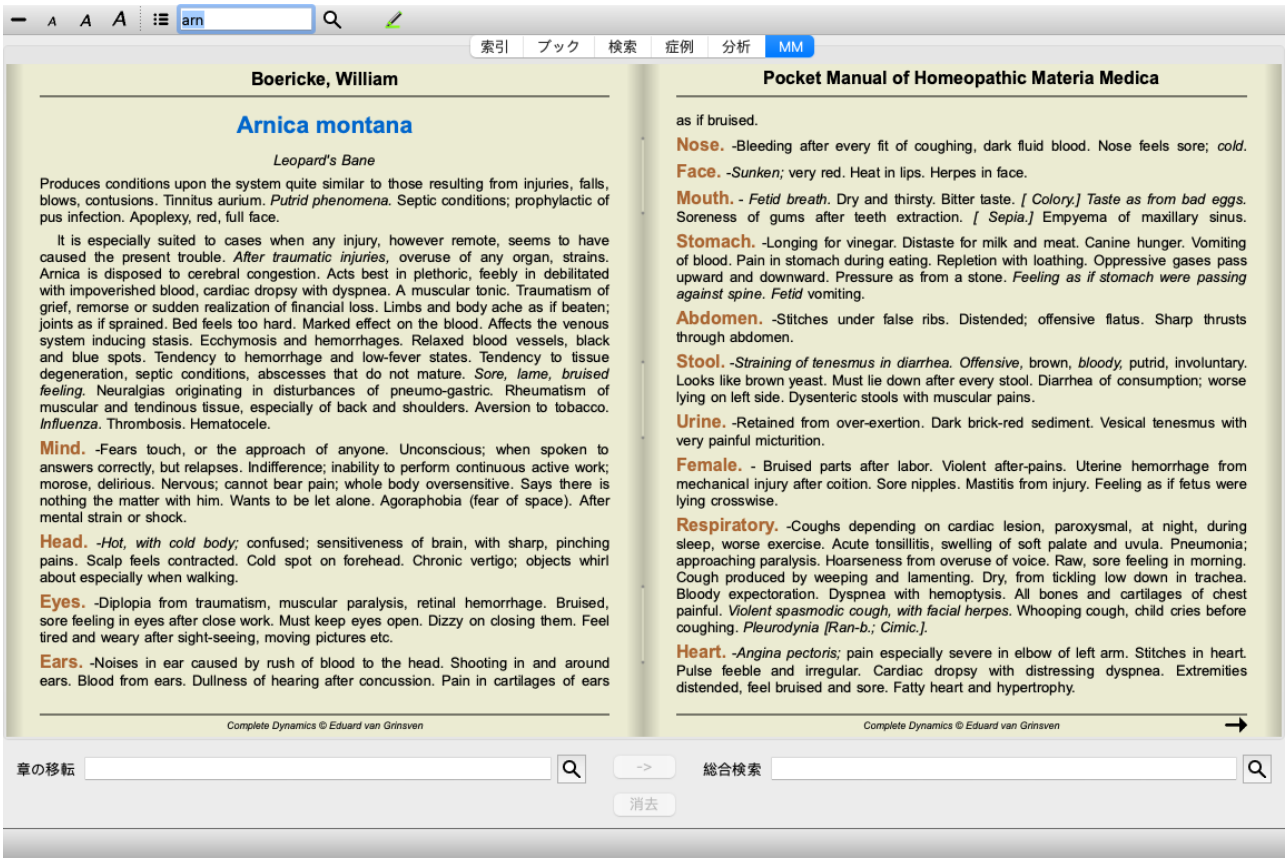
ツールバーの上のフィールドにレメディの略語を入力することができます。略語がわからない場合は、欄外の🔍を押すことで救済策を調べることができます。

本を選ぶ

レメディーを選択した後、画面左側に表示されているマテリアメディカのソースを任意に選択することができます。選択したレメディーがブック内に存在しない場合は、ブックタイトルがグレーで表示されます。

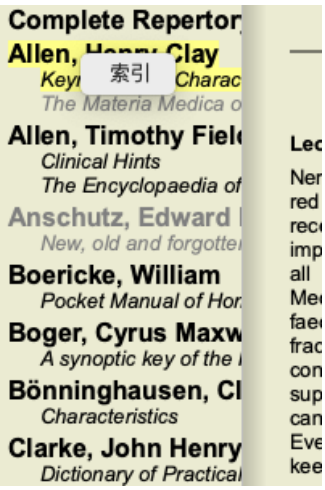


読書スペースを確保したい場合は、ツールバーのボタン☰でインデックスを非表示にすることができます。



レメディインデックス

書籍に収録されているすべてのレメディの概要を知るには、書籍タイトルのポップアップメニューを開いてください。(ポップアップメニューオプション*索引*).



収録されているすべてのレメディが掲載されているリストが表示されます。レメディー名をクリックすると、そのレメディーのブックを開くことができます。

Allen, Henry Clay / Keynotes and Characteristics

Abrotanum
Aceticum acidum
Aconitum napellus
Aesculus hippocastanum
Aethusa cynapium
Agaricus muscarius
Agnus castus
Allium cepa
Aloe socotrina
Alumina
Ambra grisea
Ammonium carbonicum
Ammonium muriaticum
Amylenum nitrosum
Anacardium orientale
Anthracinum
Antimonium crudum
Antimonium tartaricum
Apis mellifera
Apocynum cannabinum
Argentum metallicum
Argentum nitricum
Arnica montana
Arsenicum album
Arum triphyllum
Asarum europaeum
Asterias rubens
Aurum metallicum

Baptisia tinctoria
Baryta carbonica

利用可能な書籍やインターネットサイト

Materia Medicaモジュールには、いくつかの書籍が用意されています。これらの書籍は、お客様の言語設定により、ご利用いただける言語が異なる場合があります。

Materia Medicaモジュールは、レメディー情報を提供するいくつかのインターネットウェブサイトを統合しています。これらのウェブサイトが利用可能かどうかは、お客様の言語設定によって異なります。
なお、インターネット上のウェブサイトのコンテンツは、Complete Dynamics には含まれませんが、便宜上、Materia Medica モジュールにのみ表示されています。
一部のウェブサイトでは、情報へのアクセスに際して料金を請求する場合があります。これは純粋にウェブサイト所有者のポリシーであり、お客様のComplete Dynamicsライセンスとは一切関係ありません。

リバースマテリアメディカ

Reverse Materia Medica は、指定されたレメディのレパートリーの中から、最も重要な症状をそのまま表示します。
通常のマテリアメディカのように、人間の専門家による解釈は行われません。*Reverse Materia Medica* は、レパートリーに蓄積された専門知識に完全に基づいています。
Book モジュール内のルーブリックに移動するには、そのルーブリックをダブルクリックするだけです。

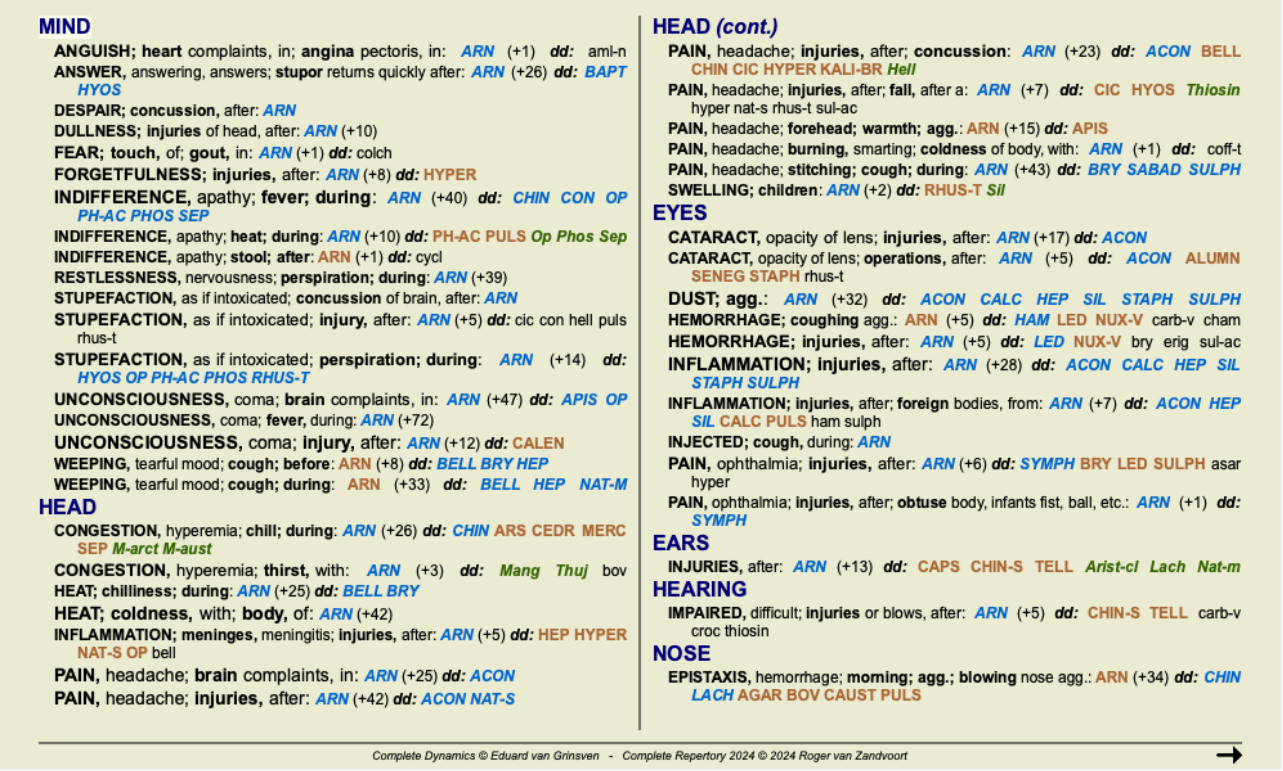
重要な症状ほど大きく印刷されるので、様々な症状の相対的な重要性を簡単に見分けることができます。

以下のボタンで結果を修正することができます。

−	症状が少ない。
+	より多くの症状
フィルター	フィルタードロップダウンリストでは、逆マテリアメディカに表示されるルビの基準を選択することができます。
	自動 最も関連性の高いルーブリックが自動的に選択されます。
	確認された症状 グレード3または4のレメディのみが使用されます。これらは、実際に確認されている症状を示しています。
	完全な症状 完全な症状のみを使用しています。症状は、少なくとも3種類の情報が組み合わさって完成します。例時間＋場所＋延長
	確認済み・完了 *確定* と*完全* の症状のみ表示されます。
	レッドライン症状 より多くのレパートリーで関連性のある症状が発生するものを優先する。
	キーノート レメディのグレードは3か4だが、他のレメディはすべて低いグレードである。
	ユニークなルーブリック レメディーが唯一発生しているルビだけを表示する。
	Differential Diagnosisのオン/オフ。オンになっている場合は、その症状の他の重要なレメディを示す。

リバースマテリアメディカにおける代替療法

ツールバーの💡ボタンを押すと、その症状に対するいくつかの対処法が追加で表示されます。(メニューオプション*表示/レメディ/レメディ比較表示*, ツールバーボタン💡, ポップアップメニューオプション*レメディ/レメディ比較表示*).



MIND

ANGUISH; heart complaints, in; **angina** pectoris, in: *ARN* (+1) ***dd:*** aml-n
ANSWER, answering, answers; **stupor** returns quickly after: *ARN* (+26) ***dd:*** *BAPT HYOS*
DESPAIR; concussion, after: *ARN*
DULLNESS; injuries of head, after: *ARN* (+10)
FEAR; touch, of; **gout,** in: *ARN* (+1) ***dd:*** colch
FORGETFULNESS; injuries, after: *ARN* (+8) ***dd:*** HYPER
INDIFFERENCE, apathy; **fever; during**: *ARN* (+40) ***dd:*** *CHIN CON OP PH-AC PHOS SEP*
INDIFFERENCE, apathy; **heat; during**: *ARN* (+10) ***dd:*** PH-AC PULS *Op Phos Sep*
INDIFFERENCE, apathy; **stool; after**: ARN (+1) ***dd:*** cycl
RESTLESSNESS, nervousness; **perspiration; during**: *ARN* (+39)
STUPEFACTION, as if intoxicated; **concussion** of brain, after: *ARN*
STUPEFACTION, as if intoxicated; **injury,** after: *ARN* (+5) ***dd:*** cic con hell puls rhus-t
STUPEFACTION, as if intoxicated; **perspiration; during**: *ARN* (+14) ***dd:*** *HYOS OP PH-AC PHOS RHUS-T*
UNCONSCIOUSNESS, coma; **brain** complaints, in: *ARN* (+47) ***dd:*** *APIS OP*
UNCONSCIOUSNESS, coma; **fever,** during: *ARN* (+72)
UNCONSCIOUSNESS, coma; **injury,** after: *ARN* (+12) ***dd:*** CALEN
WEEPING, tearful mood; **cough; before**: ARN (+8) ***dd:*** *BELL BRY HEP*
WEEPING, tearful mood; **cough; during**: ARN (+33) ***dd:*** *BELL HEP NAT-M*

HEAD

CONGESTION, hyperemia; **chill; during**: *ARN* (+26) ***dd:*** *CHIN* ARS CEDR MERC SEP *M-arct M-aust*
CONGESTION, hyperemia; **thirst,** with: *ARN* (+3) ***dd:*** *Mang Thuj* bov
HEAT; chilliness; during: *ARN* (+25) ***dd:*** *BELL BRY*
HEAT; coldness, with; **body,** of: *ARN* (+42)
INFLAMMATION; meninges, meningitis; **injuries,** after: *ARN* (+5) ***dd:*** HEP HYPER NAT-S OP bell
PAIN, headache; **brain** complaints, in: *ARN* (+25) ***dd:*** *ACON*
PAIN, headache; **injuries,** after: *ARN* (+42) ***dd:*** *ACON NAT-S*

HEAD *(cont.)*

PAIN, headache; **injuries,** after; **concussion**: *ARN* (+23) ***dd:*** *ACON* BELL CHIN CIC HYPER KALI-BR *Hell*
PAIN, headache; **injuries,** after; **fall,** after a: *ARN* (+7) ***dd:*** CIC HYOS *Thiosin* hyper nat-s rhus-t sul-ac
PAIN, headache; **forehead; warmth; agg.**: ARN (+15) ***dd:*** APIS
PAIN, headache; **burning,** smarting; **coldness** of body, with: *ARN* (+1) ***dd:*** coff-t
PAIN, headache; **stitching; cough; during**: *ARN* (+43) ***dd:*** *BRY SABAD SULPH*
SWELLING; children: *ARN* (+2) ***dd:*** RHUS-T *Sil*

EYES

CATARACT, opacity of lens; **injuries,** after: *ARN* (+17) ***dd:*** *ACON*
CATARACT, opacity of lens; **operations,** after: *ARN* (+5) ***dd:*** *ACON* ALUMN SENEG STAPH rhus-t
DUST; agg.: *ARN* (+32) ***dd:*** *ACON CALC HEP SIL STAPH SULPH*
HEMORRHAGE; coughing agg.: ARN (+5) ***dd:*** *HAM* LED NUX-V carb-v cham
HEMORRHAGE; injuries, after: *ARN* (+5) ***dd:*** *LED* NUX-V bry erig sul-ac
INFLAMMATION; injuries, after: *ARN* (+28) ***dd:*** *ACON CALC HEP SIL STAPH SULPH*
INFLAMMATION; injuries, after; **foreign** bodies, from: *ARN* (+7) ***dd:*** *ACON HEP SIL* CALC PULS ham sulph
INJECTED; cough, during: *ARN*
PAIN, ophthalmia; **injuries,** after: *ARN* (+6) ***dd:*** *SYMPH* BRY LED SULPH asar hyper
PAIN, ophthalmia; **injuries,** after; **obtuse** body, infants fist, ball, etc.: *ARN* (+1) ***dd:*** *SYMPH*

EARS

INJURIES, after: *ARN* (+13) ***dd:*** CAPS CHIN-S TELL *Arist-cl Lach Nat-m*

HEARING

IMPAIRED, difficult; **injuries** or blows, after: *ARN* (+5) ***dd:*** CHIN-S TELL carb-v croc thiosin

NOSE

EPISTAXIS, hemorrhage; **morning; agg.; blowing** nose agg.: ARN (+34) ***dd:*** *CHIN LACH* AGAR BOV CAUST PULS

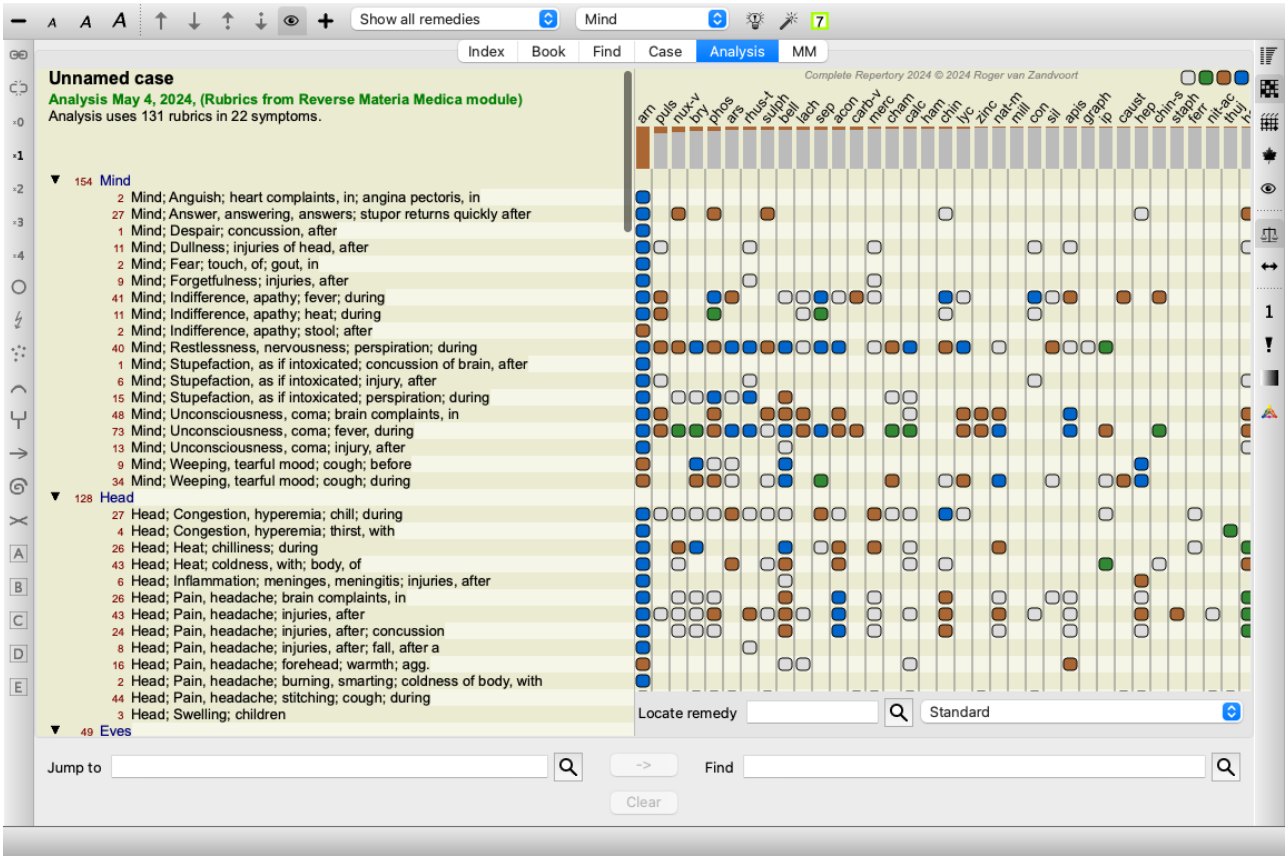
Complete Dynamics © Eduard van Grinsven - Complete Repertory 2024 © 2024 Roger van Zandvoort

各症状に対して、最大7つの代替療法が表示されます。
この例では、7つのレメディが表示されることもあれば、もっと少ないこともあることがわかります。これは、あるグレードのレメディーは、ALLが表示できる場合にのみ表示されるからです。
つまり、グレード4とグレード3のレメディーが表示されている場合、そのルーブリックにはグレード4や3のレメディーは存在しないが、表示されていないグレード2や1のレメディーが存在する可能性があることを意味します。

レメディーが全く表示されない場合は、ルーブリックに同じ重要度のレメディーが8つ以上含まれているか、代替手段が全くないかのどちらかだと思われます。

詳細なルーブリックの概要

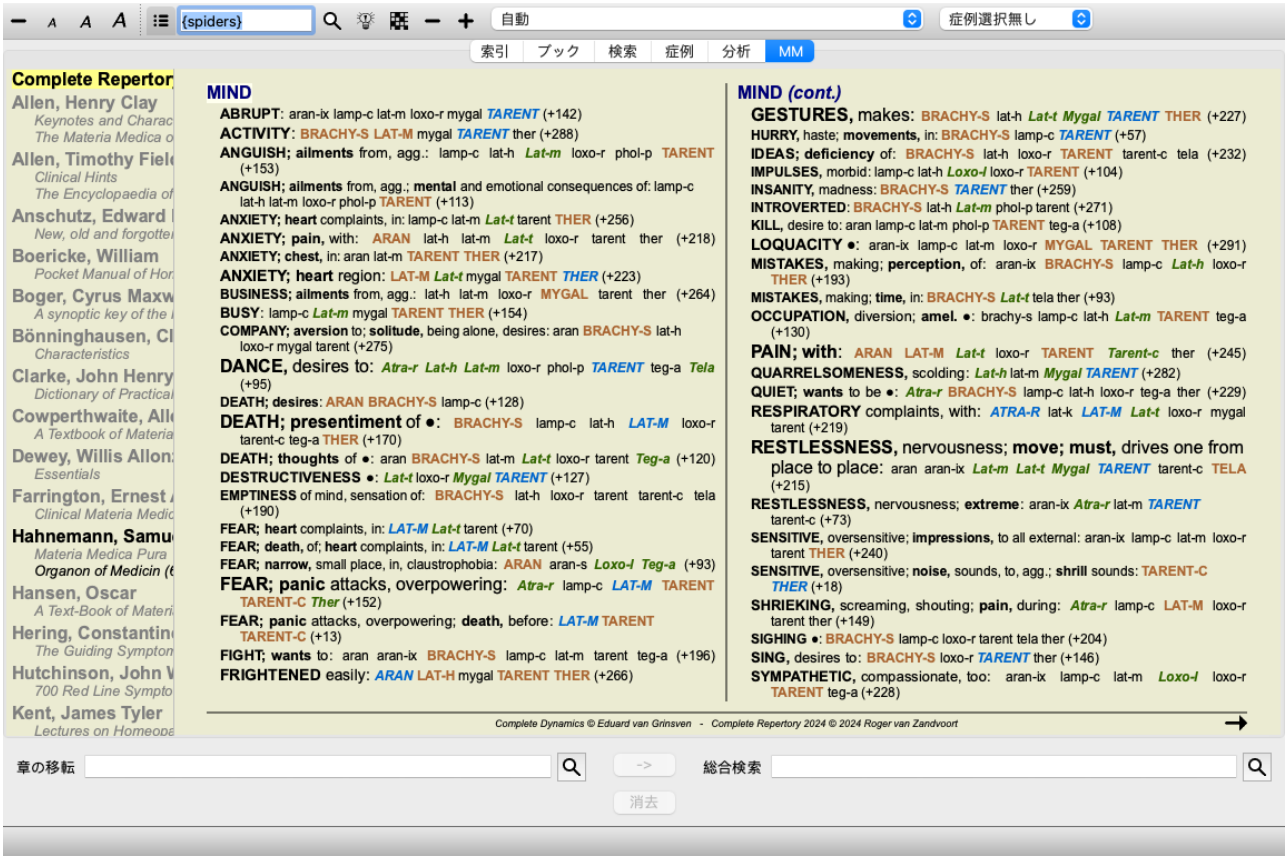
逆マテリアメディカに表示されているすべてのルビの詳細を見るには、ボタンを押してください。(メニューオプション*分析/表（将棋盤）*, ツールバーボタン). これにより、すべてのルーブリックをレパートリーセクションごとに整理した表形式の分析表が一時的に作成されます。解析結果は、現在のケースに保存され、ケースを閉じると削除されます。



キングダム＆ファミリーのための逆マテリアメディカ

一つのレメディの逆マテリアメディカを作るだけでなく、ある王国やファミリーの最も重要なルビを検索することができます。
ファミリーを選択するには、{}の間に名前を入力します。入力する名前は、「王国と家族」の章にあるルーブリックの名前と一致している必要があります。名前を調べるには、🔍ボタンを押してから、ボタン*Groups...を押してください。*

次の例は、{spiders}の逆マテリアメディカを表しています。



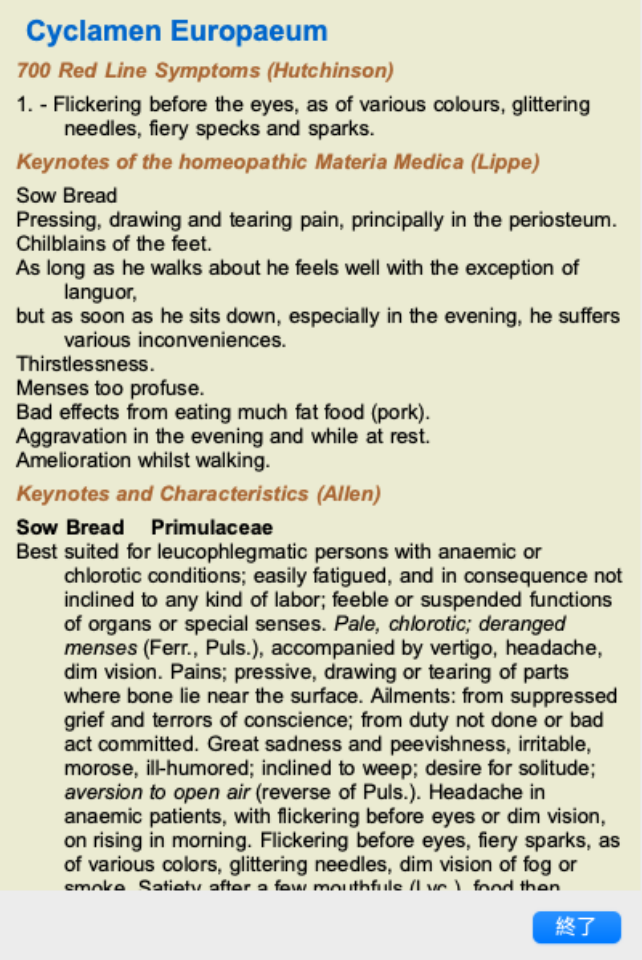
マテリアメディカの追加

他のユーザーが作成したマテリアメディカの本は、Complete Dynamics に簡単に追加することができます。マテリアメディカの本は、ファイルに保存され、他のユーザーと共有することができます。新しいブックをインストールするには、ファイルを*Documents* フォルダの下にある*Complete Dynamics* というフォルダにコピーしてください。その後、Complete Dynamics を停止して再起動します。そうすると、新しい本が自動的にあなたの*MM* セクションに表示されるようになります。

新しいマテリアメディカブックを作成するには、*Master Edition* のライセンスが必要です。

マテリアメディカ早わかり

複数の書籍のマテリアメディカのテキストを同時に素早く見ることができ、とても便利です。
Materia Medica quick view ウインドウでは、よりコンパクトなマテリアメディカ本のテキストを複数同時に表示します。(メニューオプション*表示 / マテリアメディカクイックビュー*, ポップアップメニューオプション*マテリアメディカクイックビュー*).



このウインドウは、あなたが明示的に閉じるまで開いたままになります。そうすることで、レメディーを素早く比較することができるようになります。*Book*,*Find*,*Analysis* モジュール内の任意のレメディー名をクリックするだけで、別のレメディーを選択することができます。

自分のマテリアメディカを管理する

新規書籍の作成

新しいマテリアメディカブックを作成することができます。(メニューオプション*MM / 新しいMateria Medicaブックを作成する*).
最初に、新しいファイルの名前を入力するよう求められます。このファイルは、*Documents* フォルダーの下の*Complete Dynamics* フォルダーに格納されています。意味のある名前にする。

次に、本の詳細を入力する画面が表示されます。

著者

姓 Feelgood

ファーストネーム John

ミドルネーム

イニシャル J.W.

著作権

著作権者名

著作権年 0

書籍情報

本のタイトル The Materia Medica of demonstrations

短い名前 Feelgood demonstration

言語 英語

取り消す 同意

著者名は、ご存知のものをすべてご記入ください。姓は必須です。
書名 が正式な書名です。
短い名前 は、著者名やタイトルをフルに出さなくても、その本について素早く言及するための短いテキストです。この短縮名は、*Find モジュール*で、Materia Medica での検索結果を表示する際に使用される。

ブックを作成した後、この情報を修正する必要がある場合は、任意の救済のためのエディタを開き、*詳細* ボタンをクリックします。

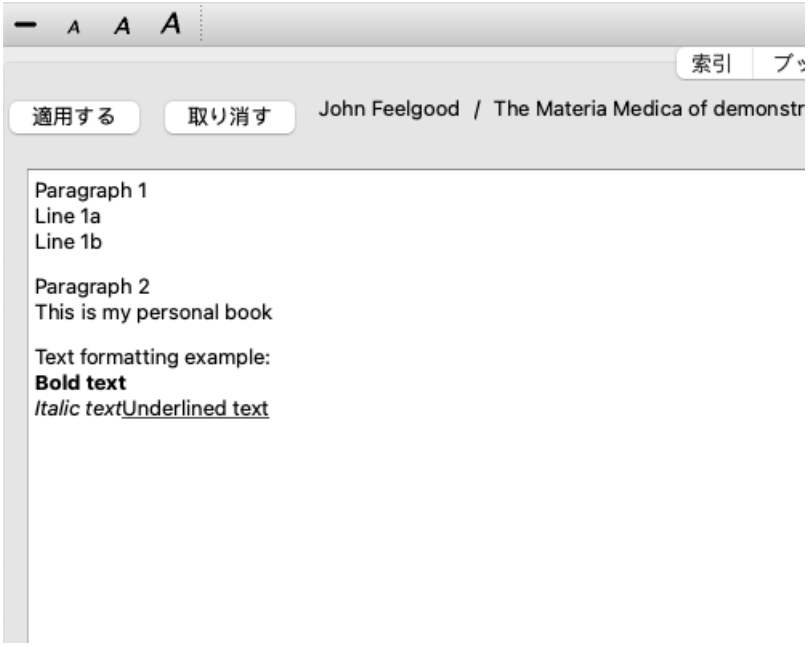
レメディー編集

レメディーを編集するには、まず正しい本と正しいレメディーを選択します。その後、エディタを開くことができます。(メニューオプション*MM / マテリア・メディカの編集*). メニューオプションが無効になっている場合は、本の所有者ではないため、編集はできません。

エディターは、テキストの書式設定のいくつかの要素をサポートしています。

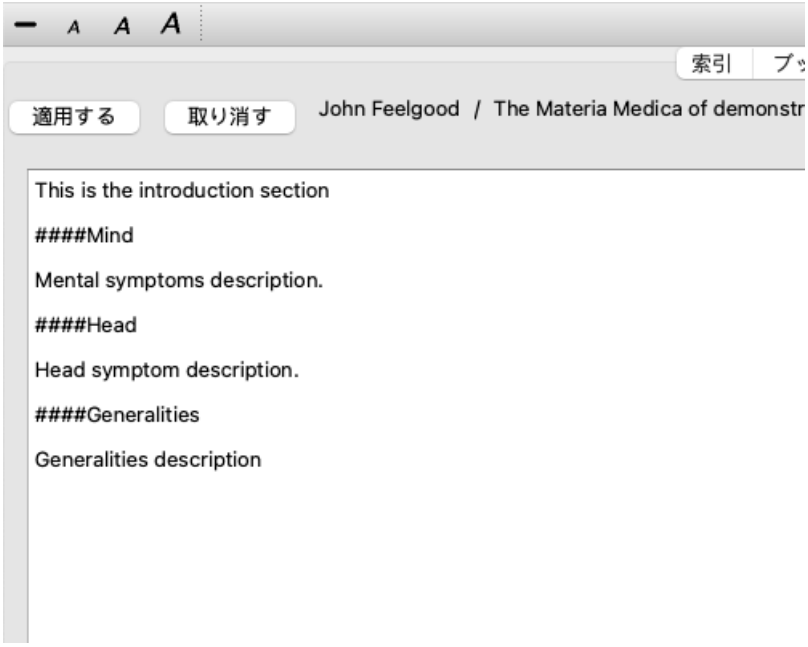
- パラグラフ
- 改行する。
- 文字スタイル bold, italic, underline, superscript, subscript.

他のスタイルを使用した場合は無視されます。エディターで直接編集することも、コンピューターのクリップボードからテキストを貼り付けることも可能です。

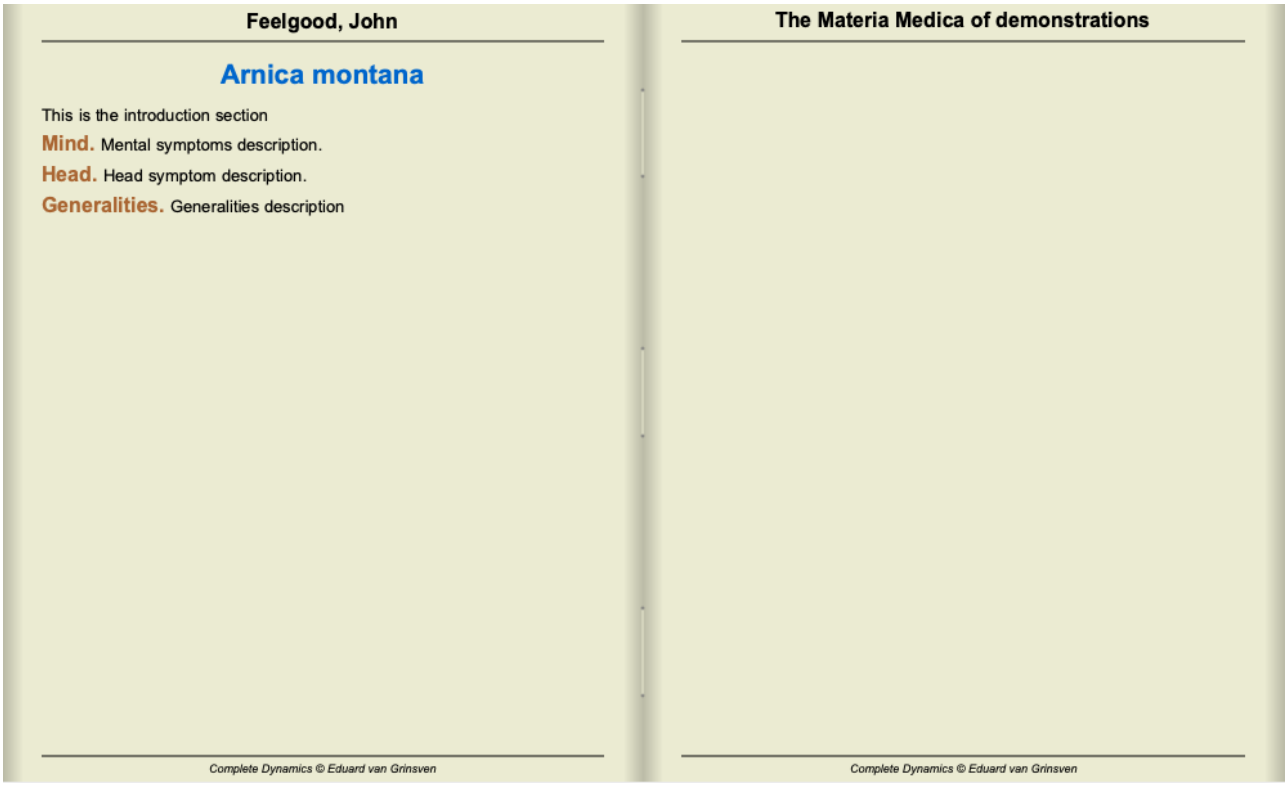


準備ができたら、*Apply* ボタンをクリックすると、通常のブック表示に戻ります。

マテリアメディカを個々のセクションにまとめるには、##で始まる行と、その後にラベルを追加します。



この例では、3つの個別のセクションを作成しています。



追加チャプターの作成

レメディーを個別に編集する以外に、レメディーから独立したチャプターを作成することもできます。
チャプターを追加で作成するには、任意のレメディのエディターを開き、*Chapters* ボタンをクリックします。ダイアログが表示され、チャプターを作成したり、順番を決めたりすることができます。

作成したチャプターはすべてインデックスに表示されます。(ポップアップメニューオプション*索引*).

マテリアメディカを他の人と共有する

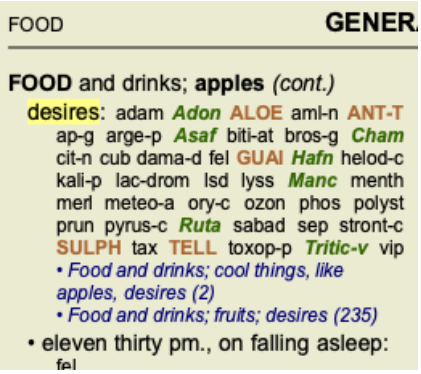
マテリアメディカの本を他の人と共有するために必要なのは、あなたが作成したファイルだけです。あなたのマテリアメディカ本のファイルの拡張子は*.rep* です。

なお、他の人はあなたの本をさらに編集することはできません。編集は原著作者に限定されます。

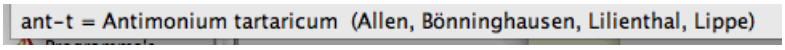
救済情報

救済措置の詳細情報

例として、ルーブリック*Generalities; Food and drinks; apples; desires* を見てみましょう。

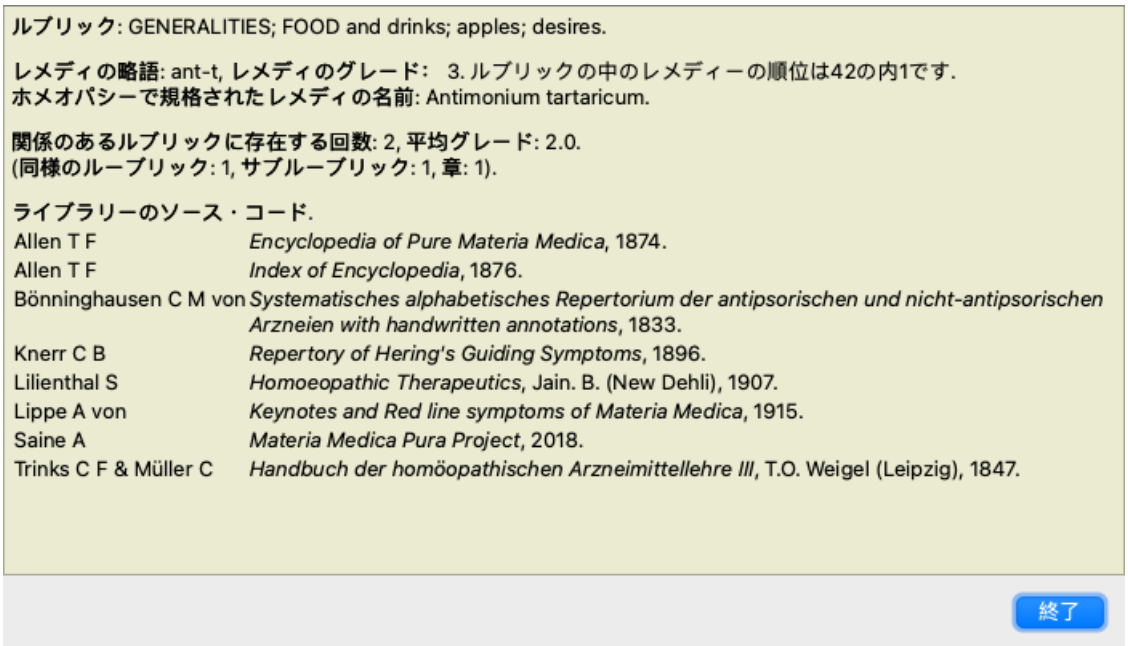


ルーブリックのレメディについて詳しく知りたい場合は、レメディ名の上にマウスを移動し、ウインドウの左下にあるメッセージエリアを見るのが一番簡単な方法です。
REMEDYGRADE3]ant-t[/TAG_ERROR] の上にマウスを移動すると、メッセージが表示されます。



Antimoniumが（印刷の仕方で）3級であることだけでなく、その完全名称が*Antimonium tartaricum* であり、前述の4人の著者がこの情報を寄せたために、このルビが振ってあることもおわかりいただけたと思います。

詳細は、**ANT-T** をダブルクリックすると表示されます。
これにより、Remedy Informationウインドウが表示されます。



関連するルーブリックでの使用頻度

関連ルーブリックとは、この救済措置のために閲覧しているルーブリックと何らかの関係があるルーブリックのことです。
この例では、これらのルーブリックは
一般論; 食べ物や飲み物; リンゴのような冷たいもの、欲望
一般論; 飲食物; リンゴ、欲望; 水、冷たいものを欲すること
これらのルーブリックには、*ant-t* も含まれています。
関連するルーブリックでの出現回数が多いほど、またその平均的な重みが高いほど、その改善策をより重要視することができる。

類似のルーブリック

類似ルーブリックとは、当該ルーブリックと類似しているが、より具体的な情報を持つルーブリックにおける救済措置の発生を示すものである。非常に特殊なルーブリックの場合、Similar Rubricの数値は0になることがほとんどですが、一般的なルーブリックであればあるほど、数値が高くなる可能性があります。一般に、ルビのSimilar Rubric数が多いほど、他のレパートリーの対応するルビにそのレメディが確認されることが多く、当該レメディがより一般的に重要になることを意味し

ます。

この例では、類似のルーブリックは*Generalities; Food and drinks; cool things, like apples, desires* で、これには*ant-t* (author*Allen*)も含まれています。

> *注*: 同様に、ルーブリック*apples; desires* 自身は、Similar Rubric to*fruits; desires*. そのルーブリック*ant-t* では、Similar Rubricのカウントが2になっています。

> *注*: 類似ルーブリックは、より詳細なルーブリックをカウントし、より一般的なルーブリックをカウントしない。より一般的なルーブリックにレメディが出現しても、当該ルーブリックにおけるレメディの重要性が増すわけではありません。

サブ・ルブリカル

関連ルーブリックが当該ルーブリックのサブルーブリックにあることを除けば、類似ルーブリックと変わりはない。
一般的に、Sub Rubricの数が多いほど、より多くのソースから救済策を得たことを意味し、より重要であると考えることができる。
この例の場合、サブルビは「*water, with desire for cold* 」です。

> *注*: 上記ルーブリック*果物; 願望 ant-t* のサブルーブリックの頻度は3である。

セクション

関連するルビはレパートリーのどこにあってもかまいません。関連するルビがより多くの異なるセクション（章）にある場合、その救済措置はより重要であると考えることができる。

情報源

レメディの出典をすべて列挙します。これには、少なくとも著者名、書籍や雑誌のタイトル、出版年が含まれます。

ジャンプ先フィールド

目的

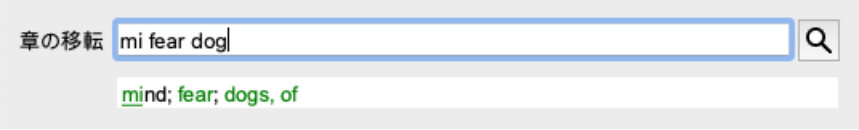
ウインドウの左下にある*Jump to* フィールドは、レパートリーの中から指定されたルーブリックに素早くジャンプするために使用します。
既知のルーブリックに素早くジャンプするために使用できます。
探しているものがわからない場合は、代わりに*Find* フィールドを使用します。*Jump to* フィールドは、行きたい場所がわかっている場合に素早くナビゲートするのに役立ちます。

キーボードフォーカスの移動

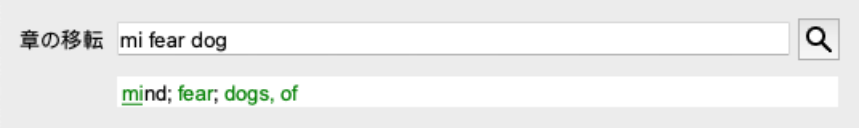
Jump to フィールドがキーボードストロークを受け付けるようにするには、まずそのフィールドを選択する必要があります。
Tabキーを1回または2回押すと、*Jump to* のフィールドにフォーカスが移動します。(メニューオプション*表示 / 章の空欄に移転*, *⌘-J*).
瞬時にブックに戻るには、Enterキーを押してください。

もちろん、マウスでフィールドをクリックすることも可能です。

フィールドに キーボードフォーカスがある



Field doesnot have focus



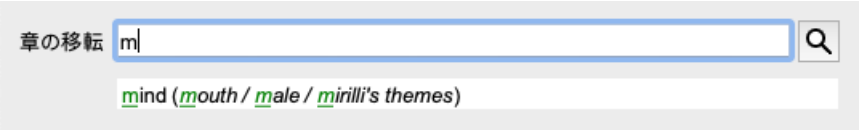
フィールドの使用

Jump to フィールドに、ジャンプしたいルーブリックの最初の文字を入力するだけです。ルーブリックのパーツはスペースで区切られています。
上記の例では、*Mind; Fear, dogs of* というルーブリックにジャンプしています。

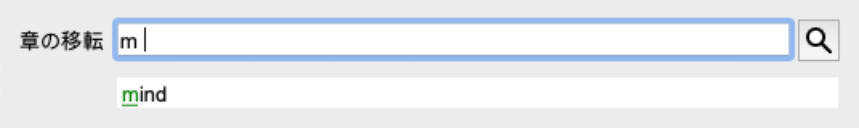
それぞれのルーブリックフラグメントを識別するために必要な最小限の文字数だけを入力します。この例では、*m fe dog* と入力すれば十分である。
入力中は、*Jump to* フィールドのすぐ下に表示される、解釈に関するフィードバックが提供されます。
また、文字を入力すると、キーを押すたびに瞬時に新しいルビにジャンプします。

要するに、本にフォーカスが当たっているときは、Tabキーを押して、数文字入力してルーブリックに移動し、Enterキーを押して本にフォーカスを戻すだけでいいのです。少し練習すれば、このナビゲーションは非常に強力です。

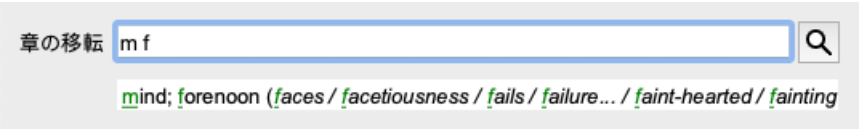
Mind; Fear; dogs, of というルーブリックを例にとって、入力中に何が起こるか見てみましょう。
最初の*m* は、*mind* と解釈されます。括弧内は、同じく*m* で始まる3つの選択肢です。
なお、正しいかもしれないと解釈された部分は、緑色で印刷されています（*m* in*mind,mouth, male,mirilli's themes*)。



スペースバーを押すと、この部分は完了します。*Mind* は、4つの可能性のうち、確定した選択肢です。

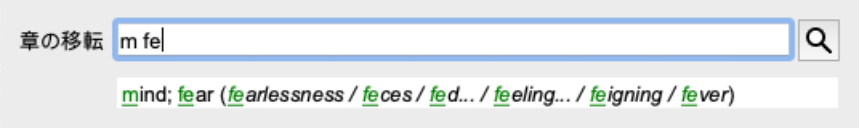


これで、ルーブリック名の第2部がスタートしました。*f* は*forenoon* と解釈され、最初の可能な選択肢となる。

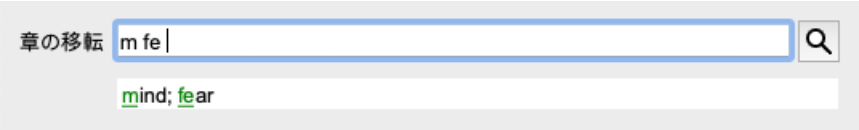


forenoon, だから、もう一文字入力してください。今*恐怖* が選択され、かなりの選択肢が残っている。

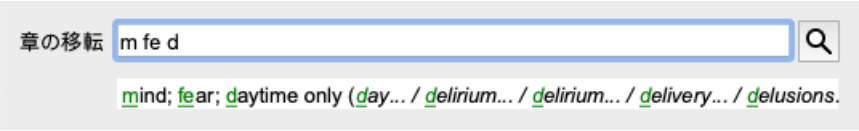
単語の後に点がある場合（例：*fed...,feeling...* ）は、ルビが本当はもっと長い（*fed, desires to be /feeling, loss of* ）が、他の選択肢にスペースを空けるために余計な単語は省かれたことを意味します。



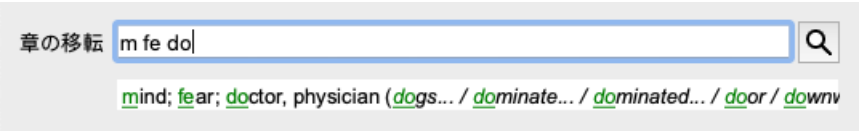
ここでも、スペースを押すことで、正しいことが確認できます。



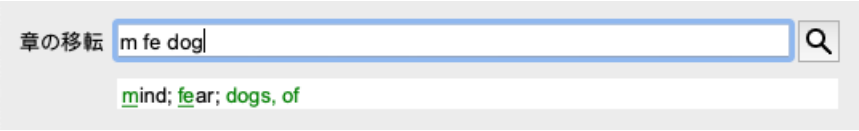
d led to*daytime only*.



do は、*doctors* に移動します。



そして、*犬* は、あなたが本当に欲しいものを与える。[/TAG_ERROR]この本は、心；恐怖；犬、のところで開かれている。



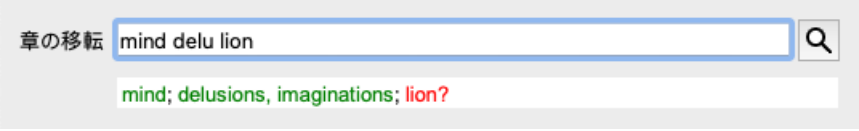
Enterを押すだけで、目的の場所に移動できます。

注：[/TAG_ERROR] の犬は、全体が緑色で印刷されています。この文脈では、*dog* 、この解釈しかありえないからだ。
mind は、最初の*m* だけが緑色で印刷されています。これは、*m* で始まる選択肢もあるためです。
fear は緑色の文字が2つ印刷されていますが、これは*fe* がユニークだからです。*feces*,*fed*,*feeling*,*feigning* などの代替案も*fe* で始まる。

失敗するのが人間

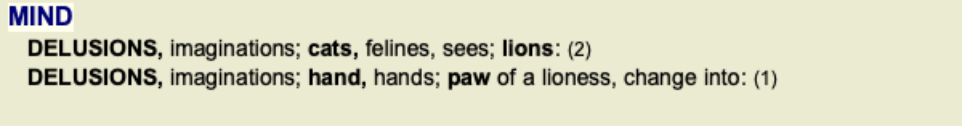
もちろん、あなたはすべてのレパートリー構成を暗記しているわけではないでしょう。誰もそんなことはしない。
そのため、頻繁にミスをして、間違ったものを入力する可能性が高いです。
例えば、ルーブリック*Mind; delusions; lions* に行きたいと思います。
正しいルビは actutally*Mind; delusion; cats, felines, sees; lions* であるため、このルビは存在しない。

だから、*m delu lion と入力するのです。*



これで、*lion* 、一致しないので赤で表示されていることがわかります。

ジャンプ先 と*検索先* の間にあるボタン を押して、検索に切り替えるだけなので、心配はありません。
これは、*Jump to* フィールドのテキストを*Find* フィールドにコピーして、すぐに検索を開始します。
Find モジュールは、探していたルーブリックを表示するようになりました。



最初のルビをダブルクリックするだけで、意図した通りの場所に本が開きます。

ブックモジュール

*Book モジュール*でルーブリックを選択すると、*Jump to* のフィールドにそのルーブリックのショートテキストが自動的に入力され ます。こうすることで、関連するルーブリックを簡単に見つけることができます。

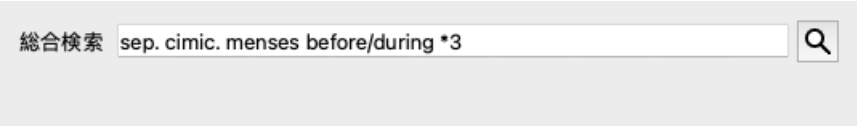
例
ルーブリック*Mind; fear; dogs, of, attacking him, in delirium* を選択すると、*Jump to* のフィールドに自動的に入力されます*min fear dog att*.
ルーブリック*Generalities; food and drinks; cold; drinks, water; agg.* を選択すると、*Jump to* のフィールドに自動的に入力されます。*gen foo cold dri agg*.

ルーブリック名の各パーツには、最低3文字が使用される。1 ~ 2枚で十分な場合もありますが、その場合は文字が非常に読みづらくなるはずです。
3文字では足りない場合、他のルーブリックと区別するために、より多くの文字が使われる。

フィールドを探す

パワフルで使い勝手の良い検索

*検索*フィールドは、非常に効率的で強力かつ迅速な検索を可能にします。



このフィールドには、個々のフィールドに入力できるすべての検索条件を入力できます (*「モジュールの検索」セクションを参照*)。
しかし、*検索*フィールドを切り替えることなく、検索したい内容を入力・変更できるため、より効率的な検索が可能です。
これは、とてもとても速いことです。

知っておいていただきたいことがいくつかあります。*Find* モジュールの各フィールドに検索条件を入力するたびに、正しくフォーマットされた文字列が*Find* フィールドに自動的に入力されるため、実際には非常に簡単です。これは双方向に作用します。*検索*フィールドに入力したものは、解釈されたとおりに個々のフィールドに表示されます。

Find フィールドが強力なのは、探しているものを好きな順番で入力できることです。そのため、ルビが多すぎる場合は、いくつかの用語を追加して入力すると、結果が少なくなります。また、以前に入力した基準を繰り返し入力することも可能で、最新の解釈が採用されます（評点、ルーブリックサイズ）。
Find フィールドの使用と個々のフィールドを組み合わせることもできます。一方の拠点で変更した内容は、もう一方の拠点でも自動的に反映されます。

ルールは以下の通りです。

テキスト　テキストフラグメントは、個々のテキストフィールドに入力したように、自動的にテキストとして解釈されます。
ここでは、/、+、-の使い方は同じです（*Find module* のセクションの例を参照ください）。
上記の例では、*menses* という単語と、*before* または*during* のどちらかを組み合わせて検索しています。

レメディー　レメディの略語はドットで終わらせる必要があります。
Remedies の欄は任意ですが、ここではテキストの断片とレメディの略語の混乱を避けるため、ドットで終わらせる必要があります。(混同例:*sep* は、*sepia* と*separation* のどちらかの意味になります。)
ここでも / と + の使い方は同じです。例については、セクション*Find module* を参照してください。
上記の例では、*sepia* または*cimicifuga* のいずれかを検索対象としています。
注：それ自体が略語でないレメディ（*Apis* や*Bufo* など）も、最後にドット（apis. bufo.）を付ける必要があります。

グラデーション　**1*,**2*,**3*, または**4* を入力することにより、最小レメディー階調1～4を指定することができます。この表現は、次のように読み替えることができます。要求されたすべての(*)救済措置は、この等級以上である必要があります。
あるいは、*の付いていない1、2、3、4の数字も同様に最小救済階調と解釈する。つまり，*4* は， **4* と同じである。

ルーブリックサイズ 最小および最大のルーブリックサイズは、>または<の前に数字を付けて指定することができます。
<50は50回以下のレメディーを意味します。
>10は10回以上のレメディーを意味します。
または、5以上の数字で始まるものは、自動的に最大ルーブリックサイズと解釈される。つまり、*50* は、*<50* と同じです。

事例紹介

上記の例を拡張して、最大50個の救済を含むルーブリックに制限してみましょう。
以下の条件の入力方法は、すべて同じ結果になります。

月経前/月経中 *3 <50
月経前/月経中 3 50
月経の前または中に分離する 3 <50 cimic.
50 月経前 / 月経中 / 半月期3
月経前/月経中 2 cimic.200 50 3

最後の例では、最初のグラデーションが2だったのが、後から3になっていたり、ルーブリックの最大サイズが200だったのが50になっていたりするのがわかりますね。これは例として分かりにくいかもしれませんが、検索中に検索結果を絞り込みたいときには、実はとても効率的な方法なのです。前に入力した基準を削除することなく、新しい基準を入力することができます。

ヒントテキスト検索では、「=」、「*」、「"」という特殊な表記も使用することをお忘れなく。
=*dog* will find*dog*, but not*dogmatic*.
**ation* will find*palpitation* as well as*perspiration* and*ovulation*.
"he is" は、順番が同じなら、*he* と*is* だけが見つかります。

プリファレンス設定

プログラムのいくつかのオプションは、個人の好みに応じて設定することができます。これらのオプションは、メニューオプション*Preferences* で変更できます。(メニューオプション*全般 / 環境設定*).
いくつかのセクションからなるダイアログが表示されます。

一般設定

プログラム言語 ここでは、いくつかの言語オプションが用意されており、そこから選択することができます。
使用できる言語は、Complete Dynamicsのバージョンによって異なります。

アニメーション Complete Dynamicsの一部では、ケースを開いたり閉じたりする際などにアニメーションが使用されています。
これは見た目はいいのですが、仕上がりに時間がかかるんです。これらのアニメーションが必要ない場合は、このオプションのチェックを外してください。

カラースキーム あなたの好みに合わせて色を使用するためのいくつかのオプション。

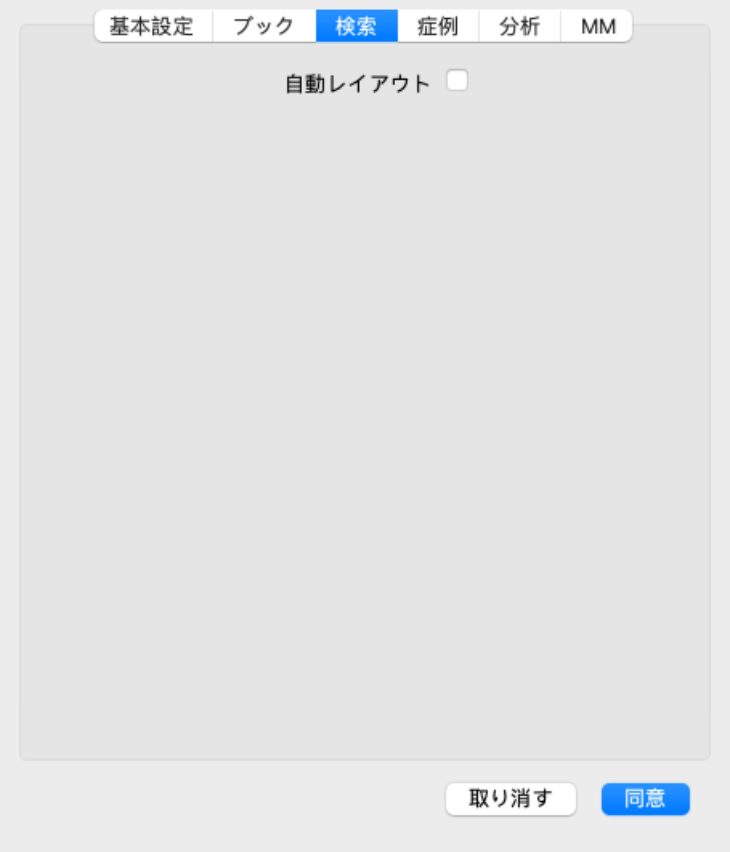
標準フォント名 ここで、プログラムで使用するお好みのフォントを選択することができます。

ケントのレパートリーを含む *Kent's Repertory, 6th edition* を別のレパートリーとして利用したい場合は、このオプションにチェックを入れてください。
Kent's Repertory の内容はすべて *Complete Repertory* にすでに収録されています。しかし、人によっては、他の資料からすべての追加をせずに、*Kent* に相談することを好む人もいます。
このオプションにチェックを入れると、*Kent* が*Index* モジュールで利用できるようになります。

図書の設定

レパートリー言語	レパートリーに使用する言語です。 2つ目のオプションは、ルーブリックテキストの後に表示される第二言語です。第二言語は、レパートリー翻訳を購入した場合のみ利用可能です。
横スクロール	このオプションにチェックを入れると、横スクロールの機能が有効になります。 この機能は、マウスやトラックパッドが水平方向のスクロールに対応している場合にのみ使用できます。
ルーブリックサイズを表示する	チェックした場合、Bookモジュールは常にルーブリックの救済措置の数を表示します。チェックしない場合は、レメディが表示されていないときのみ、番号が表示されます。
アルファベット順のルーブリック	チェックした場合、Bookモジュールは常にアルファベット順でルーブリックを表示します。チェックを入れない場合は、ケントが紹介した標準的なレパートリー順となります。
レパートリーフィルター	ここで、自分だけのレパートリーフィルターを定義することができます。 詳しくは、*フィルタリング/Bookモジュールのカスタムフィルタ*をご覧ください。

設定の検索



自動レイアウト このオプションをオンにすると、画面に十分なスペースがある場合、検索結果が自動的に複数列で描画されます。
チェックを入れないと、すべてのルーブリックが一列に描画されます。

ケース設定

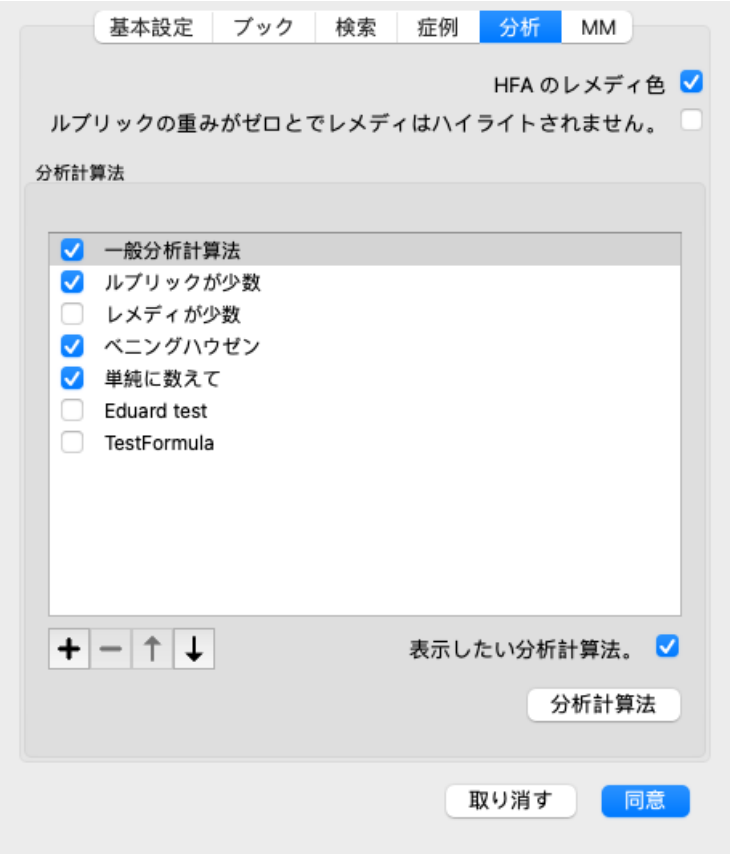
最近の事例では最大日数 Caseモジュールは、患者リストを最近の症例のみでフィルタリングすることができます。このオプションでは、このフィルタの日数を選択することができます。

ケースの自動ロックまでの分数 患者情報を保護するためにパスワードを設定した場合、このオプションは、Caseモジュールが自動的にロックされるまでの時間を設定します。
ここに0を入力すると、自動ロックは行われない。

アーカイブされたケースを自動的に削除 アーカイブされたケースを永久に削除するまでの時間を選択します。
Never を選択した場合、アーカイブされたケースは自動的に削除されません。

クラウドサーバーの利用 クラウドサーバーにケースのコピーを保存します。

解析設定



レメディカラーリングHFA このオプションをチェックすると、Grant Bentleyの顔分析手法に従ったカラーレメディが分析できるようになります。Analysisモジュールでは、新しいツールバーボタン（）が表示され、色付けのオン/オフを切り替えられるようになりました。
このオプションの使用は、このメソッドのコースを成功裏に完了した場合にのみ有効です。

関連するルーブリックのみを表示する Analyis モジュールでは、ルーブリックと救済措置の関係が結果の表グラフで示される。
重み付けが0になっている症状やルーブリックは、実際には解析結果に寄与していません。
このオプションをチェックすると、分析結果に寄与しないルーブリックの救済は、結果表のグラフから除外されます。こうすることで、ルーブリックが分析結果にどのように寄与しているかが、よりわかりやすくなります。

解析式 Analysisモジュールでは、いくつかの分析式を使用することができます。
これらのうち、どの数式をどの順番で表示するかを選択することができます。
分析の表示順を変更するには、分析名をクリックして選択します。BUTTON:up1]、のボタンで、リストの上下に移動させることができます。
分析を含めるか除外するかは、in を選択してから、チェックボックス*Show analysis* をクリックします。

また、自分の好みに合わせて分析式を作成することも可能です。
これについては、「*Analysis module / Formulas* 」で詳しく説明しています。

マテリアメディカ設定

言語 マテリアメディカの言語が複数用意されています。
デフォルトでは、コンピュータの言語と国の設定、およびライセンスオプションに従って、言語が表示されます。
Materia Medica モジュールで表示する書籍の言語を選択することができます。

言語

Complete Repertory やくしょしごと

Complete Repertoryは様々な言語に翻訳されています。新しい翻訳が定期的に追加されます。

Complete Dynamicsは、標準言語として英語を搭載しています。
他の言語でのレパートリー閲覧や、2言語での同時閲覧も可能です。
Find 機能は、英語で正しい単語がわからない場合、母国語でルビを検索することも可能です
追加言語を使用するには、ライセンスキーの購入が必要です。

現在、以下の言語に対応しています。

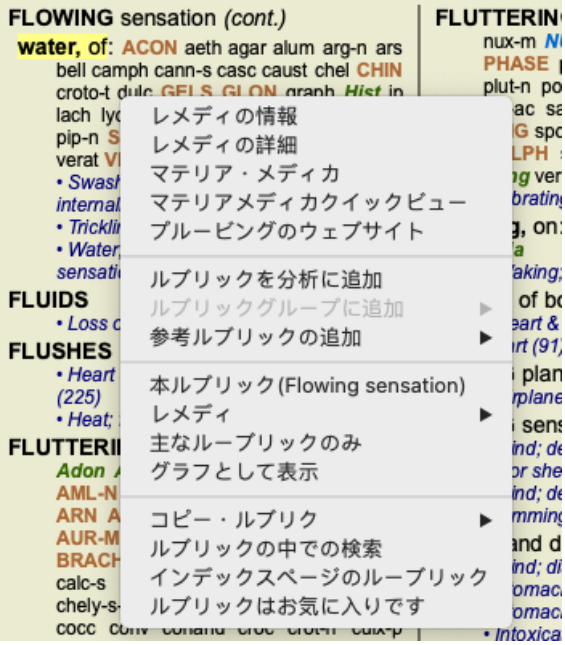
- *イングリッシュ* これが標準語です。
- *ジャーマン*
- *オランダ語*
- *フレンチ*
- *スパニッシュ*
- *ポルトガル語*
- *イタリアン*
- *ハンガリー語*
- *ルーマニア語*
- *ブルガリア語*
- *ロシア語*
- *ヒンディー語*
- *やまと*

ライセンスキーの購入は、弊社ホームページの「*Menu / Help / Buy extra language* 」から行ってください。
翻訳者があなたのために行った作業に対する報酬を支払うために、追加の言語に対して少額の手数料を支払う必要があります。

ホメオパシーレメディーを購入する

このプログラムでは、ホメオパシーのレメディーをオンライン薬局に直接注文することができます。
薬局が利用できるかどうかは、地域や国際的な規制によって、国ごとに異なる場合があります。この可否は、プログラム起動時に決定される。

レメディを注文するには、Book または Analysis モジュールのレメディ名でポップアップメニューを開き、 オプション*レメディを薬局で購入する* を選択します。 (ポップアップメニューオプション*薬局から薬を購入する*).



このオプションがない場合、あなたの国では薬局はサポートされていません。

選択後、自動的に利用可能なオンライン薬局が表示されます。

なお、Complete Dynamics は薬局から独立しています。お客さまへのサービスとして、薬局へのダイレクトアクセスを提供しています。

キーボードショートカット

モジュール選択

command I　インデックスモジュール
command B　ブックモジュール
command S　モジュールの検索
command D　ケースモジュール
command R　解析モジュール
command M　マテリアメディカモジュール
command J　ジャンプする
command F　探す
command Y　フィールドの表示/非表示 ジャンプと検索
F1 ドキュメンテーション

ブックモジュール

	→	次ページへ
	←	前のページに戻る
shift	→	次の章へ
shift	←	前の章へ
	↓	次のルーブリックに進む
	↑	前のルーブリックへ
shift	↓	次のメインルーブリックへ
shift	↑	前のメインのルーブリックへ
control	↓	同じレベルの次のルーブリックに進む
control	↑	同じレベルの前のルーブリックに移動する
control	←	参照先をたどると、前のルーブリックにジャンプします。
control	→	前方ジャンプ (後方ジャンプの反対)
	スペース	レメディーの表示 / 非表示
	1	全レメディーグレード
	2	レメディーグレード2-3-4
	3	レメディーグレード3-4
	4	レメディーグレード4
command G		グラフ/テキスト ルーブリック表示

レパートリーチャプター

shift-command A 腹部
shift-command B 背面
shift-command C クリニカル
shift-command E 四肢
shift-command F 女性
shift-command G 一般事項
shift-command H ヘッド
shift-command L 喉頭・気管
shift-command M 心
shift-command P 発汗
shift-command R 呼吸
shift-command S 肌
shift-command T のど
shift-command U 尿道
shift-command V めまい
shift-command X 解剖学的インデックス

ケース

control　N 新しいケース
control　O 選択したケースを開く

control　C ケースを閉じて、別のケースを選択する
control　E 選択した案件の情報を編集する
control　F ケースにメモを追加
control　A 解析の追加
control　T テンプレートを利用した解析の追加
control　D 重複選択解析
control　S 症状追加
control　R 分析に選択したレパートリーのルーブリックを追加
control　V ルーブリックの概要を分析で示す
control　X 処方箋の追加
command P プリント

分析

command C 選択した行をコピーする
command V コピーした行を貼り付ける
shift　↑ 選択した行を上に移動
shift　↓ 選択した行を下に移動する
　1 選択行の重みを1に設定する
　2 選択行の重みを 2 に設定
　3 選択行の重みを3に設定
　4 選択行のウエイトを4に設定
　0 選択した行を解析に含めない
　← 症状のルビを隠す（閉じる）
　→ 症状のルーブリックを表示する（公開）
command 1 ⊙ 1
command 2 ⊙ 2
　Etcetera...

マテリアメディカ

→ 次ページへ
← 前のページに戻る
shift → 次の章へ
shift ← 前の章へ

フィードバック

皆様のご協力とご意見をお聞かせください。

Complete Dynamicsの制作者は、最高の品質と操作性、そして商用版としての適度な価格設定を実現することに全力を注いでいます。
品質面では、ソフトウェア開発において、ゼロ・フォールト・トレランスのアプローチをとっています。プログラムの不具合は絶対に許されないので、発見された場合は最優先で解決します。
ユーザビリティは非常に個人的な問題なので、より複雑な問題です。私たちと専門の評価者グループは、お客様の声を常に評価しながら、最高の使い勝手を追求しています。

お客様のご協力により、Complete Dynamicsは常に向上し続けることができます。

フィードバックの方法

インターネットに接続されたパソコンであれば、簡単にフィードバックが可能です。
メニューを開き、オプション*General Feedback* または*Report problem* を選択するだけです。 (メニューオプション*ヘルプ/ このソフトウェアについて、ご意見をおしえてください。*, メニューオプション*ヘルプ/ 経験なさった問題について、報告してください。*).

あなたの「ホメオパシー・コンピューター」が直接インターネットに接続できない場合は、*support@completedynamics.com までメールを送ってください。*